

2026 年 度

教 科 案 内

Syllabus

愛 知 医 科 大 学 看 護 学 部

Aichi Medical University College of Nursing

	講義 コード	講義名称	必修・選択<組>	講義開講 時期	講義 区分	代表教員	開講 学年次
	GD101000N	医療英語	選択	前学期	演習	近藤 真治	3 学年次
	GD102000N	手話	選択	前学期	演習	前田 千佳	3 学年次
	GD103000N	中国語	選択	前学期	演習	李 恩郷	3 学年次
	GD104000N	スペイン語	選択	前学期	演習	古川 亜矢	3 学年次
	GE101000N	憲法学(法学含む)	必修	前学期	講義	川村 隆子	4 学年次
	GF101000N	文化人類学	選択	前学期	講義	高村 美也子	3 学年次
	GF102000N	経済学	選択	前学期	講義	石田 昌夫	3 学年次
	GF103000N	家族社会学	選択	前学期	講義	加藤 典子	3 学年次
	HA106000N	社会福祉学	必修	前学期	講義	河口 尚子	3 学年次
	HB103000N	薬理学	必修	前学期	講義	丸山 健太	2 学年次
	HB104000N	病態治療学Ⅰ	必修	前学期	講義	大須賀 浩二	2 学年次
	HB105000N	病態治療学Ⅱ	必修	前学期	講義	大須賀 浩二	2 学年次
	HB106000N	病態治療学Ⅲ	必修	後学期	講義	大須賀 浩二	2 学年次
	HD104000N	疫学	必修	前学期	講義	山中 真	2 学年次
	HD105000N	保健医療福祉行政論Ⅰ	必修	後学期	講義	工藤 安史	2 学年次
	HD106000N	保健医療福祉行政論Ⅱ	必修	前学期	講義	若杉 里実	4 学年次
	IA107000A	基礎看護技術Ⅱ	必修< A 組 >	前学期	演習	篠田 かおる	2 学年次
	IA107000B	基礎看護技術Ⅱ	必修< B 組 >	前学期	演習	篠田 かおる	2 学年次
	IA109000N	感染看護学Ⅱ	必修	前学期	講義	青山 恵美	2 学年次
	IA110000A	看護過程論	必修< A 組 >	前学期	演習	山本 恵美子	2 学年次
	IA110000B	看護過程論	必修< B 組 >	前学期	演習	山本 恵美子	2 学年次
	IB102002N	災害看護学（2 学年次生用）	必修	前学期	講義	佐々木 裕子	1 学年次
	IB102003N	災害看護学（3 学年次生用）	必修	前学期	講義	佐々木 裕子	1 学年次
	IB102004A	災害看護学（4 学年次生用）	必修< A 組 >	前学期	講義	佐々木 裕子	1 学年次
	IB102004B	災害看護学（4 学年次生用）	必修< B 組 >	前学期	講義	佐々木 裕子	1 学年次
	IB103000N	公衆衛生看護学Ⅰ	必修	後学期	講義	若杉 里実	2 学年次
	IB104000A	公衆衛生看護学Ⅱ	必修< A 組 >	前学期	演習	浅野 いずみ	3 学年次
	IB104000B	公衆衛生看護学Ⅱ	必修< B 組 >	前学期	演習	浅野 いずみ	3 学年次
	IB105000N	地域・在宅看護論Ⅰ	必修	前学期	講義	佐々木 裕子	3 学年次
	IB106000A	地域・在宅看護論Ⅱ	必修< A 組 >	後学期	演習	佐々木 裕子	3 学年次
	IB106000B	地域・在宅看護論Ⅱ	必修< B 組 >	後学期	演習	佐々木 裕子	3 学年次
	IB107001N	保健指導論（看護師課程用）	必修< 看護師課程 >	後学期	講義	若杉 里実	3 学年次
	IB107000N	保健指導論（保健師課程用）	必修< 保健師課程 >	後学期	講義	若杉 里実	3 学年次

	IC101000N	学校看護学	看護師課程…選択 保健師課程…必修	後学期	講義	若杉 里実	2 学年次
	IC102000N	産業看護学	看護師課程…選択 保健師課程…必修	後学期	講義	若杉 里実	2 学年次
	ID101000N	健康教育論	看護師課程…自由 保健師課程…必修	前学期	講義	若杉 里実	3 学年次
	IE102000N	母性看護学Ⅰ	必修	前学期	講義	山本 弘江	2 学年次
	IE103000A	小児看護学Ⅰ	必修＜Ａ組＞	前学期	講義	茂本 咲子	2 学年次
	IE103000B	小児看護学Ⅰ	必修＜Ｂ組＞	前学期	講義	茂本 咲子	2 学年次
	IE104000A	老年看護学Ⅰ	必修＜Ａ組＞	前学期	講義	荻野 朋子	2 学年次
	IE104000B	老年看護学Ⅰ	必修＜Ｂ組＞	前学期	講義	荻野 朋子	2 学年次
	IE105000N	家族看護学	必修	前学期	講義	山本 弘江	2 学年次
	IF101000A	母性看護学Ⅱ	必修＜Ａ組＞	通年	演習	山本 弘江	2 学年次
	IF101000B	母性看護学Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	通年	演習	山本 弘江	2 学年次
	IF102000A	小児看護学Ⅱ	必修＜Ａ組＞	通年	演習	深谷 基裕	2 学年次
	IF102000B	小児看護学Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	通年	演習	深谷 基裕	2 学年次
	IF103000A	老年看護学Ⅱ	必修＜Ａ組＞	通年	演習	荻野 朋子	2 学年次
	IF103000B	老年看護学Ⅱ	必修＜Ｂ組＞	通年	演習	荻野 朋子	2 学年次
	IF104000N	成人看護学Ⅰ	必修	後学期	講義	谷口 千枝	2 学年次
	IF105000A	成人看護学Ⅱ（急性期看護）	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	坂田 久美子	3 学年次
	IF105000B	成人看護学Ⅱ（急性期看護）	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	坂田 久美子	3 学年次
	IF106000N	成人看護学Ⅲ（慢性期看護）	必修	前学期	演習	谷口 千枝	3 学年次
	IF107000N	精神看護学Ⅰ	必修	後学期	講義	心光 世津子	2 学年次
	IF108000N	精神看護学Ⅱ	必修	前学期	演習	心光 世津子	3 学年次
	IF109000A	クリティカルケア論	必修＜Ａ組＞	前学期	演習	坂田 久美子	3 学年次
	IF109000B	クリティカルケア論	必修＜Ｂ組＞	前学期	演習	坂田 久美子	3 学年次
	IF110000N	ターミナルケア論	必修	前学期	講義	森 莉那	3 学年次
	IF111000N	リハビリテーションケア論	必修	前学期	講義	白井 裕子	3 学年次
	IG102002N	チーム医療論（IPE）（2 学年次生用）	必修	通年	演習	山本 恵美子	1 学年次
	IG102003N	チーム医療論（IPE）（3 学年次生用）	必修	通年	演習	山本 恵美子	1 学年次
	IG102004N	チーム医療論（IPE）（4 学年次生用）	必修	通年	演習	山本 恵美子	1 学年次
	IG103000N	看護研究方法論	必修	前学期	講義	心光 世津子	3 学年次
	IG104000N	実践看護英語	必修	後学期	講義	山本 弘江	3 学年次
	IG105000N	国際看護学Ⅰ	必修	後学期	講義	浅野 いずみ	3 学年次
	IG106000N	国際看護学Ⅱ	必修	前学期	講義	浅野 いずみ	4 学年次
	IG107000N	看護管理論	必修	前学期	演習	山中 真	4 学年次

	IG108000N	卒業研究Ⅰ	必修	後学期	演習	看護学部教員	3 学年次
	IG109000N	卒業研究Ⅱ	必修	通年	演習	看護学部教員	4 学年次
	JA102000N	コミュニティ実習	必修	後学期	実習	白井 裕子	2 学年次
	JA103000N	母性看護学実習Ⅰ	必修	後学期	実習	山本 弘江	2 学年次
	JA104000N	小児看護学実習Ⅰ	必修	後学期	実習	茂本 咲子	2 学年次
	JA105000N	老年看護学実習	必修	後学期	実習	荻野 朋子	2 学年次
	JB102000N	基礎看護学実習Ⅱ	必修	前学期	実習	篠田 かおる	2 学年次
	JB103000N	形態機能学実習	必修	前学期	実習	黒澤 昌洋	2 学年次
	JC101000N	成人看護学実習Ⅰ（急性期看護）	必修	後学期	実習	坂田 久美子	3 学年次
	JC102000N	成人看護学実習Ⅱ（慢性期看護）	必修	後学期	実習	森 莉那	3 学年次
	JC103000N	精神看護学実習	必修	後学期	実習	心光 世津子	3 学年次
	JC104000N	母性看護学実習Ⅱ	必修	後学期	実習	山本 弘江	3 学年次
	JC105000N	小児看護学実習Ⅱ	必修	後学期	実習	深谷 基裕	3 学年次
	JD101000N	地域・在宅看護実習	必修	前学期	実習	伊藤 寿英	4 学年次
	JE101000N	クリティカルケア実習	選択	前学期	実習	坂田 久美子	4 学年次
	JE102000N	プライマリケア実習	選択	前学期	実習	森 莉那	4 学年次
	JF101000N	統合看護実習	必修	後学期	実習	看護学部教員	4 学年次
	JG101000N	公衆衛生看護学実習Ⅰ	保健師課程…必修	後学期	実習	若杉 里実	3 学年次
	JG102000N	公衆衛生看護学実習Ⅱ	保健師課程…必修	前学期	実習	若杉 里実	4 学年次
	KA101000A	国語表現法	必修＜A組＞	前学期	演習	稲垣 広和	1 学年次
	KA101000B	国語表現法	必修＜B組＞	前学期	演習	稲垣 広和	1 学年次
	KA102000N	英語Ⅰ	必修	前学期	演習	近藤 真治	1 学年次
	KA103000N	英語Ⅱ	必修	後学期	演習	近藤 真治	1 学年次
	KB101000N	哲学	選択	前学期	講義	川崎 優	1 学年次
	KB102000N	文学	選択	前学期	講義	安井 海洋	1 学年次
	KC101000N	教育学	選択	後学期	講義	肥田 武	1 学年次
	KC102000A	音楽	選択＜A組＞	後学期	講義	森川 泉	1 学年次
	KC102000B	音楽	選択＜B組＞	後学期	講義	森川 泉	1 学年次
	KG101000N	統計学	必修	後学期	講義	箕浦 哲嗣	1 学年次
	KH101000N	数学	選択	前学期	講義	橋本 貴宏	1 学年次
	KH102000N	生命科学	選択	前学期	講義	池野 正史	1 学年次
	KH103000N	化学	選択	前学期	講義	有信 哲哉	1 学年次
	KH104000N	物理学	選択	前学期	講義	仙石 昌也	1 学年次
	KI101000A	情報科学Ⅰ	必修＜A組＞	前学期	演習	片山 清和	1 学年次
	KI101000B	情報科学Ⅰ	必修＜B組＞	前学期	演習	片山 清和	1 学年次
	KI102000A	情報科学Ⅱ	必修＜A組＞	後学期	演習	片山 清和	1 学年次
	KI102000B	情報科学Ⅱ	必修＜B組＞	後学期	演習	片山 清和	1 学年次
	LA101000N	心理学	必修	前学期	講義	宮本 淳	1 学年次

	LA102000N	人間学	必修	前学期	講義	塚田 守	1 学年次
	LA103000N	形態機能学Ⅰ	必修	前学期	講義	三浦 裕次	1 学年次
	LA104000N	形態機能学Ⅱ	必修	後学期	講義	泉 雅之	1 学年次
	LA105000N	生化学	必修	後学期	講義	三浦 裕次	1 学年次
	LB101000N	感染・免疫学	必修	後学期	講義	三浦 裕次	1 学年次
	LB102000N	病理学	必修	後学期	講義	笠井 謙次	1 学年次
	LC101000N	運動の科学	選択	前学期	講義	三浦 裕次	1 学年次
	LC102000A	体育実技	選択＜A組＞	前学期	実技	安藤 貴通	1 学年次
	LC102000B	体育実技	選択＜B組＞	前学期	実技	安藤 貴通	1 学年次
	LD101000N	栄養学	必修	前学期	講義	山口 節子	1 学年次
	LD102000N	環境保健学	必修	前学期	講義	近藤 繁生	1 学年次
	LD103000N	公衆衛生学	必修	後学期	講義	泉 雅之	1 学年次
	MA101000N	コミュニケーション論	必修	前学期	講義	山本 恵美子	1 学年次
	MA102000N	看護学原論Ⅰ	必修	前学期	講義	篠田 かおる	1 学年次
	MA103000N	看護学原論Ⅱ	必修	後学期	講義	山本 恵美子	1 学年次
	MA105000A	ヘルスアセスメント	必修＜A組＞	後学期	演習	篠田 かおる	1 学年次
	MA105000B	ヘルスアセスメント	必修＜B組＞	後学期	演習	篠田 かおる	1 学年次
	MA106000A	基礎看護技術Ⅰ	必修＜A組＞	後学期	演習	山幡 朗子	1 学年次
	MA106000B	基礎看護技術Ⅰ	必修＜B組＞	後学期	演習	山幡 朗子	1 学年次
	MB101000N	ヘルスプロモーション論	必修	前学期	講義	白井 裕子	1 学年次
	MB102000N	災害看護学（1 学年次生用）	必修	前学期	講義	佐々木 裕子	1 学年次
	ME101000N	生涯発達論	必修	後学期	講義	茂本 咲子	1 学年次
	MG101000N	教養ゼミナール	必修	前学期	演習	看護学部教員	1 学年次
	MG102000N	チーム医療論（IPE）（1 学年次生用）	必修	通年	演習	山本 恵美子	1 学年次
	NA101000N	ヒューマニティ実習	必修	前学期	実習	佐々木 裕子	1 学年次
	NB101000N	基礎看護学実習Ⅰ	必修	後学期	実習	篠田 かおる	1 学年次

講義名	医療英語		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Medical English		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 近藤 真治

科目概要	1 病態に関する内科学用語の定義を英語で学ぶことにより、専門的・学術的な語彙力を養う。 2 「発熱」「貧血」「脱水症」等のアセスメント場面を想定したダイアログに基づくディクテーションにより、実践的な英語コミュニケーション能力を養成する。 3 医学・看護学専門誌(International Journal of Nursing, The New England Journal of Medicine, Nursing Research等)掲載の原著論文を講読し、英語文献の読解力を向上させる。
目標	1 病態に関する内科学の基本語72語の定義を英語で理解できる。「DP：4」 2 看護場面における基本的なアセスメントを英語で行うことができる。「DP：4」 3 英語論文の構成・様式を理解し、臨床や研究に活用できる。「DP：4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/08 (水)	1	授業ガイダンス、インターネット活用法（英辞郎、DeepL翻訳、メルクマニュアル）	演習	後：授業内容をまとめる (60分)	近藤 真治
2	2026/04/08 (水)	2	内科学用語（全身状態１）、ダイアログ（発熱）、医学用語の構造（接頭辞、語根、連結母音、接尾辞）、標準正規分布表	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション (40分) 後：授業内容をまとめる (20分)	近藤 真治
3	2026/04/15 (水)	1	内科学用語（全身状態２）、ダイアログ（貧血）、研究デザイン	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション (40分) 後：授業内容をまとめる (20分)	近藤 真治
4	2026/04/15 (水)	2	内科学用語（呼吸器系１）、ダイアログ（脱水症）、論文タイトルのつけ方、CDCガイドライン	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション (40分) 後：授業内容をまとめる (20分)	近藤 真治
5	2026/04/22 (水)	1	内科学用語（呼吸器系２）、ダイアログ（肥満）、PubMed（システムティックレビュー）	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション (40分) 後：授業内容をまとめる (20分)	近藤 真治
6	2026/04/22 (水)	2	内科学用語（呼吸器系３）、ダイアログ（頭痛）、システムティックレビュー	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション (40分) 後：授業内容をまとめる (20分)	近藤 真治

7	2026/05/01 (金)	3	内科学用語（循環器系1）、ダイアログ（胸痛）、論文1（糖尿病と運動能力低下）	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：授業内容をまとめる（20分）	近藤 真治
8	2026/05/01 (金)	4	前半のまとめ。	演習	前：テストの準備（90分）	近藤 真治
9	2026/05/13 (水)	1	内科学用語（循環器系2）、ダイアログ（咳）、論文1（糖尿病と運動能力低下）	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：授業内容をまとめる（20分）	近藤 真治
10	2026/05/13 (水)	2	内科学用語（循環器系3）、ダイアログ（腹痛）、論文1（糖尿病と運動能力低下）	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：授業内容をまとめる（20分）	近藤 真治
11	2026/05/20 (水)	1	内科学用語（消化器系1）、ダイアログ（嚥下障害）、論文2（エイズ患者の症状管理）	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：授業内容をまとめる（20分）	近藤 真治
12	2026/05/20 (水)	2	内科学用語（消化器系2）、ダイアログ（聴力障害・難聴）、論文2（エイズ患者の症状管理）	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：授業内容をまとめる（20分）	近藤 真治
13	2026/05/27 (水)	1	内科学用語（消化器系3）、ダイアログ（骨折）、論文3（心肺停止）	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：授業内容をまとめる（20分）	近藤 真治
14	2026/06/05 (金)	3	内科学用語（消化器系4）、ダイアログ（妊娠）、論文3（心肺停止）	演習	前：内科学用語課題、ダイアログのディクテーション（40分） 後：授業内容をまとめる（20分）	近藤 真治
15	2026/06/05 (金)	4	後半のまとめ。	演習	前：テストの準備（90分）	近藤 真治

評価方法	内科学用語テスト24%、まとめのテスト①38%、まとめのテスト②38%
教科書・参考書	教科書は使用しない。資料はAIDLE-Kにアップする。
履修上の注意点及び取扱い	1 2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 2 出席管理システムにより出席の確認をする。 3 生成 AI を使用する場合は、担当教員からの指示・注意事項に従うこと。 4 再試験は1回のみ実施する。 5 まとめテスト②の終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	金曜日 16:10～17:40 C棟5階教授室6
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	手話		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Sign Language		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 前田 千佳
講 師(非)	山腰 衣保

科目概要	ろう者の母語である日本手話を学修する。日本手話は、言語的には日本語と異なった文法を持つ言語である。本科目では、日本手話による日常的な挨拶や自己紹介、指文字、数字の学修を行う。また、医療に関する手話の単語や表現を学修する。
目標	1 日本手話で自己紹介ができる。「DP：1・4」 2 日本手話で簡単な挨拶ができる。「DP：1・4」 3 日本手話で簡単な日常会話ができる。「DP：1・4」 4 医療現場における基本的な手話表現ができる。「DP：1・4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/06/04 (木)	3	日本手話とは？ (手話と日本語は別の言語であることを理解する)	講義・演 習	前：テキスト「はじめての 手話 初歩からやさしく学 べる手話の本」のp.47まで と「Culture Notes」を読 む。(30分) 後：講義の内容について復 習しておく。(30分)	山腰 衣保
2	2026/06/04 (木)	4	挨拶、名前、年齢、Yes/No疑問文、Wh疑問文	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
3	2026/06/11 (木)	3	家族(両親、兄弟、末っ子、双子)	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
4	2026/06/11 (木)	4	出身、住所	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
5	2026/06/18 (木)	3	職業、学生	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
6	2026/06/18 (木)	4	会話レッスン(理解)	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
7	2026/06/25 (木)	2	略歴(年目/年前/年間)	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
8	2026/06/25 (木)	3	カレンダー、曜日、天候	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
9	2026/07/02 (木)	2	一日の流れ、時間(起床/寝床)	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
10	2026/07/02 (木)	3	通学、通勤、交通機関(混む/空く)	講義・演 習	後：学んだ手話表現を復 習し練習しておく。(60分)	前田 千佳

11	2026/07/09 (木)	2	スポーツ	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
12	2026/07/09 (木)	3	小テスト	講義・演習	前：第1回～第11回までの確認。(60分)	前田 千佳
13	2026/07/16 (木)	2	ろう者の生活(ろう者の生活と聴者の生活の違いを理解する)	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
14	2026/07/23 (木)	2	怪我と病気	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
15	2026/07/23 (木)	3	医療現場における会話レッスン	講義・演習	後：学んだ手話表現を復習し練習しておく。(60分)	前田 千佳
16	2026/07/30 (木)	2	定期試験			前田 千佳
評価方法		小テスト(30%)、定期試験(50%)、授業態度(20%) 定期試験が不合格となった場合は、再試験を1回行う。				
教科書・参考書		教科書： 1 木村晴美他(2014/8)：「はじめての手話 初歩からやさしく学べる手話の本」、改訂新版、生活書院、定価1,650円(税込み) 参考書： 1 前川和美他(2022/8)：「しくみが身につく手話1 入門編(DVD付)、白水社、定価2,090円(税込み) 2 岡典栄他(2011/4)：「文法が基礎からわかる日本手話のしくみ」、大修館書店、定価1,320円(税込み)				
履修上の注意点及び取扱い		1 授業は日本手話で行われます。声はまったく使用しません。 2 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができません、単位を取得することができない。 3 出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻)により出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計2回、打刻する。 4 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。				
オフィスアワー		授業に関する質問等は講義後に対応する。				
備考		最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	中国語		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Chinese		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 李 恩郷

科目概要	本科目では、中国語の基礎知識を身につけることを目標とする。中国語の発音記号であるピンイン（日本語のひらがなに相当）の読み書き、基本文法及び文型、実用的な日常会話、あいさつ用語、さらに医療に関する中国語の語彙や表現を学習する。今後中国語を続けて学習したい学生たちに自習できる力をつけることも一つ目標としている。テキストの内容に合わせ、中国の文化や生活習慣、伝統、中国人の価値観などについて学ぶ。日々グローバル化が進む現代、多様な社会に適応できる語学力と教養を身につけることを目指している。
目標	1 中国語の発音記号（ピンイン）を正しく発音できる。「DP：1・4」 2 簡単な中国語を使って自己意思が表示できる。「DP：1・4」 3 簡単な中国語を使って自己紹介が書けるようになる。「DP：1・4」 4 医療に関わる中国語の用語を習得する。「DP：1・4」 5 今後の中国語学習に役立てられるよう、中国語の辞書の調べ方を把握し、調べることができる。「DP：1・4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/27 (水)	2	ガイダンス・中国語の特徴と学び方 第一課 発音（1）単母音、声調	講義	前：P6-7を読む。 後：単母音と声調の発音練習を繰り返し行う。 前後各30分	李 恩郷
2	2026/06/03 (水)	1	第二課 発音（2）子音	講義	前：P8-9を読む。 後：子音の発音練習を繰り返し行う。 前後各30分	李 恩郷
3	2026/06/03 (水)	2	第三課 発音（3）複母音、声調記号のつけ方 第四課 発音（4）鼻母音、r 化音	講義	前：P10-13を読む。 後：複母音と鼻母音の発音練習を繰り返し行う。 前後各30分	李 恩郷
4	2026/06/10 (水)	1	第五課 発音（5）声調の変化、簡単なあいさつ ピンインの総合練習と辞書のひき方	講義	前：P14-17を読む。 後：簡単なあいさつの言い方を覚える。 前後各30分	李 恩郷
5	2026/06/10 (水)	2	第六課 こんにちは① 単語・文法の説明、本文の翻訳と朗読練習、人称代名詞	講義	前：P18-19を読む。 後：第六課の単語を暗記、人称代名詞を覚える。 前後各30分	李 恩郷
6	2026/06/24 (水)	1	第六課 こんにちは② 単語の復習、練習問題、医療従事者関連補充単語	講義	前：P20-23を読む。 後：本文の朗読練習、練習問題を解く。 前後各30分	李 恩郷

7	2026/06/24 (水)	2	第七課 保険証はありますか① 単語・文法の説明、本文の翻訳と朗読練習、指示代名詞	講義	前：P24-25を読む。 後：第七課の単語を暗記、指示代名詞を覚える。 前後各30分	李 恩郷
8	2026/07/01 (水)	1	第七課 保険証はありますか② 単語の復習、練習問題、家族の言い方関連補充単語	講義	前：P26-29を読む。 後：本文の朗読練習、練習問題を解く。 前後各30分	李 恩郷
9	2026/07/01 (水)	2	第八課 内科はどこですか① 単語・文法の説明、本文の翻訳と朗読練習、方位詞	講義	前：P30-31を読む。 後：第八課の単語を暗記、方位詞を覚える。 前後各30分	李 恩郷
10	2026/07/08 (水)	1	第八課 内科はどこですか② 単語の復習、練習問題、いろいろな場所関連補充単語	講義	前：P32-35を読む。 後：本文の朗読練習、練習問題を解く。 前後各30分	李 恩郷
11	2026/07/08 (水)	2	第九課 のどが痛いです① 単語・文法の説明、本文の翻訳と朗読練習	講義	前：P36-37を読む。 後：第九課の単語を暗記、文法の復習。 前後各30分	李 恩郷
12	2026/07/15 (水)	1	第九課 のどが痛いです② 単語の復習、練習問題、よく使う形容詞関連補充単語	講義	前：P38-41を読む。 後：本文の朗読練習、練習問題を解く。 前後各30分	李 恩郷
13	2026/07/15 (水)	2	最近の翻訳アプリ、翻訳機などの紹介、メディカルハンドブック・実践練習	講義	前：最近の翻訳アプリについて調べる。 後：実践練習の内容についてまとめて書く。 前後各30分	李 恩郷
14	2026/07/22 (水)	1	作文練習：中国語で自己紹介を書こう 名前、所属、趣味、家族構成、将来の夢…などがいえるようになる	講義 発表	前：発表内容を準備する。 後：自己紹介文を修正する。 前後各30分	李 恩郷
15	2026/07/22 (水)	2	試験前の練習問題	講義	前：試験前の練習問題を解く。 後：総復習 前後各30分	李 恩郷
16	2026/07/29 (水)	2	定期試験			李 恩郷

評価方法	毎回の宿題10%、小テスト40%、期末試験50% 愛知医科大学看護学部履修規程に基づき、やむを得ない事由により受験できない者や、試験に不合格の者には、追試験、再試験を行うことがある。
教科書・参考書	教科書： 1 王宇南/王美蘭著「メディカル初級実践中国語」、朝日出版社、第1版（2020/1）、定価2,640円(税込) 参考書： 授業内容に応じて、プリントを配付します。
履修上の注意点 及び取扱い	1 発音練習やテキストの朗読など、皆で声を出しながら授業を進めていくので注意すること。 2 出席を重視する。30分以上の遅刻や早退は欠席扱いとする。出席が3分の2に満たない場合は、受験資格を認めない。 3 再試験は1回のみとし、不合格の場合は、次年度に再履修する。 4 課題に対するフィードバック：試験に関しては次回の授業で解説し、レポートなどは修正して学生に返す。
オフィスアワー	質問は講義終了後に受け付ける。
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	スペイン語		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Spanish		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 古川 亜矢

科目概要	スペイン語は、スペインやラテンアメリカなど、21の国と地域で公用語となっている国際語である。その話者は世界中で4億人を超える。本科目では、看護・医療系の語彙、表現、練習問題を多く取り入れたテキストを用いて初級文法を習得し、ペアワークやグループワークを通して簡単なコミュニケーションを実践する。また、スペイン語圏の文化も紹介する。スペイン語圏の文化の多様性を理解する課程で、多文化に対する柔軟で寛容な姿勢を培う。
目標	1 スペイン語の現在時制を用いて身の回りのことが言える。「DP: 1・4」 2 スペイン語圏の多様な文化について説明できる。「DP: 1・4」 3 病院の患者とスペイン語で基本的なコミュニケーションができる。「DP: 1・4」 4 医療関係の基本的語彙を使用できる。「DP: 1・4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/06 (月)	5	1 スペイン語圏の国と地域について 2 Introducción アルファベット、母音の発音、自己紹介	文法説明、PW、GW	前：地図でスペイン語圏の国と首都について確認しておく 後：講義の復習、CD発音 2, 3 前後各30分	古川 亜矢
2	2026/04/13 (月)	5	Introducción アクセントの位置、子音：注意すべき綴りと音	文法説明、PW、GW	前：教p. 2-3を読む 後：講義の復習、CD発音4 前後各30分	古川 亜矢
3	2026/04/20 (月)	5	1 課 名詞の性と数、形容詞、主格人称代名詞	文法説明、PW、GW	前：教p. 4-5の予習 後：講義の復習、CD発音6-8、教p. 6の会話を和訳する、教p. 7の練習問題を解く 前後各30分	古川 亜矢
4	2026/04/27 (月)	5	2 課 動詞ser、所有形容詞	文法説明、PW、GW	前：教p. 8-9の予習 後：講義の復習、CD発音 13, 14、教p. 10の会話を和訳する、教p. 11の練習問題を解く 前後各30分	古川 亜矢
5	2026/05/11 (月)	5	3 課 直説法現在形、前置詞	文法説明、PW、GW	前：教p. 12-13の予習をする 後：講義の復習、CD発音 19, 20、教p. 14の会話を和訳する、教p. 15の練習問題を解く 前後各30分	古川 亜矢

6	2026/05/18 (月)	5	4 課 動詞estar、hay+名詞	文法説明、PW、GW	前：教p. 16-17の予習 後：講義の復習、CD発音 24-26、教p. 18の会話を和訳する、教p. 19の練習問題を解く 前後各30分	古川 亜矢
7	2026/05/25 (月)	5	5 課 不規則動詞 語幹母音変化動詞、直接目的格人称代名詞	文法説明、PW、GW	前：教p. 20-21の予習 後：講義の復習、CD発音 31, 32、教p. 22の会話を和訳する、教p. 23の練習問題を解く 前後各30分	古川 亜矢
8	2026/06/01 (月)	5	前半まとめ 動詞を中心とした練習問題	文法説明、PW、GW	前：教p. 1-21の復習 後：練習問題の復習 前後各30分	古川 亜矢
9	2026/06/08 (月)	5	6 課 1 人称単数不規則動詞、間接目的格人称代名詞	文法説明、PW、GW	前：教p. 24-25の予習 後：講義の復習、CD発音 36, 37、教p. 26の会話を和訳する、教p. 27の練習問題を解く 前後各30分	古川 亜矢
10	2026/06/15 (月)	5	7 課 gustarとdoler、その他pasar, picar, interesar, encantarなど	文法説明、PW、GW	前：教p. 28(3以外)-29の予習 後：講義の復習、CD発音 40, 41、教p. 30の会話を和訳する、教p. 31の練習問題を解く 前後各30分	古川 亜矢
11	2026/06/22 (月)	5	1 文化紹介 (スペインの食文化) 2 Juego de Oca	文化紹介、GW	前：教p. 62基数詞の予習 後：講義の復習、CD発音81 前後各30分	古川 亜矢
12	2026/06/29 (月)	5	7 課 比較	文法説明、PW、GW	前：教p. 28比較の予習 後：講義の復習、CD発音42 前後各30分	古川 亜矢
13	2026/07/06 (月)	5	8 課 再帰動詞	文法説明、PW、GW	前：教p. 32の2の予習 後：講義の復習、CD発音 46、教p. 35の2の練習問題を解く 前後各30分	古川 亜矢
14	2026/07/13 (月)	5	後半まとめ 再帰動詞とgustar型動詞を中心とした練習問題	文法説明、PW、GW	前：教p. 24-32の復習 後：練習問題の復習 前後各30分	古川 亜矢
15			テーマ「私の一日」を再帰動詞と一般動詞を用いてスペイン語で作文する	オンデマンド 課題を提出して添削を受ける	前：再帰動詞の復習 後：添削を受けた作文の直し 前後各30分	古川 亜矢
16	2026/07/27 (月)	5	定期試験	筆記試験		古川 亜矢

評価方法	定期試験50%、授業への参加態度30%、課題レポート10%、小テスト10% 定期試験が不合格となった場合は、再試験を1回行う。
教科書・参考書	教科書：1 高橋覚二、その他著：「い・け・て・パス？ー初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心にー」、朝日出版社、初版(2009/1)、定価 2,310円(税込み) 参考書：初回の講義で辞書について案内をする。
履修上の注意点及び取扱い	1 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 2 遅刻3回で欠席1回とみなす。 3 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。 4 略字の凡例 PW：ペアワーク、GW：グループワーク、CD発音：CDを聞いて発音練習をする

オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。 また、下記メールアドレスへのメールでも対応することも可能。 Email : afurukawa.jugyo@gmail.com
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	憲法学(法学含む)		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Constitutional Law		
科目区分	教養科目群 社会科学		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 川村 隆子

科目概要	憲法及び憲法上の諸問題について学ぶ。本科目では日本国憲法及び憲法の定める基本権に関し、沿革や権利の意義について理解を深めるとともに、人権に焦点を当てて関連する法制度の仕組みを学ぶ。また、社会で起きる出来事を法制度との関わりの中で捉える力を養う。 私達の生活において、法は欠かせないものである。 本講義では、法の基本的な成り立ちを説明した上で、誰でもが遭遇するかもしれない交通事故の事件（HとJの物語：教科書参照）を取り上げ、その事故から生じるさまざまな事柄を法律を交えて学んでいく。 また、医療従事者として必要な法の意識、責任を持つため、なるべく医療や医療従事者に関わる事例を多く交えて講義を行っていく。
目標	①法の基本的な成り立ちの理解できる。「DP：1」 ②身の回りに関わる様々なルール見つけ、関連ある情報収集ができる。「DP：5」 ③法的思考（リーガル・マインド）を養う。「DP：1・2・5・6」 ④医療に従事する有資格者としての法的責任（義務）を理解する。「DP：1・2・5・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/03 (金)	1	オリエンテーション 「法」とは何か？	講義	(予習・復習) ・法の必要性について考える ・身近な法の存在について考える 予習120分、復習120分	川村 隆子
2	2026/04/03 (金)	2	法の成り立ち ① 法と道徳 ② 法の分類と解釈	講義	(予習・復習) ・法の必要性について考える ・身近な法の存在について考える 予習120分、復習120分	川村 隆子
3	2026/04/03 (金)	3	刑法の基礎 ① 犯罪は処罰されなければならないか	講義	(予習・復習) ・教科書p4～35を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
4	2026/04/03 (金)	4	犯罪の構造 ① 犯罪の成立、脳死について、刑罰を受けない人々 (責任無能力者、心神喪失者、未成年者)	講義	(予習・復習) ・教科書p4～35を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
5	2026/04/06 (月)	1	刑事裁判 ① 刑事裁判の進め方	講義	(予習・復習) ・教科書p36～73を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
6	2026/04/06 (月)	2	刑事裁判開始 ① 公判手続き（刑務所と少年院）	講義	(予習・復習) ・教科書p36～73を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子

7	2026/04/06 (月)	3	民事責任 ① 不法行為責任と保険	講義	(予習・復習) ・教科書p76～111を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
8	2026/04/06 (月)	4	損害賠償 ① 損害賠償請求	講義	(予習・復習) ・教科書p76～111を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
9	2026/04/07 (火)	1	契約法 ① 契約と債務不履行	講義	(予習・復習) ・教科書p113～145を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
10	2026/04/07 (火)	2	親子関係 ① 親権、実親子関係、養親子関係 ② 生殖補助医療	講義	(予習・復習) ・教科書p146～163を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
11	2026/04/07 (火)	3	婚姻と離婚 ① 婚姻、内縁、離婚	講義	(予習・復習) ・教科書p163～176を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
12	2026/04/07 (火)	4	法律を決めるのは誰 ① 憲法（統治）	講義	(予習・復習) ・教科書p163～217を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
13	2026/04/10 (金)	1	基本的人権 ① 基本的人権と分類 (幸福追求権、表現の自由、生存権等)	講義	(予習・復習) ・教科書p218～248を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
14	2026/04/10 (金)	2	基本的人権 2 ① 基本的人権と自己決定権	講義	(予習・復習) ・教科書p218～248を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
15	2026/04/10 (金)	3	まとめ 医療従事者実務と法的思考について	講義	(予習・復習) ・教科書p250～251を読む 予習120分、復習120分	川村 隆子
評価方法		授業への積極的参加（40％）講義時の課題提出（60％） ＊状況に応じてレポート作成を課すことがある。 全体評価として6割に満たない場合には、再レポート（1回）の提出を行う。				
教科書・参考書		松井茂記、松宮孝明、曾野裕夫 著 『はじめての法律学 第7版』（2025/04） 有斐閣				
履修上の注意点 及び取扱い		1 出席が3分の2に達していない場合は成績を評価しない。 2 教科書と自筆ができるノート（ルーズリーフ）を持参すること。 3 準備学修について、一時限につき、予習120分、復習120分とする。 ただし、連続講義の場合は、連続講義分の予習を行って授業を受け、復習は同じ時限分を行うこと。 4 授業中にだされた質問に対しては、原則授業時間内に解説を行う。 その他、レポート等のフィードバックが必要な場合は、適宜対応する。 「法」は、家族という最も小さな社会のルールを示すことをはじめ、さまざまな特殊専門分野のルールをも示す役割を担っています。社会人として、また、医療従事者として社会で責務を担っていく上で不可欠な「法」について、少しでも興味もてるよう、工夫して講義を進めていきたいと思います。 なお、将来の責務の重大性から授業中の居眠りや私語、内職はもちろん飲食、携帯電話の操作等、授業中に適切でない行為を禁止します。これらを遵守しない場合は出席として認めない場合があります。				
オフィスアワー		質問については、授業終了後に受け付け、回答は原則次回の授業時とする。				
備考		最新の知見を取り入れて授業を構成しています。				

講義名	文化人類学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Cultural Anthropology		
科目区分	教養科目群 社会科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 高村 美也子

科目概要	文化人類学の理論とフィールドワークをもとに世界の多様な文化を比較しながら学修する。特に家族・宗教・移動をキーワードとする。講義を通して異文化理解をし、文化とは何か、人間とは何かを知る。その上で、他者との共存・協力のあり方を考える力を育てる。
目標	1 文化の多様性とその背景を説明できる。「DP：2～4」 2 文化によって価値観や信念、考え方が異なることを理解し他者との関係をつくることができる。「DP：2～4」 3 他者を理解することで、私たちが「あたりまえ」と思っていることに気づくことができる。「DP：2・4」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/13 (月)	4	ガイダンスと文化人類学の概要	講義	予習：文化に関連する話題やキーワードについて調べる。 復習：文化人類学についてどのような学問か考える。 前後各120分	高村 美也子
2	2026/04/20 (月)	4	国家と民族：国家とは何か、国の構成について学ぶ	講義	予習：国家について調べる。 復習：国家、民族、エスノロジーとは何かを考える。 前後各120分	高村 美也子
3	2026/04/27 (月)	4	家族・結婚：世界にはどのような家族・結婚のかたちがあるかを学ぶ。	講義	予習：家族や結婚に関する話題やキーワードを調べる。 復習：異文化における家族や結婚のかたちについて理解を深める。 前後各120分	高村 美也子
4	2026/05/11 (月)	4	ジェンダー問題：ジェンダー問題とは何かを学ぶ	講義	予習：日本のジェンダー課題、世界のジェンダー問題を考える。 復習：配付資料をもとに、ジェンダー問題について考え、世界の状況を学ぶ。 前後各120分	高村 美也子
5	2026/05/18 (月)	4	世界の宗教：世界の主な宗教について学ぶ	講義	予習：世界にはどのような宗教が存在するのかを考える。 復習：日本に多くの外国籍が滞在しはじめたなか、あらためて宗教について考え	高村 美也子

					る。 前後各120分	
6	2026/05/25 (月)	4	土着信仰・呪術・伝統医療：民族の信仰を学ぶ	講義	予習：土着信仰による伝統医療について考えているかまとめる。 復習：配付資料を踏まえ、民族宗教と伝統医療を見直し、現代医療との関連について考える。 前後各120分	高村 美也子
7	2026/06/01 (月)	4	食文化：世界の食について学ぶ	講義	予習：世界の食文化がどのように生活に関係しているのかを考える。 復習：宗教、民族によって、食文化の違いを学ぶ。 前後格120分	高村 美也子
8	2026/06/08 (月)	4	人類の移動とその要因：人類・現代の移動について学ぶ	講義	予習：日本に多国籍の人びとが居住しているが、人類の移動について学ぶ。 復習：移動がどのように発生しているのかを考える。 前後格120分	高村 美也子
9	2026/07/27 (月)	4	定期試験		記述式試験	高村 美也子

評価方法	リアクションペーパー40% 期末テスト60% 期末試験では、資料およびノートなどの持ち込みは不可とする。 不合格者へは原則として1回再試験を実施する。
教科書・参考書	教科書：使用しない。毎回、記入式資料を配布する。 参考書：下記文献が参考になる。 波平恵美子編(2021/1)：「文化人類学（系統看護学講座、基礎分野）」、第4版、医学書院、定価2,530円（税込み）
履修上の注意点及び取扱い	1 出席の確認はカードリーダーへの打刻による。出席が3分の2に達していない場合は期末テストを受けることはできない。 2 定期試験について期末テストにて実施する。 3 リアクションペーパーは、講義終了時間以内もしくは講義日の翌日までにAIDLE-Kに提出する。 4 リアクションペーパーについて、次回講義で一部抜粋し10分から15分ほどの時間を使って解説する。
オフィスアワー	授業終了後に相談する。
備考	・古典的視点および最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	経済学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Economics		
科目区分	教養科目群 社会科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 石田 昌夫

科目概要	標準的な経済学と経済政策論の基礎を学習し、経済学と現実の経済問題との関係を理解する。 現実の経済問題について、経済学と経済政策論の基礎的理解に基づいた考察と判断ができる素材を習得する。 日常生活の中では日々多くの経済用語が用いられている。これらの言葉を正確に理解しておくことは、起きている事象の一層広く深い洞察を可能とする。経済および経済政策に直接関わる事象以外でも、問題の経済的側面（だれが得をするのか、それを実行することによりどのような費用が必要となるか等）を考えることで、別の視点を与えられることとなる。 経済学の基礎では、社会における経済の問題を精緻に分析する手法を学ぶ。経済政策論では、経済問題を効率性と公平性という2つの見地から考察する手法を習得する。
目標	日常生活のさまざまな出来事を、経済学の視点から考えることができる。言い換えれば、日々の生活の中で気づかれないけれども働いている経済法則が見えるようになる。これにより、現実の社会における経済問題理解の場面で、正しい判断が下せるようになる。現代の社会が直面する経済問題のうちの大きなものについて、自分なりの見解をもつことができる。例えば現実社会における経済の有効性と限界、市場経済における政府の役割、所得や富の格差の問題などについて、合理性と整合性を備えた識見を得ることができる。「DP：2」 何かを行うと、そのことにより利益を得る人と損失を被る人がでくる。また、何かを行うには直接目に見える費用の他にも様々な負担が必要となる。こうしたことの理解から、経済学を学ぶことにより、ものごとを複数の視点から考える姿勢を身につけることが可能となる。

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/21 (火)	2	授業の進め方、評価の方法。 経済学の大まかな流れ、経済の素朴な疑問、経済理論と経済政策	スライドと板書を併用した講義	講義に臨むに当たり、日頃から新聞・雑誌・ネットなどの経済記事を読んでおく。 講義内容を十分理解し、再確認したうえで次の講義に出席する(240分程度)。	石田 昌夫
2	2026/05/12 (火)	2	市場機構の働きと有効性	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次の講義に出席する(240分程度)。	石田 昌夫
3	2026/05/19 (火)	2	消費者余、生産者余剰、社会的余剰	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次の講義に出席する(240分程度)。	石田 昌夫
4	2026/05/26 (火)	2	社会的余剰の最大化と市場機構の有効性	スライドと板書を併用した講義	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次の講義に出席する(240分程度)。	石田 昌夫
5	2026/06/02 (火)	2	市場の失敗①公共財	スライドと板書を	講義内容を十分理解し、再確認したうえで次の講義に出席する(240分程度)。	石田 昌夫

				併用した 講義		
6	2026/06/16 (火)	2	市場の失敗②独占③外部性	スライド と板書を 併用した 講義	講義内容を十分理解し、再 確認したうえで次回の講義 に出席する(240分程度)。	石田 昌夫
7	2026/06/23 (火)	2	政府による所得再分配	スライド と板書を 併用した 講義	講義内容を十分理解し、再 確認したうえで次回の講義 に出席する(240分程度)。	石田 昌夫
8	2026/06/30 (火)	2	格差・不平等の尺度	スライド と板書を 併用した 講義	これまでの講義内容を十分 理解し、再確認する。不明 な点は納得のいくまで担当 教員等から説明を受ける (240分程度)。	石田 昌夫

評価方法	出席状況・受講姿勢 20点 小テスト 20点 課題レポート 60点
教科書・参考書	教科書 なし 参考書 必要に応じ、授業内で適宜紹介する
履修上の注意点 及び取扱い	毎回スライドで授業を進める。教材はないので、話を注意深く聞く。 丁寧な説明を心がけるので、その場で理解するよう努める。 不明な点・疑問点は、積極的に質問願いたい。周囲の状況等で尋ねにくい場合、メールでの問い合わせにも対応 したい。 評価による不合格者については、レポートの提出を課すこととする。 評価につき、不明な点、納得しづらいと感じられる内容等がある場合は、希望により質問の機会を設ける。
オフィスアワー	疑問・意見等にはメールで対応する。気兼ねなく発信されたい。
備考	・授業の内容はどれも上記記載の目標に直接資するものであり、正確な理解が望まれる。 ・小テストの実施に際しては、あらかじめ例題を用いて要点の把握が確実にできているかを確かめる機会をも つ。 ・抽象的な理論を例によって説明する際には、最新の資料を用いることにする。これにより、理解が実感のレベ ルに達することを目指す。 ・生成AIは、この授業に関するかぎり、理解を深めるための有効なツールであり、積極的な利用を推奨したい。 ただ、現在の段階では不適切な回答を返すことがなくはない。生成AIの返答に関して何らかの疑問や意見が生ま れた場合、遠慮なく発言願いたい。

講義名	家族社会学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Family Sociology		
科目区分	教養科目群 社会科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 加藤 典子

科目概要	現代では家族のあり方が多様化している。適切な看護を行うためには、個人のみならず、家族や家族を取り巻く社会の理解が欠かせない。本科目では、日常の中で身近な存在として常識的に捉えてきた「家族」概念を社会学的視点から再検討し、集団としての家族、制度としての家族、関係としての家族などの視点から、家族を捉える多様なアプローチを学び、家族に対する理解を深める。更に、現代の家族に特徴的な病理現象を取り上げ、個人と家族と社会の関わりについて理解する。
目標	1 相互作用アプローチを用いて、自分の家族観を相対化し、家族に求めるものが人により異なることに配慮できる。[DP:1] 2 制度的アプローチを用いて、家族が、制度の中で時代や社会に拘束されつつ形成されていることを説明できる。[DP:1・5] 3 構造－機能アプローチを用いて、近代化による領域の分離が、家族に与えた影響について、論じることができる。[DP:1・5] 4 発達アプローチを用いて、社会と家族、あるいは家族と個人の、関連について述べることができる。[DP:1・5] 5 場（状況）アプローチを用いて、家族問題の解決方法を、社会学的な視点から指摘できる。[DP:1・5] 6 医療現場から報告・提案を行うための基礎能力として、2次データの読み取りや使用ができる。[DP:5]

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/25 (月)	2	オリエンテーション：家族社会学とは 家族の概念：家族・家庭・世帯、家族観とファミリーアイデンティティ	講義	前：家族に関するニュースや記事を読み、関心を持った物を持ち寄る。 後：自分の家族概念を振り返り、考察する。 前後各120分	加藤 典子
2	2026/06/01 (月)	2	家族の構造と機能：小家族化・核家族化、縮小化・外部化・専門特化、分有、孤立化	講義	前：事前配付の資料から、家族構造の変化に関するデータを読み取る。 後：配付資料を読み、家族機能の変化についてまとめる。 前後各120分	加藤 典子
3	2026/06/08 (月)	2	家族の変遷：近代家族、恋愛結婚、子供の誕生、母性愛神話	講義	前：事前配付の資料を読む。 後：『子供の誕生』に示された絵画をヒントに、前近代家族と近代家族の違いをまとめる。 前後各120分	加藤 典子
4	2026/06/15 (月)	2	家族の発達：地位－役割理論、家族周期論、ライフコース論、ライフデザイン論	講義	前：事前配付の資料を読む。 後：家族周期の表を作成す	加藤 典子

					る。 前後各120分	
5	2026/06/22 (月)	2	家族の力学：性別役割分業、ジェンダー論、ワーク ライフバランス、L G B T Q	講義	前：教科書の「第4章 ジェ ンダーと女性の非正規労 働」を読む。 後：第3号被保険者の制度 の是非について考察する。 前後各120分	加藤 典子
6	2026/06/29 (月)	2	家族の病理(1)：家庭内暴力、児童虐待、離婚、親権	講義	前：教科書の「第3章 離婚 後の共同親権と子供のケ ア」を読む。 後：アメリカと日本を比較 して異同について考察す る。 前後各120分	加藤 典子
7	2026/07/06 (月)	2	家族の病理(2)：高齢者夫婦のみ世帯、在宅介護	講義	前：教科書の「第2章 介護 保険による介護サービスの 提供が高齢者夫婦に及ぼす 影響」を読む。 後：老々介護・認認介護・ 介護殺人を通し、高齢者夫 婦のみ世帯の在宅介護問題 を検討する。 前後各120分	加藤 典子
8	2026/07/13 (月)	2	家族の病理(3)：単身高齢者、社会的孤立	講義	前：教科書の「5章 単身高 齢者が地域生活で直面する 課題と支援」を読む。 後：単身高齢者の社会的孤 立について考察する。 前後各120分	加藤 典子

評価方法	授業参加度50%、レポート50%で評価する。
教科書・参考書	教科書： 西下彰俊編著「比較福祉社会学の展開－ケアとジェンダーの視点から－」、新評論、第1版（2024/12）、定価 3,080円(税込) 参考書： 講義の中で、適宜、紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 履修について 積極的に発表・発言すること。 授業の参加度は提出物も合わせて総合的にはかる。 2 出欠席について 出席の確認はカードリーダーへの打刻による。 30分以上の遅刻・早退、2回目の打刻がない者は欠席扱いとする。 3 フィードバック ワークシートに対するフィードバックは講義の中で行う。
オフィスアワー	講義内容以外の質問や相談は、講義終了後に教室で対応する。
備考	・講義内容の質問は、教室で共有したいので、できるだけ授業中にすること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	社会福祉学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Social Welfare		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師 (非)	◎ 河 口 尚子

科目概要	看護専門職として身につけておくべき社会福祉の基本的な知識を体系的に学ぶ。 看護専門職には現在、医療・保健・福祉その他の職種との多職種連携や地域のニーズに対応した看護・ケアが求められている。 多職種連携や地域のニーズを理解するために、身につけておくべき社会福祉の基本的な知識を体系的に学ぶ。
目標	看護専門職が医療・保健・福祉との連携をはかり、地域のニーズを理解するために必要となる社会福祉を体系的に学び、以下の基本的なしくみを説明することができる。「DP：2・3」 1 社会福祉制度の変遷と理念について 2 社会保険の特徴について、社会扶助、民間保険との違いについて 3 社会福祉法人とは何か、措置制度から契約制度への転換について 4 社会福祉の実施主体について 5 障がい児・者福祉に関する法律と施策について 6 高齢者福祉に関する法律と施策について 7 低所得者福祉に関する法律と施策について 8 子ども家庭福祉に関する法律と施策について 9 権利擁護に関する法律と施策について理解し、活用することについて 10 社会福祉の課題と今後の方向性について(考えを伝える)。

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/27 (月)	3	オリエンテーション 社会福祉を学ぶ意義 現代社会における社会福祉の課題	講義	予習：社会福祉に関する興味をもった記事を切り抜く 復習：社会福祉を学ぶ意義についてまとめる 前後各120分	河 口 尚子
2	2026/05/11 (月)	3	社会福祉の理念 1 人権 世界人権宣言 憲法 25条 生存権	講義	予習：世界人権宣言について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河 口 尚子
3	2026/05/18 (月)	3	社会福祉の理念 2 人権侵害への抵抗の歴史 優生思想・施設化 ノーマライゼーション	講義	予習：旧優生保護法について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河 口 尚子
4	2026/05/25 (月)	3	社会福祉の形成の歴史 貧困調査（ブース、ラウントリーによる） ナショナル・ミニマム ベヴァリッジ・プラン	講義	予習：ブースの貧困調査について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河 口 尚子

5	2026/06/01 (月)	3	社会保障の体系と種類 社会保険 社会扶助 社会福祉サービス	講義	予習：社会保険について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
6	2026/06/15 (月)	3	社会保障・社会福祉の財政と機能 社会保障給付費（社会支出） 社会保障関係費 社会保障の機能	講義	予習：社会保障給付費（社会支出）について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
7	2026/06/15 (月)	4	社会福祉法と社会福祉法人 措置から契約へ 苦情解決 第3者評価	講義	予習：社会福祉法人について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
8	2026/06/22 (月)	3	社会福祉の関係法と実施主体（行政・施設） 福祉6法 福祉事務所	講義	予習：福祉事務所について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
9	2026/06/22 (月)	4	障がい児・者福祉に関する法律と施策 自立生活運動 地域生活支援	講義	予習：自立生活運動について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる。 前後各120分	河口 尚子
10	2026/06/29 (月)	3	高齢者福祉に関する法律と施策 介護の社会化 地域包括ケア	講義	予習：社会的入院について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
11	2026/06/29 (月)	4	低所得者福祉に関する法律と施策 最低限度の生活 相対的貧困	講義	予習：ホームレスについて調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
12	2026/07/06 (月)	3	子ども家庭福祉に関する法律と施策 子どもの最善の利益 社会的養護	講義	予習：児童相談所について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
13	2026/07/06 (月)	4	権利擁護に関する法律と施策 DV防止 虐待防止 成年後見	講義	予習：障害者虐待について調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
14	2026/07/13 (月)	3	権利擁護と専門職の役割 相談支援 ケアマネジメント 当事者参画	講義	予習：ピア・カウンセリングについて調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
15	2026/07/13 (月)	4	社会福祉の課題と今後の方向性 ジェンダー 社会的排除 SDGs（持続可能な開発目標）	講義	予習：SDGsについて調べる 復習：配布資料を読み返し、授業の要点をまとめる 前後各120分	河口 尚子
16	2026/07/27 (月)	3	定期試験			河口 尚子

評価方法	定期試験（70％）、振り返り用紙（30％）
教科書・参考書	教科書：使用しない。授業で配布するレジュメ・プリントを用います。 参考書： 1. 厚生労働白書 各年度版

	2. 障害者白書 各年度版 3. 小川喜道・杉野昭博編「よくわかる障害学」ミネルヴァ書房 2014年 4. DPI女性障害者ネットワーク編「障害のある女性の困難～複合差別実態調査とその後10年の活動から」2023年 その他、授業中に提示する
履修上の注意点 及び取扱い	1. 学生の積極的な参加を求める。 2. 出席は入室時と退室時にカードリーダーにより打刻する。(2回目の打刻がない者は欠席扱いとする。) 3. 学生は講義終了後、毎回振り返り用紙を記入し提出する。 4. 講義中に紹介した文献等はできるだけ読むこと。 5. 単位取得について (1) 出席は3分の2以上とする。 (2) 定期試験に合格すること。不合格者には再試験を課す。再試験は1回とする。不合格の場合は次年度に再履修すること。 (3) 病気等のやむを得ない理由以外での定期試験欠席は認めない。その場合は再試験は認めない。 6. 振り返り用紙に対するフィードバックを次の授業で行う。
オフィスアワー	授業の後。質問等については振り返り用紙を積極的に活動して下さい。
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	薬理学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Pharmacology		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授 (兼 医学部)	◎ 丸山 健太
講 師 (兼 医学部)	梶田 裕貴
助 教 (兼 医学部)	藤川 誠
助 教 (兼 医学部)	上田 昌史
助 教 (兼 医学部)	浅井 遥
助 教 (兼 医学部)	上田 修平

科目概要	薬物による疾病の治療・予防に関する進歩はめざましい。より適切な医療のためには、医師・薬剤師はもちろん、実際にベッドサイドで看護業務を行う看護師も、臨床で使用されている薬物についての確な知識を身につけておく必要がある。本科目では、薬物の知識を持ち、効果的にヒトへの薬物療法を行うために、薬物の生体に対する作用と生体の薬物に対する反応について考察しながら学習する。					
目標	1. 薬物療法に用いる代表的な薬物について、基本的な作用機序（薬理作用）、特徴的な薬物動態、注意すべき副作用について説明できる。「DP：5」 2. 各疾患の治療に用いる薬物について、作用機序の違いに基づき分類できる。「DP：5」					
授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/26 (火)	3	薬理学総論 1	講義	当該単元について 前:事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	丸山 健太
2	2026/05/26 (火)	4	薬理学総論 2（抗炎症薬を含む）	講義	当該単元について 前:事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	丸山 健太
3	2026/06/02 (火)	3	末梢/中枢神経作用薬・心血管作用薬	講義	当該単元について 前:事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を復習し、各自でまとめる。 前後各120分	藤川 誠
4	2026/06/02 (火)	4	免疫抑制薬・抗ウイルス薬	講義	当該単元について 前:事前にアップロードしたハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を	梶田 裕貴

					復習し、各自でまとめる。 前後各120分	
5	2026/06/08 (月)	3	抗菌薬・呼吸器作用薬	講義	当該単元について 前:事前にアップロードした ハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を 復習し、各自でまとめる。 前後各120分	浅井 遥
6	2026/06/08 (月)	4	消化器作用薬・物質代謝作用薬	講義	当該単元について 前:事前にアップロードした ハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を 復習し、各自でまとめる。 前後各120分	上田 昌史
7	2026/06/16 (火)	3	抗悪性腫瘍薬	講義	当該単元について 前:事前にアップロードした ハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を 復習し、各自でまとめる。 前後各120分	上田 修平
8	2026/06/16 (火)	4	薬害・臨床薬理学	講義	当該単元について 前:事前にアップロードした ハンドアウトを読む。 後:講義内容の重要項目を 復習し、各自でまとめる。 前後各120分	丸山 健太
9	2026/06/23 (火)	3	定期試験			梶田 裕貴

評価方法	定期試験の結果で評価する（1回、全範囲、60点以上のものを合格とする）。 不合格者には再試験を行う（1回、全範囲、60点以上のものを合格とする）。
教科書・参考書	教科書：指定なし（授業のスライドで学習） 参考書：野村隆英、他編：「シンプル薬理学」、南江堂、改訂第6版（2020/1）、定価3,190円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	1 出欠席について 出席管理システム（講義開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。 2 定期試験について 2／3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 3 フィードバックについて 定期試験終了後のオフィスアワーに希望者のみ実施。
オフィスアワー	丸山 健太：火曜日 15：00～17：00 研究棟3階357号室 藤川誠：月曜日 16：30～18：00 研究棟4階402号室 上田昌史：月曜日 16：30～18：00 研究棟4階402号室 上田 修平：月曜日 16：30～18：00 研究棟4階402号室 梶田 裕貴：月曜日 16：30～18：00 研究棟4階402号室 浅井遥：月曜日 16：30～18：00 研究棟3階359号室
備考	・薬理学の最新の知見を取り入れて授業を組み立てている。

講義名	病態治療学 I		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Pathophysiology and Therapeutics I		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 大須賀 浩二
教 授	泉 雅之
教 授	三浦 裕次
教 授(兼 医学部)	松山 克彦
教 授(兼 医学部)	野手 英明
准 教 授(兼 医学部)	尾関 直樹
講 師(非)	大野 和子

科目概要	「疾患の成り立ちと、回復の促進」を理解するには、既に履修した「人体の構造と機能(形態機能学Ⅰ、Ⅱ等)」の知識が必要となる。また、看護学実習、更には将来看護職者として疾患を持つ患者の援助をするために、疾患の病態、診断、治療の概略を知っていることが必須である。 看護職者の活躍する領域が広がるにつれて、その援助の結果に対して責任を問われる時代になってきている。病態治療学では、看護に必要とされる疾患の成り立ちと回復の促進を学修する。
目標	看護に必要な基礎的な知識として、放射線医学、麻酔科疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、腎臓疾患、血液疾患および悪性腫瘍それぞれの病態、診断、治療について説明できる。「DP:5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/09 (木)	1	病態治療学総論と癌治療学(疫学・病理・治療)	講義	予:教科書①の該当箇所を読んでくること。(120分) 復:講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀 浩二
2	2026/04/10 (金)	5	呼吸器(総論・感染症)	講義	予:教科書③の該当箇所を読んでくること。(120分) 復:講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	大須賀 浩二
3	2026/04/13 (月)	2	循環器科(構造・機能・症状・診断)	講義	予:教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復:講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。(120分)	泉 雅之
4	2026/04/14 (火)	4	血液内科(総論・貧血)	講義	予:教科書⑥の該当箇所を読んでくること。(120分) 復:講義時に配付した資料	三浦 裕次

					に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	
5	2026/04/22 (水)	1	循環器科(治療・高血圧・動脈疾患)	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	泉 雅之
6	2026/04/23 (木)	5	呼吸器外科	講義	予：教科書③の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	尾関 直樹
7	2026/04/28 (火)	4	血液内科(白血病・血小板異常・凝固異常)	講義	予：教科書⑥の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	三浦 裕次
8	2026/05/11 (月)	1	循環器科(弁膜性疾患・心不全・不整脈など)	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	泉 雅之
9	2026/05/11 (月)	2	腎臓内科(構造・機能・症状・診断・治療①)	講義	予：教科書⑤の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	泉 雅之
10	2026/05/12 (火)	4	麻酔科	講義	復：講義内容・配付プリントを復習する。(240分)	野手 英明
11	2026/05/25 (月)	1	放射線学(放射線診断)	講義	予：教科書②を参考図書とし、読んでくること。(120分) 復：講義内容を復習する。 (120分)	大野 和子
12	2026/05/25 (月)	2	放射線学(核医学・放射線障害)	講義	予：教科書②を参考図書とし、読んでくること。(120分) 復：講義内容を復習する。 (120分)	大野 和子
13	2026/06/08 (月)	5	腎臓内科(治療②・各論)	講義	予：教科書⑤の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	泉 雅之
14	2026/06/09 (火)	3	心臓血管外科	講義	予：教科書④の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	松山 克彦
15	2026/06/11 (木)	1	呼吸器(閉塞性疾患・拘束性疾患・腫瘍・胸膜疾患)	講義	予：教科書③の該当箇所を読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料に基づいて病態、診断、治療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二

16	2026/06/24 (水)	4	定期試験			大須賀 浩二
評価方法		定期試験(100%)を行い、得点が60点以上の者を合格とし単位を認定する。				
教科書・参考書		教科書： 1 石松伸一、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[1] 病態・治療総論」改訂第2版 南江堂（2025/3）、定価3,080円（税込み） 2 放射線医学、京都医療科学大学、定価1,090円（税込み） 3 石原英樹、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[2] 呼吸器疾患」改訂第2版 南江堂（2024/2）、定価2,750円（税込み） 4 八尾厚史、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[3] 循環器疾患」改訂第2版 南江堂（2024/12）、定価3,080円（税込み） 5 竹田徹朗、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[7] 腎・泌尿器疾患」改訂第2版 南江堂（2024/2）、定価2,750円（税込み） 6 安藤 潔、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[6] 血液・造血管器疾患」南江堂（2019/5）、定価2,200円（税込み） 参考書： 1 病気がみえるシリーズVol1～15、MEDIC MEDIA、定価3,630円～4,950円（税込み） 授業前・中に適宜資料を配付する。				
履修上の注意点 及び取扱い		1 学修(知識)内容が多いので事前学修を必ずしておくこと。 2 出席は毎回、入室時と退室時にカードリーダーにより打刻によって確認する。学生証を忘れないこと。 3 遅刻・早退はしないこと。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。遅刻・早退のいずれか2回で欠席1回とみなす。 4 授業態度不良者は欠席扱いとする。 5 単位取得について (1) 出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。 (2) 試験に合格すること。不合格者には再試験を行う。当該年度に合格しない者は、次年度に再履修をする。 6 フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。				
オフィスアワー		大須賀 浩二 水曜日 13:00～17:15 C棟7階教授室9 泉 雅之 月曜日 17:00～18:30 C棟7階教授室7 三浦 裕次 月曜日 15:00～17:00 C棟7階教授室8 他の講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。				
備考		講義中に練習問題等が配付された場合は、復習に含めて学修すること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	病態治療学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Pathophysiology and Therapeutics Ⅱ		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 大須賀 浩二
教 授	三浦 裕次
教 授(兼 医学部)	渡邊 大輔
教 授(兼 医学部)	古橋 明文
教 授(兼 医学部)	古川 洋志
教 授(兼 医学部)	渡邊 栄三
准 教 授(兼 医学部)	車 哲成
講 師(兼 医学部)	篠原 健太郎

科目概要	「疾患の成り立ちと、回復の促進」を理解するには、既に履修した「人体の構造と機能(形態機能学Ⅰ、Ⅱ等)」の知識が必要となる。また、看護学実習、更には将来看護職者として疾患を持つ患者の援助をするために、疾患の病態、診断、治療の概略を知っていることが必須である。 看護職者の活躍する領域が広がるにつれて、その援助の結果に対して責任を問われる時代になってきている。病態治療学では、看護に必要とされる疾患の成り立ちと回復の促進を学修する。
目標	看護に必要な基礎的な知識として、消化器疾患、内分泌疾患、歯科口腔外科疾患、救命救急疾患、アレルギー・膠原病疾患、眼科疾患、耳鼻咽喉科疾患、皮膚科疾患および形成外科疾患それぞれの病態、診断、治療について説明できる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/24 (金)	3	消化器内科（消化管総論）	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
2	2026/04/24 (金)	4	消化器内科（上部ならびに下部消化管疾患）	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
3	2026/05/15 (金)	1	肝・胆・膵(総論・肝疾患)	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二

4	2026/05/15 (金)	2	肝・胆・膵(胆嚢・膵臓疾患)	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
5	2026/05/19 (火)	3	アレルギー・膠原病	講義	予：教科書④の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	三浦 裕次
6	2026/05/28 (木)	1	消化器外科	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配付した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	篠原 健太郎
7	2026/05/29 (金)	3	歯科口腔外科(歯・口腔の症状と疾患)	講義	予：教科書③のp288-361を 読む。(120分) 復：講義内容の復習をす る。(120分)	古橋 明文
8	2026/06/05 (金)	3	内分泌内科(総論・下垂体疾患)	講義	予：教科書②の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
9	2026/06/05 (金)	4	内分泌内科(甲状腺疾患・副腎疾患)	講義	予：教科書②の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
10	2026/06/09 (火)	4	耳鼻咽喉科(耳・鼻・咽頭の疾患・頭頸部腫瘍・外傷)	講義	予：教科書③のp120-210を 読む。(120分) 復：講義内容の復習をす る。(120分)	車 哲成
11	2026/06/11 (木)	2	形成外科(熱傷・褥瘡)	講義	復：講義内容・配付プリン トを復習する。(240分)	古川 洋志
12	2026/06/16 (火)	5	皮膚科(皮膚の構造・蕁麻疹・皮膚炎・自己免疫疾患など)	講義	予：教科書③のp7-117を読 む。(120分) 復：講義内容を復習する。 (120分)	渡邊 大輔
13	2026/06/18 (木)	1	救急・救命科(救急救命疾患)	講義	復：講義内容・配付プリン トを復習する。(240分)	渡邊 栄三
14	2026/06/19 (金)	1	内分泌内科(糖尿病)・代謝疾患(高脂血症・高尿酸血症など)	講義	予：教科書②の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
15	2026/06/19 (金)	2	眼科(視覚器の構造・白内障・緑内障などの疾患)	講義	予：教科書③のp262-285を 読む。(120分) 復：講義内容の復習をす る。(120分)	大須賀 浩二
16	2026/06/26 (金)	3	定期試験			大須賀 浩二

評価方法	定期試験(100%)を行い、得点が60点以上の者を合格とし単位を認定する。
教科書・参考書	教科書： 1 津田泰宏、他編：「看護学テキストシリーズNice 病態・治療論[4] 消化器疾患」改訂第2版 南江堂

	(2025/1)、定価3,080円(税込み) 2 能登 洋、他編：「看護学テキストシリーズNice 病態・治療論[5] 内分泌・代謝疾患」改訂第2版 南江堂 (2025/2)、定価2,860円(税込み) 3 片山一朗、他編：「看護学テキストシリーズNice 病態・治療論[11] 皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患」南江堂 (2019/8)、定価3,080円(税込み) 4 竹末芳生、他編：「看護学テキストシリーズNice 病態・治療論[10] 感染症/アレルギー/膠原病(改訂第2版)」南江堂 (2026/3)、定価3,300円(税込み) 参考書： 1 病気がみえるシリーズVol11～15、MEDIC MEDIA、定価3,630円～4,950円(税込み) 授業前・中に適宜資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 学修(知識)内容が多いので事前学修を必ずしておくこと。 2 出席は毎回、入室時と退室時にカードリーダーにより打刻によって確認する。学生証を忘れないこと。 3 遅刻・早退はしないこと。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。遅刻・早退のいずれか2回で欠席1回とみなす。 4 授業態度不良者は欠席扱いとする。 5 単位取得について (1) 出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。 (2) 試験に合格すること。不合格者には再試験を行う。当該年度に合格しない者は、次年度に再履修をする。 6 フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	大須賀 浩二 水曜日 13:00～17:15 C棟7階教授室9 三浦 裕次 月曜日 15:00～17:00 C棟7階教授室8 他の講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	講義中に練習問題が配付された場合は、復習に含めて学修すること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	病態治療学Ⅲ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Pathophysiology and Therapeutics Ⅲ		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 大須賀 浩二
教 授(兼 医学部)	奥村 彰久
教 授(兼 医学部)	伊藤 嘉規
准 教 授(兼 医学部)	堀 壽成
准 教 授(兼 医学部)	森島 達観
准 教 授(兼 医学部)	池本 竜則
助 教(兼 医学部)	梶 優太
助 教(兼 医学部)	藤盛 允章
助 教(兼 医学部)	本間 仁

科目概要	「疾患の成り立ちと、回復の促進」を理解するには、既に履修した「人体の構造と機能(形態機能学Ⅰ、Ⅱ等)」の知識が必要となる。また、看護学実習、更には将来看護職者として疾患を持つ患者の援助をするために、疾患の病態、診断、治療の概略を知っていることが必須である。 看護職者の活躍する領域が広がるにつれて、その援助の結果に対して責任を問われる時代になってきている。病態治療学では、看護に必要とされる疾患の成り立ちと回復の促進を学修する。					
目標	看護に必要な基礎的な知識として、神経内科疾患、脳神経外科疾患、整形外科疾患、産科・婦人科疾患、乳腺外科疾患、泌尿器科疾患および小児科疾患それぞれの病態、診断、治療について説明できる。「DP：5」					
授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/12/15 (火)	3	神経内科（総論・感染症・変性疾患）	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
2	2026/12/15 (火)	4	整形外科（外傷骨折・末梢神経障害）	講義	予：教科書②の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義内容の復習をす る。(120分)	池本 竜則
3	2026/12/22 (火)	3	婦人科（子宮筋腫・子宮内膜症・婦人科系腫瘍）	講義	予：教科書③の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義内容を復習する。 (120分)	藤盛 允章
4	2026/12/22 (火)	4	小児科（総論、神経・筋疾患）	講義	予：教科書⑤の該当箇所を 読んでくること。(120分)	奥村 彰久

					復：講義内容を復習する。 (120分)	
5	2027/01/06 (水)	1	小児科（血液・腫瘍、自己免疫疾患）	講義	予：教科書⑤の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義内容を復習する。 (120分)	堀 壽成
6	2027/01/08 (金)	1	整形外科（慢性関節リウマチ・変形性関節症・変形 性脊椎症）	講義	予：教科書②の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義内容の復習をす る。(120分)	森島 達観
7	2027/01/08 (金)	2	神経内科（脱髄性疾患・筋疾患・抹消神経疾患）	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
8	2027/01/08 (金)	3	神経内科（認知症・機能性疾患）	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
9	2027/01/08 (金)	4	産科（妊娠・分娩・産褥）	講義	予：教科書の該当箇所を読 んでくること。(120分) 復：講義内容・配付プリン トを復習する。(120分)	梶 優太
10	2027/01/19 (火)	4	脳神経外科（脳血管障害）	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
11	2027/01/19 (火)	5	脳神経外科（脳腫瘍・頭部外傷）	講義	予：教科書①の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
12	2027/01/22 (金)	1	小児科（消化器疾患）	講義	予：教科書⑤の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義内容を復習する。 (120分)	本間 仁
13	2027/01/22 (金)	2	小児科（感染症、アレルギー疾患）	講義	予：教科書⑤の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義内容を復習する。 (120分)	伊藤 嘉規
14	2027/01/29 (金)	1	乳腺外科（乳癌・乳腺疾患）	講義	予：教科書の該当箇所を読 んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
15	2027/01/29 (金)	2	泌尿器科（尿路感染症・尿路結石・腫瘍・前立腺疾 患）	講義	予：教科書④の該当箇所を 読んでくること。(120分) 復：講義時に配布した資料 に基づいて病態、診断、治 療について復習すること。 (120分)	大須賀 浩二
16	2027/02/05 (金)	3	定期試験			大須賀 浩二

評価方法	定期試験(100%)を行い、得点が60点以上の者を合格とし単位を認定する。
------	---------------------------------------

教科書・参考書	教科書： 1 川上徳昭、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[8] 脳・神経疾患」改訂第2版 南江堂（2025/11）、定価3,300円（税込み） 2 土井田稔、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[9] 運動器疾患」改訂第2版 南江堂（2025/2）、定価2,750円（税込み） 3 百枝幹雄、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[13] 産科婦人科疾患」改訂第2版 南江堂（2025/1）、定価3,630円（税込み） 4 竹田徹朗、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[7] 腎・泌尿器疾患」改訂第2版 南江堂（2024/2）、定価2,750円（税込み） 5 真部 淳、他編：「看護学テキストシリーズNiCE 病態・治療論[14] 小児疾患」南江堂（2019/4）、定価2,860円（税込み） 参考書： 1 病気がみえるシリーズVol1～15、MEDIC MEDIA、定価3,630円～4,950円（税込み） 授業前・中に適宜資料を配付する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 学修(知識)内容が多いので事前学修を必ずしておくこと。 2 出席は毎回、入室時と退室時にカードリーダーにより打刻によって確認する。学生証を忘れないこと。 3 遅刻・早退はしないこと。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。遅刻・早退のいずれか2回で欠席1回とみなす。 4 授業態度不良者は欠席扱いとする。 5 単位取得について (1) 出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。 (2) 試験に合格すること。不合格者には再試験を行う。当該年度に合格しない者は、次年度に再履修をする。 6 フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	大須賀 浩二 水曜日 13:00～17:15 C棟7階教授室9 他の講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	講義中に練習問題等が配付された場合は、復習に含めて学修すること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	疫学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Epidemiology		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山中 真

科目概要	疫学は、人間集団の中で出現する健康関連のさまざまな事象の頻度と分布およびそれらに関連する要因を明らかにすることで、人間集団における健康関連の諸問題に対する有効な対策立案に役立てる学問である。保健・医療・看護の基礎研究だけでなく、地域における保健活動においても疫学の知識は必要である。本科目では、疫学の基礎概念と方法を理解し、疫学的手法で資料を客観的に検討できることを目標とする。講義においては、教科書を中心に進めるとともに保健師・看護師の国家試験を用いた問題演習および解説を交えて行う。
目標	1 疫学・統計学の概念と方法が説明できる。「DP：5・6」 2 疫学調査法や健康指標について説明できる。「DP：5・6」 3 保健統計調査を理解し、我が国の医療・看護を取り巻く状況を述べるができる。「DP：5」 4 感染症の特徴や法規を理解し予防活動に役立てることができる。「DP：5」 5 資料・調査結果について疫学的手法を用いて検討できる。「DP：5・6」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/07 (火)	3	オリエンテーション 疫学の概念と歴史	講義	前：教科書p1-8を読む。 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 疫学では何を学習するかを把握しておく。 前後各120分	山中 真
2	2026/04/13 (月)	3	疫学研究(概念、標本抽出法) 疫学研究(疫学研究方法、相対危険と寄与危険)	講義	前：教科書p9-22を読む。 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 疫学研究法の概略をつかんでおく。 後：疫学に用いられる主な指標について理解しておく。 前後各120分	山中 真
3	2026/04/13 (月)	4	疫学研究(相対危険と寄与危険、人年法、オッズ比)	講義	前：教科書p23-28を読む。 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：疫学研究、疫学指標についての知識を深めておく。 前後各120分	山中 真
4	2026/04/14 (火)	3	疫学研究(介入研究、因果関係、バイアスと交絡因子)	講義	前：教科書p29-50を読む。 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：疾病頻度の指標について理解を深めておく。 前後各120分	山中 真

5	2026/04/15 (水)	3	疾病頻度の指標①(有病率、罹患率、致命率、死亡率)	講義	前：教科書 p 51-62を読む。 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：小テスト①の範囲につき総復習しておく。 前後各120分	山中 真
6	2026/04/21 (火)	3	疾病頻度の指標②(予防と指標の変化、年齢調整法)	講義	前：教科書 p63-79を読み、 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 前後各120分	山中 真
7	2026/04/28 (火)	3	データを用いた疫学事例検討 1 「疫学研究と疾病頻度」	演習	前：配布資料を読む 後：例示された事例課題について、GWを行い発表資料をまとめる 前後各120分	山中 真
8	2026/05/12 (火)	1	データを用いた疫学事例発表 「疫学研究と疾病頻度」	演習	前：発表資料の準備 後：事例発表した内容について振り返り、理解を深める。 前後各120分	山中 真
9	2026/05/12 (火)	2	保健統計調査（人口動態統計、人口静態統計、その他の統計）	講義	前：教科書 p80-110を読んでおく。 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 前後各120分	山中 真
10	2026/05/13 (水)	1	課題ワーク 1 講義1-7までの範囲	講義	前：課題ワーク 1 の準備 後：課題ワーク内容についての理解を深めておく。 前後各120分	山中 真
11	2026/05/20 (水)	1	スクリーニング、おもな疾患の疫学(概念、偽陽性、偽陰性、感度、特異度、的中度、感染症：種類、感染経路、関係法規、おもな感染症)	講義	前：教科書 p 111-155を読む。 配布資料の問題を解く。 後：講義内容について、配布資料等の理解を深める。 前後各120分	山中 真
12	2026/05/26 (火)	1	統計学の基礎①(データ種類とグラフ、データの代表値、正規分布、相関係数、回帰係数推定、t 検定、 χ^2 検定)	講義	前：教科書 p156-196、統計に関する配布資料を読み、 教科書の範囲対象問題を解いてみる。 後：講義内容について、配布資料等の理解を深める。 前後各120分	山中 真
13	2026/05/26 (火)	2	データを用いた疫学事例検討 2 「疾病の疫学と保健指導」	演習 事例討議	前：配布資料を読む 後：例示された事例課題について、GWを行い発表資料をまとめる 前後各120分	山中 真
14	2026/06/02 (火)	2	データを用いた疫学事例発表	演習 事例討議	前：発表資料の準備 後：事例発表した内容について振り返り、理解を深める。 前後各120分	山中 真
15	2026/06/16 (火)	2	課題ワーク[出題範囲：全体] 課題ワークの解説およびまとめ	課題ワーク②実施 講義 定期試験についての説明	前：課題ワーク②の準備 後：課題ワーク内容についての理解を深めておく。 前後各120分	山中 真
16	2026/06/24 (水)	2	定期試験「全範囲」			山中 真

評価方法 試験結果(課題ワーク提出：計10%、グループワーク提出および発表：計20%、定期試験70%)で評価する。

教科書・参考書	教科書： 1 浅野嘉延著、「看護学生のための疫学・保健統計(改訂4版)」、南山堂(2023/9)、定価2,750円(税込み) 参考書： 1 厚生統計協会編、「国民衛生の動向」、厚生労働統計協会(2022/8)、定価2,500円(税込み) 2 医療情報科学研究所編集、「公衆衛生がみえる」、メディックメディア(2022/3)、定価3,848円(税込み) 3 大木秀一、「看護疫学入門」、医歯薬出版株式会社(2017/12)、定価3,300円(税込み)
履修上の注意点 及び取扱い	授業の妨害行為などについては注意して改まらない場合には定期試験の受験を認めない。 再試験は最大2回まで行う。 不適切問題がある場合は、全員に不利にならないよう調整する。 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	火曜日 16:30~18:30 看護学部棟2階N252研究室 他の日時でも対応しますので、メール等でご連絡ください。 Email: yamanaka.makoto.528@mail.aichi-med-u.ac.jp 講義内容については、授業終了後に適時質問を受け付けます。
備考	本講義での保健統計調査では、最新の国勢データを用いた授業構成をしている。

講義名	保健医療福祉行政論Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Healthcare and Social Welfare AdministrationⅠ		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 工藤 安史
客員教授	柴田 英治

科目概要	保健医療福祉の基本的な制度について学ぶ。
目標	1 社会保障の理念について説明する事ができる。「DP: 2・4」 2 保健医療福祉を取り巻く基本的な制度について、その概略を説明する事ができる。「DP: 2・4」 3 保健医療福祉を取り巻く現状と課題について、その概略を説明する事ができる。「DP: 2・4」 4 保健医療福祉を取り巻く課題について、その対応策について根拠をもって自ら考える事ができる。「DP: 2～5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/12/14 (月)	4	保健・労働衛生行政論（保健所の役割と地域分担、地域・職域保健）	講義	前：保健所の役割と地域分担、地域・職域保健について調べておく。 後：講義内容を復習し、保健所の役割と地域分担、地域・職域保健のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	柴田 英治
2	2026/12/14 (月)	5	社会福祉論（年金、生活保護）	講義	前：年金、生活保護について調べておく。 後：講義内容を復習し、年金、生活保護のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	柴田 英治
3	2026/12/21 (月)	4	医療保険制度	講義	前：医療保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、医療保険制度のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	工藤 安史
4	2026/12/21 (月)	5	医療保険制度	講義	前：医療保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、医療保険制度のニュース等に意識して触れる。 前後各120分	工藤 安史
5	2027/01/18 (月)	4	医療保険制度	講義	前：医療保険制度について調べておく。 後：講義内容を復習し、医療保険制度のニュース等に	工藤 安史

					意識して触れる。 前後各120分	
6	2027/01/18 (月)	5	介護保険制度	講義	前：介護保険制度について 調べておく。 後：講義内容を復習し、介 護保険制度のニュース等に 意識して触れる。 前後各120分	工藤 安史
7	2027/01/25 (月)	4	介護保険制度	講義	前：介護保険制度について 調べておく。 後：講義内容を復習し、介 護保険制度のニュース等に 意識して触れる。 前後各120分	工藤 安史
8	2027/01/25 (月)	5	介護保険制度	講義	前：介護保険制度について 調べておく。 後：講義内容を復習し、介 護保険制度のニュース等に 意識して触れる。 前後各120分	工藤 安史
9	2027/02/01 (月)	4	定期試験			工藤 安史

評価方法	定期試験100%で評価する。
教科書・参考書	教科書：「国民衛生の動向 2025/2026」 厚生労働統計協会、2022/ 8、定価2,970円（税込）
履修上の注意点 及び取扱い	3/4以上の出席がない場合は、定期試験を受けられない場合がある。 定期試験後の質問がある場合は、個別に対応する。
オフィスアワー	各講義後に対応します。
備考	定期試験では、レジメや教科書など全て、持込不可です。 受講生には、現在の保健医療福祉の制度の形を単に丸暗記するのではなく、その形になっている経緯、理念等を 理解した上で、現在の課題を踏まえて、今後の方向性まで根拠をもって自分なりに考える事を望みます。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	保健医療福祉行政論Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Healthcare and Social Welfare Administration Ⅱ		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
准 教 授	浅野 いずみ
講 師	二村 純子

科目概要	保健医療福祉行政の仕組みと実際の関係法規の展開を理解し、地域住民の健康及び福祉問題の解決に必要な社会資源の開発や保健医療福祉サービスを評価し、調整するために必要な基礎的な知識を学修する。更に、保健医療福祉行政分野における計画策定・実施・評価のプロセスを理解するとともに、健康水準を高めるための社会資源の開発・システム化・施策化するための基礎的な看護実践能力を身につける。
目標	1 保健医療福祉行政の目的と仕組みを理解し、述べることができる。「DP：1・2・4」 2 地域保健行政と保健活動について理解し、説明できる。「DP：1・2・4」 3 公衆衛生看護管理の目的おとびその機能について理解し、述べることができる。「DP：1～5」 4 保健医療福祉行政分野における計画策定・実施・評価のプロセスを理解し、説明できる。「DP：1～5」 5 健康水準を高めるための社会資源の開発・システム化・施策化するための方法について主体的に討議できる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/07/28 (火)	1	講義オリエンテーション 保健医療福祉行政の仕組みと実際の活動 (衛生を取り巻く社会状況、衛生行政の組織、都道府県保健所の機能と保健師活動、市町村の機能と保健師活動)	講義	前：教 p 21-27、196-200 を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	浅野 いずみ
2	2026/07/28 (火)	2	公衆衛生看護管理 (業務管理、情報管理、予算管理、人事管理、組織運営・管理、人材育成、継続教育、自己開発と研究)	講義	前：参考教 p 519-536 を読む。 後：参考教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	若杉 里実
3	2026/07/28 (火)	3	母子保健における計画策定・実施・評価のプロセス (健やか親子21計画)	講義	前：教 p 96-103 を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	若杉 里実
4	2026/07/29 (水)	1	労働衛生における計画策定・実施・評価のプロセス (トータル・ヘルスプロモーション・プラン)	講義	前：教 p 299-310 を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	若杉 里実
5	2026/07/29 (水)	2	健康増進における計画策定・実施・評価のプロセス (健康日本21計画)	講義	前：教 p 85-95 を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	二村 純子

6	2026/07/29 (水)	3	高齢者保健における計画策定・実施・評価のプロセス (介護保険、認知症施策、高齢者虐待防止対策)	講義	前：教 p 104-107、223-236、244-255を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	二村 純子
7	2026/07/29 (水)	4	精神保健、感染症、難病、障害者保健における計画策定・実施・評価のプロセス (自殺総合対策大綱、感染症法、難病対策、障害者基本計画)	講義	前：教 p 111-122、123-149、154-158、242-244を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	浅野 いずみ
8	2026/07/31 (金)	2	まとめ（確認テスト）	講義	前：まとめ（確認テスト）の準備 240分	全員
評価方法		確認テスト100%				
教科書・参考書		教科書 1 厚生労働統計協会編(2025)：「国民衛生の動向(2025/2026)」、厚生労働統計協会出版、定価3,740円（税込み） 参考書： 1 鳩野洋子・神庭純子編(2024)：公衆衛生看護学.jp第6版、インターメディカル出版、定価5,280円（税込み）				
履修上の注意点及び取扱い		1 出席管理システムにより、出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計2回、打刻する。 2 30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 3 遅刻または早退2回で欠席1回とみなす。 4 講義の録音および写真撮影は禁ずる。 5 単位取得について (1) 出席は3分の2以上とする。 (2) 不合格者に再試験を課す。再試験は1回とする。不合格の場合は次年度に再履修する。 (3) 病気等のやむを得ない理由以外でまとめ（確認テスト）の欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 6 まとめ（確認テスト）終了後、質問会を行う（希望者のみ）				
オフィスアワー		若杉 里実 月曜日 16：10～17：40 C棟5階 教授室4 浅野 いずみ 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階 N251研究室 二村 純子 金曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階 N453研究室				
備考		[実務] 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。				

講義名	基礎看護技術Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Fundamentals in Nursing Skills Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修< A 組 >		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
准 教 授	山幡 朗子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	保健師助産師看護師法に定められる診療の補助業務に関連した技術を修得する。チーム医療を展開する過程において健康問題を持つ対象を理解し、治療過程を支える看護師の役割と責任を認識する。治療処置における侵襲性を理解し、科学的根拠に基づいた安全性・安楽性・自立性を考慮した基本的な看護技術について学習する。
目標	1 治療過程を支える看護師の役割を説明できる。「DP：3・5」 2 健康問題に伴う日常生活への影響および治療過程において起こりうる侵襲について理解し、安全性・安楽性を考慮した基本的な看護技術が実施できる。「DP：5」 3 科学的根拠に基づいた基本的な看護技術が説明できる。「DP：5」 4 健康問題に伴う身体的・精神的・社会的苦痛についてアセスメントし、対象のニーズに応じた安全性・安楽性並びに自立性を尊重した援助計画を立案し実施できる「DP：5・6」 5 すべての看護行為には倫理的配慮が必要であることを理解し、実践できる。「DP：1」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/10 (金)	3	ガイダンス：基礎看護技術Ⅱを学ぶにあたって 治療過程を支える看護師の役割 【講義】診察・検査・処置の介助技術 1 検査の意義、治療・処置に予測される危険、検査における看護師の役割、検査の種類、実施時の注意点	講義	前：基礎看護技術Ⅱシラバスを読む。教科書 2 p. 2～15、教科書 1 p. 410～411、420～458を読む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田 かおる
2	2026/04/10 (金)	4	【講義】与薬の技術 1：薬物療法、注射法以外の各種与薬方法 薬物療法における看護師の役割、薬剤を効果的に安全に使用するための基本的知識、 内服薬・外用薬の種類・使用目的・6 R の実施・確認・観察	講義	前：教科書 2 p. 104～111、教科書 1 p. 314～331を読む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田 かおる
3	2026/04/15 (水)	4	【講義】排泄援助技術 1：排便を促す援助 排便のメカニズム、浣腸の種類・適応、浣腸を実施するためのアセスメントと方法、 安全性・安楽性を考慮した浣腸・排便の援助	講義	前：教科書 1 p. 81～89を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	山幡 朗子

4	2026/04/22 (水)	3	【演習】グリセリン浣腸 グリセリン浣腸の実際、観察	演習	前：「グリセリン浣腸」の 演習前課題を行う。 後：「グリセリン浣腸」の 演習後課題を行う。 前後各60分	全員
5	2026/04/23 (木)	3	【講義】診察・検査・処置の介助技術2：静脈内採血 静脈内採血 採血法とは、採血の合併症、静脈血 採血の方法、安全な静脈血採血穿刺部位の選択	講義	前：教科書 1 p.411～420を 読む。ページ内の動画を視 聴する。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	中村 美奈子
6	2026/04/30 (木)	4	【演習】静脈血採血 静脈血採血穿刺部位の選択、静脈血採血の実際	演習	前：「静脈血採血」の演習 前課題を行う。 後：「静脈血採血」の演習 後課題を行う。 前後各60分	全員
7	2026/05/07 (木)	1	【講義】与薬の技術2：注射 注射の基礎知識、安全性・安楽性を考慮した注 射、注射の目的・注射部位・確実な準備・観察	講義	前：教科書 1 p.331～374、 教科書 2 p.95～98を読む。 ページ内の動画を視聴す る。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	志水 己幸
8	2026/05/13 (水)	3	【演習】皮下・筋肉内注射 注射部位の選択（皮下注射・筋肉内注射） 無菌操作（注射器と薬液の準備）、6 Rの実施、 注射部位の選択、皮下注射・筋肉内注射の実際、観 察、感染予防、後片付け	演習	前：「皮下・筋肉内注射」 の演習前課題を行う。 後：「皮下・筋肉内注射」 の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
9	2026/05/13 (水)	4	【演習】皮下・筋肉内注射 注射部位の選択（皮下注射・筋肉内注射） 無菌操作（注射器と薬液の準備）、6 Rの実施、 注射部位の選択、皮下注射・筋肉内注射の実際、観 察、感染予防、後片付け	演習	前：「皮下・筋肉内注射」 の演習前課題を行う。 後：「皮下・筋肉内注射」 の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
10	2026/05/20 (水)	3	【講義】排泄援助技術2：導尿 排尿のメカニズム、導尿の種類・適応、導尿を実 施するためのアセスメントと方法、安全性・安楽性 を考慮した導尿の援助	講義	前：教科書 1 p.71～80を読 む。ページ内の動画を視聴 する。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	板津 良
11	2026/05/29 (金)	1	【演習】導尿：一時的導尿の実際 基本原則に基づいた無菌操作、尿道・膀胱壁の損 傷防止、羞恥心・保温への配慮、観察	演習	前：「導尿：一時的導尿の 実際」の演習前課題を行 う。 後：「導尿：一時的導尿の 実際」の演習後課題を行 う。 前後各60分	全員
12	2026/05/29 (金)	2	【演習】導尿：一時的導尿の実際 基本原則に基づいた無菌操作、尿道・膀胱壁の損 傷防止、羞恥心・保温への配慮、観察	演習	前：「導尿：一時的導尿の 実際」の演習前課題を行 う。 後：「導尿：一時的導尿の 実際」の演習後課題を行 う。 前後各60分	全員
13	2026/06/03 (水)	1	【講義】非経口的栄養法の看護技術 栄養法の種類と適応、非経口的栄養法を実施す るためのアセスメント、実施時の注意点	講義	前：教科書 1 p.47～56を読 む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	山幡 朗子
14	2026/06/03 (水)	2	【講義】苦痛の緩和・安楽確保の技術：電法 温熱刺激・寒冷刺激による生体の反応、温電法、冷 電法 【演習】事例に基づく総合演習 事例に関するアセスメント・計画立案（グループワ ーク）	講義 演習 (GW)	前：教科書 1 p.156～167を 読む。ページ内の動画を視 聴する。提示した「事例」 について事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 「事例」に関する看護援助 実施に向けての準備を行 う。 前60分、後60分	志水 己幸 篠田 かおる 全員

15	2026/06/17 (水)	1	【演習】事例に基づく総合演習 事例に関する看護援助の実施および評価	演習	前：「事例」に関する看護 援助実施に向けての準備を 行う。 後：「事例」に関する演習 後課題を行う。 前60分、後60分	全員
16	2026/06/26 (金)	2	定期試験			篠田 かおる 山幡 朗子 板津 良 中村 美奈子 志水 己幸
評価方法			1 定期試験(85%)、講義・演習参加状況、課題(15%) 以下の場合には減点とする。 (1) 課題を期日に提出しない。 (2) 課題の未提出 (3) 課題が不十分な場合(内容不足、盗作、他者の課題を写した、インターネットの内容や資料を張り付けた、自らの考えを自分の言葉で考察されていない、文献が活用されていない、誤字・脱字などがある場合) (4) 講義・演習の無断欠席、遅刻・早退 (5) 講義・演習中の飲食、mail等のやりとり、私語等他人に迷惑をかける行為をしたとき。 2 合格点に達しない場合は再試験を実施する。			
教科書・参考書			教科書： 1 任和子、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、第19版(2025/02)、定価3,520円(税込み) 2 茂野香おる、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2023/01)、定価2,970円(税込み) 参考書： 1 医療情報科学研究所編：「看護技術がみえるvol. 2 臨床看護技術」、メディックメディア、第1版(2018/12)、定価3,630円(税込み) 2 任和子、他：「根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術」、医学書院、第2版(2017/10)、定価6,050円(税込み) 3 ナーシング・スキル(ELSEVIER) 4 その他開講時資料配布及び参考図書を紹介する。			
履修上の注意点 及び取扱い			1 「基礎看護技術Ⅰ」に合格していない者は履修できない。 2 出欠席、講義・演習中の態度について (1) 講義と演習は、並行して行われるので欠席、遅刻、早退をしないように注意する。 (2) 体調不良や緊急事態などやむを得ない場合以外はむやみに退室しない。 (3) その他やむを得ない事由により、講義及び演習を欠席・遅刻・早退する場合は、必ず担当教員へ申し出る。 (4) 講義では開始前と終了後の合計2回(3・4時限と2時限続きの場合は、中間に1回の合計3回)カードリーダーで打刻する。 (5) 演習では開始前と終了後にカードリーダーで打刻する。(中間の打刻は不要) (6) 講義・演習開始後30分未満を遅刻とするが、遅刻3回をもって1回の欠席とする。また、講義・演習時に無断で30分以上不在の場合も欠席とする。 (7) 講義・演習中の他人に迷惑をかける行為(飲食、私語、スマートフォンの操作等)を禁ずる。約束を守らない学生は退出とし、欠席とする。 3 演習について (1) 指定された日に行う。自由に演習日を変更することはできない。 (2) 講義・演習の資料や教科書を熟読し、指示された事前課題を行い演習に臨む。 (3) 演習課題レポートは指定された期日までに提出する。 (4) やむを得ない欠席などにより、指定時間内に実施できない時は、必ず担当教員に相談する。補習については、担当教員が許可した時のみ実施し、補習後は課題を提出する。 4 試験等について (1) 定期試験の受験は、3分の2以上出席した者に認める。 (2) 再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 5 フィードバック 講義後、振り返りをAIDLE-KIに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-KIにて行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う(事前にアポイントメントをとること)。			
オフィスアワー			篠田 かおる 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N353研究室 板津 良 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N370研究室			
備考			1 講義：関連するテキストを熟読し、講義前課題を行い出席する(60分)。 2 演習前：演習前課題を学習し参加する(60分)。 指示されたVTR・DVD等の動画を視聴する。 3 演習後：演習後課題を行い指示された日時に提出をする(60分)。			

4 その他課題が提示された場合には、指示された日時に提出をする。

〔実務〕

医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、それぞれの実務経験を活かして、基礎看護技術の基本について教育を行う。

- ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	基礎看護技術Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Fundamentals in Nursing Skills Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修<Ｂ組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
准 教 授	山幡 朗子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	保健師助産師看護師法に定められる診療の補助業務に関連した技術を修得する。チーム医療を展開する過程において健康問題を持つ対象を理解し、治療過程を支える看護師の役割と責任を認識する。治療処置における侵襲性を理解し、科学的根拠に基づいた安全性・安楽性・自立性を考慮した基本的な看護技術について学習する。
目標	1 治療過程を支える看護師の役割を説明できる。「DP：3・5」 2 健康問題に伴う日常生活への影響および治療過程において起こりうる侵襲について理解し、安全性・安楽性を考慮した基本的な看護技術が実施できる。「DP：5」 3 科学的根拠に基づいた基本的な看護技術が説明できる。「DP：5」 4 健康問題に伴う身体的・精神的・社会的苦痛についてアセスメントし、対象のニーズに応じた安全性・安楽性並びに自立性を尊重した援助計画を立案し実施できる「DP：5・6」 5 すべての看護行為には倫理的配慮が必要であることを理解し、実践できる。「DP：1」
授業計画表	

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/10 (金)	3	ガイダンス：基礎看護技術Ⅱを学ぶにあたって 治療過程を支える看護師の役割 【講義】診察・検査・処置の介助技術1 検査の意義、治療・処置に予測される危険、検査における看護師の役割、検査の種類、実施時の注意点	講義	前：基礎看護技術Ⅱシラバスを読む。教科書2p.2～15、教科書1p.410～411、420～458を読む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田 かおる
2	2026/04/10 (金)	4	【講義】与薬の技術1：薬物療法、注射法以外の各種与薬方法 薬物療法における看護師の役割、薬剤を効果的で安全に使用するための基本的知識、 内服薬・外用薬の種類・使用目的・6Rの実施・確認・観察	講義	前：教科書2p.104～111、教科書1p.314～331を読む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	篠田 かおる
3	2026/04/15 (水)	4	【講義】排泄援助技術1：排便を促す援助 排便のメカニズム、浣腸の種類・適応、浣腸を実施するためのアセスメントと方法、 安全性・安楽性を考慮した浣腸・摘便の援助	講義	前：教科書1p.81～89を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	山幡 朗子

4	2026/04/22 (水)	4	【演習】グリセリン浣腸 グリセリン浣腸の実際、観察	演習	前：「グリセリン浣腸」の 演習前課題を行う。 後：「グリセリン浣腸」の 演習後課題を行う。 前後各60分	全員
5	2026/04/23 (木)	3	【講義】診察・検査・処置の介助技術2：静脈内採血 静脈内採血 採血法とは、採血の合併症、静脈血 採血の方法、安全な静脈血採血穿刺部位の選択	講義	前：教科書 1 p.411～420を 読む。ページ内の動画を視 聴する。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	中村 美奈子
6	2026/04/30 (木)	3	【演習】静脈血採血 静脈血採血穿刺部位の選択、静脈血採血の実際	演習	前：「静脈血採血」の演習 前課題を行う。 後：「静脈血採血」の演習 後課題を行う。 前後各60分	全員
7	2026/05/07 (木)	1	【講義】与薬の技術2：注射 注射の基礎知識、安全性・安楽性を考慮した注 射、注射の目的・注射部位・確実な準備・観察	講義	前：教科書 1 p.331～374、 教科書 2 p.95～98を読む。 ページ内の動画を視聴す る。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	志水 己幸
8	2026/05/14 (木)	3	【演習】皮下・筋肉内注射 注射部位の選択（皮下注射・筋肉内注射） 無菌操作（注射器と薬液の準備）、6 Rの実施、 注射部位の選択、皮下注射・筋肉内注射の実際、観 察、感染予防、後片付け	演習	前：「皮下・筋肉内注射」 の演習前課題を行う。 後：「皮下・筋肉内注射」 の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
9	2026/05/14 (木)	4	【演習】皮下・筋肉内注射 注射部位の選択（皮下注射・筋肉内注射） 無菌操作（注射器と薬液の準備）、6 Rの実施、 注射部位の選択、皮下注射・筋肉内注射の実際、観 察、感染予防、後片付け	演習	前：「皮下・筋肉内注射」 の演習前課題を行う。 後：「皮下・筋肉内注射」 の演習後課題を行う。 前後各60分	全員
10	2026/05/20 (水)	3	【講義】排泄援助技術2：導尿 排尿のメカニズム、導尿の種類・適応、導尿を実 施するためのアセスメントと方法、安全性・安楽性 を考慮した導尿の援助	講義	前：教科書 1 p.71～80を読 む。ページ内の動画を視聴 する。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	板津 良
11	2026/05/27 (水)	1	【演習】導尿：一時的導尿の実際 基本原則に基づいた無菌操作、尿道・膀胱壁の損 傷防止、羞恥心・保温への配慮、観察	演習	前：「導尿：一時的導尿の 実際」の演習前課題を行 う。 後：「導尿：一時的導尿の 実際」の演習後課題を行 う。 前後各60分	全員
12	2026/05/27 (水)	2	【演習】導尿：一時的導尿の実際 基本原則に基づいた無菌操作、尿道・膀胱壁の損 傷防止、羞恥心・保温への配慮、観察	演習	前：「導尿：一時的導尿の 実際」の演習前課題を行 う。 後：「導尿：一時的導尿の 実際」の演習後課題を行 う。 前後各60分	全員
13	2026/06/03 (水)	1	【講義】非経口的栄養法の看護技術 栄養法の種類と適応、非経口的栄養法を実施す るためのアセスメント、実施時の注意点	講義	前：教科書 1 p.47～56を読 む。 後：講義内容をまとめる。 前60分、後30分	山幡 朗子
14	2026/06/03 (水)	2	【講義】苦痛の緩和・安楽確保の技術：電法 温熱刺激・寒冷刺激による生体の反応、温電法、冷 電法 【演習】事例に基づく総合演習 事例に関するアセスメント・計画立案（グループワ ーク）	講義 演習 (GW)	前：教科書 1 p.156～167を 読む。ページ内の動画を視 聴する。提示した「事例」 について事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 「事例」に関する看護援助 実施に向けての準備を行 う。 前60分、後60分	志水 己幸 篠田 かおる 全員

15	2026/06/17 (水)	2	【演習】事例に基づく総合演習 事例に関する看護援助の実施および評価	演習	前：「事例」に関する看護 援助実施に向けての準備を 行う。 後：「事例」に関する演習 後課題を行う。 前60分、後60分	全員
16	2026/06/26 (金)	2	定期試験			篠田 かおる 山幡 朗子 板津 良 中村 美奈子 志水 己幸
評価方法			1 定期試験(85%)、講義・演習参加状況、課題(15%) 以下の場合には減点とする。 (1) 課題を期日に提出しない。 (2) 課題の未提出 (3) 課題が不十分な場合(内容不足、盗作、他者の課題を写した、インターネットの内容や資料を張り付けた、自らの考えを自分の言葉で考察されていない、文献が活用されていない、誤字・脱字などがある場合) (4) 講義・演習の無断欠席、遅刻・早退 (5) 講義・演習中の飲食、mail等のやりとり、私語等他人に迷惑をかける行為をしたとき。 2 合格点に達しない場合は再試験を実施する。			
教科書・参考書			教科書： 1 任和子、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、第19版(2025/02)、定価3,520円(税込み) 2 茂野香おる、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2023/01)、定価2,970円(税込み) 参考書： 1 医療情報科学研究所編：「看護技術がみえるvol. 2 臨床看護技術」、メディックメディア、第1版(2018/12)、定価3,630円(税込み) 2 任和子、他：「根拠と事故防止から見た基礎・臨床看護技術」、医学書院、第2版(2017/10)、定価6,050円(税込み) 3 ナーシング・スキル(ELSEVIER) 4 その他開講時資料配布及び参考図書を紹介する。			
履修上の注意点 及び取扱い			1 「基礎看護技術Ⅰ」に合格していない者は履修できない。 2 出欠席、講義・演習中の態度について (1) 講義と演習は、並行して行われるので欠席、遅刻、早退をしないように注意する。 (2) 体調不良や緊急事態などやむを得ない場合以外はむやみに退室しない。 (3) その他やむを得ない事由により、講義及び演習を欠席・遅刻・早退する場合は、必ず担当教員へ申し出る。 (4) 講義では開始前と終了後の合計2回(3・4時限と2時限続きの場合は、中間に1回の合計3回)カードリーダーで打刻する。 (5) 演習では開始前と終了後にカードリーダーで打刻する。(中間の打刻は不要) (6) 講義・演習開始後30分未満を遅刻とするが、遅刻3回をもって1回の欠席とする。また、講義・演習時に無断で30分以上不在の場合も欠席とする。 (7) 講義・演習中の他人に迷惑をかける行為(飲食、私語、スマートフォンの操作等)を禁ずる。約束を守らない学生は退出とし、欠席とする。 3 演習について (1) 指定された日に行う。自由に演習日を変更することはできない。 (2) 講義・演習の資料や教科書を熟読し、指示された事前課題を行い演習に臨む。 (3) 演習課題レポートは指定された期日までに提出する。 (4) やむを得ない欠席などにより、指定時間内に実施できない時は、必ず担当教員に相談する。補習については、担当教員が許可した時のみ実施し、補習後は課題を提出する。 4 試験等について (1) 定期試験の受験は、3分の2以上出席した者に認める。 (2) 再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 5 フィードバック 講義後、振り返りをAIDLE-KIに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-KIにて行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う(事前にアポイントメントをとること)。			
オフィスアワー			篠田 かおる 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N353研究室 板津 良 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N370研究室			
備考			1 講義：関連するテキストを熟読し、講義前課題を行い出席する(60分)。 2 演習前：演習前課題を学習し参加する(60分)。 指示されたVTR・DVD等の動画を視聴する。 3 演習後：演習後課題を行い指示された日時に提出をする(60分)。			

4 その他課題が提示された場合には、指示された日時に提出をする。

〔実務〕

医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、それぞれの実務経験を活かして、基礎看護技術の基本について教育を行う。

- 研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	感染看護学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Nursing Care and Infection Control Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 青山 恵美
准 教 授	長崎 由紀子

科目概要	本邦において問題となっている感染症の発生状況と関連法規や制度について理解を深め、医療機関や地域における感染防止の基本的な知識と、様々な看護場面に必要な感染防止ケアを学ぶ。また、感染対策や感染症患者に関わる倫理的側面について学ぶ。
目標	1 国内外での感染症の動向、本邦における関連法規と感染症発生状況を把握するシステムについて説明できる。「DP：1・2」 2 感染予防における看護師の役割について説明できる。「DP:1～3・5」 3 医療関連感染を防止するための組織的な取り組みについて説明できる。「DP:1～3」 4 看護場面での感染防止ケアについて説明できる。「DP:1～3・5」 5 感染症患者の看護および感染症看護専門看護師の役割が理解できる。「DP：1～3・5」 6 感染対策や感染症患者に生じやすい倫理的な問題を述べることができる。「DP:1～4」
授業計画表	

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/16 (木)	2	ガイダンス 国内外の感染症の動向、日本における感染症関連法規、世界における感染症の発生状況、感染症の発生状況を把握するためのシステム	講義	前：教科書 1 (P. 2～～ P. 24、P. 51～59、P. 223～ 237) 参考書 1 (P. 2～40、 P. 121～129) を読む。(120 分) 後：講義資料を復習する。 (120分)	青山恵美
2	2026/04/23 (木)	2	感染予防と看護師の役割：感染に関わるアセスメント 看護場面における感染防止ケア①：尿路感染予防	講義	前：教科書 1 (P. 39～48、 P. 112～117) 参考書 1 (P. 12～31)、2 (P. 64～ 68)、3 (P. 71～80) を読 む。(120分) 後：講義資料を復習する。 (120分)	長崎由紀子
3	2026/05/07 (木)	2	看護場面における感染防止ケア②：肺炎予防、手術部位感染	講義	前：教科書 1 (P. 89～90) 参考書 3 (P. 236～274、 P. 284～296) を読む。(120 分) 後：講義資料を復習する。 (120分)	長崎由紀子
4	2026/05/14 (木)	2	看護場面における感染防止ケア③：血流感染予防、 感染症患者の早期発見と看護ケア	講義	前：参考書 1 (P. 41～ 43)、3 (P. 355～372)、 5 (P. 64～95) を読む。 (120分) 後：講義資料を復習する。 (120分)	青山恵美

5	2026/05/20 (水)	2	看護場面における看護防止ケア④：感染症検査検体採取、薬物療法における看護ケア	講義	前：参考書 1 (P.156～175、P.255～257)、3 (P.411～425)を読む。 (120分) 後：講義資料を復習する。 (120分)	青山恵美
6	2026/05/28 (木)	2	感染看護・感染管理の実際 病院および地域における感染拡大防止活動と健康危機管理	講義	前：教科書 1 (P.214～237)、2回目～5回目までの講義資料を読む (120分) 後：講義資料を復習する。 (120分)	青山恵美
7	2026/06/04 (木)	2	医療関連感染を予防するための組織的な取り組み：職業感染予防（針刺し・血液曝露対策・ワクチン接種等）、医療施設内での感染管理の実際	講義	前：教科書 1 (P.60～63、P.75～79) 参考書 1 (P.46～71、P.108～111)、2 (P.95～102)を読む。 (120分) 後：講義資料を復習する。 (120分)	青山恵美
8	2026/06/18 (木)	2	感染対策や感染症患者に生じやすい倫理的な問題と看護の役割	講義	前：教科書 1 (P.104～108) 参考書 4 (P.24～40、100～113)を読む。 (120分) 後：講義資料を復習する。 (120分)	長崎由紀子
9	2026/06/25 (木)	2	定期試験			

評価方法	定期試験(85%)、小レポート・授業への参加度(15%)
教科書・参考書	教科書： 1 操華子他、編：看護学テキストNICE 感染看護学 患者との健康と権利を守り安全に看護を実践する、南江堂、(2021/1)、定価2,860円(税込み) 参考書： 下記に加え、適宜紹介する。 1 藤本秀士 編著：「わかる！身につく！病原体・感染・免疫」、南山堂、改訂3版(2017/3)、定価3,080円(税込み) 2 茂野香おる、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2023/1)、定価2,970円(税込み) 3 任和子、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、第19版(2025/02)、定価3,520円(税込み) 4 宮坂道夫、他：「系統看護学講座 別巻 看護倫理」、医学書院、第3版(2024/1)、定価2,090円(税込み) 5 医療情報科学研究所 編：「看護がみえるvol.2 臨床看護技術」、メディックメディア(2024/12)、定価3,630円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	1 講義後、小レポートをAIDLE-Kに提出する。 2 遅刻・早退・欠席について (1) 出席管理システムにより出席を確認する。 (2) 遅刻および早退は3回で欠席とみなす。 3 単位取得の条件 (1) 定期試験に合格すること(再試験は1回とする)。 (2) 出席2/3以上に満たない場合は、定期試験を受けることができない。 3 小レポートに対するフィードバック 小レポートへの質問事項等についてのフィードバックは、次の講義もしくはAIDLE-Kにて行う。
オフィスアワー	青山 恵美 木曜日 16:20～17:50 基礎科学棟3階N375研究室 長崎 由紀子 木曜日 16:20～17:50 基礎科学棟3階N363研究室 面談の重複を避けるため、事前にアポイントメントを取ることが望ましい。
備考	[実務] 看護師として、感染症看護および感染管理の実務経験をもった教員が、実務経験を活かして講義・演習を行う。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	看護過程論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Nursing Process		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修< A 組 >		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山本 恵美子
教 授	篠田 かおる
准 教 授	山幡 朗子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	意図的な看護実践とは何かを問い、科学的な思考、対人関係スキル及び基本的看護技術を活用した計画的な看護実践の意義と方法について学習する。また、看護過程を活用する意義を理解し、看護の対象をアセスメントし、その人に必要な看護を導き実践するための基礎的能力を培う。					
目標	1 専門的知識に基づく看護過程を理解し、意図的な看護実践を行う意義と方法について説明できる。[DP：5] 2 ヘンダーソンの理論を活用し、情報整理、解釈・分析・推論し、対象のニーズを包括的・焦点的にアセスメントできる。[DP：5] 3 対象者の身体・心理・社会的なニーズや健康課題を明確にし、対象のニーズに応じた看護目標、アウトカムをについて、優先順位を踏まえて設定できる。[DP：5] 4 看護目標を達成するために必要な看護実践内容の根拠を活用して、計画立案できる。[DP：5] 5 実施した看護計画や看護目標を個別的な状態に応じた看護判断に基づき、患者アウトカムと看護アウトカムで評価、改善策を提示、修正できる。[DP：5]					
授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/10 (金)	1	【ガイダンス】 【講義】 意図的な看護実践、問題解決過程と看護過程、クリティカルシンキング： 問題解決過程・看護過程とは(アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価)、クリティカルシンキングと看護過程、看護に必要なクリティカルシンキング、対象の理解と倫理的配慮 ヘンダーソンの理論枠組み： 人間・環境・健康・健康増進・個性性・自立・生活行動	講義	前：春季休業中課題（教科書3）を行う。教科書1のP1-36を読む。教科書2のP282-302を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	篠田 かおる
2	2026/04/10 (金)	2	【講義】 アセスメント①アセスメントとは： アセスメント（情報の収集から情報の分析） 情報収集： 情報とは、主観的情報・客観的情報、系統的な情報収集 情報の整理・分析： ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分	講義	前：教科書1のP37-45を読む。教科書2のP302-316を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子

			析、情報 が持つ意味を考える			
3	2026/04/16 (木)	3	【演習】 アセスメント②情報の整理・分析： ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・ 分析	演習 GW	前：教科書 1 のP68-146を 読む。教科書 2 のP302-316 を読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本 恵美子 全員
4	2026/04/16 (木)	4	【演習】 アセスメント②情報の整理・分析： ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・ 分析	演習 GW	前：教科書 1 のP68-146を 読む。教科書 2 のP302-316 を読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
5	2026/04/24 (金)	1	【演習】 アセスメント②情報の整理・分析： ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・ 分析	演習 GW	前：教科書 1 のP68-146を 読む。教科書 2 のP302-316 を読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	全員
6	2026/04/24 (金)	2	【講義】 アセスメント③全体像の把握： 対象者の全体像を捉える、全体像(関連図)を描 く 看護上の問題点の明確化、優先順位の決定	講義	前：教科書 1 のP72-76を読 む。教科書 2 のP302-316を 読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子
7	2026/05/01 (金)	1	【演習】 アセスメント③全体像の把握： 対象者の全対象を捉える、全体像の(関連図)を描 く 看護上の問題点の明確化、優先順位の決定	演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
8	2026/05/01 (金)	2	【講義】 看護目標の設定： 目標の達成時期(長期目標・短期目標) 計画立案： 観察計画、ケア計画、教育計画	講義	前：教科書 1 のP46-47、教 科書 2 のP316-330を読む。 演習のしおりを読み、事前 課題を行う。 前後各30分	板津 良
9	2026/05/08 (金)	1	【演習】 看護目標の設定： 目標の達成時期(長期目標・短期目標) 計画立案： 観察計画、ケア計画、教育計画	演習 GW	前：教科書 1 のP46-47、教 科書 2 のP316-330を読む。 演習のしおりを読み、事前 課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
10	2026/05/08 (金)	2	【講義】 評価 看護記録：サマリー、監査	講義	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本 恵美子
11	2026/05/14 (木)	1	【講義】 臨床実践における看護過程の展開 臨床推論、臨床判断	講義	前：これまでの講義資料を 読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本 恵美子
12	2026/05/22 (金)	1	【演習】事例展開(看護の実践と評価)	演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
13	2026/05/22 (金)	2	【演習】事例展開(看護の実践と評価)	演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
14	2026/05/28 (木)	3	【演習】事例展開・発表	演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員

15	2026/05/28 (木)	4	【講義・演習】事例展開・発表 【振り返り】	講義・ 演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
16	2026/06/05 (金)	1	定期試験			
評価方法			以下を総合的に評価する。 1 定期試験(80%) 2 講義・演習への参加度(20%) (1) 講義・演習への参加態度 (2) 事前課題の実施状況 (3) 記録の提出状況 (4) 記録の内容			
教科書・参考書			教科書： 1 秋葉公子他：「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」、ヌーヴェルヒロカワ、第5版(2023)、定価2,860円(税込み) 2 茂野香おる他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2021)、定価2,860円(税込み) 3 ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯楨ます・小玉香津子訳：「看護の基本となるもの」、日本看護協会出版会、再新装版(2016)、定価1,320円(税込み) 参考書： 1 任和子編著：「改訂版 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイドーヘンダーソン、ゴードン、NANDAの枠組みによるー」、照林社、第2版(2006)、定価2,808円(税込み) 2 渡邊トシ子編集：「ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく 実践 看護アセスメント」、ヌーヴェル ヒロカワ、第3版(2011)、定価2,750円(税込み) 3 永田明他 監修：「看護がみえるvol.4 看護過程の展開」、医療情報科学研究所、(2020)、定価3,630(税込み) 4 高木永子 監修：「看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント」、第5版(2018)、定価 5,060円(税込み) ※ 適宜、資料を提示する。			
履修上の注意 点及び取扱い			1 履修について (1) 本科目を欠席すると、看護過程の理解が不十分となり、以後の全ての実習に大きな影響を与えるので、特別なことがない限り欠席をしない。 (2) 本科目は講義と演習で構成されており、事例展開を通して学習を進める。そのため、演習前の自己学習と演習には積極的かつ主体的に参加する。 (3) この科目に合格しないと「基礎看護学実習Ⅱ」、「老年看護学実習」の履修はできない。 2 出欠席について (1) 出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻)により出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計2回、打刻する。 (2) 30分以上の遅刻・早退は、欠席扱いとする。 3 定期試験について (1) 3分の2以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (3) 再試験は原則1回のみ行う。再試験においても不合格の場合は、次年度再履修する。 4 フィードバック 質問に対するフィードバックは、次の授業またはAIDLE-Kで行う。演習のフィードバックは演習直後に担当者より行う。定期試験のフィードバックは、希望者に行う(事前にアポイントメントをとること)。 5 [凡例] GW⇒グループワーク 6 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。			
オフィスアワー			篠田 かおる 水曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N257研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10~17:40 看護学部棟3階N353研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10~17:40 看護学部棟3階N351研究室 板津 良 月曜日 16:10~17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10~17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10~17:40 基礎科学棟3階N370研究室			
備考			1 講義 (1) 春季休業中に課題を課す。 (2) 毎回講義前に教科書の該当箇所を読む(30分)。 (3) 毎回の講義後に、教科書および配付資料を振り返る(30分)。 2 演習 (1) 演習のしおりに沿って課題を行う。 [実務] ・医療機関等にて看護師としての実務経験のある教員が、事例を用いながら看護過程展開の基本について教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。			

講義名	看護過程論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Nursing Process		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修<B組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山本 恵美子
教 授	篠田 かおる
准 教 授	山幡 朗子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	意図的な看護実践とは何かを問い、科学的な思考、対人関係スキル及び基本的看護技術を活用した計画的な看護実践の意義と方法について学習する。また、看護過程を活用する意義を理解し、看護の対象をアセスメントし、その人に必要な看護を導き実践するための基礎的能力を培う。
目標	1 専門的知識に基づく看護過程を理解し、意図的な看護実践を行う意義と方法について説明できる。[DP：5] 2 ヘンダーソンの理論を活用し、情報整理、解釈・分析・推論し、対象のニーズを包括的・焦点的にアセスメントできる。[DP：5] 3 対象者の身体・心理・社会的なニーズや健康課題を明確にし、対象のニーズに応じた看護目標、アウトカムについて、優先順位を踏まえて設定できる。[DP：5] 4 看護目標を達成するために必要な看護実践内容の根拠を活用して、計画立案できる。[DP：5] 5 実施した看護計画や看護目標を個別的な状態に応じた看護判断に基づき、患者アウトカムと看護アウトカムで評価、改善策を提示、修正できる。[DP：5]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/10 (金)	1	【ガイダンス】 【講義】 意図的な看護実践、問題解決過程と看護過程、クリティカルシンキング： 問題解決過程・看護過程とは(アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価)、クリティカルシンキングと看護過程、看護に必要なクリティカルシンキング、対象の理解と倫理的配慮 ヘンダーソンの理論枠組み： 人間・環境・健康・健康増進・個性性・自立・生活行動	講義	前：春季休業中課題（教科書3）を行う。教科書1のP1-36を読む。教科書2のP282-302を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	篠田 かおる
2	2026/04/10 (金)	2	【講義】 アセスメント①アセスメントとは： アセスメント（情報の収集から情報の分析） 情報収集： 情報とは、主観的情報・客観的情報、系統的な情報収集 情報の整理・分析： ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・分	講義	前：教科書1のP37-45を読む。教科書2のP302-316を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子

			析、情報 が持つ意味を考える			
3	2026/04/16 (木)	3	【演習】 アセスメント②情報の整理・分析： ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・ 分析	演習 GW	前：教科書 1 のP68-146を 読む。教科書 2 のP302-316 を読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
4	2026/04/16 (木)	4	【演習】 アセスメント②情報の整理・分析： ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・ 分析	演習 GW	前：教科書 1 のP68-146を 読む。教科書 2 のP302-316 を読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
5	2026/04/24 (金)	1	【演習】 アセスメント②情報の整理・分析： ヘンダーソンの枠組みに基づいた情報の整理・ 分析	演習 GW	前：教科書 1 のP68-146を 読む。教科書 2 のP302-316 を読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	全員
6	2026/04/24 (金)	2	【講義】 アセスメント③全体像の把握： 対象者の全体像を捉える、全体像(関連図)を描 く 看護上の問題点の明確化、優先順位の決定	講義	前：教科書 1 のP72-76を読 む。教科書 2 のP302-316を 読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子
7	2026/05/01 (金)	1	【演習】 アセスメント③全体像の把握： 対象者の全体像を捉える、全体像(関連図)を描 く 看護上の問題点の明確化、優先順位の決定	演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
8	2026/05/01 (金)	2	【講義】 看護目標の設定： 目標の達成時期(長期目標・短期目標) 計画立案： 観察計画、ケア計画、教育計画	講義	前：教科書 1 のP46-47、教 科書 2 のP316-330を読む。 演習のしおりを読み、事前 課題を行う。 前後各30分	板津 良
9	2026/05/08 (金)	1	【演習】 看護目標の設定： 目標の達成時期(長期目標・短期目標) 計画立案： 観察計画、ケア計画、教育計画	演習 GW	前：教科書 1 のP46-47、教 科書 2 のP316-330を読む。 演習のしおりを読み、事前 課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
10	2026/05/08 (金)	2	【講義】 評価 看護記録：サマリー、監査	講義	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本 恵美子
11	2026/05/14 (木)	1	【講義】 臨床実践における看護過程の展開 臨床推論、臨床判断	講義	前：これまでの講義資料を 読む。演習のしおりを読 み、事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	山本 恵美子
12	2026/05/22 (金)	3	【演習】事例展開(看護の実践と評価)	演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
13	2026/05/22 (金)	4	【演習】事例展開(看護の実践と評価)	演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
14	2026/05/28 (木)	3	【演習】事例展開・発表	演習 GW	前：演習のしおりを読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員

15	2026/05/28 (木)	4	【講義・演習】事例展開・発表 【振り返り	講義・ 演習 GW	前：演習のしおりに読み、 事前課題を行う。 後：事後課題を行う。 前後各30分	全員
16	2026/06/05 (金)	1	定期試験			
評価方法			以下を総合的に評価する。 1 定期試験(80%) 2 講義・演習への参加度(20%) (1) 講義・演習への参加態度 (2) 事前課題の実施状況 (3) 記録の提出状況 (4) 記録の内容			
教科書・参考書			教科書： 1 秋葉公子他：「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」、ヌーヴェルヒロカワ、第5版(2023)、定価2,860円(税込み) 2 茂野香おる他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版(2021)、定価2,860円(税込み) 3 ヴァージニア・ヘンダーソン著 湯楨ます・小玉香津子訳：「看護の基本となるもの」、日本看護協会出版会、再新装版(2016)、定価1,320円(税込み) 参考書： 1 任和子編著：「改訂版 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイドーヘンダーソン、ゴードン、NANDAの枠組みによるー」、照林社、第2版(2006)、定価2,808円(税込み) 2 渡邊トシ子編集：「ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく 実践 看護アセスメント」、ヌーヴェル ヒロカワ、第3版(2011)、定価2,750円(税込み) 3 永田明他 監修：「看護がみえるvol.4 看護過程の展開」、医療情報科学研究所、(2020)、定価3,630(税込み) 4 高木永子 監修：「看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント」、第5版(2018)、定価 5,060円(税込み) ※ 適宜、資料を提示する。			
履修上の注意 点及び取扱い			1 履修について (1) 本科目を欠席すると、看護過程の理解が不十分となり、以後の全ての実習に大きな影響を与えるので、特別なことがない限り欠席をしない。 (2) 本科目は講義と演習で構成されており、事例展開を通して学習を進める。そのため、演習前の自己学習と演習には積極的かつ主体的に参加する。 (3) この科目に合格しないと「基礎看護学実習Ⅱ」、「老年看護学実習」の履修はできない。 2 出欠席について (1) 出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻)により出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計2回、打刻する。 (2) 30分以上の遅刻・早退は、欠席扱いとする。 3 定期試験について (1) 3分の2以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (3) 再試験は原則1回のみ行う。再試験においても不合格の場合は、次年度再履修する。 4 フィードバック 質問に対するフィードバックは、次の授業またはAIDLE-Kで行う。演習のフィードバックは演習直後に担当者より行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う(事前にアポイントメントをとること)。 5 [凡例] GW⇒グループワーク 6 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。			
オフィスアワー			篠田 かおる 水曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N257研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10~17:40 看護学部棟3階N353研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10~17:40 看護学部棟3階N351研究室 板津 良 月曜日 16:10~17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10~17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10~17:40 基礎科学棟3階N370研究室			
備考			1 講義 (1) 春季休業中に課題を課す。 (2) 毎回講義前に教科書の該当箇所を読む(30分)。 (3) 毎回の講義後に、教科書および配付資料を振り返る(30分)。 2 演習 (1) 演習のしおりに沿って課題を行う。 [実務] ・医療機関等にて看護師としての実務経験のある教員が、事例を用いながら看護過程展開の基本について教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。			

講義名	災害看護学（2学年次生用）		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	橋本 茜
講 師	二村 純子
講 師(兼 大学病院・看護部)	高柳 佳弘
講 師(非)	栗田 暢之
講 師(非)	浦野 愛
講 師(非)	日高 橘子
講 師(非)	近藤 望
講 師(非)	椿 佳代

科目概要	災害看護とは、「災害に対する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開する」と定義されている。本科目では、国内外の災害時の医療・看護活動の基盤となる知識を学び、被災者に必要な看護提供と、日常的な減災活動の心構えと支援方法を学修する。災害時の被災者の状況を理解し、状況に応じた多職種協働の支援活動について学修する。災害支援活動と多様な減災活動の実際の学びを通して、災害時および減災対策における看護専門職者が果たす役割と支援方法を学修する。
目標	1 災害および災害時対応に関する概念や活動や対策の意味・目的について説明できる。「DP：1・2・4・5」 2 災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP：2～5」 3 災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。「DP：1・2・4・5」 4 災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP：1～6」 5 災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP：1～6」 6 災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP：1～4・6」 7 災害想定シミュレーションゲームを用いて、実際の災害時状況をイメージし、看護職としてどのように減災に取り組むか、討議することができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1			講義ガイダンス、災害看護学の概要：学年縦断で実施する講義方法と意義 災害総論 (1) 災害の定義と種類 (2) 現在の国内外の災害、被災者のニーズと支援 (3) 災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習①：大規模地震災害と気象災害の発生状況と被災者について、書籍やwebsiteで調べておく。 予習②内閣府や復興庁等のサイトにアクセスし、用語を調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後120分	栗田 暢之 佐々木 裕子

2			被災当事者の体験を理解 (1) 当事者の被災体験の語り (2) ディスカッション	講義、GW	予習：①災害当事者の体験として関心をもった内容について、書籍やwebsiteで調べる。websiteは授業支援システム＜災害看護学＞の中で紹介する「『被災当事者の体験を理解』事前学習参考サイト」にアクセスして学習する。 予習②事前情報シートを読み、印象に残ったことや質問してみたいことを整理する。 復習：講義資料を読み返し、課題に取り組む。 前後120分	二村 純子 黒澤 昌洋 橋本 茜 佐々木 裕子
3	2026/06/03 (水)	3	専門職・住民による減災活動の実際① (1) 減災とは (2) 住民と協働する減災活動の実際 (3) 災害時要配慮者（高齢者・障がいをもつ人）への減災活動と課題	講義	予習①：自身の居住地域の行政のHPにアクセスし、ハザードマップや地域で行われる防災訓練や災害対策について調べ、質問してみたいことを整理する。 予習②テキストP240-241, 186-199を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後120分	浦野 愛 椿 佳代 近藤 望 黒澤 昌洋 佐々木 裕子 橋本 茜 二村 純子
4	2026/06/03 (水)	4	専門職・住民による減災活動の実際② (1) 多文化共生・男女共同参画社会の視点による減災活動 (2) 女性・子どもについて助産師の視点による減災活動 (3) ディスカッション	講義、GW	予習①：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念を調べる。 予習②テキストP222-226, 227-229, 230-233, 237-238, 264-268を読む。 予習③演習実施事例について、授業支援システム＜災害看護学＞にUPする資料を読み、質問や疑問に思ったことを整理する。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ 前後各120分	黒澤 昌洋 二村 純子 橋本 茜 佐々木 裕子 椿 佳代 近藤 望
5			災害看護の実際① 緊急時支援 (1) 災害看護の定義と目的、災害看護のフェイズ (2) 緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際 (3) D M A T の活動と訓練、DPAT、JMAT、災害拠点病院、救護所	講義、GW	予習①：「トリアージと災害医療チーム」について調べる。 予習②テキストP20-22, 56-59, 83-86, 96-101, 104-119を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	高柳 佳弘 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子 佐々木 裕子
6			災害看護の実際② 復旧・復興支援 (1) 災害後の復興支援の実際 (2) 仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 (3) 派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 (4) 支援者の心のケア (5) 減災対策への実際と課題	講義	予習①：「大規模災害後の復旧・復興」について、復興庁のHPや被災地のHP等で調べる。 予習②テキストP62-66, 86-89, 復興庁のHP https://www.reconstruction.go.jp/ を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	日高 橘子 橋本 茜 二村 純子 黒澤 昌洋 佐々木 裕子
7			災害看護の実際③ 亜急性期支援 (1) スフィアスタンダード、PHC、PFA、関連する法制度 (2) 災害時要配慮者支援 (3) 避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 (4) 災害関連死・生活不活発の予防、DHEAT、JRAT、災害支援ナース、JWAT	講義	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。 復習：講義・演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子
8			災害看護の実際④	演習	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や	佐々木 裕子 黒澤 昌洋

				市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。	橋本 茜 二村 純子
				復習：講義・演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	
9			定期試験		佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子
評価方法	1 学年縦断科目であるため、学年毎のレポートや試験の点数を積算して評価を行う。 最終的に4学年次の試験終了後に、本科目としての評価を行う。 2 1学年次生から3学年次生まで、講義ごとの振り返りレポートにより評価する（各学年10点満点ずつ）。 テーマおよび提出方法は講義時に説明する。 3 4学年次生は、レポート（10点満点）および定期試験（60点満点）により評価する。				
教科書・参考書	教科書：酒井明子 長田恵子 三澤寿美編者（2022）：「Nursing・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護」、メディカ出版、定価3,080円（税込み） 参考書・参考資料 1 小原真理子（2019）：「災害看護一心得ておきたい基本的な知識」 南山堂、東京、定価3,080円（税込み） 2 酒井明子、増野園恵編集（2023）：「災害看護（改訂第4版）：看護の専門知識を統合して実践につなげる（看護学テキストNiCE）」、南江堂、定価2,970円（税込） 3 竹下喜久子（2024）：「看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学」 第5版（系統看護学講座 統合分野）、医学書院、東京、定価2,750円（税込み） 4 日本集団災害医学会編（2015）：「DMAT標準テキスト」、へるす出版、定価5,720円（税込み） 5 内閣府および各自治体のHPにある災害対策の関連頁、（防災資料室）TEAM防災ジャパンのHP				
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) 紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 (2) 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 3 定期試験と単位認定について (1) 各学年で出席3分の2以上に達している場合に、次の学年の講義内容に進むことができる。 2/3以上の出席に達しない場合は定期試験を受験することができず、単位を取得することができない。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 4 フィードバックについて (1) 授業後の振り返りを、各授業後にAIDLE-KIに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-KIにて共有する。 5 凡例 GW：グループワーク				
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 黒澤 昌洋 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室③ 橋本 茜 月曜日 15：30～17：00 看護学部棟2階N256研究室 二村 純子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟4階N453研究室 非常勤・兼任講師 講義終了時				
備考	[実務] 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。 ・学年縦断科目であり、1学年次から4学年次まで講義を受けるので、各学年で提出するレポート課題等は、提出時に必ずMaharaに保存しておくこと。				

講義名	災害看護学（3学年次生用）		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	1学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	橋本 茜
講 師	二村 純子
講 師(兼 大学病院・看護部)	高柳 佳弘
講 師(非)	栗田 暢之
講 師(非)	浦野 愛
講 師(非)	日高 橘子
講 師(非)	近藤 望
講 師(非)	椿 佳代

科目概要	災害看護とは、「災害に対する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開する」と定義されている。本科目では、国内外の災害時の医療・看護活動の基盤となる知識を学び、被災者に必要な看護提供と、日常的な減災活動の心構えと支援方法を学修する。災害時の被災者の状況を理解し、状況に応じた多職種協働の支援活動について学修する。災害支援活動と多様な減災活動の実際の学びを通して、災害時および減災対策における看護専門職者が果たす役割と支援方法を学修する。
目標	1 災害および災害時対応に関する概念や活動や対策の意味・目的について説明できる。「DP：1・2・4・5」 2 災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP：2～5」 3 災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。「DP：1・2・4・5」 4 災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP：1～6」 5 災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP：1～6」 6 災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP：1～4・6」 7 災害想定シミュレーションゲームを用いて、実際の災害時状況をイメージし、看護職としてどのように減災に取り組むか、討議することができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1			講義ガイダンス、災害看護学の概要：学年縦断で実施する講義方法と意義 災害総論 (1) 災害の定義と種類 (2) 現在の国内外の災害、被災者のニーズと支援 (3) 災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習①：大規模地震災害と気象災害の発生状況と被災者について、書籍やwebsiteで調べておく。 予習②内閣府や復興庁等のサイトにアクセスし、用語を調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後各120分	栗田 暢之 佐々木 裕子

2			被災当事者の体験を理解 (1) 当事者の被災体験の語り (2) ディスカッション	講義、GW	予習：①災害当事者の体験として関心をもった内容について、書籍やwebsiteで調べる。websiteは授業支援システム＜災害看護学＞の中で紹介する「『被災当事者の体験を理解』事前学習参考サイト」にアクセスして学習する。 予習②事前情報シートを読み、印象に残ったことや質問してみたいことを整理する。 復習：講義資料を読み返し、課題に取り組む。 前後各120分	二村 純子 黒澤 昌洋 橋本 茜 佐々木 裕子
3			専門職・住民による減災活動の実際① (1) 減災とは (2) 住民と協働する減災活動の実際 (3) 災害時要配慮者（高齢者・障がいをもつ人）への減災活動と課題	講義	予習①：自身の居住地域の行政のHPにアクセスし、ハザードマップや地域で行われる防災訓練や災害対策について調べ、質問してみたいことを整理する。 予習②テキストP240-241、186-199を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後各120分	浦野 愛 椿 佳代 近藤 望 黒澤 昌洋 佐々木 裕子 橋本 茜 二村 純子
4			専門職・住民による減災活動の実際② (1) 多文化共生・男女共同参画社会の視点による減災活動 (2) 女性・子どもについて助産師の視点による減災活動 (3) ディスカッション	講義、GW	予習①：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念を調べる。 予習②テキストP222-226、227-229、230-233、237-238、264-268を読む。 予習③演習実施事例について、授業支援システム＜災害看護学＞にUPする資料を読み、質問や疑問に思ったことを整理する。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ 前後各120分	黒澤 昌洋 二村 純子 橋本 茜 佐々木 裕子 椿 佳代 近藤 望
5	2026/06/25 (木)	4	災害看護の実際① 緊急時支援 (1) 災害看護の定義と目的、災害看護のフェーズ (2) 緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際 (3) D M A T の活動と訓練、DPAT、JMAT、災害拠点病院、救護所	講義、GW	予習①：「トリアージと災害医療チーム」について調べる。 予習②テキストP20-22、56-59、83-86、96-101、104-119を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	高柳 佳弘 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子 佐々木 裕子
6	2026/06/25 (木)	5	災害看護の実際② 復旧・復興支援 (1) 災害後の復興支援の実際 (2) 仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 (3) 派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 (4) 支援者の心のケア (5) 減災対策への実際と課題	講義	予習①：「大規模災害後の復旧・復興」について、復興庁のHPや被災地のHP等で調べる。 予習②テキストP62-66、86-89、復興庁のHP https://www.reconstruction.go.jp/ を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	日高 橘子 橋本 茜 二村 純子 黒澤 昌洋 佐々木 裕子
7			災害看護の実際③ 亜急性期支援 (1) スフィアスタンダード、PHC、PFA、関連する法制度 (2) 災害時要配慮者支援 (3) 避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 (4) 災害関連死・生活不活発の予防、DHEAT、JRAT、災害支援ナース、JWAT	講義	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。 復習：講義・演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子
8			災害看護の実際④	演習	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や	佐々木 裕子 黒澤 昌洋

				市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。	橋本 茜 二村 純子
				復習：講義・演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	
9			定期試験		佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子
評価方法	1 学年縦断科目であるため、学年毎のレポートや試験の点数を積算して評価を行う。 最終的に4学年次の試験終了後に、本科目としての評価を行う。 2 1学年次生から3学年次生まで、講義ごとの振り返りレポートにより評価する（各学年10点満点ずつ）。 テーマおよび提出方法は講義時に説明する。 3 4学年次生は、レポート（10点満点）および定期試験（60点満点）により評価する。				
教科書・参考書	教科書：酒井明子 長田恵子 三澤寿美編者（2022）：「Nursing・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護」、メディカ出版、東京、定価3,080円（税込み） 参考書・参考資料 1 小原真理子（2019）：「災害看護一心得ておきたい基本的な知識」 南山堂、定価3,080円（税込み） 2 酒井明子、増野園恵編集（2023）：「災害看護（改訂第4版）：看護の専門知識を統合して実践につなげる（看護学テキストNiCE）」、南江堂、定価2,970円（税込） 3 竹下喜久子（2024）：「看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学」 第5版（系統看護学講座 統合分野）、医学書院、定価2,750円（税込み） 4 日本集団災害医学会編（2015）：「DMAT標準テキスト」、へるす出版、定価5,720円（税込み） 5 内閣府および各自治体のHPにある災害対策の関連頁、（防災資料室）TEAM防災ジャパンのHP				
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) 紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 (2) 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 3 定期試験と単位認定について (1) 各学年で出席3分の2以上に達している場合に、次の学年の講義内容に進むことができる。 2/3以上の出席に達しない場合は定期試験を受験することができず、単位を取得することができない。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 4 フィードバックについて (1) 授業後の振り返りを各講義後にAIDLE-Kに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-Kにて共有する。 5 凡例 GW：グループワーク				
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 黒澤 昌洋 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室③ 橋本 茜 月曜日 15：30～17：00 看護学部棟2階N256研究室 二村 純子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟4階N453研究室 非常勤・兼任講師 講義終了時				
備考	〔実務〕 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。 ・学年縦断科目であり、1学年次から4学年次まで講義を受けるので、各学年で提出するレポート課題等は、提出時に必ずMaharaに保存しておくこと。				

講義名	災害看護学（４学年次生用）		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修＜A組＞		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	橋本 茜
講 師	二村 純子
講 師(兼 大学病院・看護部)	高柳 佳弘
講 師(非)	栗田 暢之
講 師(非)	浦野 愛
講 師(非)	日高 橘子
講 師(非)	近藤 望
講 師(非)	椿 佳代

科目概要	災害看護とは、「災害に対する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開する」と定義されている。本科目では、国内外の災害時の医療・看護活動の基盤となる知識を学び、被災者に必要な看護提供と、日常的な減災活動の心構えと支援方法を学修する。災害時の被災者の状況を理解し、状況に応じた多職種協働の支援活動について学修する。災害支援活動と多様な減災活動の実際の学びを通して、災害時および減災対策における看護専門職者が果たす役割と支援方法を学修する。
目標	1 災害および災害時対応に関する概念や活動や対策の意味・目的について説明できる。「DP：1・2・4・5」 2 災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP：2～5」 3 災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。「DP：1・2・4・5」 4 災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP：1～6」 5 災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP：1～6」 6 災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP：1～4・6」 7 災害想定シミュレーションゲームを用いて、実際の災害時状況をイメージし、看護職としてどのように減災に取り組むか、討議することができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1			講義ガイダンス、災害看護学の概要：学年縦断で実施する講義方法と意義 災害総論 (1) 災害の定義と種類 (2) 現在の国内外の災害、被災者のニーズと支援 (3) 災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習①：大規模地震災害と気象災害の発生状況と被災者について、書籍やwebsiteで調べておく。 予習②内閣府や復興庁等のサイトにアクセスし、用語を調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後各120分	栗田 暢之 佐々木 裕子

2			被災当事者の体験を理解 (1) 当事者の被災体験の語り (2) ディスカッション	講義、GW	予習：①災害当事者の体験として関心をもった内容について、書籍やwebsiteで調べる。websiteは授業支援システム＜災害看護学＞の中で紹介する「『被災当事者の体験を理解』事前学習参考サイト」にアクセスして学習する。 予習②事前情報シートを読み、印象に残ったことや質問してみたいことを整理する。 復習：講義資料を読み返し、課題に取り組む。 前後各120分	二村 純子 黒澤 昌洋 橋本 茜 佐々木 裕子
3			専門職・住民による減災活動の実際① (1) 減災とは (2) 住民と協働する減災活動の実際 (3) 災害時要配慮者（高齢者・障がいをもつ人）への減災活動と課題	講義	予習①：自身の居住地域の行政のHPにアクセスし、ハザードマップや地域で行われる防災訓練や災害対策について調べ、質問してみたいことを整理する。 予習②テキストP240-241、186-199を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後各120分	浦野 愛 椿 佳代 近藤 望 黒澤 昌洋 佐々木 裕子 橋本 茜 二村 純子
4			専門職・住民による減災活動の実際② (1) 多文化共生・男女共同参画社会の視点による減災活動 (2) 女性・子どもについて助産師の視点による減災活動 (3) ディスカッション	講義、GW	予習①：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念を調べる。 予習②テキストP222-226、227-229、230-233、237-238、264-268を読む。 予習③演習実施事例について、授業支援システム＜災害看護学＞にUPする資料を読み、質問や疑問に思ったことを整理する。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ 前後各120分	黒澤 昌洋 二村 純子 橋本 茜 佐々木 裕子 椿 佳代 近藤 望
5			災害看護の実際① 緊急時支援 (1) 災害看護の定義と目的、災害看護のフェイズ (2) 緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際 (3) D M A T の活動と訓練、DPAT、JMAT、災害拠点病院、救護所	講義、GW	予習①：「トリアージと災害医療チーム」について調べる。 予習②テキストP20-22、56-59、83-86、96-101、104-119を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	高柳 佳弘 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子 佐々木 裕子
6			災害看護の実際② 復旧・復興支援 (1) 災害後の復興支援の実際 (2) 仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 (3) 派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 (4) 支援者の心のケア (5) 減災対策への実際と課題	講義	予習①：「大規模災害後の復旧・復興」について、復興庁のHPや被災地のHP等で調べる。 予習②テキストP62-66、86-89、復興庁のHP https://www.reconstruction.go.jp/ を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	日高 橘子 橋本 茜 二村 純子 黒澤 昌洋 佐々木 裕子
7	2026/04/30 (木)	3	災害看護の実際③ 亜急性期支援 (1) スフィアスタンダード、PHC、PFA、関連する法制度 (2) 災害時要配慮者支援 (3) 避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 (4) 災害関連死・生活不活発の予防、DHEAT、JRAT、災害支援ナース、JWAT	講義、演習	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。 復習：講義・演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子
8	2026/04/30 (木)	4	災害看護の実際③ 亜急性期支援 (1) 災害時要配慮者支援 (2) 避難所、在宅生活者における健康・生活	演習	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や	佐々木 裕子 黒澤 昌洋

			支援の実際 (3) 災害関連死・生活不活発の予防		市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。 復習：演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	橋本 茜 二村 純子
9	2026/05/08 (金)	3	定期試験			佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子

評価方法	1 学年縦断科目であるため、学年毎のレポートや試験の点数を積算して評価を行う。 最終的に4学年次の試験終了後に、本科目としての評価を行う。 2 1学年次生から3学年次生までは、講義ごとの振り返りレポートにより評価する。 テーマおよび提出方法は講義時に説明する。 3 4学年次生は、レポートおよび1～4学年次の学習内容を定期試験により評価する。					
教科書・参考書	教科書：酒井明子 長田恵子 三澤寿美編者（2022）：「Nursing・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護」、メディカ出版、東京、定価3,080円（税込み） 参考書・参考資料 1 小原真理子（2019）：「災害看護一心得ておきたい基本的な知識」 南山堂、定価3,080円（税込み） 2 酒井明子、増野園恵編集（2023）：「災害看護（改訂第4版）：看護の専門知識を統合して実践につなげる（看護学テキストNice）」、南江堂、定価2,970円（税込） 3 竹下喜久子（2024）：「看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学」 第5版（系統看護学講座 統合分野）、医学書院、定価2,750円（税込み） 4 日本集団災害医学会編（2015）：「DMAT標準テキスト」、へるす出版、定価5,720円（税込み） 5 内閣府および各自治体のHPにある災害対策の関連頁、（防災資料室）TEAM防災ジャパンのHP					
履修上の注意点 及び取扱い	1 履修について (1) 紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 (2) 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 3 定期試験と単位認定について (1) 各学年で出席3分の2以上に達している場合に、次の学年の講義内容に進むことができる。 2/3以上の出席に達しない場合は定期試験を受験することができず、単位を取得することができない。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 4 フィードバックについて (1) 授業後の振り返りを各講義後にAIDLE-Kに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-Kにて共有する。 5 凡例 GW：グループワーク					
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 黒澤 昌洋 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室③ 橋本 茜 月曜日 15：30～17：00 看護学部棟2階N256研究室 二村 純子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟4階N453研究室 非常勤・兼任講師 講義終了時					
備考	[実務] 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。					

講義名	災害看護学（４学年次生用）		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修＜Ｂ組＞		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	橋本 茜
講 師	二村 純子
講 師(兼 大学病院・看護部)	高柳 佳弘
講 師(非)	栗田 暢之
講 師(非)	浦野 愛
講 師(非)	日高 橘子
講 師(非)	近藤 望
講 師(非)	椿 佳代

科目概要	災害看護とは、「災害に対する看護独自の知識や技術を体系的にかつ柔軟に用いるとともに、他の専門分野と協力して、災害の及ぼす生命や健康生活への被害を極力少なくするための活動を展開する」と定義されている。本科目では、国内外の災害時の医療・看護活動の基盤となる知識を学び、被災者に必要な看護提供と、日常的な減災活動の心構えと支援方法を学修する。災害時の被災者の状況を理解し、状況に応じた多職種協働の支援活動について学修する。災害支援活動と多様な減災活動の実際の学びを通して、災害時および減災対策における看護専門職者が果たす役割と支援方法を学修する。
目標	1 災害および災害時対応に関する概念や活動や対策の意味・目的について説明できる。「DP：1・2・4・5」 2 災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP：2～5」 3 災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。「DP：1・2・4・5」 4 災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP：1～6」 5 災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP：1～6」 6 災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP：1～4・6」 7 災害想定シミュレーションゲームを用いて、実際の災害時状況をイメージし、看護職としてどのように減災に取り組むか、討議することができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1			講義ガイダンス、災害看護学の概要：学年縦断で実施する講義方法と意義 災害総論 (1) 災害の定義と種類 (2) 現在の国内外の災害、被災者のニーズと支援 (3) 災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習①：大規模地震災害と気象災害の発生状況と被災者について、書籍やwebsiteで調べておく。 予習②内閣府や復興庁等のサイトにアクセスし、用語を調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後各120分	栗田 暢之 佐々木 裕子

2			被災当事者の体験を理解 (1) 当事者の被災体験の語り (2) ディスカッション	講義、GW	予習：①災害当事者の体験として関心をもった内容について、書籍やwebsiteで調べる。websiteは授業支援システム＜災害看護学＞の中で紹介する「『被災当事者の体験を理解』事前学習参考サイト」にアクセスして学習する。 予習②事前情報シートを読み、印象に残ったことや質問してみたいことを整理する。 復習：講義資料を読み返し、課題に取り組む。 前後各120分	二村 純子 黒澤 昌洋 橋本 茜 佐々木 裕子
3			専門職・住民による減災活動の実際① (1) 減災とは (2) 住民と協働する減災活動の実際 (3) 災害時要配慮者（高齢者・障がいをもつ人）への減災活動と課題	講義	予習①：自身の居住地域の行政のHPにアクセスし、ハザードマップや地域で行われる防災訓練や災害対策について調べ、質問してみたいことを整理する。 予習②テキストP240-241、186-199を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後各120分	浦野 愛 椿 佳代 近藤 望 黒澤 昌洋 佐々木 裕子 橋本 茜 二村 純子
4			専門職・住民による減災活動の実際② (1) 多文化共生・男女共同参画社会の視点による減災活動 (2) 女性・子どもについて助産師の視点による減災活動 (3) ディスカッション	講義、GW	予習①：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念を調べる。 予習②テキストP222-226、227-229、230-233、237-238、264-268を読む。 予習③演習実施事例について、授業支援システム＜災害看護学＞にUPする資料を読み、質問や疑問に思ったことを整理する。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ 前後各120分	黒澤 昌洋 二村 純子 橋本 茜 佐々木 裕子 椿 佳代 近藤 望
5			災害看護の実際① 緊急時支援 (1) 災害看護の定義と目的、災害看護のフェイズ (2) 緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際 (3) D M A T の活動と訓練、DPAT、JMAT、災害拠点病院、救護所	講義、GW	予習①：「トリアージと災害医療チーム」について調べる。 予習②テキストP20-22、56-59、83-86、96-101、104-119を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	高柳 佳弘 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子 佐々木 裕子
6			災害看護の実際② 復旧・復興支援 (1) 災害後の復興支援の実際 (2) 仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 (3) 派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 (4) 支援者の心のケア (5) 減災対策への実際と課題	講義	予習①：「大規模災害後の復旧・復興」について、復興庁のHPや被災地のHP等で調べる。 予習②テキストP62-66、86-89、復興庁のHP https://www.reconstruction.go.jp/ を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	日高 橘子 橋本 茜 二村 純子 黒澤 昌洋 佐々木 裕子
7	2026/05/01 (金)	1	災害看護の実際③ 亜急性期支援 (1) スフィアスタンダード、PHC、PFA、関連する法制度 (2) 災害時要配慮者支援 (3) 避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 (4) 災害関連死・生活不活発の予防、DHEAT、JRAT、災害支援ナース、JWAT	講義、演習	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。 復習：講義・演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子
8	2026/05/01 (金)	2	災害看護の実際③ 亜急性期支援 (1) 災害時要配慮者支援 (2) 避難所、在宅生活者における健康・生活	演習	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や	佐々木 裕子 黒澤 昌洋

			支援の実際 (3) 災害関連死・生活不活発の予防		市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。 復習：講義・演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	橋本 茜 二村 純子
9	2026/05/08 (金)	3	定期試験			佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子
評価方法			1 学年縦断科目であるため、学年毎のレポートや試験の点数を積算して評価を行う。最終的に4学年次の試験終了後に、本科目としての評価を行う。 2 1学年次生から3学年次生までは、講義ごとの振り返りレポートにより評価する。テーマおよび提出方法は講義時に説明する。 3 4学年次生は、レポートおよび1～4学年次の学習内容を定期試験により評価する。			
教科書・参考書			教科書：酒井明子 長田恵子 三澤寿美編者（2022）：「Nursing・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護」、メディカ出版、東京、定価3,080円（税込み） 参考書・参考資料 1 小原真理子（2019）：「災害看護一心得ておきたい基本的な知識」 南山堂、定価3,080円（税込み） 2 酒井明子、増野園恵編集（2023）：「災害看護（改訂第4版）：看護の専門知識を統合して実践につなげる（看護学テキストNiCE）」、南江堂、定価2,750円（税込） 3 竹下喜久子（2019）：「看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学」 第4版（系統看護学講座 統合分野）、医学書院、定価2,640円（税込み） 4 日本集団災害医学会編（2015）：「DMAT標準テキスト」、へるす出版、定価5,720円（税込み） 5 内閣府および各自治体のHPにある災害対策の関連頁、（防災資料室）TEAM防災ジャパンのHP			
履修上の注意点及び取扱い			1 履修について (1) 紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 (2) 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 3 定期試験と単位認定について (1) 各学年で出席3分の2以上に達している場合に、次の学年の講義内容に進むことができる。 2/3以上の出席に達しない場合は定期試験を受験することができず、単位を取得することができない。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 4 フィードバックについて (1) 授業後の振り返りを各講義後にAIDLE-Kに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-Kにて共有する。 5 凡例 GW：グループワーク			
オフィスアワー			佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 黒澤 昌洋 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室③ 橋本 茜 月曜日 15：30～17：00 看護学部棟2階N256研究室 二村 純子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟4階N453研究室 非常勤・兼任講師 講義終了時			
備考			[実務] 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。			

講義名	公衆衛生看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Public Health Nursing Ⅰ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
准 教 授	浅野 いずみ
講 師	二村 純子

科目概要	公衆衛生看護学は、地域で生活する人々の価値観や生活習慣の多様性を理解し、ライフサイクルにおける健康段階、発達課題、社会的役割の変化等を捉え、地域住民の生命と暮らしをまもる取り組みと予防活動を組織的にやっていく。公衆衛生看護学の基盤となる理念であるプライマリ・ヘルスケアとヘルスプロモーションを踏まえた上で、全てのライフサイクル、異なる健康レベルの人々を対象とし、対象となる人々との協働によって創りあげていく公衆衛生看護実践の概要について学ぶ。
目標	1 公衆衛生看護学の基盤となる理念、構成する主要な概念を理解し、述べることができる。「DP：1・2」 2 人々の健康課題の変化と求められるニーズの変遷について説明できる。「DP：1・2・4」 3 公衆衛生看護が展開される場(行政、在宅、学校、産業等)とそれぞれの対象者・活動の特徴を述べるができる。「DP：1・2・4」 4 公衆衛生看護実践で用いる支援方法である健康相談、家庭訪問、グループ支援、健康教育・健康学習支援、コミュニティ支援(地区組織活動)について理解し、その特徴を説明できる。「DP：1～5」 5 ライフサイクルに沿った公衆衛生看護実践の特徴を理解し、説明できる。「DP：1～5」 6 特定のヘルス・ニーズ(精神障がい、難病、感染症等)をもつ地域住民との公衆衛生看護実践の特徴を理解し、説明できる。「DP：1～5」 7 実践家との対話を通して、公衆衛生看護活動の現状と課題を主体的に討議できる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/12/16 (水)	1	講義オリエンテーション 公衆衛生看護学の定義と場・対象 公衆衛生看護学の基盤となる理念と構成する主要な概念 (公衆衛生看護、公衆衛生看護の場と対象、歴史、プライマリ・ヘルスケア、ヘルス・プロモーション、地域・コミュニティ、個人・家族・集団、生活、健康、パートナーシップ、協働、エンパワメント、アドボカシー)	講義	前：教p4-45を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	若杉 里実
2	2026/12/16 (水)	2	地域保健行政と公衆衛生看護活動 (衛生行政のしくみ、都道府県保健所の機能と保健師活動、市町村の機能と保健師活動)	講義	前：教p46-62を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	浅野 いずみ
3	2026/12/18 (金)	1	公衆衛生看護実践で用いられる支援方法と特徴 1 (第一次・二次・三次予防、ポピュレーション・アプローチ、ハイリスク・アプローチ、保健指導、健康相談、家庭訪問)	講義 VTR視聴	前：教p18-19、p46-56を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	若杉 里実

4	2026/12/18 (金)	2	公衆衛生看護実践で用いられる支援方法と特徴2 (健康教育・学習支援、グループ支援、地域組織活動、地域ケア体制づくり、保健医療福祉との連携・協働、ソーシャル・キャピタル)	講義 VTR視聴	前：教p160-183を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
5	2026/12/23 (水)	1	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－親子1 (法的根拠、国の施策、妊娠期・乳幼児期の健康と健康診査、健康相談、家庭訪問を通しての子育て支援、自立支援)	講義 VTR視聴	前：教p255-281を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
6	2026/12/23 (水)	2	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－親子2 (コミュニティの健康課題とコミュニティ支援、社会資源、児童虐待予防、学齢期・思春期の健康、学校保健)	講義 VTR視聴	前：教p255-281、p475-492を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
7	2026/12/25 (金)	1	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－成人 (法的根拠、国の施策、成人期の健康課題、生活習慣病予防、健康づくり、特定健康診査、特定保健指導、産業保健活動、地域職域連携)	講義 VTR視聴	前：教p283-309、p493-516を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子
8	2026/12/25 (金)	2	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－高齢者1 (法的根拠、国の施策、高齢者の健康課題、フレイル、ロコモティブシンドローム、介護保険制度、地域包括支援センター、介護予防事業、医療制度)	講義 VTR視聴	前：教p310-333を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子
9	2027/01/06 (水)	2	ライフサイクルに応じた公衆衛生看護実践－高齢者2 (地域包括ケアシステム、介護予防のまちづくり、認知症施策、高齢者虐待予防)	講義 VTR視聴	前：教p310-333を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子
10	2027/01/13 (水)	1	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する公衆衛生看護実践1 －感染症(法的根拠、国の施策、感染症保健活動、感染症発生動向調査、新興・再興感染症、結核、DOTS)	講義 VTR視聴	前：教p389-432を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	浅野 いずみ
11	2027/01/13 (水)	2	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する公衆衛生看護実践2－身体・知的障がい・難病とともに生きる人々 (法的根拠、国の施策、ノーマライゼーション、患者会、指定難病、日常生活支援、多機関・多職種の連携協働)	講義	前：教p334-345、346-365を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	浅野 いずみ
12	2027/01/20 (水)	1	特定のヘルス・ニーズをもつ住民と協働する公衆衛生看護実践3－精神障がいとともに生きる人々 (法的根拠、国の施策、退院支援、患者会、家族会、地域包括ケアシステム)	講義	前：教p366-388を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	浅野 いずみ
13	2027/01/20 (水)	2	健康危機管理 (健康危機管理、リスクマネジメント、健康危機発生時の保健活動)	講義 VTR視聴	前：教p445-474を読む。 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。 前後各120分	二村 純子
14	2027/01/27 (水)	1	実践家との対話（県保健所における公衆衛生看護の実際）（保健師としての使命、役割と責務）	講義	前後：都道府県保健所の機能と保健師活動に関する教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	特別講師
15	2027/01/27 (水)	2	実践家との対話（市町村における公衆衛生看護の実際）（保健師としての使命、役割と責務）	講義	前後：市町村の機能と保健師活動に関する教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	特別講師
16	2027/02/03 (水)	2	定期試験			全員

評価方法	定期試験85%、授業への参加態度（振り返りのAIDLE-Kへの入力）を含む）15%
教科書・参考書	1 鳩野洋子・神庭純子編(2026)：公衆衛生看護学.jp第6版 データ更新版、インターメディカル出版、定価5,280円（税込み） 2 厚生労働統計協会編(2025)：「国民衛生の動向(2025/2026)」、厚生労働統計協会出版、定価2,970円（税込）

	み) 参考書： 講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 出席管理システムにより、出席の確認をする。2 コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計 2 回、打刻する。 2 30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 3 遅刻または早退 2 回で欠席 1 回とみなす。 4 講義終了後、毎回、振り返り（AIDLE-Kへの入力）を記入し提出する。 5 講義の録音および写真撮影は禁ずる。 6 単位取得について （1）出席は3分の2以上とする。 （2）定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は1回とする。不合格の場合は次年度に再履修する。 （3）病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 7 定期試験終了後のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	若杉 里実 月曜日 16：10～17：40 C棟5階 教授室4 浅野 いずみ 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階 N251研究室 二村 純子 金曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階 N453研究室
備考	〔実務〕 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ▪ 最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	公衆衛生看護学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Public Health Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	必修< A組>		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 浅野 いずみ
教 授	若杉 里実
講 師	二村 純子

科目概要	地域診断は、対象が生活する地域の特性を体系的に把握し、その地域に内在する健康課題および地域生活・社会生活に関わる支援ニーズを明確化し、地域の強みや資源を活かしつつ、課題解決に向け適切な支援の方向性を導く基盤を形成するものである。 「公衆衛生看護学Ⅰ」で学修した、ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア、エンパワメントの理論を基盤として、コミュニティをアセスメントし、地域の健康課題に応える地域看護計画を作成・実践・評価する過程について学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目標	1 地域診断の概念と地域保健活動に用いる理論と方法を理解し、説明できる。「DP：1～6」 2 地域看護の視点からコミュニティのアセスメント、地域看護計画の策定、実践、評価の過程を理解し、説明できる。「DP：1～6」 3 演習では、コミュニティのアセスメントを通して、健康問題・課題を抽出することができる。「DP：5」 4 演習を振り返り、コミュニティのアセスメントを批判的・発展的・論理的に洞察できる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/09 (木)	1	地域診断の概念と地域保健活動に用いる理論 (コミュニティのアセスメント、地域看護過程、コミュニティ・アズ・パートナーモデル)	講義	前：教p123-159を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	浅野 いずみ
2	2026/04/16 (木)	1	地域看護過程 (健康指標、人口構成、疾病構造、保健医療福祉に関する基本的統計、地域の歴史・文化・生活・環境に関する情報、社会資源情報、アセスメント、ヘルス・ニーズ、地域看護計画、評価)	講義	前：教p123-159を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	浅野 いずみ
3	2026/04/16 (木)	2	(演習) 地域看護過程 (既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集①)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
4	2026/04/23 (木)	1	(演習) 地域看護過程 (既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集②)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員

5	2026/04/23 (木)	2	(演習) 地域看護過程 (既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集のまとめ①)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
6	2026/04/30 (木)	1	(演習) 地域看護過程 (行政職員から地域についての情報収集)	講義	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	ゲストスピーカー 全員
7	2026/04/30 (木)	2	(演習) 地域看護過程 (既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集のまとめ②)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
8	2026/05/07 (木)	1	(演習) 地域看護過程 (地区踏査①)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
9	2026/05/07 (木)	2	(演習) 地域看護過程 (地区踏査②)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
10	2026/05/15 (金)	3	(演習) 地域看護過程 (地域の健康課題の明確化①)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
11	2026/05/15 (金)	4	(演習) 地域看護過程 (地域の健康課題の明確化②)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
12	2026/05/21 (木)	1	(演習) 地域看護過程 (地域の健康課題と根拠の発表の準備①)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
13	2026/05/21 (木)	2	(演習) 地域看護過程 (地域の健康課題と根拠の発表の準備②)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
14	2026/05/28 (木)	1	(演習) 地域看護過程 (地域の健康課題と根拠の発表①)	演習	前：発表に必要な準備を行う。 後：発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行う。 前後各30分	全員
15	2026/05/28 (木)	2	(演習) 地域看護過程 (地域の健康課題と根拠の発表②)	演習	前：発表に必要な準備を行う。 後：発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行う。 前後各30分	全員
16	2026/07/30 (木)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験 (40%)、地域看護過程演習のグループでの発表 (10%)、グループでの提出物 (10%)、個人レポート (20%)、授業振り返り (AIDLE-Kへの入力) および演習への参加姿勢 (20%) を総合的に評価する。
------	---

教科書・参考書	教科書： 1 鳩野洋子・神庭純子編(2024)：「第6版 公衆衛生看護学.jp」、インターメディカル出版、定価5,280円（税込み） 2 厚生労働統計協会編(2024)：「国民衛生の動向(2024/2025)」、厚生労働統計協会出版、定価2,970円（税込み） 参考書： 講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 出席管理システム（講義・演習開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。講義・演習終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。2コマ連続の講義・演習の場合は、1コマ目と2コマ目の間の打刻もする。 2 30分以上の遅刻または早退は、欠席とみなす。 3 遅刻または早退2回で、欠席1回とみなす。 4 授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とする。 5 授業中の録音および写真撮影は禁ずる。 6 単位取得について （1）出席は3分の2以上とする。 （2）定期試験および提出物の合計点が合格点に達すること。不合格者に再試験（1回）を課す。不合格の場合は次年度に再履修する。 （3）病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 7 個人レポートには教員からの講評を記載する。 8 定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	浅野 いずみ 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階 N251研究室 若杉 里実 月曜日 16：10～17：40 C棟5階 教授室4 二村 純子 金曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階 N453研究室
備考	〔実務〕 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	公衆衛生看護学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Public Health Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	必修<Ｂ組>		
開講学年次	３学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 浅野 いずみ
教 授	若杉 里実
講 師	二村 純子

科目概要	地域診断は、対象が生活する地域の特性を体系的に把握し、その地域に内在する健康課題および地域生活・社会生活に関わる支援ニーズを明確化し、地域の強みや資源を活かしつつ、課題解決に向け適切な支援の方向性を導く基盤を形成するものである。 「公衆衛生看護学Ⅰ」で学修した、ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア、エンパワメントの理論を基盤として、コミュニティをアセスメントし、地域の健康課題に応える地域看護計画を作成・実践・評価する過程について学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目標	１ 地域診断の概念と地域保健活動に用いる理論と方法を理解し、説明できる。「DP：１～６」 ２ 地域看護の視点からコミュニティのアセスメント、地域看護計画の策定、実践、評価の過程を理解し、説明できる。「DP：１～６」 ３ 演習では、コミュニティのアセスメントを通して、健康問題・課題を抽出することができる。「DP：５」 ４ 演習を振り返り、コミュニティのアセスメントを批判的・発展的・論理的に洞察できる。「DP：５」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/09 (木)	1	地域診断の概念と地域保健活動に用いる理論 (コミュニティのアセスメント、地域看護過程、コミュニティ・アズ・パートナーモデル)	講義	前：教p123-159を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	浅野 いずみ
2	2026/04/16 (木)	1	地域看護過程 (健康指標、人口構成、疾病構造、保健医療福祉に関する基本的統計、地域の歴史・文化・生活・環境に関する情報、社会資源情報、アセスメント、ヘルス・ニーズ、地域看護計画、評価)	講義	前：教p123-159を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各30分	浅野 いずみ
3	2026/04/16 (木)	2	(演習) 地域看護過程(既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集①)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
4	2026/04/23 (木)	1	(演習) 地域看護過程(既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集②)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
5	2026/04/23 (木)	2	(演習) 地域看護過程(既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集とまとめ①)	演習	前後：演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員

6	2026/04/30 (木)	1	(演習)地域看護過程 (行政職員から地域についての情報収集)	講義	前後: 演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	ゲストスピーカー
7	2026/04/30 (木)	2	(演習)地域看護過程 (既存のヘルス・データ、地域の資源や生活する人々の情報収集のまとめ②)	演習	前後: 演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
8	2026/05/08 (金)	1	(演習)地域看護過程 (地域のヘルス・ニーズの明確化①)	演習	前後: 演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
9	2026/05/08 (金)	2	(演習)地域看護過程 (地域のヘルス・ニーズの明確化②)	演習	前後: 演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
10	2026/05/14 (木)	1	(演習)地域看護過程 (地区踏査①)	演習	前後: 演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
11	2026/05/14 (木)	2	(演習)地域看護過程 (地区踏査②)	演習	前後: 演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
12	2026/05/21 (木)	1	(演習)地域看護過程 (地域の健康課題と根拠の発表の準備①)	演習	前後: 演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
13	2026/05/21 (木)	2	(演習)地域看護過程 (地域の健康課題と根拠の発表の準備②)	演習	前後: 演習に必要な資料を確認、情報収集、情報の整理を行う 前後各30分	全員
14	2026/05/28 (木)	1	(演習)地域看護過程 (地域の健康課題と根拠の発表①)	演習	前: 発表に必要な準備を行う。 後: 発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行う。 前後各30分	全員
15	2026/05/28 (木)	2	(演習)地域看護過程 (地域の健康課題と根拠の発表②)	演習	前: 発表に必要な準備を行う。 後: 発表によって得た意見や他グループから得られた学びの整理を行う。 前後各30分	全員
16	2026/07/30 (木)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験(40%)、地域看護過程演習のグループでの発表(10%)、グループでの提出物(10%)、個人レポート(20%)、授業振り返り(AIDLE-Kへの入力)および演習への参加姿勢(20%)を総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書: 1 鳩野洋子・神庭純子編(2024):「第6版 公衆衛生看護学.jp」、インターメディカル出版、定価5,280円(税込み) 2 厚生労働統計協会編(2024):「国民衛生の動向(2024/2025)」、厚生労働統計協会出版、定価2,970円(税込み) 参考書: 講義中に提示する。
履修上の注意点及び取扱い	1 出席管理システム(講義・演習開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出席の確認をする。講義・演習終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。2 コマ連続の講義・演習の場合は、1コマ目と2コマ目の間の打刻もする。 2 30分以上の遅刻または早退は、欠席とみなす。 3 遅刻または早退2回で、欠席1回とみなす。

	4 授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とする。 5 授業中の録音および写真撮影は禁ずる。 6 単位取得について (1) 出席は3分の2以上とする。 (2) 定期試験および提出物の合計点が合格点に達すること。不合格者に再試験（1回）を課す。不合格の場合は次年度に再履修する。 (3) 病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 7 個人レポートには教員からの講評を記載する。 8 定期試験のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	浅野 いずみ 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階 N251研究室 若杉 里実 月曜日 16：10～17：40 C棟5階 教授室4 二村 純子 金曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階 N453研究室
備考	[実務] 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ▪ 最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	地域・在宅看護論Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Community Care NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
准 教 授	白井 裕子
講 師	伊藤 寿英
助 教	柴田 竹晴
助 教	曾 雌 哲也
講 師(非)	藤野 泰平

科目概要	「地域・在宅看護論」は、地域で生活する人とその家族を理解し、さまざまな暮らしの場で、健康と暮らしを支える看護実践を学ぶ看護科目である。本科目は、病いや障がいをもっているも、自宅や自宅に代わる生活の場で、その人なりの健康を主体的に生きる生活者と家族の健康と暮らしを理解した看護活動を基盤とする在宅看護学の考え方に、暮らしの場である生活環境やコミュニティの特性を活かし、幅広い看護実践を学ぶ。本「地域・在宅看護論Ⅰ」および「地域・在宅看護論Ⅱ」では、地域環境やコミュニティの特性を活かし在宅看護学に必要な内容を教授するため、両科目の単元や内容において、在宅看護という表現を用いている。本科目および「地域・在宅看護論Ⅱ」で在宅看護と呼称する際には、生活環境やコミュニティの要素が含まれていることを理解しておく。 地域・在宅看護を取り巻く社会状況を理解し、在宅看護に必要な概念や理念および基盤となる考え方を学修する。訪問看護サービスを利用する当事者との対話や実践者とのディスカッションを通して、在宅看護の対象と必要な実践を具体的にイメージする。更に在宅看護実践方法の概要について学び、在宅看護の新たな発展と今後の課題について検討する。
目標	1 在宅ケアが必要な社会状況を説明できる。[DP：1～4] 2 在宅看護を構成する主要な概念を説明できる。[DP：1～3・5] 3 在宅看護の対象特性を説明できる。[DP：1～4] 4 在宅看護実践の基盤となる理論や考え方を述べることができる。[DP：1～5] 5 在宅看護の実践方法を説明できる。[DP：1～6] 6 在宅看護における看護連携や他職種協働の必要性とケアマネジメントについて説明できる。[DP：1～6] 7 在宅ケアにおける医療ニーズが高い人やライフステージにあわせた看護を説明できる。[DP：1～6]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/09 (木)	2	講義ガイダンス 在宅ケアが必要とされる社会状況、在宅看護を構成する主要な概念、在宅看護の理念、在宅看護の対象	講義	前：教科書1、P21-30、P33-40、56-63、を読む。 厚生労働省の人口動態と在宅医療に関する頁を調べ、在宅ケアの必要性を考える。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-KIに提出する。 前後各30分	佐々木 裕子
2	2026/04/14 (火)	2	在宅看護実践への理論応用 1) ウェルネス志向とストレンクスモデル	講義	前：教科書1、P265-267を読む。ヘルスプロモーション論を復習する。ウェルネ	佐々木 裕子

					ス志向やストレングス視点の既修の学びを復習する。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	
3	2026/04/24 (金)	1	在宅看護実践への理論応用 2) 協働的パートナーシップ	講義	前：教科書1、P69-74、P266を読む。ヘルスプロモーション論のパートナーシップを復習しておく。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木 裕子
4	2026/04/24 (金)	2	在宅看護実践への理論応用 3) ICFの活用	講義	前：教科書1、P73-74、207-208を読む。教科書2、P27-30、既修のICFについて復習しておく。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木 裕子
5	2026/05/15 (金)	2	在宅看護実践方法 1) 生活者へのケア 生活者、社会生活者、生活支援	講義	前：教科書1、15-20、56、63-66、107-117を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木 裕子
6	2026/05/22 (金)	2	在宅看護実践方法 2) 家族単位のケア 介護を行う家族成員を生活者として支える 介護を行う家族成員への支援方法	講義	前：教科書1、P118-136を読む。家族看護学を復習する。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木 裕子
7	2026/05/26 (火)	1	在宅看護実践方法 3) 生活環境へのケア 環境の理解、自宅の生活環境を整えるケア、地域づくり	講義	前：教科書1、P33-45、88-94、教科書2、P86-90を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井 裕子
8	2026/05/29 (金)	2	在宅ケアマネジメント 1) ケアマネジメントの実際	講義	前：提示された事前課題に取り組む 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出①） 講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井 裕子 ゲストスピーカー
9	2026/06/19 (金)	2	在宅ケアマネジメント 2) 在宅ケアシステム、他職種連携・協働、ケアマネジメント	講義	前：教科書1、P157-183を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 P184-219を読む。 前後各30分	白井 裕子
10	2026/06/23 (火)	3	在宅における医療ニーズの高い人と家族への看護 1) 社会状況、医療ニーズの高い人と家族の理解、医療ケア・ケアシステムの特徴	講義	前：教科書2、P150-152、P153-176を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	白井 裕子
11	2026/07/03 (金)	2	在宅における医療ニーズが高い人と家族への看護 2) 在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、気管切開・気管内吸引、経管栄養、医療ニーズの高い人と家族への在宅看護実践	講義	前：教科書2、10回目の講義資料を復習する。P177-229を読む。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	柴田 竹晴
12	2026/07/09 (木)	4	在宅でのライフサイクルに応じた看護 社会状況、ニーズ、小児・成人・高齢者への看護の特徴と実際、ケアシステムと課題	講義	前：生涯発達論・家族看護論の既修の学びを活かす。 教科書1、220-222、教科書2、279-283、290-292、254-257、284-286を読む。	伊藤 寿英

					後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	
13	2026/07/16 (木)	3	在宅看護の対象理解 当事者に学ぶ在宅看護	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②）。 前後各30分	佐々木 裕子 白井 裕子 伊藤 寿英 柴田 竹晴 曾雌 哲也 ゲストスピーカー
14	2026/07/16 (木)	4	在宅看護の対象理解 当事者に学ぶ在宅看護	演習	前：提示された事前課題に取り組む。 後：提示された事後課題に取り組む（レポート提出②）。講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	佐々木 裕子 白井 裕子 伊藤 寿英 柴田 竹晴 曾雌 哲也 ゲストスピーカー
15	2026/07/21 (火)	2	在宅看護実践の実際・まとめ 看護の可能性の拡大、新たな看護の挑戦	講義	前：講義1-14を振り返る。 教科書1、P250-259を読む。 在宅ケア事業所のHP等から多様な事業について調べる。 後：講義の要点を整理し、AIDLE-Kに提出する。 前後各30分	藤野 泰平 佐々木 裕子
16	2026/07/31 (金)	3	定期試験			佐々木 裕子 白井 裕子 伊藤 寿英 柴田 竹晴 曾雌 哲也

評価方法	1 定期試験85% 課題レポート10%、授業への参加態度5%で評価する。 2 課題レポートの提出は全2回。配点は①5点、②5点とする。 3 授業への参加態度は、AIDLE-Kに提出された事後課題を評価する。15回提出された場合は5点、13-14回は4点、11-12回は3点、9-10回は2点、8回は1点、7回以下は0点とする。記述の内容が指示された課題とは異なる場合、提出とは認めない。提出期限は、講義翌日の13:00までとする					
教科書・参考書	教科書：地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱで、同じ教科書を使用する 1 石田千絵他 編（2025）「地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」第8版、メディカ出版、3,410円（税込み） 2 石田千絵他 編（2025）「地域・在宅看護論②地域療養を支える技術」第3版、メディカ出版、3,630円（税込み） 参考書： 1 L. N. Gottlieb、ほか著・吉本照子監訳（2007）「協働的パートナーシップによるケア」エルゼピアジャパン、定価3,740円 2 K. M. Stolte著・小西恵美子他訳（2008）「健康増進のためのウェルネス看護診断」南江堂、定価3,080円 3 L. N. Gottlieb著、白石裕子翻訳（2020）「ストレングスにもとづく看護ケア 第1巻理論編」看護の科学社、定価1,655円 4 L. N. Gottlieb著、白石裕子翻訳（2020）「ストレングスにもとづく看護ケア 第2巻テクニック編」看護の科学社、定価3,300円 5 L. N. Gottlieb著、白石裕子翻訳（2020）「ストレングスにもとづく看護ケア 第3巻実践編」看護の科学社、定価2,200円 6 厚生労働省統計協会編：国民衛生の動向2025/2026、定価3,740円（税込み） その他随時紹介する。					
履修上の注意点 及び取扱い	1 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる 2 出席管理システムにより出席の確認をする 3 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない 4 定期試験の不合格者に対して再試験を1回行う 5 レポートのフィードバックはAIDLE-KにUPする					
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15:45～17:15 看護学部棟3階N352研究室 白井 裕子 月曜日 15:45～17:15 C棟5階個人研究室② 伊藤 寿英 月曜日 15:45～17:15 看護学部棟3階N373研究室 柴田 竹晴 月曜日 15:45～17:15 看護学部棟3階N374研究室 曾雌 哲也 月曜日 15:45～17:15 看護学部棟3階N369研究室					
備考	「実務」 地域・在宅看護で看護師としての実務経験をもつ教員が、訪問看護を利用して生活している人とその家族の理解					

および在宅看護援助を行うための基本的な能力について教育を行う。
研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	地域・在宅看護論Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
(英文名)	Community Care Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	必修< A組>		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
准 教 授	白井 裕子
講 師	伊藤 寿英
助 教	柴田 竹晴
助 教	曾 雌 哲也

科目概要	「地域・在宅看護論Ⅰ」で学修した内容を基盤にして、自宅や自宅に代わる生活の場で、その人なりの健康を主体的に生きる生活者と家族の健康と生活を理解し、ヘルスプロモーションと家族看護を基盤に対象のQOL向上を支える在宅看護方法を学修する。地域で多職種連携・協働で展開される在宅ケア活動の特徴を理解し、訪問看護師の役割を学修する。また、在宅ケア利用者と家族の自己実現を支える在宅ケアサービスのあり方や在宅ケアシステムの発展について考察する。
目標	1 在宅看護の生活支援方法が説明できる。「DP：1～3・5」 2 在宅看護において看護倫理をふまえた実践の考え方を説明できる。「DP：1～2・5」 3 在宅看護に必要なケア方法や看護実践の実際を説明することができる。「DP：1～3・5」 4 在宅看護の特徴やケアシステムにおける課題を説明できる。「DP：3～4」 5 ウェルネス志向で強みを活かし地域で展開する在宅看護実践に必要な看護過程を展開できる。「DP：2～3・5」 6 地域で展開する訪問看護の看護管理・運営に必要な内容について説明できる。「DP：4」 7 訪問看護の実際から生活課題と在宅ケアシステムにおける課題を論じることができる。「DP：4・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/07 (月)	3	在宅における生活支援① 自立/自律支援、生活の継続的支援	講義	前：教科書 1 P. 68-74を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-KIに提出する 前後各120分	佐々木 裕子
2	2026/09/07 (月)	4	在宅における生活支援② 倫理的実践	講義	前：教科書 1 P. 75-78を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-KIに提出する 前後各120分	白井 裕子
3	2026/09/10 (木)	2	在宅における生活支援③ 日常生活活動への支援	講義	前：教科書 2 P. 104-133を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-KIに提出する 前後各120分	柴田 竹晴
4	2026/09/14 (月)	1	在宅看護演習① 日常生活におけるケアの工夫（方法の検討）	演習	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出	柴田 竹晴 佐々木 裕子 白井 裕子

					①) 前後各120分	伊藤 寿英 曾雌 哲也
5	2026/09/14 (月)	2	在宅看護演習① 日常生活におけるケアの工夫（実施と評価）	演習	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ①） 前後各120分	柴田 竹晴 佐々木 裕子 白井 裕子 伊藤 寿英 曾雌 哲也
6	2026/09/25 (金)	2	在宅における看護実践① 精神障がいがある人と家族への支援	講義	前：教科書 2 P. 46-47, 276-279を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木 裕子
7	2026/10/01 (木)	3	在宅における看護実践② 難病をもち在宅で過ごす人と家族への支援	講義	前：教科書 2 P. 47-49, 267-271を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤 寿英
8	2026/10/01 (木)	4	在宅における看護実践③ 人生の終焉を生きる人と家族への支援	講義	前：教科書 2 P. 64-70, 264-267, 287-290を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木 裕子
9	2026/10/02 (金)	3	在宅における看護実践④ 認知症のある人と家族への支援	講義	前：教科書 2 P. 44-46, 258-260 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤 寿英
10	2026/10/02 (金)	4	在宅看護における管理① 在宅における災害対策と安全管理	講義	前：教科書 1 P. 240-248 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木 裕子 伊藤 寿英
11	2027/01/04 (月)	2	在宅看護における管理② 訪問看護ステーションの管理と運営	講義	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ②） 前後各120分	佐々木 裕子 ゲストスピー カー
12	2027/01/05 (火)	2	在宅看護演習② 看護過程の展開（情報整理とアセスメント）	演習	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ③） 前後各120分	伊藤 寿英 佐々木 裕子 白井 裕子 柴田 竹晴 曾雌 哲也
13	2027/01/08 (金)	1	在宅看護演習② 看護過程の展開（計画立案）	演習	提示された事前課題に取り 組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ③） 前後各120分	伊藤 寿英 佐々木 裕子 白井 裕子 柴田 竹晴 曾雌 哲也
14	2027/01/08 (金)	2	在宅看護演習② 看護過程の展開（評価）	演習	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ③） 前後各120分	伊藤 寿英 佐々木 裕子 白井 裕子 柴田 竹晴 曾雌 哲也
15	2027/01/13 (水)	2	地域包括ケアシステムにおける在宅看護の実際と課 題 実践者とのディスカッション	講義	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ④） 前後各120分	佐々木 裕子 ゲストスピー カー
16	2027/01/20 (水)	3	定期試験			白井 裕子 佐々木 裕子

						伊藤 寿英 柴田 竹晴 曾雌 哲也
評価方法	1 定期試験70% 課題レポート25%、授業への参加態度5%で評価する。 2 課題レポートの提出は全4回。配点は①5点、②5点、③10点、④5点とする。 3 授業への参加態度は、AIDLE-Kに提出された事後課題（全8回）を評価する。8回提出された場合は5点、7回は4点、6回は3点、5回は2点、4回は1点、3回以下は0点とする。記述の内容が指示された課題とは異なる場合、提出とは認めない。また講義に出席した場合に提出できるものとする。提出期限は、講義翌日の12：00までとする。					
教科書・参考書	教科書：地域・在宅看護論Ⅰと同じ教科書を使用する。 1 石田千絵他 編（2025）「地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」第8版、メディカ出版、3,410円（税込み） 2 石田千絵他 編（2025）「地域・在宅看護論②地域療養を支える技術」第3版、メディカ出版、3,630円（税込み） 参考書：その他随時紹介する。					
履修上の注意点 及び取扱い	1 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出席管理システムにより出席の確認をする。 3 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない。 4 定期試験の不合格者に対して再試験を1回行う。 5 レポートのフィードバックはAIDLE-KにUPする。 6 定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。					
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 白井 裕子 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室② 伊藤 寿英 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N373研究室 柴田 竹晴 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N374研究室 曾雌 哲也 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N369研究室					
備考	〔実務〕 看護師として在宅看護の実務経験のある教員が、在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族の理解、在宅看護援助を行う基本的な能力について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。					

講義名	地域・在宅看護論Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
(英文名)	Community Care Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	必修<Ｂ組>		
開講学年次	３学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
准 教 授	白井 裕子
講 師	伊藤 寿英
助 教	柴田 竹晴
助 教	曾雌 哲也

科目概要	「地域・在宅看護論Ⅰ」で学修した内容を基盤にして、自宅や自宅に代わる生活の場で、その人なりの健康を主体的に生きる生活者と家族の健康と生活を理解し、ヘルスプロモーションと家族看護を基盤に対象のQOL向上を支える在宅看護方法を学修する。地域で多職種連携・協働で展開される在宅ケア活動の特徴を理解し、訪問看護師の役割を学修する。また、在宅ケア利用者と家族の自己実現を支える在宅ケアサービスのあり方や在宅ケアシステムの発展について考察する。
目標	1 在宅看護の生活支援方法が説明できる。「DP：１～３・５」 2 在宅看護において看護倫理をふまえた実践の考え方を説明できる。「DP：１～２・５」 3 在宅看護に必要なケア方法や看護実践の実際を説明することができる。「DP：１～３・５」 4 在宅看護の特徴やケアシステムにおける課題を説明できる。「DP：３～４」 5 ウェルネス志向で強みを活かし地域で展開する在宅看護実践に必要な看護過程を展開できる。「DP：２～３・５」 6 地域で展開する訪問看護の看護管理・運営に必要な内容について説明できる。「DP：４」 7 訪問看護の実際から生活課題と在宅ケアシステムにおける課題を論じることができる。「DP：４・６」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/07 (月)	3	在宅における生活支援① 自立/自律支援、生活の継続的支援	講義	前：教科書 1 P. 68-74を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-KIに提出する 前後各120分	佐々木 裕子
2	2026/09/07 (月)	4	在宅における生活支援② 倫理的実践	講義	前：教科書 1 P. 75-78を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-KIに提出する 前後各120分	白井 裕子
3	2026/09/10 (木)	2	在宅における生活支援③ 日常生活活動への支援	講義	前：教科書 2 P. 104-133を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-KIに提出する 前後各120分	柴田 竹晴
4	2026/09/14 (月)	3	在宅看護演習① 日常生活におけるケアの工夫（方法の検討）	演習	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出	柴田 竹晴 佐々木 裕子 白井 裕子

					①) 前後各120分	伊藤 寿英 曾雌 哲也
5	2026/09/14 (月)	4	在宅看護演習① 日常生活におけるケアの工夫（実施と評価）	演習	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ①） 前後各120分	柴田 竹晴 佐々木 裕子 白井 裕子 伊藤 寿英 曾雌 哲也
6	2026/09/25 (金)	2	在宅における看護実践① 精神障がいがある人と家族への支援	講義	前：教科書 2 P. 46-47, 276-279を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木 裕子
7	2026/10/01 (木)	3	在宅における看護実践② 難病をもち在宅で過ごす人と家族への支援	講義	前：教科書 2 P. 47-49, 267-271を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤 寿英
8	2026/10/01 (木)	4	在宅における看護実践③ 人生の終焉を生きる人と家族への支援	講義	前：教科書 2 P. 64-70, 264-267, 287-290を読む 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木 裕子
9	2026/10/02 (金)	3	在宅における看護実践④ 認知症のある人と家族への支援	講義	前：教科書 2 P. 44-46, 258-260 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	伊藤 寿英
10	2026/10/02 (金)	4	在宅看護における管理① 在宅における災害対策と安全管理	講義	前：教科書 1 P. 240-248 後：講義の要点を整理し、 AIDLE-Kに提出する 前後各120分	佐々木 裕子 伊藤 寿英
11	2027/01/04 (月)	2	在宅看護における管理② 訪問看護ステーションの管理と運営	講義	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ②） 前後各120分	白井 裕子 ゲストスピー カー
12	2027/01/05 (火)	2	在宅看護演習② 看護過程の展開（情報整理とアセスメント）	演習	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ③） 前後各120分	伊藤 寿英 佐々木 裕子 白井 裕子 柴田 竹晴 曾雌 哲也
13	2027/01/08 (金)	1	在宅看護演習② 看護過程の展開（計画立案）	演習	提示された事前課題に取り 組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ③） 前後各120分	伊藤 寿英 佐々木 裕子 白井 裕子 柴田 竹晴 曾雌 哲也
14	2027/01/08 (金)	2	在宅看護演習② 看護過程の展開（評価）	演習	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ③） 前後各120分	伊藤 寿英 佐々木 裕子 白井 裕子 柴田 竹晴 曾雌 哲也
15	2027/01/13 (水)	2	地域包括ケアシステムにおける在宅看護の実際と課 題 実践者とのディスカッション	講義	前：提示された事前課題に 取り組む 後：提示された事後課題に 取り組む（レポート提出 ④） 前後各120分	白井 裕子 ゲストスピー カー
16	2027/01/20 (水)	3	定期試験			白井 裕子 佐々木 裕子

						伊藤 寿英 柴田 竹晴 曾雌 哲也
評価方法	1 定期試験70% 課題レポート25%、授業への参加態度5%で評価する。 2 課題レポートの提出は全4回。配点は①5点、②5点、③10点、④5点とする。 3 授業への参加態度は、AIDLE-Kに提出された事後課題（全8回）を評価する。8回提出された場合は5点、7回は4点、6回は3点、5回は2点、4回は1点、3回以下は0点とする。記述の内容が指示された課題とは異なる場合、提出とは認めない。また講義に出席した場合に提出できるものとする。提出期限は、講義翌日の12：00までとする。					
教科書・参考書	教科書：地域・在宅看護論Ⅰと同じ教科書を使用する。 1 石田千絵他 編（2025）「地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア」第8版、メディカ出版、3,410円（税込み） 2 石田千絵他 編（2025）「地域・在宅看護論②地域療養を支える技術」第3版、メディカ出版、3,630円（税込み） 参考書：その他随時紹介する。					
履修上の注意点 及び取扱い	1 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出席管理システムにより出席の確認をする。 3 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない。 4 定期試験の不合格者に対して再試験を1回行う。 5 レポートのフィードバックはAIDLE-KにUPする。 6 定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。					
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 白井 裕子 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室② 伊藤 寿英 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N373研究室 柴田 竹晴 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N374研究室 曾雌 哲也 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N369研究室					
備考	〔実務〕 看護師として在宅看護の実務経験のある教員が、在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族の理解、在宅看護援助を行う基本的な能力について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。					

講義名	保健指導論（保健師課程用）		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Health Guidance		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修＜保健師課程＞		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
准 教 授	浅野 いずみ
講 師	二村 純子

科目概要	保健行動に影響を与えている要因や健康につながる行動への支援など、主に個人・家族を対象とした様々な保健行動に関する理論と保健指導方法を学ぶ。更に、個人・家族を対象とした保健指導計画の作成・実施・評価のプロセスの実際について学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目標	1 保健行動に影響を与えているさまざまな要因について述べることができる。「DP：1・2・4・5」 2 個人・家族を対象とした保健行動に関する理論について述べることができる。「DP：1・2・4・5」 3 個人・家族を対象とした行動変容に関する理論について述べることができる。「DP：1・2・4・5」 4 保健指導方法である健康相談、健康診査、家庭訪問の特徴とプロセスを理解し、実施できる。「DP：1～6」 5 保健指導の計画作成、実施、評価のプロセスを理解し、実施できる。「DP：1～6」 6 演習では、対象者の発達段階、生活習慣・価値観・歴史・文化・伝統・環境等、疾病状態、健康状態をふまえ、対象者のセルフケア能力向上に向けた援助計画を立案することができる。「DP：1～6」 7 看護倫理に基づいた演習を実践し、評価することができる。「DP：1～6」 8 演習を振り返り、より効果的な保健指導のあり方を批判的・発見的・論理的に洞察できる。「DP：1～6」 9 保健指導における調査・研究について述べることができる。「DP：6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/08 (火)	2	保健行動に関する理論(予防的健康行動、疾病役割行動)	講義	前：教 p 94－107を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
2	2026/09/09 (水)	1	行動変容に関する理論(行動変容モデル、社会学習理論、ソーシャルサポート)	講義	前：教 p 94－107を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
3	2026/09/09 (水)	2	保健指導方法と技術 1：健康診査 (健康診査の目的、意義、対象、概要、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、乳幼児健康診査のプロセス、継続支援)	講義 VTR視聴	前：教 p 231-239を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子
4	2026/09/16 (水)	1	保健指導方法と技術 1：乳幼児健康診査の展開(乳幼児の発達、保健指導、評価、継続支援)	講義 VTR視聴	前：教 p 265-267を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子
5	2026/09/16 (水)	2	(演習)保健指導方法と技術 1：乳幼児健康診査の展開(乳幼児健康診査の問診、評価)	演習 GW	前：母子健康診査マニュアルの資料を読む 後：母子健康診査マニュアルの資料を基に、演習を振	全員

					り返る 前後各120分	
6	2026/09/18 (金)	1	保健指導方法と技術2：健康相談(目的、意義、対象、概要と特徴、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、継続支援)	講義	前：教 p 211-218を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。個別事例のアセスメントと健康相談計画を立案する。 前後各120分	浅野 いずみ
7	2026/09/24 (木)	1	(演習)保健指導方法と技術2：健康相談プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、相談計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前：教 p 211-218を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。個別事例のアセスメントと健康相談計画を修正する。 前後各120分	全員
8	2026/09/24 (木)	2	(演習)保健指導方法と技術2：健康相談プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、相談計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
9	2026/09/30 (水)	1	健康相談シミュレーション	演習 SIM	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康相談のSIMを振り返る 前後各120分	全員
10	2026/09/30 (水)	2	健康相談シミュレーション	演習 SIM	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康相談のSIMを振り返る 前後各120分	全員
11	2027/01/05 (火)	1	保健指導方法と技術3：家庭訪問(目的、意義、対象、概要と特徴、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、継続支援)	講義 VTR視聴	前：教 p 199-210を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
12	2027/01/07 (木)	1	(演習)保健指導方法と技術3：家庭訪問プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、訪問計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前：教 p 199-210と講義資料から、演習に必要なところを読み返す 後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
13	2027/01/07 (木)	2	(演習)保健指導方法と技術3：家庭訪問プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、訪問計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
14	2027/01/14 (木)	1	家庭訪問シミュレーション	演習 SIM	前：演習に必要な資料を調べる 後：家庭訪問の観察の視点を復習する 前後各120分	全員
15	2027/01/14 (木)	2	家庭訪問シミュレーション	演習 SIM	前：演習に必要な資料を調べる 後：家庭訪問の観察の視点を復習する 前後各120分	全員
16	2027/01/19 (火)	2	定期試験			全員

評価方法	定期試験(40%)、演習の評価基準(乳幼児健康診査の個人レポート10%、健康相談演習のグループレポート10%、個人レポート10%、家庭訪問演習のグループレポート20%、演習への参加態度10%)に則し、総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書：1 鳩野洋子・神庭純子編(2024)：公衆衛生看護学.jp、第6版、インターメディカル出版、定価5,280円(税込み) 2 厚生労働統計協会編(2026)：「国民衛生の動向(2026/2027)」、厚生労働統計協会出版、定価3,740円(税込)

	み) 参考書：講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 出席管理システムにより、出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計2回、打刻する。 2 30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 3 遅刻または早退2回で欠席1回とみなす。 4 授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とする。 5 講義の録音および写真撮影は禁ずる。 6 単位取得について (1) 出席は3分の2以上とする。 (2) 定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は1回とする。不合格の場合は次年度に再履修する。 (3) 病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 7 定期試験終了後のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	若杉 里実 月曜日 16：10～17：40 C棟5階 教授室4 浅野 いずみ 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階 N251研究室 二村 純子 金曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階 N453研究室
備考	〔実務〕 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	保健指導論（看護師課程用）		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
（英文名）	Health Guidance		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修＜看護師課程＞		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
准 教 授	浅野 いずみ
講 師	二村 純子

科目概要	保健行動に影響を与えている要因や健康につながる行動への支援など、主に個人・家族を対象とした様々な保健行動に関する理論と保健指導方法を学ぶ。更に、個人・家族を対象とした保健指導計画の作成・実施・評価のプロセスの実際について学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目 標	1 保健行動に影響を与えているさまざまな要因について述べるができる。「DP：1・2・4・5」 2 個人・家族を対象とした保健行動に関する理論について述べるができる。「DP：1・2・4・5」 3 個人・家族を対象とした行動変容に関する理論について述べるができる。「DP：1・2・4・5」 4 保健指導方法の特徴とプロセスを理解し、健康相談、家庭訪問の実施ができる。「DP：1～6」 5 保健指導の計画作成、実施、評価のプロセスを理解し、実施できる。「DP：1～6」 6 演習では、対象者の発達段階、生活習慣・価値観・歴史・文化・伝統・環境等、疾病状態、健康状態をふまえ、対象者のセルフケア能力向上に向けた援助計画を立案することができる。「DP：1～6」 7 看護倫理に基づいた演習を実践し、評価することができる。「DP：1～6」 8 演習を振り返り、より効果的な保健指導のあり方を批判的・発展的・論理的に洞察できる。「DP：1～6」 9 保健指導における調査・研究について述べるができる。「DP：6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/08 (火)	2	保健行動に関する理論(予防的健康行動、疾病役割行動)	講義	前：教 p 94－107を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
2	2026/09/09 (水)	1	行動変容に関する理論(行動変容モデル、社会学習理論、ナッジの手法、ソーシャルサポート)	講義	前：教 p 94－107を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
3	2026/09/09 (水)	2	保健指導方法と技術 1：健康診査 (健康診査の目的、意義、対象、概要、社会資源の活用、他機関・他職種との連携)	講義 VTR視聴	前：教 p 231-239を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子
4	2026/09/16 (水)	3	保健指導方法と技術 1：乳幼児健康診査の展開(乳幼児の発達、記録、評価、継続支援)	講義 VTR視聴	前：教 p 265-267を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子

5	2026/09/16 (水)	4	(演習)保健指導方法と技術2：健康相談の案内の作成(ナッジの手法)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	若杉 里実
6	2026/09/18 (金)	1	保健指導方法と技術2：健康相談(目的、意義、対象、概要と特徴、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、継続支援)	講義	前：教p211-218を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。個別事例のアセスメントと健康相談計画を立案する。 前後各120分	浅野 いずみ
7	2026/09/24 (木)	3	(演習)保健指導方法と技術2：健康相談プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、相談計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前：教p211-218を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める。個別事例のアセスメントと健康相談計画を修正する。 前後各120分	全員
8	2026/09/24 (木)	4	(演習)保健指導方法と技術2：健康相談プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、相談計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
9	2026/09/30 (水)	3	健康相談ロールプレイ	演習	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康相談のロールプレイを振り返る 前後各120分	全員
10	2026/09/30 (水)	4	健康相談ロールプレイ	演習	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康相談のロールプレイを振り返る 前後各120分	全員
11	2027/01/05 (火)	1	保健指導方法と技術3：家庭訪問(目的、意義、対象、概要と特徴、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、継続支援)	講義 VTR視聴	前：教p199-210を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
12	2027/01/07 (木)	3	(演習)保健指導方法と技術3：家庭訪問プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、訪問計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前：教p199-210と演習に必要なところを読み返す 後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
13	2027/01/07 (木)	4	(演習)保健指導方法と技術3：家庭訪問プロセスの展開 (個別事例のアセスメント、訪問計画作成、実施、社会資源の活用、他機関・他職種との連携、記録、評価、継続支援)	演習 GW	前後：演習に必要な資料を調べる 前後各120分	全員
14	2027/01/13 (水)	3	家庭訪問ロールプレイ	演習	前：演習に必要な資料を調べる 後：家庭訪問のロールプレイを振り返る 前後各120分	全員
15	2027/01/13 (水)	4	家庭訪問ロールプレイ	演習	前：演習に必要な資料を調べる 後：家庭訪問のロールプレイを振り返る 前後各120分	全員
16	2027/01/19 (火)	2	定期試験			全員

評価方法	定期試験(40%)、演習の評価基準(グループでの健康相談の案内文作成10%、健康相談演習のグループレポート10%、個人レポート10%、家庭訪問演習のグループレポート20%、演習への参加態度10%)に則し、総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書：1 鳩野洋子・神庭純子編(2024)：公衆衛生看護学.jp、第6版、インターメディカル出版、定価5,280円(税込み) 2 厚生労働統計協会編(2026)：「国民衛生の動向(2026/2027)」、厚生労働統計協会出版、定価3,740円(税込)

	み) 参考書：講義中に提示する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 出席管理システムにより、出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計2回、打刻する。 2 30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 3 遅刻または早退2回で欠席1回とみなす。 4 授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とする。 5 講義の録音および写真撮影は禁ずる。 6 単位取得について (1) 出席は3分の2以上とする。 (2) 定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は1回とする。不合格の場合は次年度に再履修する。 (3) 病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 7 定期試験終了後のフィードバックは希望者に行う（事前にアポイントメントをとること）。
オフィスアワー	若杉 里実 月曜日 16：10～17：40 C棟5階 教授室4 浅野 いずみ 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階 N251研究室 二村 純子 金曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階 N453研究室
備考	〔実務〕 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。
	研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	学校看護学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	School Health Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	看護師課程…選択 保健師課程…必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
講 師(非)	藤本 美法
講 師(非)	大島 亜友美

科目概要	現代の児童生徒が抱える健康課題とその背景を理解し、学校で展開されている保健教育、保健管理、保健組織活動、保健室経営、学校保健関係者との連携協働等、養護教諭の学校看護活動について学修する。
目標	1 学校における看護活動を展開するために、児童生徒の健康課題やその背景を理解し、述べることができる。 「DP：1・2」 2 児童生徒及び職員の健康の保持増進を目的とした保健教育、保健管理、保健組織活動について説明できる。 「DP：1～5」 3 養護教諭の職の特質、保健室の機能や役割について理解し、学校保健関係者との連携協働の重要性が説明できる。 「DP：1～5」 4 1から3を踏まえ、養護教諭の学校看護活動の在り方について考察できる。「DP：6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/12/18 (金)	5	講義オリエンテーション 学校保健・看護の理念と目的、養護教諭の職務と役割 (学校保健・看護の歴史、学校保健関係法規、学校保健組織、学校保健活動のしくみ、学校保健計画、養護教諭の職務)	講義	前：教科書序章から第1章を読む 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
2	2026/12/24 (木)	3	学校における保健教育・保健管理 (健康観察、健康診断、児童・生徒の心身の健康課題、健康相談、疾病の予防と管理、学校環境衛生、保健室経営)	講義	前：教科書第2から3章を読む 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
3	2026/12/24 (木)	4	学校における組織活動、学校安全、学校給食 (学校における保健組織、学校保健委員会、学校安全計画、学校における救急対応、災害時のケア、他職種・関係機関との連携)	講義	前：教科書第4から6章を読む 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
4	2026/12/25 (金)	5	小学校における学校看護活動の実際 (生徒の心身の健康課題、健康相談、保健教育、他職種・関係機関との連携)	講義	前：教科書第2から3章を読む 後：講義資料を読み、理解を深めるとともに、小学校での学校看護活動の特徴を考える 前後各120分	大島 亜友美

5	2027/01/22 (金)	4	中学校における学校看護活動の実際 (生徒の心身の健康課題、健康相談、保健教育、他職種・関係機関との連携)	講義	前：教科書第2から3章を読む 後：講義資料を読み、理解を深めるとともに、中学校での学校看護活動の特徴を考える 前後各120分	大島 亜友美
6	2027/01/22 (金)	5	学校看護活動の事例展開 (事例を通して学校看護活動の在り方について考察する)	講義	前：第1から3回目までの講義資料および教科書を読み返し、復習する 後：講義内容を振り返り、多角的視点から理解を深める 前後各120分	若杉 里実 大島 亜友美
7	2027/01/29 (金)	4	高等学校における学校看護活動の実際① (健康観察、健康診断、生徒の心身の健康課題、健康相談、他職種・関係機関との連携、養護教諭の役割)	講義	前：教科書第3章を読む 後：講義資料を読み、理解を深めるとともに、高等学校での学校看護活動の特徴を考える 前後各120分	藤本 美法
8	2027/01/29 (金)	5	高等学校における学校看護活動の実際② (疾病の予防と管理、学校環境衛生、学校安全、保健教育、保健組織活動、保健室経営、他職種・関係機関との連携、養護教諭の役割)	講義	前：教科書第2から5章を読む 後：講義資料を読み、理解を深めるとともに、高等学校での学校看護活動の特徴を考える 前後各120分	藤本 美法
9	2027/02/05 (金)	4	定期試験			若杉 里実

評価方法	定期試験80%、授業への参加度（振り返りAIDLE-K等への記入を含む）20%
教科書・参考書	教科書：1 出井美智子・采女智津江・佐藤紀久栄・松野智子著（2024）：「養護教諭のための学校保健第17版」、株式会社少年写真新聞社、定価3,080円（税込み） 参考書：講義中に提示する。
履修上の注意点及び取扱い	1 出欠席について 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席を確認するこのとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。 2 授業終了後、毎回、授業の振り返り（AIDLE-Kへの入力等）を決められた時間までに入力する。未入力者は1回ごとに減点とする。 3 定期試験について (1) 出席が3分の2以上ない場合は、定期試験の受験資格を認めない。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ実施する。 (3) 定期試験に不合格の場合は、再試験を1回実施する。 4 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	若杉 里実 月曜日 16:10～17:40 C棟5階 教授室4 藤本 美法 講義前後の時間に質問を受け付ける。 大島 亜友美 講義前後の時間に質問を受け付ける。
備考	[実務] 行政機関および学校において、保健師、養護教諭としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	産業看護学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Occupational Health Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	看護師課程…選択 保健師課程…必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
客員教授	山田 琢之
講 師(非)	小池 学
講 師(非)	浅野 しほ

科目概要	産業保健・産業看護は、働く人の健康管理・健康増進を図る科学である。事業所の労働衛生管理体制(総括管理、健康管理、作業管理、作業環境管理、労働衛生教育)を理解し、産業医、衛生管理者らと連携し産業保健計画を立案し展開する。産業保健計画の下、働く人々の個人、集団・組織を対象とした産業看護活動の展開について学修する。
目標	1 産業保健・産業看護の歴史と法的位置づけ、働く人々の健康の動向を理解し、述べることができる。「DP：1～2」 2 労働衛生管理体制（総括管理、健康管理、作業管理、作業環境管理、労働衛生教育）を理解し、述べることができる。「DP：1～6」 3 働く人々の健康を作業環境や作業の視点からとらえ、労働と健康との関係について理解し、述べることができる。「DP：1～6」 4 産業医、衛生管理者らとともに、働く人々の健康状態、作業や作業環境をもとに健康課題をとらえ、組織や集団を対象とした産業保健計画を理解し、述べることができる。「DP：1～6」 5 働く人々の心身の状態をとらえ、個人や職域・集団を対象とした看護過程の展開を理解し、述べることができる。「DP：1～6」 6 産業医、衛生管理者らとの連携を図り、働く人の心身の健康増進における看護の役割を理解し、述べることができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/12/16 (水)	3	産業保健・産業看護の動向 (産業保健・産業看護の歴史、産業保健の意義と活動、労働者の健康状態)	講義	前：産業看護職の歴史を調べる 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	若杉 里実
2	2026/12/16 (水)	4	労働衛生管理体制：総括管理、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育、衛生委員会、職場巡視	講義	前：労働（衛生）に関する行政の組織、法律（労働安全衛生法）及び労働衛生の三管理を調べる 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	山田 琢之
3	2026/12/23 (水)	3	職場における健康管理（健康診断項目の理解、産業看護職に必要な健康診断の事後措置）	講義	前：職場における健康診断項目について調べる。さらに、職域における生活習慣	山田 琢之

					病予防対策としては何が できるかを考えておく 後：講義資料を読み、理解 を深める 前後各120分	
4	2026/12/23 (水)	4	作業管理、作業環境管理の各論（熱中症、じん肺、鉛中毒、有機溶剤中毒、腰痛、騒音性難聴、照度、寒冷下での作業等）	講義	前：職業病の各論、特に熱中症、じん肺、鉛中毒、有機溶剤について調べておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	山田 琢之
5	2027/01/13 (水)	4	海外勤務者の健康管理、職場のメンタルヘルス（働く人の心の健康）、過重労働対策	講義	前：心の健康（メンタルヘルス）において、特にうつ病、うつ状態、パニック障害とは何か調べておく。また、海外で働く日本人にとって健康上何が必要かを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	小池 学
6	2027/01/13 (水)	5	働く人の個人を対象とした健康課題と看護（企業と労働者の関係、健康障害とその予防対策、労働者のQWL向上への援助）	講義	前：自分自身が産業看護職になった場合、どのように職務を進めていけばよいかを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	浅野 しほ
7	2027/01/27 (水)	3	働く人の組織、集団を対象とした健康課題と看護（産業保健計画、組織のアセスメント、看護職としての労働衛生管理体制）	講義	前：改めて産業保健、労働衛生とは何かを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	浅野 しほ
8	2027/01/27 (水)	4	産業保健活動の実際（産業保健計画、産業医、衛生管理者らとの連携協働、地域職域連携）	講義	前：自分自身が産業看護職になった場合、産業保健分野の各専門職とどのように連携するかを考えておく 後：講義資料を読み、理解を深める 前後各120分	浅野 しほ
9	2027/02/03 (水)	4	定期試験			若杉 里実

評価方法	定期試験100%
教科書・参考書	教科書： - 中央労働災害防止協会編：「労働衛生のしおり 2026年」、中央労働災害防止協会出版(2026)、定価880円(税込み) - 森晃爾編(2026)：「産業保健ハンドブック 2026年」、労働調査会出版、定価770円(税込み) 参考書： - 厚生統計協会(2025)：「国民衛生の動向2025/2026」、定価3,080円(税込み) - 日本看護協会出版会(2026)：「看護法令要覧2026」、定価4,730円(税込み) - 河野啓子編：「産業看護学第3版」、日本看護協会出版会(2025)、定価4,620円(税込み) - 森晃爾編：「産業保健マニュアル改訂8版」、南山堂(2021)、定価7,700円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	- 出欠席について 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席を確認するこのとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。 - 定期試験について - 出席が3分の2以上ない場合は、定期試験の受験資格を認めない。 - 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ実施する。 - 定期試験に不合格の場合は、再試験を1回実施する。 - 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	若杉 里実 月曜日 16:10～17:40 C棟5階 教授室4 山田 琢之 講義前後の時間に質問を受け付ける。 小池 学 講義前後の時間に質問を受け付ける。 浅野 しほ 講義前後の時間に質問を受け付ける。

備考	[実務] 行政機関および事業所において、医師・保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の体験を交えた教育を行う。 ▪ 最新の知見を取り入れて構成をしている。
----	--

講義名	健康教育論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Health Education		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	看護師課程…自由 保健師課程…必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
准 教 授	浅野 いずみ
講 師	二村 純子

科目概要	健康教育とは、対象となる人々の健康に関連した行動を理解し、健康自己管理能力の向上を援助するとともに、人々の行動やライフスタイルの改善、健康な社会環境の醸成を目指すものである。主に集団や組織を対象とした健康教育に用いる基礎理論と健康教育の企画・立案、実施、評価のプロセスの実際を学び、基礎的な看護実践能力を身につける。
目 標	1 健康教育の基礎となる理論について述べることができる。「DP：1・2・5・6」 2 健康教育の企画・立案、実施、評価のプロセスを述べることができる。「DP：1・2・5・6」 3 演習では、対象となる集団や組織のヘルスニーズを把握し、生活習慣・価値観・歴史・文化・伝統・環境等をふまえ、対象集団のセルフケア能力向上に向けた援助計画を立案することができる。「DP：1～6」 4 看護倫理に基づいた健康教育を実践し、評価することができる。「DP：1～6」 5 演習を振り返り、より効果的な健康教育のあり方を批判的・発展的・論理的に洞察できる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/06/02 (火)	3	健康教育に関する理論（KAPモデル、ヘルスビリーフモデル、プリシード・プロシードモデル、社会学習理論、変化ステージ理論、ナッジ理論）	講義	前：教 p 94-107、p 219-230を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子
2	2026/06/02 (火)	4	地域看護活動と健康教育 （法的根拠、目的、対象、企画、実施、評価のプロセス） ・対象の特性や学習目的に対応した教育方法，教育技術の理解	講義 VTR視聴	前：教 p 219-230を読む 後：教科書と講義資料を読み返し、理解を深める 前後各120分	二村 純子
3	2026/06/17 (水)	3	演習オリエンテーション 演習①：健康教育対象者の健康課題から健康教育企画書の作成 ・対象のアセスメントにより強みやニーズを把握し地域特性も踏まえた企画書の作成	演習	全：教 p 219-230と講義資料から、演習に必要なところを読み返す 後：作成した企画書の内容を資料とともに振り返る 前後各120分	全員
4	2026/06/17 (水)	4	演習②：健康教育指導案の作成 ・健康教育の目標を達成できるための適切な場，内容，方法の考案	演習 GW	前：演習に必要な資料を調べる 後：作成した指導案の内容を資料とともに振り返る 前後各120分	全員

5	2026/06/24 (水)	3	演習③：健康教育媒体の作成 ・対象者の年齢等を考慮した適切な教材の選択と作成	演習 GW	前：演習に必要な資料を調べる 後：作成した媒体内容について資料とともに振り返る 前後各120分	全員
6	2026/06/24 (水)	4	演習④：健康教育発表会の準備 ・対象者が自身の健康状態と関連付けて主体的に考えることができるための環境設定の工夫	演習 GW	前：演習に必要な資料を調べる 後：発表の仕方について、資料とともに振り返る 前後各120分	全員
7	2026/07/01 (水)	3	健康教育発表会 ・講義・実習・グループ討議等の教育技術の工夫について、実践者と対象者の立場で学びあう	演習 発表	前：演習に必要な資料を調べる 後：発表内容を多角的に振り返る 前後各120分	全員
8	2026/07/01 (水)	4	健康教育の評価 ・ストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカム評価を行い、改善案を検討する	演習 GW	前：演習に必要な資料を調べる 後：健康教育演習の目的・目標に沿って学びをまとめる 前後各120分	全員
9	2026/07/27 (月)	2	定期試験			全員
評価方法		定期試験30%、演習(演習への参加態度(振り返りの入力含む)10%、健康教育の企画書10%、媒体作成10%、健康教育の実施20%、健康教育の評価10%、個人レポート10%)を総合的に評価する。				
教科書・参考書		教科書：1 鳩野洋子・神庭純子編(2024)：公衆衛生看護学.jp、第6版、インターメディカル出版、定価5,280円(税込み) 2 厚生労働統計協会編(2024)：「国民衛生の動向(2024/2025)」、厚生労働統計協会出版、定価2,970円(税込み) 参考書：講義中に提示する。				
履修上の注意点及び取扱い		1 出席管理システム(授業開始前と終了後のカードリーダーへの打刻)により、出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計2回打刻する。 2 30分以上の遅刻または早退は欠席とみなす。 3 遅刻または早退2回で欠席1回とみなす。 4 講義・演習終了後、毎回、振り返りを決められた時間内にAIDLE-Kに入力する。未入力者は減点とする。 5 講義・演習での録音および写真撮影は禁ずる。 6 単位取得について (1) 出席は3分の2以上とする。 (2) 定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は1回とする。 (3) 病気等のやむを得ない理由以外で定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。 7 レポートには教員からの講評を記載する。 8 定期試験のフィードバックは希望者に行う(事前にアポイントメントをとること)。				
オフィスアワー		若杉 里実 月曜日 16:10~17:40 C棟5階 教授室4 浅野 いずみ 水曜日 16:10~17:40 看護学部棟2階 N251研究室 二村 純子 金曜日 16:10~17:40 看護学部棟4階 N453研究室				
備考		[実務] 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。				

講義名	母性看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Maternal NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山本 弘江
助 教	丸谷 紗穂

科目概要	母性看護学の基盤となる概念を理解し、セクシュアルヘルスリプロダクティブ・ヘルス/ライツ（SRHR）の視点を持って、看護の対象と健康課題、及び看護の役割を学修する。 また、「親になること」の発達過程にある対象と家族の特徴と看護について学修する。
目 標	1 ヒューマンセクシュアリティとセクシュアルヘルスの概念を説明できる。[DP: 1] 2 母性看護の対象とセクシュアルリプロダクティブヘルス/ライツについて、説明できる。[DP: 1] 3 母性看護の対象の特徴と健康課題について、説明できる。[DP: 1・2] 4 母性看護に関わる最新の動向と倫理について、多角的に論じることができる。[DP: 1・4] 5 周産期（妊娠期・分娩期）の生理的变化と対象の特徴を説明できる。[DP: 1・2] 6 母性・父性の発達を促し「親になること」を支える看護について、論じることができる。[DP: 1・2] 7 周産期の対象の特徴をふまえ、ヘルスプロモーションの視点から社会と看護師の役割について、論じることができる。[DP: 2・3]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/06 (月)	2	ガイダンス 母性看護の対象と基盤となる概念 (ヒューマンセクシュアリティ、親になること、性の多様性)	講義	予：教1p2-96を読む。 復：講義資料を用いて、母性看護の基盤となる概念についてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
2	2026/04/07 (火)	1	母性看護の対象理解と看護 女性と家族のライフサイクルと健康課題 (思春期、成熟期、更年期、老年期)	講義	予：教1p98-152、188-250を読む。 復：講義資料を用いて、女性のライフサイクル各期の特徴と課題をまとめる。 前後各120分	山本 弘江
3	2026/04/08 (水)	2	セクシュアルリプロダクティブヘルス/ライツ (SRHR) (不妊症、生殖補助医療、人工妊娠中絶、性感染症、性暴力、児童虐待) ディベートの目的と論題の紹介	講義	予：教126-37、252-313を読む。 復：講義資料を用いて、リプロダクティブヘルス/ライツについてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
4	2026/04/15 (水)	1	ディベートのためのグループワーク	GW	予：ディベート論題に関する準備学習を行う。 復：GWをふまえてディベート課題について内容を深める。 前後各120分	山本 弘江

5	2026/04/17 (金)	3	母性看護を取り巻く今日的課題と生命倫理①ディベート（女性の権利、胎児の権利）	発表（ディベート）	予：教 1p43-52を読む。担当するディベート課題について発表の準備を行う。 復：実施したディベートを振り返り、論題についてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
6	2026/04/17 (金)	4	母性看護を取り巻く今日的課題と生命倫理②ディベート（生殖医療）	発表（ディベート）	予：担当以外のディベート課題についてその概要を調べる。 復習：担当以外のディベートを聞いて、各課題についてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
7	2026/04/23 (木)	4	母子保健を支える法制度と施策 母性看護の課題と展望 （生殖医療・国際社会）	演習	予：教 1p314-323を読む。 教 2p12-61を読む。 復：講義資料を用いて、国内外の母子保健についてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
8	2026/04/27 (月)	1	妊娠期における看護 1 妊娠の成立、妊娠期の生理的变化（胎児の発育と生理、母体の生理的变化）、 妊婦と家族の心理	講義	予：教 2p65-94を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠期の身体的特性、心理・社会的特性の理解を深める。 前後各120分	山本 弘江
9	2026/04/27 (月)	2	妊娠期における看護 2 妊娠の診断、妊婦健康診査	講義	予：教 2p94-133を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠とその診断、胎児の発育と健康状態の診断の理解を深める。 前後各120分	山本 弘江
10	2026/05/01 (金)	3	妊娠期における看護 3 妊婦と胎児のアセスメントと看護 （CTGの判読、ヘルスプロモーション、パースプラン）	講義	予：教 2p133-180を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊婦と胎児の経過の診断とアセスメントの理解を深める。 前後各120分	山本 弘江
11	2026/05/01 (金)	4	妊娠期における看護 4 妊娠期の正常からの逸脱と看護（ハイリスク妊娠、 妊娠期の感染症、妊娠期の異常）	講義	予：教 2p380-421を読む。 復：教科書と講義資料を読み、妊娠の異常と看護についてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
12	2026/05/07 (木)	5	分娩期における看護 1 分娩のメカニズム（分娩の3要素、分娩の機序、 産婦の身体的変化）	講義	予：教 2p182-193を読む。 復：講義資料を用いて、分娩のメカニズムの理解を深める。 前後各120分	山本 弘江
13	2026/05/11 (月)	5	分娩期における看護 2 分娩の経過（分娩が母体に及ぼす影響、胎児に及ぼす影響）	講義	予：教 2p194-209を読む。 復：講義資料を用いて、分娩の経過の理解を深める。 前後各120分	山本 弘江
14	2026/05/19 (火)	1	分娩期における看護 3 分娩経過のアセスメントと看護（産婦と家族のニーズ、 分娩期の看護）	講義	予：教 2p210-261を読む。 復：講義資料を用いて、分娩経過のアセスメントと看護についてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
15	2026/05/21 (木)	2	分娩期における看護 4 分娩の異常と看護（分娩期の正常からの逸脱、帝王切開術を受ける産婦の看護）	講義	予：教 2p422-483を読む。 復：講義資料を用いて、分娩の異常と看護についてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
16	2026/06/23 (火)	2	定期試験			山本 弘江

評価方法	定期試験（80％）、授業への参加度（毎回の振り返りとディベートまとめレポートの内容を含む）（20％） なお、定期試験が6割に満たない場合は不合格とする
教科書・参考書	教科書： 1 森恵美他著（2026）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論」、第15版、医学書院、定価2,860円（税込み） 2 森恵美他著（2026）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 参考書： 1 荒木奈緒他編（2024）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第6版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） 2 中村幸代編集（2024）：「根拠がわかる母性看護技術」、南江堂、定価3,300円（税込み） 授業中に、適宜資料を配付する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) 準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 (2) 講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 (3) この科目に合格しないと「母性看護学実習Ⅰ」の履修はできない。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了後の合計2回打刻する。この時、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 (2) 遅刻3回で欠席1回とみなす。 3 定期試験について (1) 3分の2以上の出席をもって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (3) 不合格の場合、再試験（100点満点）は1回までとする。不合格の場合は次年度再履修すること。 4 その他 (1) 講義毎に振り返りの記入と提出を行い、その内容については次回講義にフィードバックを行う。 (2) 振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義翌朝9時とする。後日の入力はいない。
オフィスアワー	水曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室①
備考	1 毎回講義前に教科書の該当箇所を読んてくること。 2 毎回講義終了時、ミニツツペーパーの記入を行い、講義内の学びと疑問点を明確化する。 教員より次回にフィードバックが行われるが、各自でも教科書及び配布資料を用いて60分程度復習をしておくこと。 3 講義に関連した課題について、新聞、ニュース等の今日的課題と関連させることで理解を深める（60分）。 〔実務〕 周産期施設および女性診療科において、助産師として実務経験のある教員が、ヘルスプロモーションの視点から、女性のライフサイクル各期に応じた母性看護とリプロダクティブヘルス／ライツについて教育を行う。 ・研究成果等に基づき、当該領域の最新の知見を取り入れて授業構成をしている。さらに、小グループに分かれ学生が主体的、論理的に最新の課題に取り組むディベートを講義内に取り入れている。

講義名	小児看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Pediatric NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択<組>	必修< A組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 茂本 咲子
准 教 授	深谷 基裕
助 教	坂川 有希
講 師(非)	上野 里恵

科目概要	子どもと家族の尊厳および権利、成長・発達、生活を理解し、生涯発達し続ける子どもと家族を全人的・個別的・総合的に捉える小児看護の理論的素地を学ぶ。子どもの成長・発達と健康増進を支援する方法および地域で生活する子どもと家族のQOLを高めるための保健・医療・福祉・教育とその連携について理解する。
目標	1.小児看護と対象となる子ども、家族、子どもと家族を取り巻く社会の特徴について理解し、対象を全人的・総合的に捉えることができる。「DP:1・2・4」 2.子どもと家族の尊厳および権利、関連法規について理解し、説明できる。「DP:1・2・4」 3.子どもと家族のライフサイクルにおける成長・発達の特徴と自立を促す支援について理解し、説明できる。「DP:1・2・5」 4.地域で生活する子どもと家族のヘルスプロモーション、保健・医療・福祉・教育の連携について理解し、説明できる。「DP:1～3」 5.小児期に代表的な病気や障害のある子どもと家族の反応を理解し、個別のニーズに沿う看護の原則について説明できる。「DP:1・2・5」 6.子どもにみられる主な症状・徴候と看護活動を理解し、説明できる。「DP:1・2・5」 7.小児看護における安全、安楽な看護技術の特徴を理解し、ヘルスアセスメントの技術をモデルを対象に実施できる。「DP:1・5」
授業計画表	

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/07 (火)	2	小児看護の対象と目的・役割 子どもの権利・関連法規（児童の権利条約、児童憲章、関連諸統計） インフォームドアセント	講義	前：教1p4-35を読む。 後：教1、講義資料をもとに小児看護の目標にはどのような特徴があるか考える。 前後各120分	深谷 基裕
2	2026/04/09 (木)	2	子どもの成長・発達の特徴と看護（成長・発達の原則・特徴、成長・発達の評価、成長・発達への影響因子）	講義	前：教1p38-56を読む。 後：教1、講義資料をもとに、小児期の成長・発達の進み方の特徴を整理する。 前後各120分	深谷 基裕
3	2026/04/14 (火)	1	乳児期の子どもの発達と支援（発達の特徴と課題、基本的生活行動と獲得、コミュニケーション、遊び）	講義	前：教1p58-101を読む。 正常新生児がもつ身体能力を3つ以上書き出す。 後：講義資料をもとにまとめる。乳児の1年間の成長・発達過程のポイントを整理する。 前後各120分	茂本 咲子

4	2026/04/15 (水)	2	幼児期の子どもの発達と支援（発達の特徴と課題、 基本的生活行動と獲得、コミュニケーション、遊 び）	講義	前：教 1 p104-120を読む。 後：教 1、講義資料をもと に、幼児が基本的生活習慣 を確立するまでの経過を整 理する。 前後各120分	深谷 基裕
5	2026/04/16 (木)	1	学童期と思春期の子どもの発達と支援（発達の特徴 と課題、コミュニケーション、移行期支援）	講義	前：教 1 p120-156を読む。 インターネットが子どもの 健康に与える影響について 自己の意見をまとめる。 後：講義資料をもとにまと める。第二性徴が知的・ 情緒的・社会的機能の発達 に及ぼす影響について整理 する。 前後各120分	深谷 基裕
6	2026/04/22 (水)	2	小児看護における家族のアセスメント	講義	前：教 1 p158-172を読む。 後：教 1、講義資料をもと に、現代家族の特徴につい てまとめる。 前後各120分	茂本 咲子
7	2026/04/23 (木)	1	子どもと家族を取り巻く社会（子ども・子育て支 援、医療・保健・福祉・教育との連携）	講義	前：教 1 p174-185を読む。 後：講義資料をもとに、児 童福祉施策と母子保健施策 の変遷と、子ども・子育て 支援がどのように実施され ているかを整理する。 前後各120分	茂本 咲子
8	2026/04/30 (木)	1	健康問題をもつ子どもと家族の看護（病気に対する 子どもと家族の反応、医療的ケア児、きょうだい 児） 入院・外来・在宅療養中・災害時の子どもと家族の 看護	講義	前：教 1；p208-263を読 む。 後：教科書・講義資料をも とに、健康問題や入院が子 どもと家族に及ぼす影響と 看護について、発達段階ご とに整理する。 前後120分	茂本 咲子
9	2026/05/12 (火)	3	子どもの健康の維持・増進への看護（予防接種、学 校保健ほか）	講義	前：教 1 p185 - 203読む。 自分の母子手帳で接種した 予防接種の内容を確認して 全て書き出す。 後：講義資料をもとに、予 防接種の接種スケジュール についてまとめる。 前後各120分	深谷 基裕
10	2026/05/20 (水)	4	子どもの事故・外傷と看護（不慮の事故、外傷、誤 飲・誤嚥、熱傷、熱中症、救命処置）	講義	前：教 2；p102-136、教 1；p504-516（動画 p 558 含）を読む。 後：講義資料を基に成人と 小児での救急処置の違いを まとめる。 前後各120分	上野 里恵
11	2026/05/27 (水)	3	子どものヘルスアセスメント（バイタルサイン測 定、身体計測）	講義	前：教 1；p270-274、 p302-359を読む。 後：講義内容を踏まえ、 【演習】の事前課題に取り 組む。教 1；p555-557のQR コードを読み取って動画を 閲覧する。 前後各120分	深谷 基裕
12	2026/05/27 (水)	4	小児期の主な症状別看護（発熱、脱水、下痢・嘔 吐、痛み、けいれん）	講義	前：教 1；p362-429を読 む。 後：講義資料をもとに、子 どもの痛みのアセスメント の方法を発達段階ごとに整 理する。 前後各120分	深谷 基裕

13	2026/06/04 (木)	1	障害のある子どもと家族の看護（発達障害、重症心身障害児） 子どもの虐待と看護	講義	前：教1：p518-534、536-553、教2：p456-483を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、障害のある子どもの発達段階ごとに生じやすい問題、虐待のリスク要因、多職種連携における看護師の役割について整理する。 前後各120分	茂本 咲子
14	2026/06/18 (木)	3	【演習】子どものヘルスアセスメント（新生児と乳児の抱っこ、オムツ交換、身体測定、バイタルサインの測定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントの資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各120分	深谷 基裕 坂川 有希 茂本 咲子
15	2026/06/18 (木)	4	【演習】子どものヘルスアセスメント（新生児と乳児の抱っこ、オムツ交換、身体測定、バイタルサインの測定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントの資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各120分	深谷 基裕 坂川 有希 茂本 咲子
16	2026/06/24 (水)	3	定期試験			茂本 咲子 深谷 基裕 坂川 有希

評価方法	定期試験60%、課題提出40%（ミニレポート、演習） 授業態度・参加度について内容に応じ減点を行う。
教科書・参考書	教科書： 1 奈良間美保他（2025）：「系統看護学講座専門分野 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論」、第15版、医学書院、定価3,520円（税込み） 2 丸 光恵他（2025）：「系統看護学講座専門分野 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 参考書： 1 筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護学」、第2版、照林社、定価3,630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について （1）教科書に加えて、授業で紹介した本を読むなどの自己学修を行う。 （2）配布資料や視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配布をしないこと。 （3）本科目の単位取得が、「小児看護学実習Ⅰ」を履修する前提条件となる。 2 出欠席について （1）出席の確認は、対面実施の場合は出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）による。 （2）遠隔実施の場合は出席確認方法は別途指示する。 （3）遅刻および早退3回で1回欠席とみなす。30分以上の遅刻および早退は欠席とみなす。 3 課題について （1）提出締切は厳守すること。やむを得ない理由で期限までに提出ができない場合には、必ず締め切り前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 （2）ミニレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。欠席者は当日分0点となる。 4 単位取得について （1）3分の2以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 （2）定期試験に合格すること。 （3）追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 （4）再試験は1回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修することになる。 （5）定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後に提示する。 5 〔凡例〕 教科書について、小児看護学〔1〕は教1、小児看護学〔2〕は教2と示す。
オフィスアワー	茂本 咲子 月曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室7 深谷 基裕 月曜日 16：00～17：30 基礎科学棟3階N365研究室

	坂川 有希 木曜日 16:00～17:30 看護学部棟2階N253研究室 他の講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	[実務] 大学病院、小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもとその家族の看護の実務経験のある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	小児看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Pediatric NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択<組>	必修<Ｂ組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 茂本 咲子
准 教 授	深谷 基裕
助 教	坂川 有希
講 師(非)	上野 里恵

科目概要	子どもと家族の尊厳および権利、成長・発達、生活を理解し、生涯発達し続ける子どもと家族を全人的・個別的・総合的に捉える小児看護の理論的素地を学ぶ。子どもの成長・発達と健康増進を支援する方法および地域で生活する子どもと家族のQOLを高めるための保健・医療・福祉・教育とその連携について理解する。
目標	1.小児看護と対象となる子ども、家族、子どもと家族を取り巻く社会の特徴について理解し、対象を全人的・総合的に捉えることができる。「DP:1・2・4」 2.子どもと家族の尊厳および権利、関連法規について理解し、説明できる。「DP:1・2・4」 3.子どもと家族のライフサイクルにおける成長・発達の特徴と自立を促す支援について理解し、説明できる。「DP:1・2・5」 4.地域で生活する子どもと家族のヘルスプロモーション、保健・医療・福祉・教育の連携について理解し、説明できる。「DP:1～3」 5.小児期に代表的な病気や障害のある子どもと家族の反応を理解し、個別のニーズに沿う看護の原則について説明できる。「DP:1・2・5」 6.子どもにみられる主な症状・徴候と看護活動を理解し、説明できる。「DP:1・2・5」 7.小児看護における安全、安楽な看護技術の特徴を理解し、ヘルスアセスメントの技術をモデルを対象に実施できる。「DP:1・5」
授業計画表	

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/07 (火)	2	小児看護の対象と目的・役割 子どもの権利・関連法規（児童の権利条約、児童憲章、関連諸統計） インフォームドアセント	講義	前：教1p4-35を読む。 後：教1、講義資料をもとに小児看護の目標にはどのような特徴があるか考える。 前後各120分	深谷 基裕
2	2026/04/09 (木)	2	子どもの成長・発達の特徴と看護（成長・発達の原則・特徴、成長・発達の評価、成長・発達への影響因子）	講義	前：教1p38-56を読む。 後：教1、講義資料をもとに、小児期の成長・発達の進み方の特徴を整理する。 前後各120分	深谷 基裕
3	2026/04/14 (火)	1	乳児期の子どもの発達と支援（発達の特徴と課題、基本的生活行動と獲得、コミュニケーション、遊び）	講義	前：教1p58-101を読む。 正常新生児がもつ身体能力を3つ以上書き出す。 後：講義資料をもとにまとめる。乳児の1年間の成長・発達過程のポイントを整理する。 前後各120分	茂本 咲子

4	2026/04/15 (水)	2	幼児期の子どもの発達と支援（発達の特徴と課題、 基本的生活行動と獲得、コミュニケーション、遊 び）	講義	前：教 1 p104-120を読む。 後：教 1、講義資料をもと に、幼児が基本的生活習慣 を確立するまでの経過を整 理する。 前後各120分	深谷 基裕
5	2026/04/16 (木)	1	学童期と思春期の子どもの発達と支援（発達の特徴 と課題、コミュニケーション、移行期支援）	講義	前：教 1 p120-156を読む。 インターネットが子どもの 健康に与える影響について 自己の意見をまとめる。 後：講義資料をもとにまと める。第二性徴が知的・ 情緒的・社会的機能の発達 に及ぼす影響について整理 する。 前後各120分	深谷 基裕
6	2026/04/22 (水)	2	小児看護における家族のアセスメント	講義	前：教 1 p158-172を読む。 後：教 1、講義資料をもと に、現代家族の特徴につい てまとめる。 前後各120分	茂本 咲子
7	2026/04/23 (木)	1	子どもと家族を取り巻く社会（子ども・子育て支 援、医療・保健・福祉・教育との連携）	講義	前：教 1 p174-185を読む。 後：講義資料をもとに、児 童福祉施策と母子保健施策 の変遷と、子ども・子育て 支援がどのように実施され ているかを整理する。 前後各120分	茂本 咲子
8	2026/04/30 (木)	1	健康問題をもつ子どもと家族の看護（病気に対する 子どもと家族の反応、医療的ケア児、きょうだい 児） 入院・外来・在宅療養中・災害時の子どもと家族の 看護	講義	前：教 1；p208-263を読 む。 後：教科書・講義資料をも とに、健康問題や入院が子 どもと家族に及ぼす影響と 看護について、発達段階ご とに整理する。 前後120分	茂本 咲子
9	2026/05/12 (火)	3	子どもの健康の維持・増進への看護（予防接種、学 校保健ほか）	講義	前：教 1 p185 - 203読む。 自分の母子手帳で接種した 予防接種の内容を確認して 全て書き出す。 後：講義資料をもとに、予 防接種の接種スケジュール についてまとめる。 前後各120分	深谷 基裕
10	2026/05/20 (水)	4	子どもの事故・外傷と看護（不慮の事故、外傷、誤 飲・誤嚥、熱傷、熱中症、救命処置）	講義	前：教 2；p102-136、教 1；p504-516（動画 p 558 含）を読む。 後：講義資料を基に成人と 小児での救急処置の違いを まとめる。 前後各120分	上野 里恵
11	2026/05/27 (水)	3	子どものヘルスアセスメント（バイタルサイン測 定、身体計測）	講義	前：教 1；p270-274、 p302-359を読む。 後：講義内容を踏まえ、 【演習】の事前課題に取り 組む。教 1；p555-557のQR コードを読み取って動画を 閲覧する。 前後各120分	深谷 基裕
12	2026/05/27 (水)	4	小児期の主な症状別看護（発熱、脱水、下痢・嘔 吐、痛み、けいれん）	講義	前：教 1；p362-429を読 む。 後：講義資料をもとに、子 どもの痛みのアセスメント の方法を発達段階ごとに整 理する。 前後各120分	深谷 基裕

13	2026/06/04 (木)	1	障害のある子どもと家族の看護（発達障害、重症心身障害児） 子どもの虐待と看護	講義	前：教1：p518-534、536-553、教2：p456-483を読む。 後：教科書・講義資料をもとに、障害のある子どもの発達段階ごとに生じやすい問題、虐待のリスク要因、多職種連携における看護師の役割について整理する。 前後各120分	茂本 咲子
14	2026/06/17 (水)	3	【演習】子どものヘルスアセスメント（新生児と乳児の抱っこ、オムツ交換、身体測定、バイタルサインの測定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントの資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各120分	深谷 基裕 坂川 有希 茂本 咲子
15	2026/06/17 (水)	4	【演習】子どものヘルスアセスメント（新生児と乳児の抱っこ、オムツ交換、身体測定、バイタルサインの測定）	演習	前：子どものヘルスアセスメントの資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各120分	深谷 基裕 坂川 有希 茂本 咲子
16	2026/06/24 (水)	3	定期試験			茂本 咲子 深谷 基裕 坂川 有希

評価方法	定期試験60%、課題提出40%（ミニレポート、演習） 授業態度・参加度について内容に応じ減点を行う。
教科書・参考書	教科書： 1 奈良間美保他（2025）：「系統看護学講座専門分野 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論」、第15版、医学書院、定価3,520円（税込み） 2 丸 光恵他（2025）：「系統看護学講座専門分野 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 参考書： 1 筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護学」、第2版、照林社、定価3,630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について （1）教科書に加えて、授業で紹介した本を読むなどの自己学修を行う。 （2）配布資料や視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配布をしないこと。 （3）本科目の単位取得が、「小児看護学実習Ⅰ」を履修する前提条件となる。 2 出欠席について （1）出席の確認は、対面実施の場合は出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）による。 （2）遠隔実施の場合は出席確認方法は別途指示する。 （3）遅刻および早退3回で1回欠席とみなす。30分以上の遅刻および早退は欠席とみなす。 3 課題について （1）提出締切は厳守すること。やむを得ない理由で期限までに提出ができない場合には、必ず締め切り前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 （2）ミニレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。欠席者は当日分0点となる。 4 単位取得について （1）3分の2以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 （2）定期試験に合格すること。 （3）追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 （4）再試験は1回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修することになる。 （5）定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後に提示する。 5 [凡例] 教科書について、小児看護学〔1〕は教1、小児看護学〔2〕は教2と示す。
オフィスアワー	茂本 咲子 月曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室7 深谷 基裕 月曜日 16：00～17：30 基礎科学棟3階N365研究室

	坂川 有希 木曜日 16:00～17:30 看護学部棟2階N253研究室 他の講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	[実務] 大学病院、小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもとその家族の看護の実務経験のある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Gerontological NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択<組>	必修<Ａ組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野 朋子
講 師	横山 剛志

科目概要	老年期にある人を身体的、心理・精神的、社会的側面から捉え、生涯の終わるときまで発達することを理解する。また、超高齢社会の現状と将来を見据え、多様な社会資源とその活用を支援する地域包括ケアシステムについて理解し、療養・生活の場における、健康の維持・増進、回復への看護の特性について学ぶ。更に、保健医療福祉の専門職との連携・協働における老年看護の役割について考える。
目標	1 身体の高齢変化と身体的特徴について述べられる。「DP：１～３・５」 2 心理・精神面の高齢変化と人生の最終段階についての考え方について述べられる。「DP：１～３・５」 3 人口の高齢化の特徴、家族形態の変化、保健・医療・福祉施策とその動向について説明できる。「DP：１～３・５」 4 療養・生活の場における、健康の維持・増進、回復への看護の特性について説明できる。「DP：１～３・５」 5 老年期にある人へのケアに関わる多職種の協働と看護の役割を述べられる。「DP：１～３・５」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/06 (月)	3	オリエンテーション 高齢者の理解①：高齢変化(身体的側面) 高齢者の定義、老化のモデル	講義	前：教①p2-19、94-120を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	荻野 朋子
2	2026/04/08 (水)	3	【演習】高齢者の理解②：高齢者疑似体験（主に感覚器・運動器の高齢変化を体験する。）	演習	前：教①p96-102、114-117を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	全員
3	2026/04/13 (月)	1	【演習】高齢者の理解③：老年期にある人の対話から学ぶ：生活史、もてる力、ありたい姿、価値・信念、高齢者とのコミュニケーション（事前課題をもとにグループワークと発表）	演習	前：指定した対話の事前課題を行う。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	全員
4	2026/04/14 (火)	2	高齢者の理解④：高齢変化（心理・社会的側面）知能、人格、ライフイベントと健康、発達課題、いきがい、QOL ヘルスアセスメント（ICF、CGA、身体的・心理・社会的健康、環境、生活史、日常生活自立の状態（BADL、IADLの評価指標））	講義	前：教①p9-21、86-93を読み、生涯発達論第7回を復習して講義に臨む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野 朋子
5	2026/04/21 (火)	1	高齢者をとりまく社会①：人口減少と少子高齢化、超高齢社会の現状、高齢者と家族、高齢者の健康、暮らし	講義	前：教①p26-37を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野 朋子

6	2026/04/21 (火)	2	高齢者を取りまく社会②：高齢社会における保健医療福祉の動向：保健・医療・福祉の変遷、高齢者の経済、医療・福祉制度、介護保険制度（概要）、権利擁護、虐待	講義	前：教①p38-66を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	荻野 朋子
7	2026/04/28 (火)	1	治療・生活・療養の場における看護①：地域包括ケアシステム、介護予防とヘルスプロモーション、多職種との連携・協働、高齢者を支える多職種連携と看護活動の多様化、社会資源、社会参加	講義	前：ワークブックの事例紹介を読み、概要を把握する。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野 朋子
8	2026/04/28 (火)	2	治療・生活・療養の場における看護②：高齢者の入院、退院、リハビリテーション、保健医療福祉施設および居住施設における看護	講義	前：教①p50-54、338-349を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	荻野 朋子
9	2026/04/30 (木)	2	看護の場と各種サービス：介護保険サービス、ケアマネジメント、福祉機器の活用、社会資源の活用、環境（人的・物理的・経済的）の調整	講義	前：教①p43-50を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野 朋子
10	2026/05/07 (木)	3	高齢者の健康課題と看護①：せん妄・うつ・認知症の病態の理解、症状、評価、治療、予防	講義	前：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	横山 剛志
11	2026/05/07 (木)	4	高齢者の健康課題と看護②：せん妄・うつ・認知症の人の看護、認知症の人の理解、対応の基本、療法的なアプローチ、家族への援助	講義	前：第10回の講義資料と講義内容を復習する。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	横山 剛志
12	2026/05/08 (金)	3	老年看護過程：目標志向型思考、生活史、生活行動、その人らしさ、もてる力、ありたい姿勢事例検討の進め方	講義	前：教①p408-410、②vi-viiを読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	横山 剛志
13	2026/05/08 (金)	4	高齢者の健康課題・生活行動と看護①「覚醒・活動」：覚醒・活動のアセスメントと援助、基本動作・姿勢を支える看護、転倒のアセスメントと予防、廃用症候群と予防、レクリエーション	講義	前：教②p10-12を読む。 後：事例検討を進める。 前後各120分	荻野 朋子
14	2026/05/11 (月)	3	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護①「覚醒・活動」：覚醒・活動のアセスメント	演習	前：第13回の講義資料と講義内容を復習する。 後：事例検討を進める。 前後各120分	全員
15	2026/05/11 (月)	4	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護②「睡眠・休息」：睡眠・休息のアセスメントと援助、活動と休息のバランス、睡眠・覚醒のリズム、睡眠の評価、生活リズムを整える看護	講義・演習	前：教②p2-4を読む。 後：事例検討を進める。 前後各120分	荻野 朋子 全員
16	2026/06/25 (木)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験70%、高齢者との対話からの学びのレポート10%、事前・事後学習課題20%
教科書・参考書	教科書： 1 北川公子、他(2025)：系統看護学講座 専門分野Ⅱ「老年看護学」第10版、医学書院、定価3,080円（税込み） 2 山田律子、他(2025)：「生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第5版、医学書院、定価4,180円（税込み） 参考図書： 1 服部祥子(2021)：「生涯人間発達論」第3版 医学書院、定価2,310円（税込み） 2 正木治恵、他(2016)：「老年看護学概論『老いを生きる』を支えること」第2版、南江堂、定価3,080円（税込み） 3 厚生労働統計協会（2025）：国民衛生の動向(20225/2026)、定価3,740円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	1 事前課題である高齢者との対話をレポートし、指示した方法で提出する。また印刷したものを持参し第3回授業に臨むこと。 2 自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 3 準備学修(予習・復習)は、関連する授業時間内に確認する。及び、指定した日時に提出する。 4 出席は入室時と退室時にカードリーダーに打刻することで確認する。 2コマ連続の場合（講義・演習）は、1コマ目開始時、2コマ目終了時の合計2回、打刻する。

	5 単位修得について (1) 出席3分の2以上を満たしている場合、成績評価を行う。 (2) 不合格者には再試験を1回行う。 6 本科目の単位習得は、「老年看護学実習」を履修する前提条件である。 7 フィードバック 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは自由参加の解説講義を実施する(日時については最終回に通知する)。 8 凡例 教①：教科書「系統看護学講座 専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第4版 GW：グループワーク
オフィスアワー	荻野 朋子 水曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室④ 横山 剛志 水曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N373研究室
備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 [実務] 大学病院、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Gerontological NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択<組>	必修<Ｂ組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野 朋子
講 師	横山 剛志

科目概要	老年期にある人を身体的、心理・精神的、社会的側面から捉え、生涯の終わるときまで発達することを理解する。また、超高齢社会の現状と将来を見据え、多様な社会資源とその活用を支援する地域包括ケアシステムについて理解し、療養・生活の場における、健康の維持・増進、回復への看護の特性について学ぶ。更に、保健医療福祉の専門職との連携・協働における老年看護の役割について考える。
目標	1 身体の高齢変化と身体的特徴について述べられる。「DP：１～３・５」 2 心理・精神面の高齢変化と人生の最終段階についての考え方について述べられる。「DP：１～３・５」 3 人口の高齢化の特徴、家族形態の変化、保健・医療・福祉施策とその動向について説明できる。「DP：１～３・５」 4 療養・生活の場における、健康の維持・増進、回復への看護の特性について説明できる。「DP：１～３・５」 5 老年期にある人へのケアに関わる多職種の協働と看護の役割を述べられる。「DP：１～３・５」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/06 (月)	3	オリエンテーション 高齢者の理解①：高齢変化(身体的側面) 高齢者の定義、老化のモデル	講義	前：教①p2-14、94-120を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	荻野 朋子
2	2026/04/08 (水)	4	【演習】高齢者の理解②：高齢者疑似体験（主に感覚器・運動器の高齢変化を体験する。）	演習	前：教①p96-102、114-117を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	全員
3	2026/04/13 (月)	1	【演習】高齢者の理解③：老年期にある人の対話から学ぶ：生活史、もてる力、ありたい姿、価値・信念、高齢者とのコミュニケーション（事前課題をもとにグループワークと発表）	演習	前：指定した対話の事前課題を行う。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	全員
4	2026/04/14 (火)	2	高齢者の理解④：高齢変化（心理・社会的側面）知能、人格、ライフイベントと健康、発達課題、いきがい、QOL ヘルスアセスメント（ICF、CGA、身体的・心理・社会的健康、環境、生活史、日常生活自立の状態（BADL、IADLの評価指標））	講義	前：教①p9-21、86-93を読み、生涯発達論第8回を復習して講義に臨む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野 朋子
5	2026/04/21 (火)	1	高齢者をとりまく社会①：人口減少と少子高齢化、超高齢社会の現状、高齢者と家族、高齢者の健康、暮らし	講義	前：教①p26-37を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野 朋子

6	2026/04/21 (火)	2	高齢者を取りまく社会②：高齢社会における保健医療福祉の動向：保健・医療・福祉の変遷、高齢者の経済、医療・福祉制度、介護保険制度（概要）、権利擁護、虐待	講義	前：教①p38-66を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	荻野 朋子
7	2026/04/28 (火)	1	治療・生活・療養の場における看護①：地域包括ケアシステム、介護予防とヘルスプロモーション、多職種との連携・協働、高齢者を支える多職種連携と看護活動の多様化、社会資源、社会参加	講義	前：ワークブックの事例紹介を読み、概要を把握する。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野 朋子
8	2026/04/28 (火)	2	治療・生活・療養の場における看護②：高齢者の入院、退院、リハビリテーション、保健医療福祉施設および居住施設における看護	講義	前：教①p50-54、338-349を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	荻野 朋子
9	2026/04/30 (木)	2	看護の場と各種サービス：介護保険サービス、ケアマネジメント、福祉機器の活用、社会資源の活用、環境（人的・物理的・経済的）の調整	講義	前：教①p43-50を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	荻野 朋子
10	2026/05/07 (木)	3	高齢者の健康課題と看護①：せん妄・うつ・認知症の病態理解、症状、評価、治療、予防	講義	前：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 後：講義内容をまとめる。 前後各120分	横山 剛志
11	2026/05/07 (木)	4	高齢者の健康課題と看護②：せん妄・うつ・認知症の人の看護、認知症の人の理解、対応の基本、療法的なアプローチ、家族への援助	講義	前：第10回の講義資料と講義内容を復習する。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	横山 剛志
12	2026/05/08 (金)	3	老年看護過程：目標志向型思考、生活史、生活行動、その人らしさ、もてる力、ありたい姿勢事例検討の進め方	講義	前：教①p408-410、②vi-viiを読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各120分	横山 剛志
13	2026/05/08 (金)	4	高齢者の健康課題・生活行動と看護①「覚醒・活動」：覚醒・活動のアセスメントと援助、基本動作・姿勢を支える看護、転倒のアセスメントと予防、廃用症候群と予防、レクリエーション	講義	前：教②p10-12を読む。 後：事例検討を進める。 前後各120分	荻野 朋子
14	2026/05/11 (月)	3	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護①「覚醒・活動」：覚醒・活動のアセスメント	演習	前：第13回の講義資料と講義内容を復習する。 後：事例検討を進める。 前後各120分	全員
15	2026/05/11 (月)	4	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護②「睡眠・休息」：睡眠・休息のアセスメントと援助、活動と休息のバランス、睡眠・覚醒のリズム、睡眠の評価、生活リズムを整える看護	講義・演習	前：教②p2-4を読む。 後：事例検討を進める。 前後各120分	全員
16	2026/06/25 (木)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験70%、高齢者との対話からの学びのレポート10%、事前・事後学習課題20%
教科書・参考書	教科書： 1 北川公子、他(2025)：系統看護学講座 専門分野Ⅱ「老年看護学」第10版、医学書院、定価3,080円（税込み） 2 山田律子、他(2025)：「生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第5版、医学書院、定価4,180円（税込み） 参考図書： 1 服部祥子(2021)：「生涯人間発達論」第3版 医学書院、定価2,310円（税込み） 2 正木治恵、他(2016)：「老年看護学概論『老いを生きる』を支えること」第2版、南江堂、定価3,080円（税込み） 3 厚生労働統計協会（2025）：国民衛生の動向(2025/2026)、定価3,740円（税込み）
履修上の注意点及び取扱い	1 事前課題である高齢者との対話をレポートし、指示した方法で提出する。また印刷したものを持参し第3回授業に臨むこと。 2 自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 3 準備学修(予習・復習)は、関連する授業時間内に確認する。及び、指定した日時に提出する。 4 出席は入室時と退室時にカードリーダーに打刻することで確認する。 2コマ連続の場合（講義・演習）は、1コマ目開始時、2コマ目終了時の合計2回、打刻する。

	5 単位修得について (1) 出席3分の2以上を満たしている場合、成績評価を行う。 (2) 不合格者には再試験を1回行う。 6 本科目の単位習得は、「老年看護学実習」を履修する前提条件である。 7 フィードバック 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは自由参加の解説講義を実施する(日時については最終回に通知する)。 8 凡例 教①：教科書「系統看護学講座 専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第4版 GW：グループワーク
オフィスアワー	荻野 朋子 水曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室④ 横山 剛志 水曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N373研究室
備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 [実務] 大学病院、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて授業構成をしている。

講義名	家族看護学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Family Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山本 弘江
教 授	佐々木 裕子
准 教 授	森 莉那
講 師(非)	加藤 明美

科目概要	家族看護学とは、「家族」を看護の対象と捉え、家族全体の健康を支援する看護である。家族のなかの一人に健康課題や発達課題が生じると、その人の世話をしたり、その人が担っていた役割を代行するために家族の中で補い合い、調整して生活している。家族看護学では、家族を看護の対象として理解するために必要な、現代家族の特徴、家族の捉え方、家族機能について学ぶ。その上で、家族看護を実践するための主要な概念や理論・家族看護モデルを用いて、家族のヘルスプロモーションを支援する家族看護の役割と看護実践について学修する。また、学修を通して、自己の家族観を養う。
目標	1 家族看護の視点から、看護の対象としての家族を説明できる。[DP: 1・2] 2 現代の家族と家族を取り巻く社会について学修し、家族の多様性や家族機能について説明できる。[DP: 2・4] 3 家族を理解するための主要な理論を用いて、家族が抱える看護課題を説明できる。[DP: 2・5] 4 家族の発達課題や家族の健康問題に対する家族アセスメントの方法と家族看護実践について説明できる。[DP: 4・5] 5 家族の健康を支える地域社会づくりや、ヘルスケアシステムについて論じることができる。[DP: 1～6]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/08 (水)	5	ガイダンス 看護の対象としての家族 (家族看護の位置づけ、現代の家族を取り巻く社会と家族の特徴、家族の健康と家族看護の概念)	講義	予：教p1-5, 109-121を読む。「家族」に関連する社会問題や関心事について書き出す。 復：講義資料と教科書を読み、看護の対象としての家族についてまとめる。 前後各120分	山本 弘江
2	2026/04/15 (水)	5	家族看護の基盤となる主要な理論 (家族を理解するための理論：家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論 家族を理解するための技法：ジェノグラム、エコマップ)	講義	予：教p8-38, 49-61を読む。個人の発達段階・発達課題について復習する。 復：講義資料を読み、理論について身近な家族を用いて説明する。自分の家族についてジェノグラムとエコマップを作成する。 前後各120分	山本 弘江
3	2026/04/24 (金)	5	家族看護のアセスメントと看護 (看護モデルの概要、家族看護アセスメントの技法、家族の力を引き出すのに役立つ考え方：円環的思考、家族の強み)	講義	予：教p39-45, 62-106, 122-134を読む。 復：講義資料を読み、身近な家族をアセスメントす	佐々木 裕子

					る。 前後各120分	
4	2026/05/08 (金)	5	家族看護の実践(1) 養育期における家族の看護 ー新しい家族の誕生ー	講義	予：教p9-26, 62-74を読む。家族に子どもが生まれたときのことを聞く。 復：講義資料を読み、子どもの誕生によっておこる家族の変化と看護について初経産別にまとめる。 前後各120分	山本 弘江
5	2026/05/12 (火)	5	家族看護の実践(2) 教育期における健康上の危機を抱えた家族の看護	講義	予：教p183-192を読む。 復：講義資料を読み、教育期における健康上の危機を抱えた家族のアセスメントとケアについてまとめる。 前後各120分	森 莉那
6	2026/05/20 (水)	5	家族看護の実践(3) 成熟期～完結期における家族の看護	講義	予：教p226-250を読む。 復：講義資料を読み、成熟期～完結期における家族のアセスメントとケアについてまとめる。 前後各120分	佐々木 裕子
7	2026/06/03 (水)	5	家族支援専門看護師の活動の実際 家族看護モデルを用いた事例展開	講義	予：教p151-170を読む。 1-6回の講義内容を振り返る。 復：講義資料を読み、家族看護実践についてまとめる。 前後各120分	加藤 明美
8	2026/06/05 (金)	5	家族看護の課題と展望 家族の関係性に着目した支援	講義	予：1-7回の講義資料を振り返り家族看護についてまとめる。 復：課題の事例について、レポートを作成する。 前後各120分	山本 弘江 佐々木 裕子 森 莉那
9	2026/06/26 (金)	4	定期試験			山本 弘江 佐々木 裕子 森 莉那

評価方法	定期試験（80％）、レポート（毎回振り返りと最終レポートの内容を含む）（20％） 振り返りの提出忘れは、2回目以降2点ずつ減点します。 なお、定期試験が6割に満たない場合は不合格とする。
教科書・参考書	教科書： 1 山崎あけみ、原礼子編（2023）：看護学テキストNice 家族看護学 臨床場面と実践から考える、改訂第3版、南江堂、定価2,750円（税込み） 参考書： 1 上別府圭子他編（2024）：系統看護学講座 別巻 家族看護学、第2版、医学書院、定価2,420円（税込み） 講義中に適宜提示、および資料を配付する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) 準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 (2) 講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。この際、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 (2) 遅刻3回で欠席1回とみなす。 3 定期試験について (1) 3分の2以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (3) 不合格の場合、再試験は1回までとする（100点満点）。再試験に不合格の場合は次年度再履修すること。 4 その他 (1) 講義毎に振り返りの記入と提出を行い、その内容については次回講義にフィードバックを行う。 (2) 振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日翌朝9時までとする。後日の入力では

	きない。
オフィスアワー	山本 弘江 水曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室① 佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 森 莉那 月曜日 16：30～18：00 看護学部棟2階N254研究室 加藤 明美 講義終了後
備考	1 毎回講義前に教科書の該当箇所および、前回の講義内容を復習して講義に臨むこと。 2 毎回講義終了時、振り返りの記入を行い、講義内の学びと疑問点を明確化する。 振り返り内容については教員より次回にフィードバックが行われるが、各自でも教科書及び配布資料を用いて復習をしておくこと。 3 講義に関連した課題について、新聞、ニュース等の今日的課題と関連させることで理解を深める。 [実務] 看護師・助産師として実務経験のある教員および、家族看護CNSの資格を有する教員が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者及び関連職者の活動等について、現代の家族看護に必要な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて講義構成をしている。

講義名	母性看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Maternal Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修< A 組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山本 弘江
助 教	丸谷 紗穂

科目概要	周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)における対象の身体的・心理的・社会的特徴と生理的变化、ニーズについて理解し、母子とその家族に対する看護を実践するための具体的な援助方法と看護師の役割について学修する。
目標	1 周産期(産褥期・新生児期)の生理的变化と対象の特徴を説明できる。[DP: 1・2] 2 「親になること」の発達とそれを支える看護について説明できる。[DP: 1・2・4] 3 母性看護における看護過程の特徴を理解し、ヘルスプロモーションの視点から対象をアセスメントできる。[DP: 1・2・5] 4 周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)の対象への基本的な看護技術を安全に実施できる。[DP: 2・5] 5 子育て期の家族を取り巻く社会の切れ目ない支援と看護師の役割について論じることができる。[DP: 2・3・5]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/06/01 (月)	1	ガイダンス 産褥期における看護 1 産褥経過(退行性変化、進行性変化、心理社会的変化、家族における変化)	講義	予: 教 1 p324-336を読む。 復: 講義資料と教科書を用いて、産褥経過についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
2	2026/06/01 (月)	2	産褥期における看護 2 褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護	講義	予: 教 1 p336-378を読む。 復: 講義資料と教科書を用いて、産褥期のアセスメントと看護についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
3	2026/06/15 (月)	3	産褥期における看護 3 産褥期に予測される問題と支援(産褥期の異常)	講義	予: 教 1 p510-532を読む。 復: 講義資料を用いて、産褥期に予測される問題と支援についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
4	2026/06/15 (月)	4	産褥期における看護 4 子育て期の家族の課題と支援(周産期メンタルヘルス、産後うつ病、子育て支援)	講義	予: 教 1 p368-378、533-542を読む。 復: 講義資料を用いて、子育て期の家族の課題と支援についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
5	2026/06/19 (金)	3	新生児期における看護 1 胎外生活への適応(呼吸・循環の確立と体温調節)	講義	予: 教 1 p264-283を読む。 復: 教科書と講義資料を読み、新生児の生理について	山本 弘江

					まとめる。 前後各30分	
6	2026/06/19 (金)	4	新生児期における看護2 新生児の発達と機能の評価	講義	予：教1 p284-295を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本 弘江
7	2026/06/30 (火)	1	新生児期における看護3 早期新生児の特徴と生理的变化	講義	予：教1 p295-322を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本 弘江
8	2026/06/30 (火)	2	新生児期における看護4 新生児の異常と看護	講義	予：教1 p483-506を読む。 復：教科書と講義資料を基に、新生児の異常と看護についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
9	2026/12/23 (水)	5	演習Ⅰ：褥婦・新生児のヘルスアセスメントガイダンス 演習Ⅱ：母性看護における看護過程	講義	予：教1 p544-586を読む。 教2 p24-70を読む。 復：教科書と講義資料を基に、課題事例の看護過程に取り組む。 前後各30分	山本 弘江 丸谷 紗穂
10	2027/01/21 (木)	3	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナースングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	全員
11	2027/01/21 (木)	4	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナースングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	全員
12	2027/01/21 (木)	5	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナースングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	全員
13	2027/01/26 (火)	4	【演習Ⅱ】看護過程の展開（情報分析と関連図の作成）	演習	予：課題事例について、アセスメントと関連図の作成に取り組む。 復：演習をふまえて、課題事例の看護過程を完成させる。 前後各30分	全員
14	2027/01/26 (火)	5	【演習Ⅱ】看護過程の展開（看護診断リストの作成と看護診断の立案）	演習	予：課題事例について、アセスメントと関連図の作成に取り組む。 復：演習をふまえて、課題事例の看護過程を完成させる。 前後各30分	全員
15	2027/01/28 (木)	3	分娩を取り巻く新たな母性看護の視点（胎児心拍数モニタリングの判読、無痛分娩）	講義	予：教1 p14-60, 106-108を読む。 復：課題事例の看護過程について講義をふまえて修正する。講義資料を用いて、母性看護の今日的課題につ	山本 弘江

					いて復習する。 前後各30分	
16	2027/02/05 (金)	2	定期試験			山本 弘江 丸谷 紗穂
評価方法		定期試験 80%、演習レポート10%、講義参加度（振り返りの提出含む） 10%				
教科書・参考書		教科書： 1 森恵美他著（2026）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 2 古川亮子編（2023）：「プチナースBooks 経過・ウェルネスの視点でみる母性看護過程」、第1版、照林社、定価2,310円（税込み） 参考書： 1 茅島江子、村井文江、細坂泰子編集（2022）：「看護診断のための気づきとアセスメント 母性看護」、中央法規出版、定価3,300円（税込み） 2 荒木奈緒他編（2024）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第6版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） 3 仁志田博司編集（2024）：「新生児学入門」、第6版、医学書院、定価6,380円（税込み） 4 中村幸代編集（2024）：「根拠がわかる母性看護技術」、南江堂、定価3,300円（税込み） 講義にて適宜提示する。				
履修上の注意点 及び取扱い		1 履修について (1) 準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 (2) 講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 (3) この科目に合格しないと「母性看護学実習Ⅱ」の履修はできない。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。この時、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 (2) 遅刻3回で欠席1回とみなす。 (3) 演習Ⅰ（母性看護技術）はやむを得ない理由を除き、欠席は認めない。 3 定期試験について (1) 3分の2以上の出席と演習Ⅰ・Ⅱレポートの提出をもって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 演習レポートは、提出期限を過ぎたものは評価の対象としない。 (3) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (4) 不合格の場合、再試験は1回までとする。再試験に不合格の場合は次年度再履修すること。 4 その他 (1) 講義毎に振り返りの記入と提出を行い、その内容については次回講義にフィードバックを行う。 (2) 振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日翌朝9時とする。後日の入力はできない。 (3) 演習は、課題レポートと演習内容を双方向評価するルーブリック評価表を提出する。定期試験終了後、担当教員よりフィードバックを行う。				
オフィスアワー		山本 弘江 水曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室① 丸谷 紗穂 水曜日 16：00～17：30 基礎科学棟3階N367研究室				
備考		1 毎回講義前に教科書の該当箇所を読んでくこと。 2 講義内の疑問点については、振り返りの記載やメール等で担当教員に尋ねること。次回講義時に、フィードバックが行われるが、各自でも教科書及び講義資料を用いて復習をしておくこと。 【演習】 1 毎回演習前に該当項目について指定された事前課題を行ってくこと。 2 演習前に教2p602～609の動画及びナーシングスキルにアクセスし、看護技術を確認する。 3 毎回演習終了後、事後学習を行い、課題の追加・修正を行うこと。 ナーシングスキルのアクセス状況や学修内容について、演習前後で確認し、必要時コメントの応答を行う。 【実務】 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における対象の理解と看護と看護を教育する。また、母性看護の対象の特性をふまえたヘルスアセスメントの方法や母性看護に必要な看護技術を教育する。 ・研究成果および当該領域の最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	母性看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Maternal Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修<Ｂ組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山本 弘江
助 教	丸谷 紗穂

科目概要	周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)における対象の身体的・心理的・社会的特徴と生理的变化、ニーズについて理解し、母子とその家族に対する看護を実践するための具体的な援助方法と看護師の役割について学修する。
目標	1 周産期(産褥期・新生児期)の生理的变化と対象の特徴を説明できる。[DP: 1・2] 2 「親になること」の発達とそれを支える看護について説明できる。[DP: 1・2・4] 3 母性看護における看護過程の特徴を理解し、ヘルスプロモーションの視点から対象をアセスメントできる。[DP: 1・2・5] 4 周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)の対象への基本的な看護技術を安全に実施できる。[DP: 2・5] 5 子育て期の家族を取り巻く社会の切れ目ない支援と看護師の役割について論じることができる。[DP: 2・3・5]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/06/01 (月)	1	ガイダンス 産褥期における看護 1 妊娠・分娩経過と産褥経過（退行性変化、進行性変化、心理社会的変化、家族における変化）	講義	予：教 1 p324-336を読む。 復：講義資料と教科書を用いて、産褥経過についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
2	2026/06/01 (月)	2	産褥期における看護 2 褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護	講義	予：教 1 p336-378を読む。 復：講義資料と教科書を用いて、産褥期のアセスメントと看護についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
3	2026/06/15 (月)	3	産褥期における看護 3 産褥期に予測される問題と支援（産褥期の異常）	講義	予：教 1 p510-532を読む。 復：講義資料を用いて、産褥期に予測される問題と支援についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
4	2026/06/15 (月)	4	産褥期における看護 4 子育て期の家族の課題と支援（周産期メンタルヘルス、産後うつ病、子育て支援）	講義	予：教 1 p368-378、533-542を読む。 復：講義資料を用いて、子育て期の家族の課題と支援についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
5	2026/06/19 (金)	3	新生児期における看護 1 胎外生活への適応（呼吸・循環の確立と体温調節）	講義	予：教 1 p264-283を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児の生理について	山本 弘江

					まとめる。 前後各30分	
6	2026/06/19 (金)	4	新生児期における看護2 新生児の発達と機能の評価	講義	予：教1 p284-295を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本 弘江
7	2026/06/30 (火)	1	新生児期における看護3 早期新生児の特徴と生理的变化	講義	予：教1 p295-322を読む。 復：教科書と講義資料を読み、新生児のアセスメントを復習し、アセスメントに基づいた看護を理解する。 前後各30分	山本 弘江
8	2026/06/30 (火)	2	新生児期における看護4 新生児の異常と看護	講義	予：教1 p483-506を読む。 復：教科書と講義資料を基に、新生児の異常と看護についてまとめる。 前後各30分	山本 弘江
9	2026/12/23 (水)	5	演習Ⅰ：褥婦・新生児のヘルスアセスメントガイダンス 演習Ⅱ：母性看護における看護過程	講義	予：教1 p544-586を読む。 教2 p24-70を読む。 復：教科書と講義資料を基に、課題事例の看護過程に取り組む。 前後各30分	山本 弘江 丸谷 紗穂
10	2027/01/20 (水)	3	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナースングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	全員
11	2027/01/20 (水)	4	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナースングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	全員
12	2027/01/20 (水)	5	【演習Ⅰ】褥婦・新生児のヘルスアセスメント（新生児の全身観察・身体計測、新生児のフィジカルアセスメント、退行性変化のアセスメント、進行性変化のアセスメント、沐浴）	演習	予：演習資料を読む。指定されたナースングスキルおよび教科書巻末の動画を視聴する。 復：演習をふまえて、自身の技術課題を明確にする。 前後各30分	全員
13	2027/01/26 (火)	4	【演習Ⅱ】看護過程の展開（情報分析と関連図の作成）	演習	予：課題事例について、アセスメントと関連図の作成に取り組む。 復：演習をふまえて、課題事例の看護過程を完成させる。 前後各30分	全員
14	2027/01/26 (火)	5	【演習Ⅱ】看護過程の展開（看護診断リストの作成と看護診断の立案）	演習	予：課題事例について、アセスメントと関連図の作成に取り組む。 復：演習をふまえて、課題事例の看護過程を完成させる。 前後各30分	全員
15	2027/01/28 (木)	3	分娩を取り巻く新たな母性看護の視点（胎児心拍数モニタリングの判読、無痛分娩）	講義	予：教1 p14-60, 106-108を読む。 復：課題事例の看護過程について講義をふまえて修正する。講義資料を用いて、母性看護の今日的課題につ	山本 弘江

					いて復習する。 前後各30分	
16	2027/02/05 (金)	2	定期試験			山本 弘江 丸谷 紗穂
評価方法		定期試験 80%、演習レポート10%、講義参加度（振り返りの提出含む） 10%				
教科書・参考書		教科書： 1 森恵美他著（2026）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 2 古川亮子編（2023）：「プチナースBooks 経過・ウェルネスの視点でみる母性看護過程」、第1版、照林社、定価2,310円（税込み） 参考書： 1 茅島江子、村井文江、細坂泰子編集（2022）：「看護診断のための気づきとアセスメント 母性看護」、中央法規出版、定価3,300円（税込み） 2 荒木奈緒他編（2024）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第6版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） 3 仁志田博司編集（2024）：「新生児学入門」、第6版、医学書院、定価6,380円（税込み） 4 中村幸代編集（2024）：「根拠がわかる母性看護技術」、南江堂、定価3,300円（税込み） 講義にて適宜提示する。				
履修上の注意点及び取扱い		1 履修について (1) 準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 (2) 講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 (3) この科目に合格しないと「母性看護学実習Ⅱ」の履修はできない。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。この時、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 (2) 遅刻3回で欠席1回とみなす。 (3) 演習Ⅰ（母性看護技術）はやむを得ない理由を除き、欠席は認めない。 3 定期試験について (1) 3分の2以上の出席と演習Ⅰ・Ⅱレポートの提出をもって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 演習レポートは、提出期限を過ぎたものは評価の対象としない。 (3) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (4) 不合格の場合、再試験は1回までとする。再試験に不合格の場合は次年度再履修すること。 4 その他 (1) 講義毎に振り返りの記入と提出を行い、その内容については次回講義にフィードバックを行う。 (2) 振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日翌朝9時とする。後日の入力はできない。 (3) 演習は、課題レポートと演習内容を双方向評価するルーブリック評価表を提出する。定期試験終了後、担当教員よりフィードバックを行う。				
オフィスアワー		山本 弘江 水曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室① 丸谷 紗穂 水曜日 16：00～17：30 基礎科学棟3階N367研究室				
備考		1 毎回講義前に教科書の該当箇所を読んでくこと。 2 講義内の疑問点については、振り返りの記載やメール等で担当教員に尋ねること。次回講義時に、フィードバックが行われるが、各自でも教科書及び講義資料を用いて復習をしておくこと。 【演習】 1 毎回演習前に該当項目について指定された事前課題を行ってくこと。 2 演習前に教2p602～609の動画及びナーシングスキルにアクセスし、看護技術を確認する。 3 毎回演習終了後、事後学習を行い、課題の追加・修正を行うこと。 ナーシングスキルのアクセス状況や学修内容について、演習前後で確認し、必要時コメントの応答を行う。 【実務】 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における対象の理解と看護と看護を教育する。また、母性看護の対象の特性をふまえたヘルスアセスメントの方法や母性看護に必要な看護技術を教育する。 ・研究成果および当該領域の最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	小児看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Pediatric Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修< A 組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 深谷 基裕
教 授	茂本 咲子
教 授(兼 医学部)	山田 恭聖
講 師(兼 大学病院・看護部)	富田 美香
助 教	坂川 有希
講 師(非)	滝 良梨子

科目概要	ライフサイクルにおける子どもの成長・発達、健康問題を踏まえ、病気や入院治療が子どもと家族に与える影響を考え、子どもと家族のQOLを高める臨床スキルを学ぶ。子どもと家族を全人的に捉え、専門的知識に基づいた安全・安楽な小児看護の基本、継続看護のあり方を学ぶ。
目標	1. 小児期に代表的な病気や障害のある子どもの反応とライフサイクルにおける成長・発達について理解し、それを支援する看護を説明できる。「DP：1・2・5」 2. 小児期に代表的な病気や障害のある子どもの家族の反応を理解し、家族機能と役割をアセスメントし、その看護を説明できる。「DP：1・2・5」 3. 様々な病期にある子どもと家族への看護、多職種連携の目的と意義について理解し、説明できる。「DP：1～3・5」 4. 小児看護において安全、安楽な看護技術の特徴を理解し、治療、処置、検査に伴う援助技術の基本をモデルに対して実施できる。「DP：1・5」 5. 模擬事例を用いて病気や障害のある子どもとその家族に対し、発達段階と子どもの権利を考慮し、身体、心理、社会的ニーズを分析して看護展開ができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/06/29 (月)	2	急性期の子どもと家族の特徴、循環器疾患のある子 どもと家族の看護（川崎病、先天性心疾患）	講義	前：教1；p270-274、教 1；p335-341（p557動画 含）、教2；p184- 210(p513動画含）を読む。 後：講義資料を中心に胎児 の血行動態と新生児の血行 動態の違いを整理する。小 児期の代表的な循環器疾患 と看護について整理をす る。 前後各30分	深谷 基裕
2	2026/12/15 (火)	1	ハイリスク新生児と看護（早産児、低出生体重児に 起こりやすい病態と治療）	講義	前：教2；p18-39を読む。 後：講義内容を踏まえ、早 産児と低出生体重児に起こ りやすい病態についてまと める。 前後各30分。	山田 恭聖

3	2026/12/16 (水)	5	ハイリスク新生児と看護（NICU・GCU看護/低出生体重児、早産児、ディベロップメンタルケア、ファミリーセンタードケア）	講義	前：教2；p2-16、39-62を読む。 後：講義内容を踏まえ、ハイリスク新生児とその家族の看護に関する急性期の課題についてまとめる。 前後各30分。	深谷 基裕
4	2026/12/17 (木)	5	慢性期の子どもと家族の特徴、腎疾患・代謝性疾患のある子どもと家族の看護	講義	前：教1；p266-270、389-392、教2；p64-82、318-355を読む。 後：講義内容をもとにネフローゼ症候群、I型糖尿病で長期療養が必要な学童について、生活上の注意点をまとめる。 前後各30分。	坂川 有希
5	2026/12/18 (金)	3	【演習①】看護過程（基本的な看護過程の展開、事例紹介）	演習	前：事前に提示した事例について学習する。教2；p318-355、p486-511を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷 基裕 茂本 咲子 坂川 有希
6	2026/12/18 (金)	4	【演習①】看護過程（情報の整理・分析・アセスメントの統合）	演習	前：事前に提示した事例について学習する。教2；p486-511を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷 基裕 茂本 咲子 坂川 有希
7	2026/12/24 (木)	5	検査・処置を受ける子どもの看護（採血、ルンバール等、点滴など）、プレパレーション	講義	前：教1；p432-502を読む。 後：講義内容を踏まえ、演習①の事前課題に取り組む。教1；p555-558のQRコードを読み取って動画を閲覧する。 前後各30分。	深谷 基裕
8	2027/01/06 (水)	3	【演習②】子どものヘルスアセスメントと検査介助（幼児と学童のバイタルサイン測定、小児ベッドの操作、点滴管理、採血時の体位の固定）	演習	前：検査・処置を受ける子どもの看護の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川 有希 茂本 咲子 深谷 基裕
9	2027/01/06 (水)	4	【演習②】子どものヘルスアセスメントと検査介助（幼児と学童のバイタルサイン測定、小児ベッドの操作、点滴管理、採血時の体位の固定）	演習	前：検査・処置を受ける子どもの看護の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川 有希 茂本 咲子 深谷 基裕
10	2027/01/18 (月)	1	周手術期にある子どもと家族の看護（小児麻酔、術前・術後看護）	講義	前：教1；p274-287、362-370の範囲を読む。 後：講義資料を中心に周手術期看護について整理する。 前後各30分。	坂川 有希
11	2027/01/18 (月)	2	小児がんの子どもと家族の看護（小児がん、AYA世代のがん、白血病）	講義	前：教2；p280-316を読む。 後：講義資料を基に化学療法と看護について整理する。代表的な抗がん剤の副作用と発現時期について一覧表にまとめる。 前後各30分。	滝 良梨子

12	2027/01/25 (月)	2	【演習③】看護過程 看護問題の抽出と看護計画の立案	演習	前：前回演習をもとに全体像を描き看護問題の抽出を行う。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷 基裕 茂本 咲子 坂川 有希
13	2027/01/25 (月)	3	【演習③】看護過程 看護問題の抽出と看護計画の立案、まとめ	演習	前：前回演習をもとに看護計画を立案する。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷 基裕 茂本 咲子 坂川 有希
14	2027/01/26 (火)	2	終末期の子どもと家族への看護	講義	前：教1：p288-299を読む。用語（終末期・グリーフケア）の定義を確認しておく。 後：講義資料を参考に、終末期看護の自己の考え（看護観）を整理する。 前後各30分。	富田 美香
15	2027/01/28 (木)	4	小児看護の課題と看護師の役割	講義	前：教1：p30-35読む。 後：講義資料をもとに、現在の小児看護に求められる役割について整理する。 前後各30分。	茂本 咲子 深谷 基裕 坂川 有希 富田 美香
16	2027/02/01 (月)	2	定期試験			

評価方法	定期試験50%、課題提出50%（ミニレポート、演習） 授業態度・参加度について内容に応じ減点を行う。
教科書・参考書	教科書： 1 奈良間美保他（2025）：「系統看護学講座専門分野 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論」、第15版、医学書院、定価3,520円（税込み） 2 丸 光恵他（2025）：「系統看護学講座専門分野 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 参考書： 1 筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護学」、第2版、照林社、定価3,630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について （1）教科書に加えて、授業で紹介した本を読むなどの自己学修を行う。 （2）配布資料や視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配布をしないこと。 （3）本科目の単位取得が、「小児看護学実習Ⅱ」を履修する前提条件となる。 2 出欠席について （1）出席の確認は、対面実施の場合は出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）による。2コマ連続の講義の場合は1コマ目と2コマ目の講義の間の打刻もする。 （2）遠隔実施の場合は出席確認方法は別途指示する。 （3）遅刻および早退3回で1回欠席とみなす。30分以上の遅刻および早退は欠席とみなす。 3 課題について （1）提出締め切りは厳守すること。やむを得ない理由で期限までに提出ができない場合には、必ず締め切り前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 （2）ミニレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。欠席者は当日分0点となる。 4 演習について （1）演習時には事前に課された課題を行って臨むこと。課題がなされていない場合は、演習に参加できないことがある。受講態度も評価に含める。 （2）演習時（技術）は清潔な実習衣を着用し、演習を行うのに適した身だしなみで出席すること。 ※不潔、危険と判断される場合、演習に参加できないことがある。 5 単位取得について （1）3分の2以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 （2）定期試験に合格すること。 （3）追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 （4）再試験は1回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修することになる。 （5）定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後に提示する。

	6 〔凡例〕 教科書について、小児看護学〔1〕は教 1、小児看護学〔2〕は教 2 と示す。
オフィスアワー	茂本 咲子 月曜日 16：30～18：00 C棟 5 階教授室 7 深谷 基裕 月曜日 16：00～17：30 基礎科学棟 3 階N365研究室 坂川 有希 木曜日 16：00～17：30 看護学部棟 2 階N253研究室 他の講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	〔実務〕 大学病院、小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもとその家族の看護の実務経験のある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	小児看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Pediatric Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修<Ｂ組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 深谷 基裕
教 授	茂本 咲子
教 授(兼 医学部)	山田 恭聖
講 師(兼 大学病院・看護部)	富田 美香
助 教	坂川 有希
講 師(非)	滝 良梨子

科目概要	ライフサイクルにおける子どもの成長・発達、健康問題を踏まえ、病気や入院治療が子どもと家族に与える影響を考え、子どもと家族のQOLを高める臨床スキルを学ぶ。子どもと家族を全人的に捉え、専門的知識に基づいた安全・安楽な小児看護の基本、継続看護のあり方を学ぶ。
目標	1. 小児期に代表的な病気や障害のある子どもの反応とライフサイクルにおける成長・発達について理解し、それを支援する看護を説明できる。「DP：1・2・5」 2. 小児期に代表的な病気や障害のある子どもの家族の反応を理解し、家族機能と役割をアセスメントし、その看護を説明できる。「DP：1・2・5」 3. 様々な病期にある子どもと家族への看護、多職種連携の目的と意義について理解し、説明できる。「DP：1～3・5」 4. 小児看護において安全、安楽な看護技術の特徴を理解し、治療、処置、検査に伴う援助技術の基本をモデルに対して実施できる。「DP：1・5」 5. 模擬事例を用いて病気や障害のある子どもとその家族に対し、発達段階と子どもの権利を考慮し、身体、心理、社会的ニーズを分析して看護展開ができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/06/29 (月)	2	急性期の子どもと家族の特徴、循環器疾患のある子 どもと家族の看護（川崎病、先天性心疾患）	講義	前：教1；p270-274、教 1；p335-341（p557動画 含）、教2；p184- 210(p513動画含）を読む。 後：講義資料を中心に胎児 の血行動態と新生児の血行 動態の違いを整理する。小 児期の代表的な循環器疾患 と看護について整理をす る。 前後各30分	深谷 基裕
2	2026/12/15 (火)	1	ハイリスク新生児と看護（早産児、低出生体重児に 起こりやすい病態と治療）	講義	前：教2；p18-39を読む。 後：講義内容を踏まえ、早 産児と低出生体重児に起こ りやすい病態についてまと める。 前後各30分。	山田 恭聖

3	2026/12/16 (水)	5	ハイリスク新生児と看護（NICU・GCU看護/低出生体重児、早産児、ディベロップメンタルケア、ファミリーセンタードケア）	講義	前：教2；p2-16、39-62を読む。 後：講義内容を踏まえ、ハイリスク新生児とその家族の看護に関する急性期の課題についてまとめる。 前後各30分。	深谷 基裕
4	2026/12/17 (木)	5	慢性期の子どもと家族の特徴、腎疾患・代謝性疾患のある子どもと家族の看護	講義	前：教1；p266-270、389-392、教2；p64-82、318-355を読む。 後：講義内容をもとにネフローゼ症候群、I型糖尿病で長期療養が必要な学童について、生活上の注意点をまとめる。 前後各30分。	坂川 有希
5	2026/12/18 (金)	3	【演習①】看護過程（基本的な看護過程の展開、事例紹介）	演習	前：事前に提示した事例について学習する。教2；p318-355、p486-511を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷 基裕 茂本 咲子 坂川 有希
6	2026/12/18 (金)	4	【演習①】看護過程（情報の整理・分析・アセスメントの統合）	演習	前：事前に提示した事例について学習する。教2；p486-511を読む。 後：演習をもとに、自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷 基裕 茂本 咲子 坂川 有希
7	2026/12/24 (木)	5	検査・処置を受ける子どもの看護（採血、ルンバール等、点滴など）、プレパレーション	講義	前：教1；p432-502を読む。 後：講義内容を踏まえ、演習①の事前課題に取り組む。教1；p555-558のQRコードを読み取って動画を閲覧する。 前後各30分。	深谷 基裕
8	2027/01/07 (木)	3	【演習②】子どものヘルスアセスメントと検査介助（幼児と学童のバイタルサイン測定、小児ベッドの操作、点滴管理、採血時の体位の固定）	演習	前：検査・処置を受ける子どもの看護の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川 有希 茂本 咲子 深谷 基裕
9	2027/01/07 (木)	4	【演習②】子どものヘルスアセスメントと検査介助（幼児と学童のバイタルサイン測定、小児ベッドの操作、点滴管理、採血時の体位の固定）	演習	前：検査・処置を受ける子どもの看護の資料をもとに復習する。提示された事前学習を行う。 後：事前学習と演習内容を整理する。 前後各30分。	坂川 有希 茂本 咲子 深谷 基裕
10	2027/01/18 (月)	1	周手術期にある子どもと家族の看護（小児麻酔、術前・術後看護）	講義	前：教1；p274-287、362-370の範囲を読む。 後：講義資料を中心に周手術期看護について整理する。 前後各30分。	坂川 有希
11	2027/01/18 (月)	2	小児がんの子どもと家族の看護（小児がん、AYA世代のがん、白血病）	講義	前：教2；p280-316を読む。 後：講義資料を基に化学療法と看護について整理する。代表的な抗がん剤の副作用と発現時期について一覧表にまとめる。 前後各30分。	滝 良梨子

12	2027/01/25 (月)	2	【演習③】看護過程 看護問題の抽出と看護計画の立案	演習	前：前回演習をもとに全体像を描き看護問題の抽出を行う。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷 基裕 茂本 咲子 坂川 有希
13	2027/01/25 (月)	3	【演習③】看護過程 看護問題の抽出と看護計画の立案、まとめ	演習	前：前回演習をもとに看護計画を立案する。 後：演習をもとに自己の記録を修正する。 前後各30分。	深谷 基裕 茂本 咲子 坂川 有希
14	2027/01/26 (火)	2	終末期の子どもと家族への看護	講義	前：教1：p288-299を読む。用語（終末期・グリーフケア）の定義を確認しておく。 後：講義資料を参考に、終末期看護の自己の考え（看護観）を整理する。 前後各30分。	富田 美香
15	2027/01/28 (木)	4	小児看護の課題と看護師の役割	講義	前：教1：p30-35読む。 後：講義資料をもとに、現在の小児看護に求められる役割について整理する。 前後各30分。	茂本 咲子 深谷 基裕 坂川 有希 富田 美香
16	2027/02/01 (月)	2	定期試験			

評価方法	定期試験50%、課題提出50%（ミニレポート、演習） 授業態度・参加度について内容に応じ減点を行う。
教科書・参考書	教科書： 1 奈良間美保他（2025）：「系統看護学講座専門分野 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論」、第15版、医学書院、定価3,520円（税込み） 2 丸 光恵他（2025）：「系統看護学講座専門分野 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 参考書： 1 筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護学」、第2版、照林社、定価3,630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について （1）教科書に加えて、授業で紹介した本を読むなどの自己学修を行う。 （2）配布資料や視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配布をしないこと。 （3）本科目の単位取得が、「小児看護学実習Ⅱ」を履修する前提条件となる。 2 出欠席について （1）出席の確認は、対面実施の場合は出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）による。2コマ連続の講義の場合は1コマ目と2コマ目の講義の間の打刻もする。 （2）遠隔実施の場合は出席確認方法は別途指示する。 （3）遅刻および早退3回で1回欠席とみなす。30分以上の遅刻および早退は欠席とみなす。 3 課題について （1）提出締め切りは厳守すること。やむを得ない理由で期限までに提出ができない場合には、必ず締め切り前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 （2）ミニレポートは該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。欠席者は当日分0点となる。 4 演習について （1）演習時には事前に課された課題を行って臨むこと。課題がなされていない場合は、演習に参加できないことがある。受講態度も評価に含める。 （2）演習時（技術）は清潔な実習衣を着用し、演習を行うのに適した身だしなみで出席すること。 ※不潔、危険と判断される場合、演習に参加できないことがある。 5 単位取得について （1）3分の2以上の出席がある場合に定期試験を受けることができる。 （2）定期試験に合格すること。 （3）追試験は定期試験をやむを得ない理由で欠席した者のみ受けることができる。 （4）再試験は1回までとする。それ以降の再試験は行わないため、不合格の場合は次年度に再履修することになる。 （5）定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後に提示する。

	6 〔凡例〕 教科書について、小児看護学〔1〕は教 1、小児看護学〔2〕は教 2 と示す。
オフィスアワー	茂本 咲子 月曜日 16：30～18：00 C棟 5 階教授室 7 深谷 基裕 月曜日 16：00～17：30 基礎科学棟 3 階N365研究室 坂川 有希 木曜日 16：00～17：30 看護学部棟 2 階N253研究室 他の講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	〔実務〕 大学病院、小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもとその家族の看護の実務経験のある教員が、経験した事例や看護の実際を紹介しながら教育する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	老年看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Gerontological Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修< A組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野 朋子
講 師	横山 剛志

科目概要	加齢及び健康課題を持つ老年期にある人とその家族の特徴を踏まえ、生活の質の維持・向上を目指した援助を行うための知識と技術を演習を通じて学修する。また、事例検討を通して、対象者は長い歴史を持ち、今を生きている人であることを尊重し、ありたい姿を踏まえ、もてる力を活した援助を学ぶ。
目標	1 健康課題をもつ老年期にある人の特徴が述べられる。「DP：1・2」 2 高齢者の特徴的な健康課題，生活行動を把握し，必要な看護について述べられる。「DP：1～5」 3 健康課題をもつ高齢者と家族の事例について、目標志向型思考を用いて全体像を描くことができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/13 (水)	2	高齢者の生活行動と看護③「コミュニケーション」：コミュニケーションのアセスメントと援助、難聴、構音障害、失語症	講義	前：教②p44-45を読む。 後：事例検討を進める。 前後各30分	横山 剛志
2	2026/05/15 (金)	3	【演習】高齢者の生活行動と看護③「コミュニケーション」：コミュニケーションのアセスメント	演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
3	2026/05/19 (火)	2	高齢者の健康課題・生活行動と看護④「食事」：食事・栄養・エネルギー代謝・摂食嚥下機能のアセスメントと援助、脱水・誤嚥の予防	講義	前：教②p18-26を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各30分	横山 剛志
4	2026/05/21 (木)	4	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護④「食事」：食事のアセスメント、嚥下体操、増粘剤の使用体験	演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
5	2026/06/02 (火)	1	高齢者の健康課題・生活行動と看護⑤「排泄」：排泄のアセスメントと援助、排尿・排便障害、おむつ体験、セクシュアリティ	講義	前：教②p27を読む。 AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 後：事例検討を進める。 前後各30分	横山 剛志
6	2026/06/04 (木)	3	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護⑤「排泄」：排泄のアセスメント、おむつ交換	演習	前：第5回の講義内容を復習する。AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
7	2026/06/09 (火)	2	高齢者の健康課題・生活行動と看護⑥「身じたく」：清潔・衣生活のアセスメントと援助、口腔ケア、身だしなみ、褥瘡、スキンケア、高齢者の皮膚状態と疾病（疥癬）	講義	前：教②p36-38を読む。 後：指定の課題を行う。事例検討を進める。 前後各30分	荻野 朋子

8	2026/06/12 (金)	2	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護⑥「身じたく」：身じたくのアセスメント、事例検討の準備学習	演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
9	2026/06/15 (月)	2	【演習】事例検討①：老年看護過程、情報収集・分析	講義・演習	前：老年看護学Ⅰ第12回を復習する。事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
10	2026/06/16 (火)	1	【演習】事例検討②：情報収集・分析	講義・演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
11	2026/06/29 (月)	3	【演習】事例検討③：全体像・看護の焦点	講義・演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
12	2026/07/01 (水)	2	【演習】事例検討④：全体像・看護の焦点	講義・演習	前：事例検討を進める。 後：実習に向けて老年看護過程を復習する。 前後各30分	全員
13	2026/12/14 (月)	3	薬物療法を受ける高齢者の看護：薬物動態、ポリファーマシー、アドヒアランス 高齢者の痛みと看護：痛みの定義、痛みの基礎知識、慢性疼痛のアセスメントと看護	講義	前：教①p225-231、325-327を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各30分	荻野 朋子
14	2026/12/21 (月)	3	老年看護の基本：高齢者の健康、役割・理念、老年看護における理論・概念、老年看護に携わる者の責務、尊厳	講義	前：教①p68-83を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	荻野 朋子
15	2027/01/18 (月)	3	人生の最終段階にある人の看護：エンドオブライフケア、意思決定支援、スピリチュアル	講義	前：教①p358-372を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各30分	横山 剛志
16	2027/02/01 (月)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験70%、ワークシート・準備学修10%、事例検討20%
教科書・参考書	教科書： 1 北川公子、他(2025)：系統看護学講座 専門分野Ⅱ「老年看護学」第10版、医学書院、定価3,080円（税込み） 2 山田律子、他(2025)：「生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第5版、医学書院、定価4,180円（税込み） 参考書： 1 川島みどり、他(2015)：「老年看護学」第3版、看護の科学社、定価4,104円（税込み） 2 大塚真理子、他(2018)：「カラー写真で学ぶ 高齢者の看護技術」第2版 医歯薬出版株式会社、定価2,640円（税込み） 3 亀井智子、他(2024)：「根拠と事故防止からみた 老年看護技術」第4版、医学書院、定価4,510円（税込み） 4 奥宮暁子、他(2024)：「ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程 生活機能に焦点をあてたアセスメント」第3版、医歯薬出版株式会社、定価2,750円（税込み）
履修上の注意点及び取扱い	1 自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 2 準備学修は関連する講義時間内(演習含む)に確認する。 3 演習レポート(ワークシート)には教員からのコメントを記載する。 4 出席は入室時と退室時にカードリーダーに打刻することで確認する。 2コマ連続の場合(講義・演習)は、1コマ目開始時、2コマ目終了時の合計2回、打刻する。 5 単位取得について (1) 出席3分の2以上を満たしている場合、成績評価を行う。 (2) 不合格者には再試験を1回のみ行う。 6 フィードバックについて 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは、自由参加の解説講義を実施する(日程については最終回に通知する)。 7 凡例 教①：教科書「系統看護学講座 専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図」 GW：グループワーク
オフィスアワー	荻野 朋子 水曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室④ 横山 剛志 水曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N373研究室

備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 〔実務〕 大学病院、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ▪ 最新の知見を入れて授業構成をしている。
----	---

講義名	老年看護学Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Gerontological Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修<Ｂ組>		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野 朋子
講 師	横山 剛志

科目概要	加齢及び健康課題を持つ老年期にある人とその家族の特徴を踏まえ、生活の質の維持・向上を目指した援助を行うための知識と技術を演習を通じて学修する。また、事例検討を通して、対象者は長い歴史を持ち、今を生きている人であることを尊重し、ありたい姿を踏まえ、もてる力を活した援助を学ぶ。
目標	1 健康課題をもつ老年期にある人の特徴が述べられる。「DP：１・２」 2 高齢者の特徴的な健康課題，生活行動を把握し，必要な看護について述べられる。「DP：１～５」 3 健康課題をもつ高齢者と家族の事例について、目標志向型思考を用いて全体像を描くことができる。「DP：１～６」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/13 (水)	2	高齢者の生活行動と看護③「コミュニケーション」：コミュニケーションのアセスメントと援助、難聴、構音障害、失語症	講義	前：教②p44-45を読む。 後：事例検討を進める。 前後各30分	横山 剛志
2	2026/05/15 (金)	4	【演習】高齢者の生活行動と看護③「コミュニケーション」：コミュニケーションのアセスメント	演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
3	2026/05/19 (火)	2	高齢者の健康課題・生活行動と看護④「食事」：食事・栄養・エネルギー代謝・摂食嚥下機能のアセスメントと援助、脱水・誤嚥の予防	講義	前：教②p18-26を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各30分	横山 剛志
4	2026/05/21 (木)	3	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護④「食事」：食事のアセスメント、嚥下体操、増粘剤の使用体験	演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
5	2026/06/02 (火)	1	高齢者の健康課題・生活行動と看護⑤「排泄」：排泄のアセスメントと援助、排尿・排便障害、おむつ体験、セクシュアリティ	講義	前：教②p27を読む。 AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 後：事例検討を進める。 前後各30分	横山 剛志
6	2026/06/04 (木)	4	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護⑤「排泄」：排泄のアセスメント、おむつ交換	演習	前：第5回の講義内容を復習する。AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
7	2026/06/09 (火)	2	高齢者の健康課題・生活行動と看護⑥「身じたく」：清潔・衣生活のアセスメントと援助、口腔ケア、身だしなみ、褥瘡、スキンケア、高齢者の皮膚状態と疾病（疥癬）	講義	前：教②p36-38を読む。 後：指定の課題を行う。事例検討を進める。 前後各30分	荻野 朋子

8	2026/06/12 (金)	1	【演習】高齢者の健康課題・生活行動と看護⑥「身じたく」：身じたくのアセスメント、事例検討の準備学習	演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
9	2026/06/15 (月)	2	【演習】事例検討①：老年看護過程、情報収集・分析	講義・演習	前：老年看護学Ⅰ第12回を復習する。事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
10	2026/06/16 (火)	1	【演習】事例検討②：情報収集・分析	講義・演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
11	2026/06/29 (月)	3	【演習】事例検討③：全体像・看護の焦点	講義・演習	前：事例検討を進める。 後：事例検討を進める。 前後各30分	全員
12	2026/07/01 (水)	2	【演習】事例検討④：全体像・看護の焦点	講義・演習	前：事例検討を進める。 後：実習に向けて老年看護過程を復習する。 前後各30分	全員
13	2026/12/14 (月)	3	薬物療法を受ける高齢者の看護：薬物動態、ポリファーマシー、アドヒアランス 高齢者の痛みと看護：痛みの定義、痛みの基礎知識、慢性疼痛のアセスメントと看護	講義	前：教①p225-231、325-327を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各30分	荻野 朋子
14	2026/12/21 (月)	3	老年看護の基本：高齢者の健康、役割・理念、老年看護における理論・概念、老年看護に携わる者の責務、尊厳	講義	前：教①p68-83を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	荻野 朋子
15	2027/01/18 (月)	3	人生の最終段階にある人の看護：エンドオブライフケア、意思決定支援、スピリチュアル	講義	前：教①p358-372を読む。 後：AIDLE-Kを確認し、指定の課題を行う。 前後各30分	横山 剛志
16	2027/02/01 (月)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験70%、ワークシート・準備学修10%、事例検討20%
教科書・参考書	教科書： 1 北川公子、他(2025)：系統看護学講座 専門分野Ⅱ「老年看護学」第10版、医学書院、定価3,080円（税込み） 2 山田律子、他(2025)：「生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図」第5版、医学書院、定価4,180円（税込み） 参考書： 1 川島みどり、他(2015)：「老年看護学」第3版、看護の科学社、定価4,104円（税込み） 2 大塚真理子、他(2018)：「カラー写真で学ぶ 高齢者の看護技術」第2版 医歯薬出版株式会社、定価2,640円（税込み） 3 亀井智子、他(2024)：「根拠と事故防止からみた 老年看護技術」第4版、医学書院、定価4,510円（税込み） 4 奥宮暁子、他(2024)：「ウエルネスの視点にもとづく老年看護過程 生活機能に焦点をあてたアセスメント」第3版、医歯薬出版株式会社、定価2,750円（税込み）
履修上の注意点及び取扱い	1 自己学習と演習のためのワークブックを配付するので、各自積極的に自己学習を進めること。 2 準備学修は関連する講義時間内(演習含む)に確認する。 3 演習レポート(ワークシート)には教員からのコメントを記載する。 4 出席は入室時と退室時にカードリーダーに打刻することで確認する。 2コマ連続の場合(講義・演習)は、1コマ目開始時、2コマ目終了時の合計2回、打刻する。 5 単位取得について (1) 出席3分の2以上を満たしている場合、成績評価を行う。 (2) 不合格者には再試験を1回のみ行う。 6 フィードバックについて 講義時の小レポートの質問等については、次回の講義前に全体で共有し、回答する。 定期試験のフィードバックは、自由参加の解説講義を実施する(日程については最終回に通知する)。 7 凡例 教①：教科書「系統看護学講座 専門分野Ⅱ「老年看護学」 教②：教科書「生活機能からみた 老年看護過程＋病態・生活機能関連図」 GW：グループワーク
オフィスアワー	荻野 朋子 水曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室④ 横山 剛志 水曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N373研究室

備考	講義時に小レポートを課す(毎回10分程度)。 〔実務〕 大学病院、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ▪ 最新の知見を入れて授業構成をしている。
----	---

講義名	成人看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Adult NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 谷口 千枝
准 教 授	坂田 久美子
准 教 授	森 莉那
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	伊藤 真規

科目概要	ライフサイクルにおける成人期の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解し、あらゆる病期の健康課題・問題を達成もしくは解決するための基本的な看護理論を学び、急性期、回復期、慢性期、終末期の経過にある人の援助について考察する。また、治療や療養の連続性を確保するために、臨床から地域包括ケアに繋げる支援と看護師の役割について学ぶ。本科目は、最新の知見を取り入れて授業計画を構成している。
目標	1 成人期にある人の特徴や役割を理解し、成人が生活する場におけるヘルスプロモーション活動について説明できる。[DP:1～3] 2 成人看護の役割や援助方法に関する基礎的知識・技術・態度について説明できる。[DP:1～3]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/12/17 (木)	1	ガイダンス 成人期にある人のヘルスプロモーション－健康課題の特徴と看護の役割－	講義	前：成人看護学概論 p20-56, p304-310を読む 後：成人期にある人の健康課題の特徴と看護の役割について講義資料をまとめる 前後各120分程度	谷口 千枝
2	2026/12/17 (木)	2	急性期にある人の身体的特徴 －生体侵襲理論、ホメオスタシス－	講義	前：クリティカルケア看護学 p 54-64を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	坂田 久美子
3	2026/12/21 (月)	1	成人期にある人の症状マネジメント －急性疼痛と慢性疼痛－	講義	前：クリティカルケア看護学 p43-46, p223-227を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	佐藤 ゆかり
4	2026/12/21 (月)	2	身体機能の低下・合併症を予防する支援 －急性期リハビリテーション－	講義	前：クリティカルケア看護学 p 250-254を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	伊藤 真規
5	2026/12/24 (木)	1	成人期にある人のストレスと看護に必要な概念 －ストレス・コーピング理論、危機理論－	講義	前：成人看護学概論 p256-278を読む	坂田 久美子

					後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	
6	2026/12/24 (木)	2	身体変化への適応を促す支援 ー自己概念、ボディイメージ論ー	講義	前：成人看護学概論 p280-291を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	佐藤 ゆかり
7	2027/01/07 (木)	1	急性期における安全管理 ー医療安全、医源性リスク管理ー	講義	前：クリティカルケア看護学 p 26-36を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	坂田 久美子
8	2027/01/07 (木)	2	成人期にある人への意思決定支援 ーインフォームドコンセントとアドバンス・ケア・プランニングー	講義	前：クリティカルケア看護学 p37-50を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	伊藤 真規
9	2027/01/14 (木)	1	長期療養者への支援のあり方 ー慢性の病いの特徴とセルフマネジメントモデルー	講義	前：慢性期看護論p131-169を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	谷口 千枝
10	2027/01/14 (木)	2	長期療養者の自己効力感を高める支援 ー社会的学習理論ー	講義	前：成人看護学概論 p294-302、慢性期看護論p123-126を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	谷口 千枝
11	2027/01/21 (木)	1	地域に根差した看護活動 ープライマリケアー	講義	前：慢性期看護論p154-159を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	谷口 千枝
12	2027/01/21 (木)	2	病いの慢性性とともに生きる対象者の理解 ー病みの軌跡ー	講義	前：成人看護学概論p228-240を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	森 莉那
13	2027/01/26 (火)	1	長期療養者の強みを引き出し強化する看護 ーストレングスモデルー	講義	前：ストレングスモデルについて関連書籍や文献等を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各120分程度	森 莉那
14	2027/01/28 (木)	1	がんをもつ人への理解 ーがん看護総論ー	講義	前：厚生労働省HP「がん対策基本法」「がん対策推進基本計画」を読んでおく 後：がんをもつ対象者の特徴について講義資料を基にまとめる 前後各120分程度	森 莉那
15	2027/01/28 (木)	2	地域包括ケアからみた退院支援と多職種連携 ー生活の再構築に向けた支援ー	講義	前：厚生労働省HP「地域包括ケアシステム」を閲覧する 後：多職種と連携して行う退院支援における看護師の役割についてまとめる 前後各120分程度	森 莉那
16	2027/02/03 (水)	3	定期試験			谷口 千枝 坂田 久美子 森 莉那 佐藤 ゆかり 伊藤 真規

評価方法	課題レポート(2回)20%、定期試験80%で評価する。
教科書・参考書	教科書： 1 安酸史子編：「成人看護学概論」、ナーシンググラフィカ 第5版（2022/1）、定価3,520円（税込み） 2 道又元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院 第2版（2020/2）、定価2,530円（税込み） 3 鈴木志津枝他編：「慢性期看護論」、ヌーベルヒロカワ、第3版（2020/1）、定価2,860円（税込み） 4 小松浩子他編：「系統看護学講座―別巻『がん看護学』」、医学書院、第3版（2022/2）、定価2,530円（税込み） （2の教科書は、クリティカルケア論でも使用し、3・4の教科書は、成人看護学Ⅲでも使用する） 参考書： 1 厚生労働省統計協会編：「国民衛生の動向2025/2026」、定価3,740円（税込み） 2 白石裕子監訳/Laurie N. Gottlieb：「ストレングスにもとづく看護ケア 第1巻理論編」、看護の科学社（2020）、定価2,750円（税込み） その他随時紹介する。
履修上の注意 点及び取扱い	1 履修について （1）教科書だけでなく、紹介する図書なども読み自己学習を行い、積極的に講義に臨む。 （2）視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。 3 定期試験について （1）2／3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 （2）追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 （3）定期試験に不合格の場合は再試験を1回実施する。再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 4 フィードバックについて 講義後の振り返りのフィードバックは、質疑等について次回の講義前に全体で共有できるように回答する。 定期試験のフィードバックは、別途解説講義を予定する。
オフィスアワー	谷口 千枝 月曜日 16：30～18：00 看護学部棟4階N451研究室 坂田 久美子 火曜日 16：30～18：00 看護学部棟2階N255研究室 森 莉那 月曜日 16：30～18：00 看護学部棟2階N254研究室 佐藤 ゆかり 月曜日 16：30～18：00 看護学部棟4階N453研究室 伊藤 真規 水曜日 16：30～18：00 看護学部棟4階N454研究室
備考	授業は学修サポートシステムAIDLE-Kを活用する。授業までに成人看護学Ⅰにアクセスしておくこと。 毎回講義後は、AIDLE-Kに振り返りや質問を提出する。課題レポートはAIDLE-Kへの投稿をもって提出とする場合がある。 〔実務〕 大学病院等で臨床看護師としての実務経験をもつ教員が、長期療養者の生活や健康、患者教育及び看護専門職者及び関連職者の活動等について教育を行う。 本科目は、講義者の研究知見及び最新の知見（日本慢性看護学会、急性期治療ガイドライン、意思決定・終末期医療等のガイドライン）に基づいて授業を構成している。

講義名	成人看護学Ⅱ（急性期看護）		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Adult Nursing Ⅱ (Acute Care Nursing)		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜A組＞		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 坂田 久美子
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	伊藤 真規
助 教	森本 直樹

科目概要	急性期・慢性期の特徴を踏まえ、対象となる患者の身体的・心理的・社会的特徴や家族を含めた健康課題・ニーズ、治療的侵襲による生体反応と合併症等への予防的ケア及び療養生活に必要なセルフマネジメント・スキル獲得への支援に必要な看護実践の基盤となる知識や技術について演習を通して学修する。
目標	1. 周術期にある対象の診断期における心理面の特徴と意思決定を支援する看護を説明できる。[DP:1・5] 2. 周術期にある対象の治癒力を高め、術後合併症を予防する看護について説明できる [DP:1・3・5] 3. 手術による形態・機能の変化が生活へ及ぼす影響を踏まえ、対象のセルフケア能力を引き出し、その人らしく自立した生活を支える看護を検討できる [DP:1～3・5] 4. 治療的侵襲による生体反応と合併症等への予防的ケアに対し、専門的知識に基づく看護過程を理解し、対象の身体・心理・社会的ニーズ を分析し、対象の目標・アウトカムの設定・計画立案ができる [DP:1・2・5・6]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/08 (水)	3	ガイダンス 周術期とは 1) 治療・処置・検査の援助に関する看護の目的・方法 2) 治療・処置・検査の意思決定を支える看護 3) 術前検査結果の意味と看護への活かし方	講義	前：教 1 p. 2-10, p. 56-65, p. 79-83, p. 220-230を読む 後：術前看護についてまとめる 前後各120分程度	坂田 久美子 佐藤 ゆかり 伊藤 真規 森本 直樹
2	2026/04/08 (水)	4	周術期にある人を支える看護過程の展開に必要な基礎的知識	講義	前：教 3 p. 3-29を読む 後：NANDA-I看護診断についてまとめる 前後各120分程度	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
3	2026/04/10 (金)	1	手術による外科的侵襲で生じる生体反応と治療方針と看護活動：循環動態 1) 全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響 2) 循環血流量減少性ショックの発生要因 3) 深部静脈血栓症の発生要因 4) 看護の方向性	講義	前：教 1 p. 236-237, p. 317-319, 教 2 p. 56-60を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
4	2026/04/10 (金)	2	手術による外科的侵襲で生じる生体反応と治療方針と看護活動：呼吸器 1) 全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響 2) 無気肺・術後肺炎の発生要因 3) 開胸術による肺の膨張不全の発生要因 4) 看護の方向性	講義	前：教 1 p. 235-236, p. 312-313, p. 320-321を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	森本 直樹 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 伊藤 真規

5	2026/04/15 (水)	3	全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響のアセスメント、分析、計画① 1) 体液量バランス障害リスク状態 2) 血栓症リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 久美子 坂田 真規 伊藤 直樹 森本
6	2026/04/15 (水)	4	手術による外科的侵襲で生じる生体反応と治療方針と看護活動：消化器 1) 全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響 2) イレウスの発生要因 3) 看護の方向性 手術による外科的侵襲で生じる生体反応と治療方針と看護活動：脳神経系 1) 全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響 2) せん妄の発生要因 3) 看護の方向性 手術による創傷の特徴（創傷の分類、治癒過程等）と創傷管理 1) 創傷治癒過程 2) 創傷感染・縫合不全の発生要因 3) 看護の方向性	講義	前：教 1 p. 36-49, p. 121-123, p. 321-324を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	坂田 久美子 佐藤 久美子 伊藤 直樹 森本
7	2026/04/17 (金)	1	全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響のアセスメント、分析、計画② 1) 呼吸パターン不良	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 久美子 坂田 真規 伊藤 直樹 森本
8	2026/04/17 (金)	2	手術による形態・機能の変化と回復過程およびその回復を支える看護 1) 人工肛門造設術 2) 胃切除術 3) 乳房切除術	講義	前：教 1 p. 329-331, p. 362-363, p. 368-369を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	森本 直樹 坂田 久美子 佐藤 久美子 伊藤 真規
9	2026/04/22 (水)	3	手術室における症状・生体変化・生体管理のモニタリング 1) 手術室の環境 2) 患者入室までの看護 3) 麻酔と看護 4) 手術体位と看護 5) 術中異常と看護	講義	前：教 1 p. 250-272を読む 後：術中看護についてまとめる 前後各120分程度	ゲストスピーカー (坂田久美子)
10	2026/04/22 (水)	4	全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響のアセスメント、分析、計画③ 1) 胃腸運動障害リスク状態 2) 手術部位感染リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 久美子 坂田 真規 伊藤 直樹 森本
11	2026/04/30 (木)	4	全身麻酔及び手術が生活の変化に及ぼす影響のアセスメント、分析、計画④ 1) 健康維持行動不良	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 久美子 坂田 真規 伊藤 直樹 森本
12	2026/05/07 (木)	4	周術期にある対象の排泄援助技術・管理：ストーマの観察・装具の交換	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	森本 直樹 坂田 久美子 佐藤 久美子 伊藤 真規
13	2026/05/08 (金)	3	周術期の段階に応じた循環を整えるための技術：水分出納の管理 ①水分出納計算 ②点滴滴下計算 ③輸液滴下調整 ④輸液ポンプ・シリンジポンプの管理	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 久美子 森本 直樹
14	2026/05/29 (金)	3	周術期にある対象への看護技術①：目的・方法・根拠を踏まえた観察・評価	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 久美子 坂田 真規 伊藤 直樹 森本
15	2026/05/29 (金)	4	周術期にある対象への看護技術②：侵襲の予測・観察と異常の早期発見	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う	佐藤 久美子 坂田 久美子

					沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤 真規 森本 直樹
16	2026/07/29 (水)	3	定期試験			全員
評価方法		定期試験(70%)、事前課題・課題レポート及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。				
教科書・参考書		教科書： 1 池上徹、高橋則子編：「別巻 臨床外科看護総論」、医学書院〔第12版〕（2025/02）、定価3,080円(税込) 2 道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院〔第2版〕（2020/02）、定価2,530円（税込） ※2はクリティカルケア論 指定教科書 3 上鶴 重美訳：「NANDA-I看護診断 定義と分類2024-2026 原書第13版」医学書院〔第1版〕（2025/02） 定価3,630円（税込） 参考書： その他、授業で適宜紹介する。				
履修上の注意点 及び取扱い		1 単位修得について (1) 出席3分の2に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 (2) 単位取得は、課題レポート等及び定期試験に合格した場合に認める。 (3) 定期試験に不合格の場合は再試験を1回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 (4) 「成人看護学Ⅱ」の単位修得が「成人看護学実習Ⅰ」を履修する前提条件となる。 (5) 理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 (6) 演習記録やレポート、定期試験の結果はポートフォリオに保存し、学修成果を振り返って自己評価すること。 (7) 本科目の内容は、成人看護学実習Ⅰに連動しているため講義資料は実習でも活用する。 2 出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計3回打刻する。 3 定期試験終了後、解説講義を行う。日程は調整後、掲示する。 4 その他 (1) 講義毎（同じ教員の2コマ続きの講義は1回）、振り返り用紙に学びや振り返りを記載し、次回の講義時にフィードバックを受ける。 (2) 許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 6 凡例 グループワーク GW シミュレーション SIM				
オフィスアワー		坂田 久美子 火曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N255研究室 佐藤 ゆかり 水・木曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N453研究室 伊藤 真規 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N454研究室 森本 直樹 水・木曜日 16:20～18:00 基礎科学棟3階N374研究室				
備考		〔実務〕 ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力の獲得について、経験と実績を活かして本授業の講義および演習を行う。 ・本科目は、最新の知見及び最新治療ガイドラインを用いて授業を構成している。				

講義名	成人看護学Ⅱ（急性期看護）		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
（英文名）	Adult Nursing Ⅱ (Acute Care Nursing)		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択＜組＞	必修＜B組＞		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 坂田 久美子
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	伊藤 真規
助 教	森本 直樹

科目概要	急性期・慢性期の特徴を踏まえ、対象となる患者の身体的・心理的・社会的特徴や家族を含めた健康課題・ニーズ、治療的侵襲による生体反応と合併症等への予防的ケア及び療養生活に必要なセルフマネジメント・スキル獲得への支援に必要な看護実践の基盤となる知識や技術について演習を通して学修する。
目標	1. 周術期にある対象の診断期における心理面の特徴と意思決定を支援する看護を説明できる。[DP:1・5] 2. 周術期にある対象の治癒力を高め、術後合併症を予防する看護について説明できる [DP:1・3・5] 3. 手術による形態・機能の変化が生活へ及ぼす影響を踏まえ、対象のセルフケア能力を引き出し、その人らしく自立した生活を支える看護を検討できる [DP:1～3・5] 4. 治療的侵襲による生体反応と合併症等への予防的ケアに対し、専門的知識に基づく看護過程を理解し、対象の身体・心理・社会的ニーズ を分析し、対象の目標・アウトカムの設定・計画立案ができる [DP:1・2・5・6]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/08 (水)	3	ガイダンス 周術期とは 1) 治療・処置・検査の援助に関する看護の目的・方法 2) 治療・処置・検査の意思決定を支える看護 3) 術前検査結果の意味と看護への活かし方	講義	前：教 1 p. 2-10, p. 56-65, p. 79-83, p. 220-230を読む 後：術前看護についてまとめる 前後各120分程度	坂田 久美子 佐藤 ゆかり 伊藤 真規 森本 直樹
2	2026/04/08 (水)	4	周術期にある人を支える看護過程の展開に必要な基礎的知識	講義	前：教 3 p. 3-29を読む 後：NANDA-I看護診断についてまとめる 前後各120分程度	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
3	2026/04/10 (金)	1	手術による外科的侵襲で生じる生体反応と治療方針と看護活動：循環動態 1) 全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響 2) 循環血流量減少性ショックの発生要因 3) 深部静脈血栓症の発生要因 4) 看護の方向性	講義	前：教 1 p. 236-237, p. 317-319, 教 2 p. 56-60を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
4	2026/04/10 (金)	2	手術による外科的侵襲で生じる生体反応と治療方針と看護活動：呼吸器 1) 全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響 2) 無気肺・術後肺炎の発生要因 3) 開胸術による肺の膨張不全の発生要因 4) 看護の方向性	講義	前：教 1 p. 235-236, p. 312-313, p. 320-321を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	森本 直樹 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 伊藤 真規

5	2026/04/15 (水)	3	全身麻酔及び手術が循環器系に及ぼす影響のアセスメント、分析、計画① 1) 体液量バランス障害リスク状態 2) 血栓症リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
6	2026/04/15 (水)	4	手術による外科的侵襲で生じる生体反応と治療方針と看護活動：消化器 1) 全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響 2) イレウスの発生要因 3) 看護の方向性 手術による外科的侵襲で生じる生体反応と治療方針と看護活動：脳神経系 1) 全身麻酔及び手術が脳神経系に及ぼす影響 2) せん妄の発生要因 3) 看護の方向性 手術による創傷の特徴（創傷の分類、治癒過程等）と創傷管理 1) 創傷治癒過程 2) 創傷感染・縫合不全の発生要因 3) 看護の方向性	講義	前：教 1 p. 36-49, p. 121-123, p. 321-324を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	坂田 久美子 佐藤 ゆかり 伊藤 真規 森本 直樹
7	2026/04/17 (金)	1	全身麻酔及び手術が呼吸器系に及ぼす影響のアセスメント、分析、計画② 1) 呼吸パターン不良	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
8	2026/04/17 (金)	2	手術による形態・機能の変化と回復過程およびその回復を支える看護 1) 人工肛門造設術 2) 胃切除術 3) 乳房切除術	講義	前：教 1 p. 329-331, p. 362-363, p. 368-369を読む 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	森本 直樹 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 伊藤 真規
9	2026/04/22 (水)	3	手術室における症状・生体変化・生体管理のモニタリング 1) 手術室の環境 2) 患者入室までの看護 3) 麻酔と看護 4) 手術体位と看護 5) 術中異常と看護	講義	前：教 1 p. 250-272を読む 後：術中看護についてまとめる 前後各120分程度	ゲストスピーカー （坂田久美子）
10	2026/04/22 (水)	4	全身麻酔及び手術が消化器系に及ぼす影響のアセスメント、分析、計画③ 1) 胃腸運動障害リスク状態 2) 手術部位感染リスク状態	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
11	2026/04/30 (木)	4	全身麻酔及び手術が生活の変化に及ぼす影響のアセスメント、分析、計画④ 1) 健康維持行動不良	GW	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
12	2026/05/07 (木)	3	周術期にある対象の排泄援助技術・管理：ストーマの観察・装具の交換	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	森本 直樹 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 伊藤 真規
13	2026/05/08 (金)	4	周術期の段階に応じた循環を整えるための技術：水分出納の管理 ①水分出納計算 ②点滴滴下計算 ③輸液滴下調整 ④輸液ポンプ・シリンジポンプの管理	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
14	2026/05/27 (水)	3	周術期にある対象への看護技術①：目的・方法・根拠を踏まえた観察・評価	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各120分程度	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
15	2026/05/27 (水)	4	周術期にある対象への看護技術②：侵襲の予測・観察と異常の早期発見	SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に	佐藤 ゆかり 坂田 久美子

					沿って事後課題を行う 前後各120分程度	伊藤 真規 森本 直樹
16	2026/07/29 (水)	3	定期試験			全員
評価方法		定期試験(70%)、事前課題・課題レポート及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。				
教科書・参考書		教科書： 1 池上徹、高橋則子編：「別巻 臨床外科看護総論」、医学書院〔第12版〕（2025/02）、定価3,080円(税込) 2 道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院〔第2版〕（2020/02）、定価2,530円（税込） ※2はクリティカルケア論 指定教科書 3 上鶴 重美訳：「NANDA-I看護診断 定義と分類2024-2026 原書第13版」医学書院〔第1版〕（2025/02） 定価3,630円（税込） 参考書： その他、授業で適宜紹介する。				
履修上の注意点 及び取扱い		1 単位修得について (1) 出席3分の2に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 (2) 単位取得は、課題レポート等及び定期試験に合格した場合に認める。 (3) 定期試験に不合格の場合は再試験を1回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 (4) 「成人看護学Ⅱ」の単位修得が「成人看護学実習Ⅰ」を履修する前提条件となる。 (5) 理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 (6) 演習記録やレポート、定期試験の結果はポートフォリオに保存し、学修成果を振り返って自己評価すること。 (7) 本科目の内容は、成人看護学実習Ⅰに連動しているため講義資料は実習でも活用する。 2 出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計3回打刻する。 3 定期試験終了後、解説講義を行う。日程は調整後、掲示する。 4 その他 (1) 講義毎（同じ教員の2コマ続きの講義は1回）、振り返り用紙に学びや振り返りを記載し、次回の講義時にフィードバックを受ける。 (2) 許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 6 凡例 グループワーク GW シミュレーション SIM				
オフィスアワー		坂田 久美子 火曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N255研究室 佐藤 ゆかり 水・木曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N453研究室 伊藤 真規 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N454研究室 森本 直樹 水・木曜日 16:20～18:00 基礎科学棟3階N374研究室				
備考		〔実務〕 ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力の獲得について、経験と実績を活かして本授業の講義および演習を行う。 ・本科目は、最新の知見及び最新治療ガイドラインを用いて授業を構成している。				

講義名	成人看護学Ⅲ(慢性期看護)		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	2		
(英文名)	Adult Nursing Ⅲ(Chronic Care Nursing)		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 谷口 千枝
准 教 授	森 莉那
助 教	中村 恵理
助 教	小宮 麻椰
講 師(非)	中山 法子

科目概要	「成人看護学Ⅰ」で学修した内容を基盤とし、慢性期および増悪期の特徴を踏まえ、対象となる患者の身体的・心理的・社会的特徴や、家族を含めた健康課題・ニーズ、治療に伴う副作用と合併症等への予防、及び療養生活に必要なセルフマネジメント・スキル獲得への支援に必要な看護実践について学修する。また、地域包括ケアに必要な多職種連携・協働、継続看護など、看護実践の基盤となる知識や技術について学修する。
目標	1 慢性の病いをもつ対象者の身体・心理・社会的なニーズや健康課題を理解し、長期的な療養支援の必要性について説明できる。「DP：2」 2 日常生活に慢性的・侵害的な症状をもつ対象者へのセルフマネジメント・スキル獲得における看護(患者教育)について説明できる。「DP：2」 3 臨床から地域・在宅生活へ復帰するために必要な地域包括ケアにおける多職種の連携・協働について説明できる。「DP：3」 4 事例を用いて慢性の病いをもつ対象者のセルフマネジメント能力をアセスメントし、セルフマネジメント能力を最大限に発揮するための課題達成思考の看護過程を展開できる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/13 (月)	1	ガイダンス 慢性の病いをもつ対象者への行動変容の支援	講義	予：成人看護学Ⅰの資料を読み直す。 復：行動変容の課題から、慢性の病いをもつ対象者に 応用する方法について考え まとめる。 各120分～	谷口 千枝 森 莉那 中村 恵理 小宮 麻椰
2	2026/04/13 (月)	2	増悪・緩解を繰り返す慢性の病いをもつ対象者への看護 慢性閉塞性肺疾患(COPD)をもつ対象者への看護	講義	予：教174-205を読み、該 当箇所のWBについてまとめ る。 復：COPD対象者のセルフマ ネジメントについて講義資 料を基にまとめる。 各120分～	谷口 千枝 森 莉那 中村 恵理 小宮 麻椰

3	2026/04/20 (月)	2	増悪・緩解を繰り返す慢性の病いをもつ対象者への看護 関節リウマチをもつ対象者への看護	講義	予：関節リウマチの病態と治療についてWBをまとめる。 復：関節リウマチ患者に必要な支援について授業資料を基にまとめる。 各120分～	中村 恵理 谷口 千枝 森 莉那 小宮 麻椰
4	2026/04/20 (月)	3	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[1] アセスメント・全体像の把握・ありたい姿・強み	講義・演習	予：事例患者の病態情報についてアセスメントし、生活状況も含めて関連図に示す。 復：関連図・情報の統合の見直しと追加・修正を行う。 各120分	森 莉那 谷口 千枝 中村 恵理 小宮 麻椰
5	2026/04/27 (月)	1	がん薬物療法を受ける対象者に必要な看護 治療的侵襲の副作用とその症状マネジメント	講義	予：教(がん看護学)153-180を読み、該当箇所のWBをまとめる。 復：がん薬物療法を受ける対象者のセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各120分～	森 莉那 谷口 千枝 中村 恵理 小宮 麻椰
6	2026/04/27 (月)	2	がん放射線治療を受ける対象者に必要な看護 治療的侵襲の副作用とその症状マネジメント	講義	予：教(がん看護学)180-200を読み、該当箇所のWBをまとめる。 復：放射線療法を受ける対象者のセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各120分～	森 莉那 谷口 千枝 中村 恵理 小宮 麻椰
7	2026/05/11 (月)	1	経過の緩慢な病いをもつ対象者への看護 糖尿病をもつ対象者への看護	講義	予：教300-311、WBを基に血糖値と糖尿病の病態・治療についてまとめる。WBの事例を読み、病態について調べる。 復：講義資料をもとに糖尿病をもつ対象者への支援についてまとめる。 各120分～	小宮 麻椰 谷口 千枝 森 莉那 中村 恵理
8	2026/05/11 (月)	2	慢性の病いをもつ対象者の療養生活を支援するプライマリ・ケアと継続看護	講義	予：該当箇所のWBについて調べまとめる。 復：プライマリケアにおける看護師の役割について講義資料を基にまとめる。 各120分～	中山 法子 谷口 千枝 森 莉那 中村 恵理 小宮 麻椰
9	2026/05/20 (水)	3	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[2] 課題の抽出・目標設定・課題達成型看護計画の立案	演習 (GW)	予：事例のアセスメント、関連図、情報の統合を基に対象者の課題を抽出し、グループメンバーで共有し、優先順位の高い課題について各自で看護計画を立案する。 復：対象者の個性をふまえ、実践可能な看護計画とするための追加・修正を行う。 各120分～	森 莉那 谷口 千枝 中村 恵理 小宮 麻椰
10	2026/05/20 (水)	4	慢性の病いをもつ対象者に対する看護技術 自己血糖測定とインスリン療法	演習	予：WB、Nursing Skill (GEN-0126、GEN-0083、GEN-0091)、事前配布資料を基に自己血糖測定とインスリン注射の手技を確認し、注意点をまとめる。 復：WBのワークシートを完成させる。Nursing Skillの技術チェックリストを確	中村 恵理 谷口 千枝 森 莉那 小宮 麻椰

					認しWBに綴じる。 各120分～	
11	2026/06/26 (金)	1	進行性の病いをもつ対象者への看護 慢性腎臓病（CKD）をもつ対象者への看護	講義	予：教324 - 330、該当箇所のWBをまとめる。 復：CKD対象者と透析対象者へのセルフマネジメントについて講義資料を基にまとめる。 各120分～	森 莉那 谷口 千枝 中村 恵理 小宮 麻椰
12	2026/06/26 (金)	2	慢性の病いをもつ対象者への患者教育 事例に対する患者教育	講義・演習	予：成人看護学Ⅰのセルフマネジメント、社会的学習理論、行動変容の資料を振り返りまとめる。 復：対象者の個性性をふまえた患者教育とするためのシナリオ内容の追加・修正を行う。 各120分～	谷口 千枝 森 莉那 中村 恵理 小宮 麻椰
13	2026/07/07 (火)	1	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[3] 立案した看護計画の実践	演習 (GW)	予：発表シナリオを作成する。グループ毎の役割を確認し、発表に向けて準備をする。 復：演習で実施・観察した看護場面をSOAPで記載する。各自で看護計画を修正する。 各120分～	森 莉那 谷口 千枝 中村 恵理 小宮 麻椰
14	2026/07/07 (火)	2	慢性の病いとともに生きる対象者への看護過程の展開[4] 実践した看護計画の評価修正	演習 (GW)	予：発表シナリオを作成する。グループ毎の役割を確認し、発表に向けて準備をする。 復：演習で実施・観察した看護場面をSOAPで記載する。各自で看護計画を修正する。 各120分～	森 莉那 谷口 千枝 中村 恵理 小宮 麻椰
15	2026/07/14 (火)	2	行動変容の振り返り 慢性期にある対象者への看護のまとめ	講義・演習	予：これまでの講義資料を読み、不明・疑問点を洗い出す。 行動変容の実践についてまとめ、レポートを提出する。 復：科目のまとめを振り返り、試験に備えて整理する。 各120分～（時間は制限しない。）	谷口 千枝 森 莉那 中村 恵理 小宮 麻椰
16	2026/07/31 (金)	2	定期試験			

評価方法	定期試験(70%)、事前学習・看護過程課題(20%)、レポート(10%)
教科書・参考書	教科書： 1 鈴木志津枝他編：「成人看護学「慢性期看護論」」、ヌーヴェルヒロカワ、第3版(2014/3)、定価2,860円(税込み) 2 小松浩子他編：「系統看護学講座一別巻『がん看護学』」、医学書院、第3版(2022/2)、定価2,530円(税込み) 3 安酸史子他編：「成人看護学「セルフマネジメント」」、ナーシング・グラフィカ、第4版(2022/1)、定価3,300円(税込み) 参考書： 1 安酸史子編：「成人看護学概論」、ナーシンググラフィカ、第5版(2022/1)、定価3,520円(税込み) その他、授業で適宜紹介する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) この科目の単位修得が「成人看護学実習Ⅱ」を履修する前提条件となる。 (2) 各講義で扱う疾患の病態や治療について既習の知識を復習し、積極的に講義に臨む。 (3) 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 (4) 本科目の内容は、成人看護学実習Ⅱに連動しているため、講義資料は実習でも活用する。 2 出欠席について

	出席管理システム(講義・演習開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。2コマ連続講義の場合は、講義開始前・後の合計3回、打刻をする。 3 定期試験について (1) 3分の2以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (3) 定期試験に不合格の場合は、再試験を1回実施する。再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 (4) 定期試験終了後、試験内容についてフィードバックする機会(解説&質問への応答)を設ける。日程は調整後に掲示し、自由参加とする。 (5) 演習記録やレポート、定期試験の結果はポートフォリオに保存し、学修成果を振り返って自己評価すること。 4 振り返りシートのフィードバックについて 毎回の授業前に前回の振り返りに記載された質疑についてフィードバックを行う。 5 凡例 GW：グループワーク
オフィスアワー	谷口 千枝 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N451研究室 森 莉那 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N254研究室 中村 恵理 月曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N370研究室 小宮 麻椰 月曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N372研究室 非常勤講師 講義終了時に質問等を受け付ける。
備考	[実務] 大学病院等において、看護師としての実務経験をもつ教員及び臨床看護師が、慢性の病い及び終末期に至る生活調整の必要な対象者の特性を理解し、健康課題に対応した看護及び臨床から地域への退院支援における多職種連携・協働について教育する。 本科目は、最新の知見、最新の治療ガイドライン、教員の研究成果に基づいて授業を構成している。

講義名	精神看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Psychiatric and Mental Health NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 心光 世津子
講 師	小久保 知由起
講 師	坪之内 千鶴

科目概要	精神の健康、精神の機能と障がいのとらえ方及び精神看護学の基本的な考え方を踏まえ、精神看護実践に必要な理論や基礎知識を学ぶ。看護の基盤となる人間理解を軸として、心のはたらきや人間関係の発展、ストレス・危機状態の反応、精神保健医療福祉の歴史や様々な精神疾患の特徴と看護について学び、精神保健医療福祉における今日的課題の理解を深める。
目標	1 心のしくみやはたらきを、発達、精神力動、ストレス、危機の観点で説明できる。「DP:1・5」 2 精神保健医療福祉の現状や課題を、治療の歴史と人権、法制度の変遷と関連付けて説明できる。「DP:1」 3 現代社会における精神保健・看護ニーズと精神看護学の基本的考え方を説明できる。「DP:1～5」 4 主な精神疾患や障害の成り立ちや特徴、主な治療と看護について説明できる。「DP:1・3・5」 5 精神看護における回復のビジョンについて自身の考えを述べるができる。「DP:1～6」
授業計画表	

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/12/14 (月)	2	精神看護学を学ぶことの意義：現代社会における精神保健・医療ニーズ、精神看護学とその課題、精神看護学の基本的な考え方	講義	前：教[1]pp.2-22を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光 世津子
2	2026/12/15 (火)	2	人格の成長と心のはたらき：人格と気質、意識と認知機能、知能、人格の発達に関する諸理論	講義	前：教[1]pp.56-86, 90-114を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光 世津子
3	2026/12/17 (木)	3	ストレスと健康の危機：危機という考え方、心理的ストレスとライフイベント、防衛機制、予防の概念、コーピング、ストレングス、レジリエンス	講義	前：教[1]pp.31-48, 86-90を熟読する。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光 世津子
4	2026/12/22 (火)	1	精神の健康と健康障害：精神の健康とは、ふつうというもののさし、スティグマ、精神障害の捉え方、医学モデルと社会モデル、生活機能分類	講義	前：教[1]pp.24-30, 49-53, 330-335を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光 世津子

5	2026/12/22 (火)	2	精神保健医療福祉の歴史と現状：精神障害と治療の歴史、法制度と看護職の役割、患者の尊厳の保持と権利擁護	講義	前：教[1]pp. 298-322, 335-361を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学習内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光 世津子
6	2026/12/25 (金)	3	精神疾患と治療：精神科における検査と診断、治療（身体療法、精神療法、薬物療法）	講義	前：第4回の授業資料、教[1]pp. 74-79, 162-164, 236-296を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後約120分	心光 世津子
7	2026/12/25 (金)	4	精神症状と生活：さまざまな精神症状の概要、症状を体験している人の理解	講義	前：教[1]pp. 5-9, 144-162を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	坪之内 千鶴
8	2027/01/05 (火)	2	統合失調症をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 165-182を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	坪之内 千鶴
9	2027/01/05 (火)	3	パーソナリティ症をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 216-217を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	坪之内 千鶴
10	2027/01/13 (水)	3	物質関連症および嗜癖症をもつ人の理解と看護：当事者の体験、セルフヘルプグループの機能と役割	講義	前：教[1]pp. 201-207, 教[2]pp. 146-150を読む。 後：レポート課題に取り組む。 前後各120分	心光 世津子 ゲストスピーカー
11	2027/01/19 (火)	2	双極症および抑うつ症をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 182-191を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	小久保 知由起
12	2027/01/19 (火)	3	神経発達症をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 211-215、事前提示資料を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	心光 世津子 ゲストスピーカー
13	2027/01/22 (金)	3	不安症、強迫症、ストレス因関連症等をもつ人の理解と看護	講義	前：教[1]pp. 191-201, 215-216を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	小久保 知由起
14	2027/01/26 (火)	3	回復とはどういうことか：リカバリーとピアサポート	講義	前：教[2]pp. 70-113を読む。 後：授業前に提示する課題に取り組む。 前後約120分	心光 世津子 ゲストスピーカー
15	2027/01/29 (金)	3	回復を支える精神医療保健福祉チーム：精神看護専門看護師の活動、リエゾン精神看護、多職種連携、医療の場と心の健康、看護職者のメンタルヘルス	講義	前：教[2]pp. 350-372, 390-411を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各120分	小久保 知由起

16	2027/02/02 (火)	2	定期試験			心光 世津子 小久保 知由 起 坪之内 千鶴
評価方法		定期試験（80％）、課題提出（20％） 授業態度・参加度について内容に応じ減点を行う				
教科書・参考書		教科書： 1 武井麻子編著：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[1]精神看護の基礎」、医学書院、第6版、（2021/2）、定価2,530円（税込み） 2 武井麻子編著：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[2]精神看護の展開」、医学書院、第6版、（2021/2）、定価2,530円（税込み） 参考書： 1 落合慈之監修：「精神神経疾患ビジュアルブック」、学研メディカル秀潤社、（2015/9）、定価3,960円（税込み） このほか適宜紹介する。				
履修上の注意点及び取扱い		1 履修について (1) 教科書だけでなく、授業で紹介した図書を読むなどの自己学習を行う。 (2) 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配付をしないこと。 (3) この科目に合格しないと「精神看護学Ⅱ」の履修はできない。 2 出欠席について (1) 出席の確認は、出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）による。2コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計2回、打刻する。 (2) 遅刻3回で欠席1回とみなす。 3 課題提出について (1) 提出締切は厳守すること。やむを得ない事由で期限までの提出ができない場合には、必ずメ切前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 (2) 課題は該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。 (3) 剽窃、盗用については評価が0となる。人工知能・代筆によるレポート作成が判明した場合も同様とする。 4 定期試験について (1) 3分の2以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (3) 定期試験は100点満点で採点し、得点が60点以上を合格とする。合格しなかった場合には、再試験を1回行う。 (4) 「課題提出」の評価が6割に満たない場合、定期試験でそれを補うだけの十分な得点を獲得し全体評価として6割に達する必要がある。全体評価として6割に満たない場合には、再試験を1回行う。 5 試験やレポートに対するフィードバックについて (1) 授業時に提出する課題内容をふまえて授業時間内に解説やAIDLE-Kでの講評を行う。 (2) 定期試験終了後、講評をAIDLE-Kに掲載する。 6 凡例 教：教科書				
オフィスアワー		心光 世津子 金曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室2 小久保 知由起 月曜日 16：30～18：00 基礎科学棟3階N369研究室 坪之内 千鶴 月曜日 16：30～18：00 基礎科学棟3階N372研究室				
備考		1 授業後に学習する内容（復習と課題）については授業前にも調べておくこと。 2 授業前の自己学習をふまえ学習内容についての疑問をもって授業に臨むこと。 3 レポート、ワーク等では、自分の言葉で考え表現することを重視している。 〔実務〕 精神科病棟等において、看護師としての実務経験のある教員が、精神障害をもつ人や家族に対する看護の展開方法、及び精神看護における対象理解や回復過程に対応した援助方法の演習を通して、精神看護の具体的な方法を教育する。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	精神看護学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Psychiatric and Mental Health Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 心光 世津子
講 師	小久保 知由起
講 師	坪之内 千鶴
講 師(非)	益田 貴士

科目概要	精神看護実践の基盤となる看護者の役割や治療的関係の理論・知識をもとに、精神疾患をもつ人や家族に対する看護を実践するための具体的な援助方法を学ぶ。精神看護の場面における援助方法の演習体験を通して、精神看護の治療的意味の理解を深める。また、精神保健医療福祉における多職種連携や地域生活支援での看護者の役割を理解する。
目標	1 精神科における治療・支援の方法や入院治療の特徴について説明できる。「DP 1・2」 2 精神疾患・障害をもつ人の主体性やストレングス、価値の多様性を基盤としながら安全を守り回復を支える方法について述べるができる。「DP 1～5」 3 精神疾患・障害をもつ人の地域生活を支える制度や社会資源、方法について説明できる。「DP 1～3・5」 4 治療的関係やプロセスレコードを用いた関係のアセスメントについて説明できる。「DP 1・5」 5 精神疾患・障害からの回復過程をふまえたアプローチ実施に向けての自己の課題を述べるができる。「DP 5・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/10 (金)	3	精神看護の実践に向けて：精神看護者の役割、ケアの前提・原則・方法、ケアの人間関係	講義	前：教[2]pp. 2-27を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後約30分	心光 世津子
2	2026/04/17 (金)	3	患者－看護者の治療的関係とコミュニケーション：患者－看護者関係の発展段階、治療的コミュニケーション、関係のアセスメント、プロセスレコードの活用	講義	前：教[2]pp. 28-68、教[3]pp. 38-47を読む。 後：生活上の会話の一場面を取り上げ、プロセスレコードを記載する。 前後約30分	心光 世津子
3	2026/04/24 (金)	3	治療の場の特徴：入院治療の目的と意味、入院形態、治療的環境、社会的入院、リハビリテーション	講義	前：教[2]pp. 196-254を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	小久保 知由起

4	2026/04/24 (金)	4	回復を支える①：生活面の援助—精神症状の生活への影響、自己決定とセルフケアへの援助、SST、レクリエーション	講義	前：教[1]pp. 291-296、教[2]pp. 90-107を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	坪之内 千鶴
5	2026/05/01 (金)	2	回復を支える②：身体面への治療と援助—精神科治療と身体へのケア、心身相関、身体合併症、症状精神病	講義	前：教[1]pp. 229-234、教[2]pp. 256-310を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	坪之内 千鶴
6	2026/05/14 (木)	4	回復を支える③：安全をまもる援助—リスクマネジメント、自殺予防、行動制限、緊急事態（災害含む）への対処	講義	前：教[2]pp. 312-348を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	小久保 知由起
7	2026/05/21 (木)	4	回復を支える④：地域生活を支える制度・社会資源と支援の実際—障害者総合支援法、地域生活支援施設、就労支援、多職種連携	講義	前：教[2]pp. 116-178を読む。 後：教科書と授業資料をもとに学修内容を800字程度にまとめる。 前後各30分	益田 貴士
8	2026/06/04 (木)	1	事例を通して看護展開を学ぶ①：事例提示、第一印象と感情、患者の背景・環境の整理（グループワーク）	演習	前：第1～7回の授業資料を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保 知由起 心光 世津子 坪之内 千鶴
9	2026/06/19 (金)	3	事例を通して看護展開を学ぶ②：生活機能のアセスメント（グループワーク）	演習	前：第1～8回の授業資料を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保 知由起 心光 世津子 坪之内 千鶴
10	2026/06/26 (金)	3	事例を通して看護展開を学ぶ③：回復過程とストレンギスをふまえた全体像の理解（グループワーク）	演習	前：第1～9回の授業資料、教[3]pp. 54-61を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保 知由起 心光 世津子 坪之内 千鶴
11	2026/06/26 (金)	4	事例を通して看護展開を学ぶ④：統合アセスメント（グループワーク）	演習	前：第1～10回の授業資料、教[3]pp. 62-69を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保 知由起 心光 世津子 坪之内 千鶴
12	2026/07/10 (金)	3	事例を通して看護展開を学ぶ⑤：援助の方向性（グループワーク）	演習	前：第1～11回の授業資料、教[3]pp. 70-76, 85-88を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保 知由起 心光 世津子 坪之内 千鶴
13	2026/07/10 (金)	4	事例を通して看護展開を学ぶ⑥：再構成法の活用、シナリオ・ロールプレイによる体験学習（ロールプレイ演習）	演習	前：教[2]pp. 28-53、教[3]pp. 38-47を読む。 後：授業時に提示した課題に取り組む。 前後各30分	小久保 知由起 心光 世津子 坪之内 千鶴
14	2026/07/17 (金)	3	精神科病院での看護の実際(1)：実習病院の紹介	講義	前：第1～13回の授業資料、教[3]pp. 17-22を読む。 後：提示資料やホームページ等を閲覧し実習施設の特徴や役割について調べる。 前後各30分	心光 世津子 小久保 知由起 坪之内 千鶴 ゲストスピーカー

15	2026/07/17 (金)	4	精神科病院での看護の実際(2):臨床経験と看護観に触れる意見交換	講義	前:これまでの授業で抱いた疑問や感情を振り返り、書き出す。 後:教[2]pp.2-17、教[3]第2章収載の3事例以上を読む。 前後各30分	心光 世津子 小久保 知由起 坪之内 千鶴 ゲストスピーカー
16	2026/07/28 (火)	3	定期試験			心光 世津子 小久保 知由起 坪之内 千鶴
評価方法		試験 50% 課題 50% 授業態度・参加度について内容に応じ減点を行う				
教科書・参考書		教科書: 1 武井麻子編著:「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[1]精神看護の基礎」、医学書院、第6版、(2021/2)、定価2,530円(税込み) 2 武井麻子編著:「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[2]精神看護の展開」、医学書院、第6版、(2021/2)、定価2,530円(税込み) 3 野中浩幸・心光世津子・乾富士男編著:「必携!精神看護学実習ポケットブック」、精神看護出版、第2版、(2019/4)、定価2,200円(税込み) 参考書: 適宜紹介する				
履修上の注意点及び取扱い		1 履修について (1) 教科書だけでなく、授業で紹介した図書を読むなどの自己学習を行う。 (2) 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音・再配付をしないこと。 (3) この科目に合格しないと「精神看護学実習」の履修はできない。 2 出欠席について (1) 出席の確認は、出席管理システム(講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻)による。2コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計2回、打刻する。 (2) 遅刻3回で欠席1回とみなす。 (3) 実習に直結する内容であるため、欠席は極力避けること。特に最終回は実習のオリエンテーションを含むため必ず出席すること。 3 課題提出について (1) 提出締切は厳守すること。やむを得ない事由で期限までの提出ができない場合には、必ずメ切前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 (2) ミニレポート等は該当する回の授業に出席参加していることを提出の条件とする。 (3) 剽窃、盗用については評価が0となる。 4 定期試験について (1) 3分の2以上の出席によって、定期試験の受験資格を認める。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うので、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (3) 「課題提出」の評価が6割に満たない場合、定期試験でそれを補うだけの十分な得点を獲得し全体評価として6割に達する必要がある。全体評価として6割に満たない場合には、再試験を1回行う。 5 試験や課題に対するフィードバックについて (1) 授業時に提出する課題をふまえて授業時間内に解説やAIDLE-Kでの講評を行う。 (2) 演習ではグループワークの状況、発表、課題に対して授業時間内に解説を行う。 (3) 定期試験終了後、講評をAIDLE-Kに掲載する。 6 凡例 教:教科書				
オフィスアワー		心光 世津子 金曜日 16:30~18:00 C棟5階教授室2 小久保 知由起 月曜日 16:30~18:00 基礎科学棟3階N369研究室 坪之内 千鶴 月曜日 16:30~18:00 基礎科学棟3階N372研究室 非常勤講師 授業終了後				
備考		1 授業後に学習する内容(復習と課題)については授業前にも調べておくこと。 2 授業前の自己学習をふまえて学習内容についての疑問をもって授業に臨むこと。 3 課題、演習では、自分の言葉で考え表現することを重視している。 [実務] 精神科病棟等において、看護師としての実務経験のある教員が、精神障害をもつ人や家族に対する看護の展開方法、及び精神看護における対象理解や回復過程に対応した援助方法の演習を通して、精神看護の具体的な方法を教育する。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	クリティカルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Critical Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修< A組>		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 坂田 久美子
教 授	森 一直
准 教 授	橋本 茜
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	伊藤 真規
講 師	上坂 真弓
助 教	森本 直樹

科目概要	突発的な事故や重篤な疾病、慢性疾患の急性増悪などにより急激な健康破綻をきたし、生命の維持が困難な危機的状況(クリティカル)にある患者と家族に対して、身体的・心理的・社会的側面を理解し、生命維持に向けた急変時対応と集中治療における看護について学修する。また、あらゆる治療・療養の場、及びあらゆる病期・病態において、クリティカルケアに携わる看護職の専門性とその役割について学修する。
目標	1. クリティカルケアを必要とする対象者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。[DP:1・2] 2. クリティカルケア看護及び救急看護の特性と専門性について説明できる。[DP:1～3・5・6] 3. クリティカルケアを必要とする対象者の健康障害に対するニーズや倫理的課題を分析し、それを活用した看護を説明できる。[DP:1・5・6] 4. クリティカルケア領域における生命活動を支える援助技術、治療・処置に伴う援助技術を実施することができる。[DP:1～3・5・6]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/28 (木)	4	①「あらゆる治療・療養の場」「あらゆる病期・病態」を対象とするクリティカルケア：一般病棟、ER、ICU等から在宅 ②クリティカルケアを必要とする対象者の特徴 ③クリティカルケアにおける倫理的課題と家族への援助	講義	前：教科書 1 p2-23を読む 後：クリティカルケアを必要とする対象者の特徴についてまとめる 前後各30分	坂田 久美子
2	2026/05/28 (木)	5	①生命の危機的状態に至る循環器系の主な疾患・病態における症状・徴候、検査、治療法 ②循環器系疾患における生命の危機的状態で見られる主な症状・徴候に対する医療面接・フィジカルイグザミネーション・看護活動	講義	前：教科書 1 p87-101を読む 後：循環機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	伊藤 真規
3	2026/06/02 (火)	1	①生命の危機的状態に至る呼吸器系の主な疾患・病態における症状・徴候、検査、治療法 ②呼吸器系疾患における生命の危機的状態で見られる主な症状・徴候に対する医療面接・フィジカルイグザミネーション・看護活動	講義	前：教科書 1 p64-80を読む 後：呼吸機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	橋本 茜
4	2026/06/05 (金)	2	クリティカルケア領域におけるガス交換を促すケア(1)	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う	森本 直樹 坂田 久美子

			・酸素療法、排痰援助、呼吸理学療法		後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤 伊藤 ゆかり 真規
5	2026/06/17 (水)	1	クリティカルケア領域におけるガス交換を促すケア (2) ・喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管吸引)	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	橋本 茜 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 上坂 真弓 伊藤 真規 森本 直樹
6	2026/06/23 (火)	1	①生命の危機的状態に至る神経系の主な疾患・病態における症状・徴候、検査、治療法 ②神経系疾患における生命の危機的状態で見られる主な症状・徴候に対する医療面接・フィジカルイグザミネーション・看護活動	講義	前：教科書 1 p101-116を読む 後：脳・神経機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	森 一直
7	2026/06/30 (火)	1	①生命の危機的状態に至る栄養・代謝系の主な疾患・病態における症状・徴候、検査、治療法 ②栄養・代謝系疾患における生命の危機的状態で見られる主な症状・徴候に対する医療面接・フィジカルイグザミネーション・看護活動	講義	前：教科書 1 p134-145を読む 後：栄養・代謝機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	上坂 真弓
8	2026/07/03 (金)	3	①外傷、熱傷（気道熱傷の有無、熱傷面積および深達度等の重症度評価）で生じる生体反応と治療方針、看護活動 ②中毒の症候、診断と治療、看護活動	講義	前：教科書 2 p65-72を読む 後：外傷・熱傷・中毒のアセスメントについてまとめる 前後各30分	森 一直
9	2026/07/03 (金)	4	①救急看護の特性と専門性 ②救急における医療チームの役割と看護 ③プレホスピタルケアと航空医療	講義	前：教科書 2 p185-191を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各30分	坂田 久美子
10	2026/07/08 (水)	3	シミュレーション①：救命救急処置（一次救命処置）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
11	2026/07/10 (金)	2	①救命の連鎖 ②一次・二次救命処置のアルゴリズム ③気管挿管の介助	講義	前：教科書 1 p190-197、教科書 2 p90-91を読む 後：心停止の発見から二次救命処置までの流れをまとめる 前後各30分	伊藤 真規
12	2026/07/15 (水)	3	シミュレーション②-1：事例を用いた看護実践 急変時対応（急激な健康破綻をきたす病態のアセスメント、必要な支援につなぐ看護援助）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
13	2026/07/15 (水)	4	シミュレーション②-2：事例を用いた看護実践 急変時対応（急激な健康破綻をきたす病態のアセスメント、必要な支援につなぐ看護援助）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
14	2026/07/22 (水)	3	シミュレーション③-1：事例を用いた看護実践 倫理的課題のカンファレンス（クリティカルケア領域で生じる倫理的な課題・ジレンマと調整方法）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
15	2026/07/22 (水)	4	シミュレーション③-2：事例を用いた看護実践 倫理的課題のカンファレンス（クリティカルケア領域で生じる倫理的な課題・ジレンマと調整方法）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹

16	2026/07/31 (金)	4	定期試験			坂田 久美子 森 一直 橋本 茜 上坂 真弓 佐藤 ゆかり 伊藤 真規 森本 直樹
評価方法		定期試験(70%)、事前課題・事後課題及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。				
教科書・参考書		教科書： 1. 道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院〔第2版〕（2020/02）、定価2,530円（税込） ※成人看護学Ⅰ 指定教科書 2. 池上 徹他編：「臨床外科看護総論」、医学書院〔第12版〕（2023/01）、定価3,080（税込） ※成人看護学Ⅱ 指定教科書 参考書： その他、授業で適宜紹介する。				
履修上の注意点 及び取扱い		1 単位修得について (1) 出席3分の2に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 (2) 単位取得は、事前課題等への取り組み及び定期試験に合格した場合に認める。 (3) 定期試験に不合格の場合は再試験を1回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 (4) 理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 2 出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。 2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計3回打刻する。 最後の演習時間内に講義・演習のまとめ、質問会を行う。 3 定期試験のフィードバックは、解説をAIDLE-Kの「クリティカルケア論」にupする。 4 その他 (1) 講義毎に、AIDLE-Kに学びや振り返りを入力し、次回以降の講義時にフィードバックを受ける。 (2) 許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 6 凡例 シミュレーション：SIM				
オフィスアワー		坂田 久美子 火曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N255研究室 森 一直 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する 橋本 茜 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N256研究室 佐藤 ゆかり 水・木曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N453研究室 上坂 真弓 月曜日 16:00～17:30 看護学部棟2階N253研究室 伊藤 真規 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N454研究室 森本 直樹 水・木曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N374研究室				
備考		授業は学修サポートシステムAIDLE-Kを活用する。授業までに「クリティカルケア論」にアクセスしておくこと。 [実務] ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、生命の危機的状況にある対象者への看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力及び専門職としての看護の役割・機能について講義および演習を行う。 ・本科目は、最新の知見及び治療ガイドラインを用いて授業を構成している。				

講義名	クリティカルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Critical Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修<B組>		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 坂田 久美子
教 授	森 一直
准 教 授	橋本 茜
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	伊藤 真規
講 師	上坂 真弓
助 教	森本 直樹

科目概要	突発的な事故や重篤な疾病、慢性疾患の急性増悪などにより急激な健康破綻をきたし、生命の維持が困難な危機的状況(クリティカル)にある患者と家族に対して、身体的・心理的・社会的側面を理解し、生命維持に向けた急変時対応と集中治療における看護について学修する。また、あらゆる治療・療養の場、及びあらゆる病期・病態において、クリティカルケアに携わる看護職の専門性とその役割について学修する。
目標	1. クリティカルケアを必要とする対象者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。[DP:1・2] 2. クリティカルケア看護及び救急看護の特性と専門性について説明できる。[DP:1～3・5・6] 3. クリティカルケアを必要とする対象者の健康障害に対するニーズや倫理的課題を分析し、それを活用した看護を説明できる。[DP:1・5・6] 4. クリティカルケア領域における生命活動を支える援助技術、治療・処置に伴う援助技術を実施することができる。[DP:1～3・5・6]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/28 (木)	4	①「あらゆる治療・療養の場」「あらゆる病期・病態」を対象とするクリティカルケア：一般病棟、ER、ICU等から在宅 ②クリティカルケアを必要とする対象者の特徴 ③クリティカルケアにおける倫理的課題と家族への援助	講義	前：教科書 1 p2-23を読む 後：クリティカルケアを必要とする対象者の特徴についてまとめる 前後各30分	坂田 久美子
2	2026/05/28 (木)	5	①生命の危機的状態に至る循環器系の主な疾患・病態における症状・徴候、検査、治療法 ②循環器系疾患における生命の危機的状態で見られる主な症状・徴候に対する医療面接・フィジカルイグザミネーション・看護活動	講義	前：教科書 1 p87-101を読む 後：循環機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	伊藤 真規
3	2026/06/02 (火)	1	①生命の危機的状態に至る呼吸器系の主な疾患・病態における症状・徴候、検査、治療法 ②呼吸器系疾患における生命の危機的状態で見られる主な症状・徴候に対する医療面接・フィジカルイグザミネーション・看護活動	講義	前：教科書 1 p64-80を読む 後：呼吸機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	橋本 茜
4	2026/06/05 (金)	1	クリティカルケア領域におけるガス交換を促すケア(1)	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う	森本 直樹 坂田 久美子

			・酸素療法、排痰援助、呼吸理学療法		後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤 伊藤 ゆかり 真規
5	2026/06/17 (水)	2	クリティカルケア領域におけるガス交換を促すケア (2) ・喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管吸引)	演習	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	橋本 茜 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 上坂 真弓 伊藤 真規 森本 直樹
6	2026/06/23 (火)	1	①生命の危機的状態に至る神経系の主な疾患・病態における症状・徴候、検査、治療法 ②神経系疾患における生命の危機的状態で見られる主な症状・徴候に対する医療面接・フィジカルイグザミネーション・看護活動	講義	前：教科書 1 p101-116を読む 後：脳・神経機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	森 一直
7	2026/06/30 (火)	1	①生命の危機的状態に至る栄養・代謝系の主な疾患・病態における症状・徴候、検査、治療法 ②栄養・代謝系疾患における生命の危機的状態で見られる主な症状・徴候に対する医療面接・フィジカルイグザミネーション・看護活動	講義	前：教科書 1 p134-145を読む 後：栄養・代謝機能障害のアセスメントについてまとめる 前後各30分	上坂 真弓
8	2026/07/03 (金)	3	①外傷、熱傷（気道熱傷の有無、熱傷面積および深達度等の重症度評価）で生じる生体反応と治療方針、看護活動 ②中毒の症候、診断と治療、看護活動	講義	前：教科書 2 p65-72を読む 後：外傷・熱傷・中毒のアセスメントについてまとめる 前後各30分	森 一直
9	2026/07/03 (金)	4	①救急看護の特性と専門性 ②救急における医療チームの役割と看護 ③プレホスピタルケアと航空医療	講義	前：教科書 2 p185-191を読む 後：講義資料を読み理解を深める 前後各30分	坂田 久美子
10	2026/07/08 (水)	4	シミュレーション①：救命救急処置（一次救命処置）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
11	2026/07/10 (金)	2	①救命の連鎖 ②一次・二次救命処置のアルゴリズム ③気管挿管の介助	講義	前：教科書 1 p190-197、教科書 2 p90-91を読む 後：心停止の発見から二次救命処置までの流れをまとめる 前後各30分	伊藤 真規
12	2026/07/17 (金)	1	シミュレーション②-1：事例を用いた看護実践 急変時対応（急激な健康破綻をきたす病態のアセスメント、必要な支援につなぐ看護援助）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
13	2026/07/17 (金)	2	シミュレーション②-2：事例を用いた看護実践 急変時対応（急激な健康破綻をきたす病態のアセスメント、必要な支援につなぐ看護援助）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	伊藤 真規 坂田 久美子 佐藤 ゆかり 森本 直樹
14	2026/07/22 (水)	3	シミュレーション③-1：事例を用いた看護実践 倫理的課題のカンファレンス（クリティカルケア領域で生じる倫理的な課題・ジレンマと調整方法）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹
15	2026/07/22 (水)	4	シミュレーション③-2：事例を用いた看護実践 倫理的課題のカンファレンス（クリティカルケア領域で生じる倫理的な課題・ジレンマと調整方法）	演習 SIM	前：AIDLE-Kの記載内容に沿って事前課題を行う 後：AIDLE-Kの記載内容に沿って事後課題を行う 前後各30分	佐藤 ゆかり 坂田 久美子 伊藤 真規 森本 直樹

16	2026/07/31 (金)	4	定期試験			坂田 久美子 森 一直 橋本 茜 上坂 真弓 佐藤 ゆかり 伊藤 真規 森本 直樹
評価方法		定期試験(70%)、事前課題・事後課題及び授業への取り組み(30%) 演習については、準備学修の取り組み、演習態度を含めて評価する。				
教科書・参考書		教科書： 1. 道又 元裕他編：「クリティカルケア看護学」、医学書院〔第2版〕（2020/02）、定価2,530円（税込） ※成人看護学Ⅰ 指定教科書 2. 池上 徹他編：「臨床外科看護総論」、医学書院〔第12版〕（2023/01）、定価3,080（税込） ※成人看護学Ⅱ 指定教科書 参考書： その他、授業で適宜紹介する。				
履修上の注意点 及び取扱い		1 単位修得について (1) 出席3分の2に達している場合に定期試験の受験資格を認める。 (2) 単位取得は、事前課題等への取り組み及び定期試験に合格した場合に認める。 (3) 定期試験に不合格の場合は再試験を1回実施する。不合格の場合は次年度に再履修する。 (4) 理由なく技術演習を欠席した場合は、定期試験の受験資格を認めない場合がある。 2 出欠席について 出席管理システム（講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。 2コマ連続の場合も、各コマの開始前、終了時の合計3回打刻する。 最後の演習時間内に講義・演習のまとめ、質問会を行う。 3 定期試験のフィードバックは、解説をAIDLE-Kの「クリティカルケア論」にupする。 4 その他 (1) 講義毎に、AIDLE-Kに学びや振り返りを入力し、次回以降の講義時にフィードバックを受ける。 (2) 許可なく視聴覚教材を用いた資料の撮影・録音は認めない。 6 凡例 シミュレーション：SIM				
オフィスアワー		坂田 久美子 火曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N255研究室 森 一直 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する 橋本 茜 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N256研究室 佐藤 ゆかり 水・木曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N453研究室 上坂 真弓 月曜日 16:00～17:30 看護学部棟2階N253研究室 伊藤 真規 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N454研究室 森本 直樹 水・木曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N374研究室				
備考		授業は学修サポートシステムAIDLE-Kを活用する。授業までに「クリティカルケア論」にアクセスしておくこと。 [実務] ・大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、生命の危機的状況にある対象者への看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力及び専門職としての看護の役割・機能について講義および演習を行う。 ・本科目は、最新の知見及び治療ガイドラインを用いて授業を構成している。				

講義名	ターミナルケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Terminal Care Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 森 莉那
教 授	佐々木 裕子
講 師(非)	安藤 元美
講 師(非)	井手 宏

科目概要	ターミナルケアとは、ターミナル期を生きる人と家族への全人的なケアのことである。国内外におけるターミナルケアの取り組みの現状を理解する。その上で、人生のターミナル期を生きる人と家族の思いや苦悩について理解し、ターミナルケアに関する社会状況、ターミナルケアの基盤となる概念・理論と必要な看護実践について学修する。更に、ターミナルケアにおける看護の役割と役割拡大について学修し、人生のかけがえのない瞬間に出会う看護専門職者として自身の死生観をみつめ、今後のターミナルケアの課題と展望について考える機会とする。
目標	1 自身の死生観をもつ意味を説明できる。「DP：1」 2 ターミナルケアを取り巻く社会状況を説明できる。「DP:1～3」 3 ターミナルケアの主要な概念を説明できる。「DP：1～3」 4 ターミナル期にある人と家族の全人的ニーズを理解し説明できる。「DP：1～3」 5 ターミナル期にある人と家族への全人的ケアを理解し説明できる。「DP：1～3・5」 6 多職種連携で行うターミナルケアの特徴と、チームケアにおける看護師の役割を述べることができる。「DP：1～3・5」 7 ターミナルケアの現況を知り、倫理的課題について自己の考えを述べることができる。「DP：1～3・5～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/28 (火)	4	ターミナル期を生きる人と家族を取り巻く社会状況と倫理的課題 ターミナルケアに関連する概念：ターミナルケア、ホスピスケア、緩和ケア、エンドオブライフケア 死生観（もしバナゲーム）	講義 演習	予：単元の内容について、これまでの学修を振り返ってまとめる。 復：講義やGW内容を振り返る。 各120分程度	森 莉那
2	2026/05/18 (月)	1	ターミナル期にある人と家族の全人的ニーズの理解 身体的・精神的・社会的・スピリチュアルニーズ（ペイン）、死の受容プロセス	講義	予：全人的ニーズについて既習学習を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	佐々木 裕子
3	2026/05/18 (月)	2	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア① ケアの基本姿勢、全人的ケア：身体的ケア、精神的ケア、社会的ケア、スピリチュアルケア	講義	予：全人的ケアについて、既習学修を基に考え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を振り返る。 各120分程度	佐々木 裕子

4	2026/05/21 (木)	5	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア② 症状マネジメントの原則と実際	講義	予：厚生労働省のHPや日本 ホスピス緩和ケア財団のHP を読み、ターミナルケアの 実際についての文献・書籍 等を読む。 復：授業資料を基に内容を 振り返る。 各120分程度	井手 宏 佐々木 裕子
5	2026/05/22 (金)	3	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア③ がん・非がん患者へのターミナルケア：外来／一 般病棟におけるケア、意思決定支援、チームケア	講義	予：症状マネジメントにつ いて、既習学修を基に考 え、文献・書籍等を読む。 復：授業資料を基に内容を 振り返る。 各120分程度	森 莉那
6	2026/06/30 (火)	3	ターミナル期にある人の臨死期のケアと家族ケア 臨死期の身体変化、予期的悲嘆、Death Education	講義	予：臨死期に起こりうる人 の身体的特徴や家族の精神 的状況について、既習学修 を基に考え、文献・書籍等 を読む。 復：授業資料を基に内容を 振り返る。 各120分程度	森 莉那
7	2026/07/07 (火)	3	ターミナル期にある人と家族への全人的ケア④ 看護の実際：ホスピス・緩和ケア病棟、在宅、ア ロマハウスでのターミナルケア アロマを用いた癒しのケア	講義 演習	予：国内のホスピス・緩和 ケア病棟、在宅ホスピスケ ア、施設におけるホスピス ケア等についてホームペー ジ等にアクセスし、ホスピ ス・緩和ケアにおける看護 の役割について閲覧する。 復：授業資料を基に内容を 振り返る。 各120分程度	安藤 元美 森 莉那
8	2026/07/14 (火)	3	ターミナル期における遺族ケア 看護活動、市民活動 多様な文化的背景をもつ人へのターミナルケア ターミナルケアの課題	講義	予：1～7回の学修を振り 返し、テキスト等で関心をも った内容を読む。 ターミナルケアとして行わ れている市民・ボランティ ア活動を調べる。 復：授業資料を基に内容を 振り返る。 各120分程度	佐々木 裕子
9	2026/07/30 (木)	4	定期試験			

評価方法	毎回の授業後の小レポート(10%)および定期試験(90%)で評価を行う。					
教科書・参考書	教科書： 1 田村恵子編集：「終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア」メヂカルフレンド社、第2版(2021/12)、定価 3,410円(税込み) 参考書： 1 恒藤暁他 編：「系統看護学講座別巻 緩和ケア」、医学書院、第3版(2020/2)、定価2,420円(税込み) 2 厚生労働統計協会：「国民衛生の動向」3,740円(税込み) その他、授業時に適宜資料を配付する。					
履修上の注意点 及び取扱い	1 出席は、学生便覧の規定に則る。 2 単位修得について (1) 出席3分の2に達している場合に単位認定試験の受験資格を認める。 (2) 単位取得は、単位認定試験に合格した場合に認める。再試験は1回のみとする。 (3) 再試験に不合格の場合は次年度に再履修する。 (4) 小レポートのフィードバックは、質疑を中心として提出後の講義の最初に全体で共有できるようにする。					
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：45 看護学部棟3階N352研究室 森 莉那 月曜日 15：45～17：45 看護学部棟2階N254研究室 非常勤講師 講義終了時に質問等を受け付ける。					

備考	〔実務〕 地域・在宅ケア、がん専門病院、緩和ケア病棟において、看護師等としての実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践を活かした教育を行う。 本科目は、最新の知見、最新の治療ガイドラインに基づいて授業を構成している。
----	---

講義名	リハビリテーションケア論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Rehabilitation Care		
科目区分	看護学専門科目群 健康レベル別看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 白井 裕子
教 授(兼 医学部)	尾川 貴洋
講 師(兼 大学病院)	鈴木 雅人
講 師(兼 大学病院)	阿部 司
講 師(兼 大学病院)	三宅 慶呼

科目概要	リハビリテーション医学・医療の概念を理解した上で、人々の活動賦活化と機能向上に向けた施策や専門職によるアプローチを学ぶ。
目標	1. リハビリテーション医学・医療の概念を説明できる。「DP：1・2」 2. リハビリテーション治療が心身に与える影響を説明できる。「DP：1・5」 3. リハビリテーションチーム診療における看護の役割と実際を説明できる。「DP：3・5」 4. 急性期・回復期・生活期におけるリハビリテーション診療における看護の具体的な方法を説明できる。「DP：3・5」 5. リハビリテーション支援における看護の具体的な方法を説明できる。「DP：2・5・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/30 (木)	3	リハビリテーション医学・医療の概念 歴史、目的、主要な概念、リハビリテーション医学・医療の対象者の変遷	講義	前：リハビリテーション医学・医療の目的について調べてまとめる 後：授業の要点を整理する 前後各120分	白井 裕子
2	2026/05/14 (木)	3	リハビリテーション診療① リハビリテーション診断とリハビリテーション治療の効果とその必要性	講義	前：リハビリテーション治療の方法について調べてまとめる 後：授業の要点を整理する 前後120分	尾川 貴洋
3	2026/05/21 (木)	3	リハビリテーション診療② リハビリテーション診断・治療・支援、急性期・回復期・生活期の特徴、チームアプローチ	講義	前：リハビリテーションのチームアプローチについて調べてまとめる 後：授業の要点を整理する 前後各120分	尾川 貴洋
4	2026/05/28 (木)	3	リハビリテーション治療① 理学療法士によるリハビリテーション治療提供の実際	講義	前：理学療法士の専門性について調べてまとめる 後：授業の要点を整理する 前後各120分	阿部 司
5	2026/06/04 (木)	2	リハビリテーション治療② 作業療法士によるリハビリテーション治療提供の実際	講義	前：作業療法士の専門性について調べてまとめる 後：授業の要点を整理する 前後各120分	鈴木 雅人

6	2026/06/11 (木)	2	リハビリテーション治療③ 言語聴覚士によるリハビリテーション治療提供の 実際	講義	前：言語聴覚士の専門性について調べてまとめる 後：授業の要点を整理する 前後各120分	三宅 慶呼
7	2026/07/02 (木)	4	リハビリテーション治療④ 摂食嚥下障害に対する治療の必要性和アプローチ の実際	講義	前：摂食嚥下障害へのリハビリテーションの方法を調べまとめる 後：授業の要点を整理する 前後各120分	白井 裕子 ゲストスピーカー
8	2026/07/23 (木)	4	リハビリテーション支援 心理的支援、福祉用具・環境調整、社会的支援	講義	前：リハビリテーションにおける心理的支援の方法を調べまとめる 後：授業の要点を整理する 前後各120分	白井 裕子
9	2026/07/28 (火)	2	定期試験			白井 裕子

評価方法	1 定期試験60%、授業への参加態度40%で評価する 2 授業への参加態度は、AIDLE-KIに提出された事後課題（5点×8回）を評価する。課題は講義時に示す。記述の内容が指示された課題とは異なる場合は提出とは認めない。また講義に出席した場合に提出できるものとする。提出期限は、講義翌日の12：00までとする。					
教科書・参考書	参考書： 1 久保俊一他 総編集（2021）「総合力がつくりリハビリテーション医学・医療テキスト」第1版、一般社団法人日本リハビリテーション医学教育推進機構発行、6,160円（税込み） その他随時紹介する。					
履修上の注意点 及び取扱い	1 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出席管理システムにより出席の確認をする。 3 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない。 4 定期試験の不合格者に対して再試験を1回行う。 5 定期試験終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。					
オフィスアワー	白井 裕子 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室② 尾川 貴洋 授業に関する質問・相談は講義後に対応する 阿部 司 授業に関する質問・相談は講義後に対応する 鈴木 雅人 授業に関する質問・相談は講義後に対応する 三宅 慶呼 授業に関する質問・相談は講義後に対応する					
備考	[実務] ・大学病院等において実務経験をもつ教員が、リハビリテーションの診断・治療・支援について教育する ・リハビリテーションを担う医療職者が、最新の知見を取り入れてそれぞれの専門性から教育する					

講義名	チーム医療論(IPE) (2 学年次生用)		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Team Medicine (IPE)		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山本 恵美子
教 授	山中 真
教 授(兼 医学部)	早稲田 勝久
教 授(兼 医学部)	神谷 英紀
教 授(兼 医学部)	伴 信太郎
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	青山 恵美
准 教 授(兼 医学部)	河合 聖子
准 教 授(兼 医学部)	山口 奈緒子
准 教 授(兼 医学部)	森下 啓明
講 師	横山 剛志
講 師	伊藤 真規
講 師	上坂 真弓
講 師(兼 大学病院・看護部)	神原 和代
講 師(兼 大学病院・看護部)	村松 有紀
助 教(兼 医学部)	松尾 幸果
専修医(兼 医学部)	西尾 麻友子
客員教授	築山 郁人
講 師(非)	川原 千香子

科目概要	地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる能力を身につける。医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーション能力と、医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにする。具体的にはグループワークでの事例検討等を通して、チーム医療に必要な能力を学修する。
目標	4年間の目標：「DP:1・3～6」 ・地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる。 ・医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーションを実践することができる。 ・医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにすることができる。 1学年次テーマ：理解と共有 1 「DP:1・3」 ・多様な人々とチームを構築するために求められる要素と自己の役割、他者の役割を説明できる。 ・チームの一員として報告・連絡・相談の必要性を理解し、適切なコミュニケーション方法を実践できる。 2学年次テーマ：理解と共有 2 「DP:1・3・4」 ・チームで問題に取り組む際に必要な相互の尊重・連携・協働について説明できる。

・チーム医療の中で、効果的な話し合いをするためのアサーティブコミュニケーションが実践できる。

3学年次テーマ：展開と応用 「DP：1・3～5」

・患者・患者家族を中心とするチーム医療において看護師の役割および他職種の役割を理解し、チームの構築方法について説明できる。

・患者・患者家族の抱える健康問題に対してチームで対応することの重要性を理解し、実践できる。

・看護師としてのプロフェッショナリズムを身につけ、省察し、自らの課題を明らかにすることができる。

4学年次テーマ：協働と連携 「DP：1・3～6」

・在宅医療を推進するために、保健・医療・福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。

・継続看護、退院支援・退院調整等、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法を理解し、模擬場面において多職種連携医療が実践できる。

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1			医看（薬）合同多職種連携教育（1学年次） ・良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
2			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
3	2026/09/18 (金)	3	医看（薬）合同多職種連携教育（2学年次） ・医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
4	2026/09/18 (金)	4	同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
5			医看（薬）合同多職種連携教育（3学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
6			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
7			医看（薬）合同多職種連携教育（4学年次） ・保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員

8		同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
評価方法	本科目は1学年次から4学年次に開講される医看（薬）合同多職種連携教育演習1～8すべての評価をもとに「チーム医療論（IPE）」として4学年次に単位認定する。 評価基準は各学年（25%）として評価し、4学年次に最終評価（100%）とする。 学年別評価基準 事前学習への取り組み（50%）・演習への参加度・課題レポート（50%）				
教科書・参考書	教科書 講義開始までに、講義内容を示した配布資料を提示する。				
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について ・事前配布資料を読み自己学習を行い、積極的に演習に取り組む。 ・許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について ・問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。大学規定に沿わない欠席については、学年別 評価10%を限度とする。 3 再試験について ・4学年次に1回行う。（課題レポートの提出） 4 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。				
オフィスアワー	山中 真 月曜日 16：00～18：00 看護学部棟2階N252研究室 山本 恵美子 水曜日 16：30～17：40 看護学部棟3階N351研究室 青山 恵美 木曜日 16：20～17：50 基礎科学棟3階N375研究室 黒澤 昌洋 月曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室③ 横山 剛志 水曜日 16：30～18：00 基礎科学棟3階N373研究室 上坂 真弓 月曜日 16：00～17：30 看護学部棟2階N253研究室 伊藤 真規 水曜日 16：30～18：00 看護学部棟4階N454研究室 非常勤・兼任講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する				
備考	「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員および、医師・薬剤師としての実務経験を持つ教員が、多職種での連携・協働、チーム医療について教育を行う。 ・本科目における講義・演習では、最新の知見を取り入れた授業構成をしている。				

講義名	チーム医療論(IPE) (3学年次生用)		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Team Medicine (IPE)		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山本 恵美子
教 授	山中 真
教 授(兼 医学部)	早稲田 勝久
教 授(兼 医学部)	神谷 英紀
教 授(兼 医学部)	伴 信太郎
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	青山 恵美
准 教 授(兼 医学部)	河合 聖子
准 教 授(兼 医学部)	山口 奈緒子
准 教 授(兼 医学部)	森下 啓明
講 師	横山 剛志
講 師	伊藤 真規
講 師	上坂 真弓
講 師(兼 大学病院・看護部)	神原 和代
講 師(兼 大学病院・看護部)	村松 有紀
助 教(兼 医学部)	松尾 幸果
専修医(兼 医学部)	西尾 麻友子
客員教授	築山 郁人
講 師(非)	川原 千香子

科目概要	地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる能力を身につける。医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーション能力と、医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにする。具体的にはグループワークでの事例検討等を通して、チーム医療に必要な能力を学修する。
目標	4年間の目標：「DP:1・3～6」 ・地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる。 ・医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーションを実践することができる。 ・医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにすることができる。 1学年次テーマ：理解と共有1 「DP:1・3」 ・多様な人々とチームを構築するために求められる要素と自己の役割、他者の役割を説明できる。 ・チームの一員として報告・連絡・相談の必要性を理解し、適切なコミュニケーション方法を実践できる。 2学年次テーマ：理解と共有2 「DP:1・3・4」 ・チームで問題に取り組む際に必要な相互の尊重・連携・協働について説明できる。

- ・チーム医療の中で、効果的な話し合いをするためのアサーティブコミュニケーションが実践できる。

3学年次テーマ：展開と応用 「DP：1・3～5」

- ・患者・患者家族を中心とするチーム医療において看護師の役割および他職種の役割を理解し、チームの構築方法について説明できる。
- ・患者・患者家族の抱える健康問題に対してチームで対応することの重要性を理解し、実践できる。
- ・看護師としてのプロフェッショナリズムを身につけ、省察し、自らの課題を明らかにすることができる。

4学年次テーマ：協働と連携 「DP：1・3～6」

- ・在宅医療を推進するために、保健・医療・福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。
- ・継続看護、退院支援・退院調整等、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法を理解し、模擬場面において多職種連携医療が実践できる。

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1			医看（薬）合同多職種連携教育（1学年次） ・良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
2			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
3			医看（薬）合同多職種連携教育（2学年次） ・医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
4			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
5	2026/06/18 (木)	1	医看（薬）合同多職種連携教育（3学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
6	2026/06/18 (木)	2	同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
7			医看（薬）合同多職種連携教育（4学年次） ・保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員

8		同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
評価方法	本科目は1学年次から4学年次に開講される医看（薬）合同多職種連携教育演習1～8すべての評価をもとに「チーム医療論（IPE）」として4学年次に単位認定する。 評価基準は各学年（25%）として評価し、4学年次に最終評価（100%）とする。 学年別評価基準 事前学習への取り組み（50%）・演習への参加度・課題レポート（50%）				
教科書・参考書	教科書 講義開始までに、講義内容を示した配布資料を提示する。				
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について ・事前配布資料を読み自己学習を行い、積極的に演習に取り組む。 ・許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について ・問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。大学規定に沿わない欠席については、学年別 評価10%を限度とする。 3 再試験について ・4学年次に1回行う。（課題レポートの提出） 4 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。				
オフィスアワー	山中 真 月曜日 16：00～18：00 看護学部棟2階N252研究室 山本 恵美子 水曜日 16：30～17：40 看護学部棟3階N351研究室 青山 恵美 木曜日 16：20～17：50 基礎科学棟3階N375研究室 黒澤 昌洋 月曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室③ 横山 剛志 水曜日 16：30～18：00 基礎科学棟3階N373研究室 上坂 真弓 月曜日 16：00～17：30 看護学部棟2階N253研究室 伊藤 真規 水曜日 16：30～18：00 看護学部棟4階N454研究室 非常勤・兼任講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する				
備考	「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員および、医師・薬剤師としての実務経験を持つ教員が、多職種での連携・協働、チーム医療について教育を行う。 ・本科目における講義・演習では、最新の知見を取り入れた授業構成をしている。				

講義名	チーム医療論(IPE) (4 学年次生用)		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Team Medicine (IPE)		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山本 恵美子
教 授	山中 真
教 授(兼 医学部)	早稲田 勝久
教 授(兼 医学部)	神谷 英紀
教 授(兼 医学部)	伴 信太郎
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	青山 恵美
准 教 授(兼 医学部)	河合 聖子
准 教 授(兼 医学部)	山口 奈緒子
准 教 授(兼 医学部)	森下 啓明
講 師	横山 剛志
講 師	伊藤 真規
講 師	上坂 真弓
講 師(兼 大学病院・看護部)	神原 和代
講 師(兼 大学病院・看護部)	村松 有紀
助 教(兼 医学部)	松尾 幸果
専修医(兼 医学部)	西尾 麻友子
客員教授	築山 郁人
講 師(非)	川原 千香子

科目概要	地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる能力を身につける。医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーション能力と、医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにする。具体的にはグループワークでの事例検討等を通して、チーム医療に必要な能力を学修する。
目標	4年間の目標：「DP:1・3～6」 ・地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる。 ・医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーションを実践することができる。 ・医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにすることができる。 1学年次テーマ：理解と共有 1 「DP:1・3」 ・多様な人々とチームを構築するために求められる要素と自己の役割、他者の役割を説明できる。 ・チームの一員として報告・連絡・相談の必要性を理解し、適切なコミュニケーション方法を実践できる。 2学年次テーマ：理解と共有 2 「DP:1・3・4」 ・チームで問題に取り組む際に必要な相互の尊重・連携・協働について説明できる。

・チーム医療の中で、効果的な話し合いをするためのアサーティブコミュニケーションが実践できる。

3学年次テーマ：展開と応用 「DP：1・3～5」

・患者・患者家族を中心とするチーム医療において看護師の役割および他職種の役割を理解し、チームの構築方法について説明できる。

・患者・患者家族の抱える健康問題に対してチームで対応することの重要性を理解し、実践できる。

・看護師としてのプロフェッショナリズムを身につけ、省察し、自らの課題を明らかにすることができる。

4学年次テーマ：協働と連携 「DP：1・3～6」

・在宅医療を推進するために、保健・医療・福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。

・継続看護、退院支援・退院調整等、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法を理解し、模擬場面において多職種連携医療が実践できる。

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1			医看（薬）合同多職種連携教育（1学年次） ・良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
2			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
3			医看（薬）合同多職種連携教育（2学年次） ・医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
4			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
5			医看（薬）合同多職種連携教育（3学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
6			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
7	2026/10/01 (木)	3	医看（薬）合同多職種連携教育（4学年次） ・保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員

8	2026/10/01 (木)	4	同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
評価方法		本科目は1学年次から4学年次に開講される医看（薬）合同多職種連携教育演習1～8すべての評価をもとに「チーム医療論（IPE）」として4学年次に単位認定する。 評価基準は各学年（25%）として評価し、4学年次に最終評価（100%）とする。 学年別評価基準 事前学習への取り組み（50%）・演習への参加度・課題レポート（50%）				
教科書・参考書		教科書 講義開始までに、講義内容を示した配布資料を提示する。				
履修上の注意点及び取扱い		1 履修について ・事前配布資料を読み自己学習を行い、積極的に演習に取り組む。 ・許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について ・問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。大学規定に沿わない欠席については、学年別 評価10%を限度とする。 3 再試験について ・4学年次に1回行う。（課題レポートの提出） 4 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。				
オフィスアワー		山中 真 月曜日 16：00～18：00 看護学部棟2階N252研究室 山本 恵美子 水曜日 16：30～17：40 看護学部棟3階N351研究室 青山 恵美 木曜日 16：20～17：50 基礎科学棟3階N375研究室 黒澤 昌洋 月曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室③ 横山 剛志 水曜日 16：30～18：00 基礎科学棟3階N373研究室 上坂 真弓 月曜日 16：00～17：30 看護学部棟2階N253研究室 伊藤 真規 水曜日 16：30～18：00 看護学部棟4階N454研究室 非常勤・兼任講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する				
備考		「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員および、医師・薬剤師としての実務経験を持つ教員が、多職種での連携・協働、チーム医療について教育を行う。 ・本科目における講義・演習では、最新の知見を取り入れた授業構成をしている。				

講義名	看護研究方法論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Methodology of Nursing Research		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 心光 世津子
教 授	谷口 千枝
准 教 授	長崎 由紀子

科目概要	看護学研究の成果は、看護実践の根拠として看護の対象である人々への支援に還元されると共に、看護学の実践に寄与する。本科目では、看護研究の必要性、看護研究方法および看護研究における倫理的配慮に関する基礎的知識を学ぶ。さらに、看護実践に必要な看護学や関連諸科学の文献を検索し、文献を批判的に読むことを通して、研究成果を解釈・活用する方法の基礎を学ぶ。
目標	1 看護研究の必要性と意義を説明できる。「DP:5・6」 2 研究課題の抽出、研究計画の立案、実施、分析、成果の公表の一連のプロセスを説明することができる。「DP:5・6」 3 看護研究における倫理の必要性と倫理的配慮の具体的な内容を説明できる。「DP:1」 4 論文を講読・クリティークし、論文の内容、研究成果の看護への適用範囲に関して自分の考えを述べられる。「DP:2・5・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/07 (火)	3	授業オリエンテーション 看護研究とは： 看護における研究の必要性と意義、EBM・EBN・EBP、EBPサイクル、研究プロセスの概観、研究のはじめ方	講義	前：教科書pp. 4-44、358-365を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	心光 世津子
2	2026/04/14 (火)	3	研究デザインとリサーチクエストの設定： 研究デザインの多様性、研究デザインとエビデンスレベル、質的研究と量的研究の特徴の違い、リサーチクエストと研究デザインの選択	講義	前：教科書pp. 34-44、110-121を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	谷口 千枝
3	2026/04/21 (火)	3	情報の探索と吟味： 文献の種類、文献検討の目的、文献検索データベースの種類と特徴、文献検索の方法、文献の入手方法、文献の読み方～クリティーク～、文献検討にもとづく研究目的の明確化	講義 演習	前：教科書 p 48-83を読む。 後：医学中央雑誌、CiNii、google scholarで文献検索を行ない、課題1（前半）に取り組む。 前後各120分	長崎 由紀子
4	2026/04/28 (火)	3	量的研究デザイン： 量的研究の特徴、量的研究デザイン（横断研究、症例対照研究、コホート研究、実験的研究）、観察研究の結果の読み方	講義	前：教科書pp. 133-143、154-159、166-184、199-227を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	谷口 千枝

5	2026/05/12 (火)	3	質的研究デザイン： 質的研究の特徴、質的研究デザインの代表的な方法論（事例研究、質的記述的研究、内容分析、エスノグラフィー、グラウンデッドセオリー、現象学的アプローチ）、データ収集・分析プロセスとその特徴	講義	前：教科書pp. 121-133、154-166、190-199を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	心光 世津子
6	2026/05/19 (火)	3	論文の読み方（クリティーク演習）： 論文の構成、クリティークの実際	講義 演習	前：教科書pp. 68-71、pp. 266-270、283-298および指定論文を読み、分かる範囲でワークシートに記入する。 後：課題1（後半）に取り組む。 前後各120分	長崎 由紀子 心光 世津子 谷口 千枝
7	2026/05/26 (火)	3	研究知見の統合とEBPサイクル： 文献研究の意義、研究デザインとエビデンスレベル、コクラン共同計画、文献レビューの種類、系統的文献検索、知見の統合	講義	前：教pp. 143-146、342-348を読む。 後：教科書と講義資料を用いて講義内容をまとめる。 前後各120分	心光 世津子
8	2026/06/16 (火)	3	研究計画を立てる： 研究計画書とは、研究計画書の書き方、研究における倫理的配慮、文献引用のしかた	講義 演習	前：研究関心・疑問を書き出す。教pp. 86-108、246-264を読む。 後：課題2に取り組む。 前後各120分	心光 世津子 谷口 千枝 長崎 由紀子
評価方法		提出された課題の内容で総合的に評価する。課題1（40%）、課題2（40%）、演習ワークシート(20%)。出席状況並びに参加状況は減点法により評価する。				
教科書・参考書		教科書： 1 坂下玲子他：「系統看護学講座別巻 看護研究」、医学書院、（2023/1）、定価2,750円（税込み） 参考書： 下記に加え、適宜紹介する。 1 山崎茂明他編：「看護研究のための文献検索ガイド」、日本看護協会出版会、第4版、（2013/10）、定価2,376円（税込み） 2 大木秀一：「看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん」、医歯薬出版、（2013/9）、定価2,860円（税込み） 3 黒田裕子：「黒田裕子の看護研究Step by Step」、医学書院、第5版、（2017/11）、定価2,860円（税込み）				
履修上の注意点及び取扱い		1 遅刻・早退・欠席について (1) 出席管理システムにより出席を確認する。 (2) 30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。 (3) 30分以内の遅刻・早退は、3回で1回の欠席とみなす。 2 単位取得の条件 (1) 出席2／3以上に満たない場合は、単位を取得できない。 (2) 2つの課題の提出がない場合は、単位を取得できない。 (3) 評価方法による総合評価で60点に満たないものは、課題の再提出を行う。 3 課題について (1) 提出締切は厳守すること。やむを得ない事由で期限までの提出ができない場合には、必ず〆切前に担当教員に連絡し、対応について相談すること。 (2) 剽窃、盗用については評価が0となる。人工知能・代筆によるレポート作成が判明した場合も同様とする。 4 フィードバックについて (1) 授業中にだされた質問に対しては原則授業時間内に解説を行なう。 (2) 課題1の講評は授業時間内に口頭にて伝える。課題2の講評はAIDLE-KIに掲載する。				
オフィスアワー		心光 世津子 金曜日 16:30～18:00 C棟5階教授室2 谷口 千枝 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N451研究室 長崎 由紀子 木曜日 16:20～17:50 基礎科学棟3階N363研究室				

備考	1 授業前の自己学習をふまえ学習内容についての考えや疑問をもって授業に臨むこと。 2 課題1 文献検索ワーク 指定のワークシートに沿い、関心のある事柄について文献検索を行い、原著論文1編について概要をまとめる。 3 課題2 最終レポート 指定のワークシートに沿い、研究関心・研究疑問を複数挙げ、文献を用いて「仮のリサーチクエスション」(教科書p36図参照)を検討する。 〔実務〕 各指導教員が看護師の実務経験をもち、それぞれの医療現場の実務経験と教育・研究活動における研究実績を活かして講義・演習を行う。 本講義は、最新の知見に基づいて授業を構成している。
----	---

講義名	実践看護英語		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Practical English for Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山本 弘江
准 教 授	橋本 茜
講 師(非)	鬼塚 由紀子

科目概要	教養科目群（英語Ⅰ、英語Ⅱ）を活かし、English for specific purposes (ESP)という視点で、看護職者として日本語を母国語としない外国人患者への基礎的な英語コミュニケーションについて学修する。英語によるコミュニケーションを通して外国人患者に、より良いケアを提供するためには言語能力だけでなく、異文化理解が重要となる。ロールプレイを通して外国人の価値観を理解し尊重するコミュニケーション技術を学修する。
目標	1. 看護場面における英会話（ESP）の位置づけを理解し、日本語以外を母国語とする対象者へのコミュニケーション方法について説明できる。「DP: 4」 2. 英語を用いたコミュニケーション場面を通して、異文化理解について説明できる。「DP: 4」 3. 看護場面でのコミュニケーションに活用できる語彙・英語表現を使用できる。「DP: 4」 4. 看護場面での英会話を通じて、異文化における看護に興味・関心を持ち、国際的な視点について討議できる。「DP: 4・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/15 (火)	1	ガイダンス：学修方法 English for specific purposes (ESP)と異文化理解 課題説明：外国人患者に対する医療従事者の支援場面・シナリオ作成	講義・演習	予：英語Ⅱの講義資料を見直しておく。 復：講義資料を読み、ESPについてまとめる。課題について自身の役割を確認する。 前後各120分	山本 弘江 鬼塚 由紀子 橋本 茜
2	2026/09/25 (金)	1	看護場面における英語コミュニケーション① Self-Introduction For Nurses	講義・演習	予：リスニングログの課題①について取り組む。 復：講義資料を読み、学んだフレーズを声を出して繰り返し、覚える。GWの課題に取り組む 前後各120分	鬼塚 由紀子 山本 弘江 橋本 茜
3	2026/09/29 (火)	1	看護場面における英語コミュニケーション② Communication Skills for Nurses	講義・演習	予：リスニングログの課題②について取り組む。 復：講義資料を読み、学んだフレーズを声を出して繰り返し、覚える。GWの課題に取り組む 前後各120分	鬼塚 由紀子 山本 弘江 橋本 茜
4	2026/10/01 (木)	1	看護場面における英語コミュニケーション③ Sentence Stress, Tongue twister exercises	演習・演習	予：リスニングログの課題③について取り組む。 復：講義資料を読み、学んだフレーズを声を出して繰り返し、覚える。GWの課題	山本 弘江 鬼塚 由紀子 橋本 茜

					に取り組む 前後各120分	
5	2026/10/02 (金)	1	課題準備ワーク・Individual Meeting: 外国人患者 に対する医療従事者の支援場面・動画作成と提出	GW	予: それぞれシナリオ準備 を行い、配役に合わせた練 習を行う。 復: 課題について振り返 る。 前後各120分	山本 弘江 鬼塚 由紀子 橋本 茜
6	2027/01/06 (水)	1	課題発表①: 外国人患者に対する医療従事者の支援 場面	演習	予: 全グループのシナリオ を読んでおく。評価につい て確認しておく。 復: 発表を振り返る。 前後各120分	山本 弘江 鬼塚 由紀子 橋本 茜
7	2027/01/06 (水)	2	課題発表②: 外国人患者に対する医療従事者の支援 場面	演習	予: 全グループのシナリオ を読んでおく。評価につい て確認しておく。 復: 発表を振り返る。 前後各120分	山本 弘江 鬼塚 由紀子 橋本 茜
8	2027/01/13 (水)	1	看護場面におけるESPの活用、まとめ	講義	予: これまでの講義資料を 見直しておく。 復: 講義を振り返り、看護 場面におけるESPの活用に ついて、課題レポートを作 成する。 前後各120分	鬼塚 由紀子 山本 弘江 橋本 茜
評価方法			講義参加度 (GWおよび振り返り含む) 30%、アクティブラーニング10%、課題の取り組みと成果30%、最終レポ ート30% アクティブラーニングへの積極的な参加を評価に加える。課題の成果については、個別評価を行う。			
教科書・参考書			教科書: 特になし 参考書: 1 山内豊明監修 (2023): 「看護英語テキスト Nursing English in Action ～Invest in your future ～第 2版」、IPEC、定価3,300円 (税込み) 講義にて適宜提示する。 また、講義資料に記載する。			
履修上の注意点 及び取扱い			1 履修について (1) 英語 I・II で学んだ資料を積極的に活用して準備学習を行い、講義に臨む。 (2) 講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 (3) 本講義は、ICTを活用したアクティブラーニング形式の講義を取り入れることから、講義内のワークおよ びディスカッションに積極的に参加する。なお、講義内の発言を評価 (アクティブラーニング) に加味する。 (4) 事後学習を行い、知識の定着に努める。 2 出欠席について (1) 出席管理システム (講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻) により出席の確認をする。この際、終 了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 (2) 遅刻3回で欠席1回とみなす。 3 定期試験 (レポート) について (1) 3分の2以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 (2) グループワーク及び課題発表への参加がないと判断された場合は、単位を修得することはできない。 (3) 評価が合格点に達していない場合、レポートの再提出は1回までとする。再提出で不合格の場合は次年度 再履修すること。 4 その他 (1) 講義後に振り返りを提出する。 (2) 振り返りはAIDLE-Kを用いて提出することとし、提出期限は講義日内 (23時59分) とする。後日の入力 はできない。 (3) 振り返りの内容については、次回講義内でフィードバックを行う。 (4) シナリオ作成後、シナリオチェックがなされてからスキットの動画撮影を行う。 (5) アクティブラーニングによる個別評価を行うため、発言の際には必ず氏名を名乗る。 (6) 凡例 GW: グループワーク			
オフィスアワー			山本 弘江 水曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室① 橋本 茜 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階 N256研究室 非常勤講師 講義終了後に質問等を受け付ける。			
備考			1 本講義は、看護師の目線によって展開する英語を使った看護コミュニケーションを目的としている。 2 各自、これまでの英語学習を活用して、言葉の違いだけでなく、文化的背景や習慣の違いの理解に努める。 3 英語力向上のため、各自、主体的に取り組む。			

[実務]

看護師等の実務経験のある教員および、ESP教育に精通した教員が、看護場面を想定し、外国人患者への基礎的な英語コミュニケーションに必要な教育を行う。

- 最新の知見を取り入れて講義構成をしている。

講義名	国際看護学Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	International NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3学年次		

担当教員	
職種	氏名
准教授	◎ 浅野 いずみ
教授	坂本 真理子
講師(兼 大学病院・看護部)	高柳 佳弘
講師(非)	竹村 和子

科目概要	グローバリゼーションが進む現在において、私たちの生活は常に世界との関連の中で成り立っている。本科目では国際保健・看護の意義、国際保健・看護の一手段としての国際協力の枠組み、国際協力に活かす異文化理解の主要な概念の基礎的な学習を行った上で、様々な国における健康課題と解決に向けての看護実践や私たちにとって身近な在留外国人等への実践を事例に健康への取り組みを地球規模で考えていく。
目標	1 国際保健・看護について学ぶ意義を述べることができる。 [DP:4] 2 国際看護の一手段としての国際協力の枠組みや国際協力の実情について説明することができる。 [DP:4] 3 異なる文化背景をもつ国々における看護の実践について述べるができる。 [DP:3～5] 4 異なる文化背景をもつ国々での緊急援助活動について説明することができる。 [DP:3～5] 5 在留外国人等の健康課題および看護実践について説明することができる。 [DP:1～4]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/11 (金)	1	オリエンテーション 国際保健・看護の意義、場、対象 (国際保健・看護、国際社会・多様な文化における看護職の役割、国際社会と看護、グローバル化、HFA、世界の健康問題、基本的人権、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)、持続可能な開発目標(SDGs)) グローバルな看護の課題(国際看護師協会:ICN)	講義	予習:参考書あるいはウェブサイトで「世界の健康問題」について関心のあるトピックスと「国際看護師協会(ICN)」についての記事を読む。 復習:教員から提示されたキーワードについてノートにまとめる。 前後各120分	浅野 いずみ 坂本 真理子
2	2026/09/11 (金)	2	在留外国人の背景・健康支援の仕組みと課題(在留資格、特定技能制度／育成就労制度、医療アクセス、健康課題)	講義	予習:参考書あるいはウェブサイトで「在留資格」や「育成就労制度」についての記事を読む。 復習:関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	浅野 いずみ

3	2026/09/18 (金)	2	在留外国人への看護・健康支援の実際（母子・成人・高齢者への看護）	講義	予習：参考書あるいはウェブサイトで、「在留外国人の健康支援」についての記事を読む。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	坂本 真理子
4	2026/10/01 (木)	2	外国人看護師との協働 国際協力の構造と機能（国際社会、国際協力、国際機関、WHO、UNICEF、JICA、NGO、NPO、ODA）	講義	予習：ウェブサイトにて「外国人看護師」、「国際協力機関」について調べる。 復習：講義資料を基に関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	浅野 いずみ
5	2026/10/02 (金)	2	開発途上国における看護実践1（国際保健・国際協力、JICA、JICA海外協力隊、開発途上国、南米、看護・保健活動、異文化背景）	講義	予習：ウェブサイトでJICA海外協力隊について調べる。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	坂本 真理子 ゲストスピーカー
6	2027/01/12 (火)	1	国際的な緊急援助活動の実際（JICA、国際緊急援助隊、大規模災害）	講義	予習：参考書あるいはウェブサイトで「国際緊急援助隊」について調べる。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	高柳 佳弘
7	2027/01/12 (火)	2	グローバルな看護の課題（紛争による難民支援と看護）	講義	予習：ウェブサイトで「難民」について調べる。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	竹村 和子
8	2027/01/15 (金)	1	開発途上国における看護実践2（国際保健・国際協力、JICA、JICA海外協力隊、開発途上国、インドネシア、看護・保健活動、異文化背景）	講義	予習：ウェブサイトでJICA海外協力隊について調べる。 復習：関心をもった内容について更に調べ、ノートにまとめる。 前後各120分	浅野 いずみ
9	2027/01/20 (水)	4	定期試験			

評価方法	定期試験(70%)、授業への積極的な参加態度／授業振り返り（AIDLE-Kへの入力）の内容(30%)を総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： プリント等を配布する。 参考書： 1 柳澤理子編：「国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて」、PILAR PRESS(2015/3) 2 大橋一友他編：「国際化と看護 日本と世界で実践するグローバルな看護をめざして」、メディカ出版(2020/12) 3 厚生労働統計協会編：「国民衛生の動向2026/2027、厚生労働統計協会(2026/8)、定価2,970円(税込)」
履修上の注意点及び取扱い	1 出席の確認は、入室時と退室時のカードリーダーへの打刻による。このとき、2回目の打刻がない者は欠席扱いとする。遅刻・早退はしない。 2 学生は、講義終了後、毎回、AIDLE-Kフィードバック入力する。 3 単位修得について (1) 出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。 (2) 定期試験に合格すること。不合格者に再試験を課す。再試験は1回とする。不合格の場合は次年度に再履修すること。 (3) 病気等のやむを得ない理由以外での定期試験欠席は認めない。その場合は再試験を認めない。

	4 課題やフィードバックに書かれている質問内容には次回の授業で解説を行う。
オフィスアワー	浅野 いずみ 水曜日 16:10～17:40 看護学部棟2階 N251研究室 坂本 真理子 水曜日 16:10～17:40 C棟5階 教授室1 その他の講師 講義終了後に質問等を受け付ける。
備考	〔実務〕 国際看護分野において、保健師・看護師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 本科目は、研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業を構成している。

講義名	国際看護学Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	International Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 浅野 いずみ
教 授	坂本 真理子
講 師(非)	清水 きよ恵

科目概要	「国際看護学Ⅰ」で学修した内容を基盤とし、日本国内及び世界各地における異文化背景を持つ人々への看護の実践方法について学修する。世界のある国や地域（特に医療資源が乏しい国や地域）について、文献やインターネット等を通し、文化・宗教、経済、政治、教育などの側面から、その国や地域の健康課題と必要な看護介入についてグループで討議・検討し、プレゼンテーションを行う。また、日本国内にも目を向け、在留外国人を対象としたコミュニケーションの実践を行い、言語、文化背景の異なる対象者への看護の実践方法について学修する。
目標	1 グローバルな視点で、世界の人々の文化・価値観、生活の背景等を理解し、健康上の課題とその対策について討議することができる。「DP:4」 2 異なる文化背景を持つ人々を理解し、文化に適合した看護について討議できる。「DP:4・5」 3 日本と異なる言語、文化背景をもつ人々とやさしい日本語を用いて、コミュニケーションをとることができる。「DP:4」 4 日本と異なる言語、文化背景をもつ人々が安心して医療を受けるために医療通訳を活用することができる。「DP:3, 4」 5 異文化背景をもつ人々といかに理解し合えるか討議することができる。「DP:4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/08 (水)	1	オリエンテーション (演習1) 在留外国人の健康課題と看護計画立案① 演習オリエンテーション 対象とする国の決定、情報収集	講義 演習	予習：関心がある国について、どんな文化・宗教、経済、教育等であるか、どんな健康課題がありそうかウェブサイトで調べる。 復習：対象とする国の情報と提示されたキーワードおよび事例を関連させて、ウェブサイトで調べる。 前後各120分	浅野 いずみ
2	2026/04/08 (水)	2	(演習1) 在留外国人の健康課題と看護計画立案② 対象とする国についての情報収集	演習	予習・復習：対象とする国の情報と提示されたキーワードおよび事例を関連させて、ウェブサイトで調べる。 前後120分	全員
3	2026/04/14 (火)	1	(演習1) 在留外国人の健康課題と看護計画③ 対象とする事例のアセスメント、健康課題抽出、看護計画立案	演習	予習：対象とする国について、ウェブサイトから情報収集する。 復習：発表に向けて、収集した情報の整理・統合をする。 前後120分	全員

4	2026/04/14 (火)	2	(演習1) 在留外国人の健康課題と看護計画④ プレゼンテーション、ディスカッション	演習	予習：収集した情報の整理・統合をし、発表に備える。 復習：発表後の教員および学生からのフィードバック内容を振り返る。 前後120分	全員
5	2026/04/21 (火)	1	外国人対象者とのコミュニケーション（やさしい日本語、医療通訳、看護職者の配慮、文化・宗教の尊重）	講義	予習：提示されたホームページを確認する。 復習：講義資料を基に、提示されたキーワードについて調べまとめる。 前後120分	清水 きよ恵
6	2026/04/21 (火)	2	(演習2) やさしい日本語での会話・説明と医療通訳の活用方法① 演習オリエンテーション 説明内容の検討、通訳の活用について検討	演習	予習：提示された事例を読み込み、本事例に活用できる言葉や説明内容をウェブサイトを参考にして考えてくる。 復習：GWで深めた内容をノートにまとめる。 前後各120分	全員
7	2026/04/24 (金)	1	(演習2) やさしい日本語での会話・説明と医療通訳の活用方法② 説明内容の検討、通訳の活用について検討	演習	予習：提示された事例を読み込み、本事例に活用できる言葉や説明内容をウェブサイトを参考にして考えてくる。 復習：GWで深めた内容をノートにまとめる。 前後各120分	全員
8	2026/04/24 (金)	2	(演習2) やさしい日本語での会話・説明と医療通訳の活用方法③ 外国人ゲストスピーカーへの実践、ディスカッション	演習	予習：発表に向けて、作成した内容の確認、準備をする。 復習：発表後の教員および学生からのフィードバック内容を振り返る。 前後120分	全員 ゲストスピーカー

評価方法	在留外国人の健康課題のアセスメントおよび看護計画等グループでの提出物（25%）、やさしい日本語についてのグループでの提出物（25%）、授業への積極的な参加態度（20%）、授業振り返り（AIDLE-Kへの入力）の内容30%とし、評価する。
教科書・参考書	教科書：プリント等を配布する。 参考書： 1 柳澤理子編：「国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて」、PILAR PRESS (2015/3) 2 大橋一友他編：「国際化と看護 日本と世界で実践するグローバルな看護をめざして」、メディカ出版 (2020/12) 3 厚生労働統計協会編：「国民衛生の動向2025/20206、厚生労働統計協会 (2025/8)、定価2,970円(税込)
履修上の注意点及び取扱	1 履修について (1) 国際看護学Ⅰで学んだ内容を活用して準備学習を行い、講義・演習に臨む。 (2) 講義資料等を許可なく撮影・録音することは禁ずる。 (3) 授業内のグループワークおよびディスカッションに積極的に参加する。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。この際、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 (2) 遅刻3回で欠席1回とみなす。 3 単位取得について (1) 3分の2以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 (2) グループ課題への参加がないと判断された場合は、単位を修得することはできない。 (3) 評価が合格点に達していない場合、レポートの提出を課すことがある。レポートの再提出は1回までとする。再提出で不合格の場合は次年度再履修すること。 4 その他 (1) 振り返りはAIDLE-Kを用いて、決められた期日までに入力することとする。 (2) 振り返りの内容については、次回講義内でフィードバックを行う。 (3) グループでの提出物についてフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。 (4) 凡例 GW：グループワーク
オフィスアワー	浅野 いずみ 水曜日 16:10～17:40 看護学部棟2階 N251研究室 坂本 真理子 水曜日 16:10～17:40 C棟5階 教授室1

	その他の講師　講義終了後に質問等を受け付ける。
備考	〔実務〕 国際看護分野において、保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 本科目は、研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業を構成している。

講義名	看護管理論		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Nursing Administration		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山中 真
教 授	森 一直
教 授	山本 恵美子
准 教 授	青山 恵美
講 師(兼 大学病院・看護部)	萬谷 和代
講 師(兼 大学病院・看護部)	富石 香代子
講 師(非)	今西 陽一郎

科目概要	医療分野において、疾病構造の変化、新たなテクノロジーの導入、グローバル化など、より広範な視点で組織やチームを運営・改善し、質の高い看護を持続的に提供することが求められている。また、患者・利用者に対する組織的な事故予防対策やリスクマネジメントに基づく医療安全管理が不可欠となっている。このような組織管理に加えて、看護師自身のキャリア形成と組織ニーズを調和させるキャリアマネジメントも管理者には求められている。 そこで本科目は、看護管理に必要とされる知識を基盤とし、看護管理の重要性や役割を学修させるとともに、組織の成り立ちや運営原理の理解を通じて、組織運営へ能動的かつ戦略的に関わるための基礎的なマネジメント力を身につけることを目的とする。また、業務効率の向上やヒヤリ・ハットの分析を通じて医療安全意識を高めるとともに、キャリア支援を視野に入れた体験型の学習を行う。これら一連の学びを通して、組織改善や安全管理に必要とされる基礎力の強化や持続可能な専門職キャリアを形成するための基盤を築く。
目標	1 看護管理に必要とされる看護の質管理の基本を説明できる「DP:5」 2 看護管理で求められる組織や看護の質に関する評価方法を説明できる「DP:5」 3 看護の質管理に求められる組織運営と経営資源の活用方法を説明できる「DP:5」 4 医療安全管理の基本的理解と有害事象への予防策について考えることができる「DP:5」 5 看護職位で異なる業務役割を理解し職業キャリアアイデンティティを考えることができる「DP:5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/08 (水)	3	オリエンテーション 看護とマネジメント 看護を取巻く諸制度	講義	前：教科書 1；p.2～14、 166～193を読む(30分)。 後：講義内容を振り返り、 まとめる(30分)	山中 真
2	2026/04/09 (木)	3	看護ケアのマネジメント① 1)看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2)患者の権利 3)安全管理 4)チーム医療 5)看護業務の実践	講義	前：教科書 1；p.16～61を 読む。(30分) 後：講義内容を振り返り、 まとめる(30分)	山中 真
3	2026/04/09 (木)	4	看護サービスのマネジメント 1)看護サービスのマネジメント 2)組織目的達成のマネジメント 3)看護サービス提供のしくみづくり	講義	前：教科書 1；p.78～95を 読む(30分) 後：講義内容を振り返り、 まとめる(30分)	山中 真

4	2026/04/15 (水)	1	マネジメントに必要な知識と技術 1) マネジメントとは 2) 組織とマネジメント 3) リーダーシップとマネジメント 4) 組織の調整 5) 組織におけるコミュニケーション	講義	前：教科書 1 ; p. 138～163 を読む(30分) 後：講義内容を振り返り、 まとめる(30分)	山本 恵美子
5	2026/04/15 (水)	2	看護サービスの特徴と看護の質保障	講義	前：教科書 1 ; p. 110～136 までを読む。(30分) 後：講義内容を振り返りま とめる (30分)	青山 恵美
6	2026/04/17 (金)	3	病院における看護管理の実際	講義	前：教科書 1 および第1～5 回までの講義をもとに理解 を深めておく(30分) 後：講義内容を振り返り、 復習をしておく(30分)	萬谷 和代
7	2026/04/22 (水)	1	病院における医療安全とリスクマネジメントの実際	講義	前：事前配付資料を読みリ スクマネジメントについて 理解しておく(30分) 後：講義内容を振り返り、 復習をしておく(30分)	富石 香代子
8	2026/04/22 (水)	2	演習：医療安全とリスクマネジメント GW：危険予知トレーニング(KYT)の実施	講義 GW	前：事前配付資料を読み KYTの実施方法を学習する (30分) 後：GWの内容を振り返り、 危険予知の感性を高めるた めに実践する内容をまとめ る(30分)	青山 恵美
9	2026/04/24 (金)	3	医療安全管理に求められる基礎力1 多重課題への対処①	演習 GW	前：事前配布資料を読み課 題対応に必要な社会人基礎 能力について理解を深める (30分) 後：講義内容を振り返り、 復習をしておく(30分)	山中 真 山本 恵美子 青山 恵美
10	2026/04/24 (金)	4	医療安全管理に求められる基礎力1 多重課題への対処②	演習 GW	前：事前配布資料を読み課 題対応に必要な社会人基礎 能力について理解を深める (30分) 後：講義内容を振り返り、 復習をしておく(30分)	山中 真 山本 恵美子 青山 恵美
11	2026/04/28 (火)	1	医療安全管理に求められる基礎力2 事例を用いた予兆を見抜く看護判断①	演習 GW	前：事前配布資料を読みリ スク回避につながる看護思 考を深める(30分) 後：講義内容を振り返り、 復習をしておく(30分)	山中 真 山本 恵美子 青山 恵美
12	2026/04/28 (火)	2	医療安全管理に求められる基礎力2 事例発表	演習 GW	前：事前配布資料を読みリ スク回避につながる看護思 考を深める(30分) 後：発表内容を振り返り、 復習をしておく(30分)	山中 真 山本 恵美子 青山 恵美
13	2026/04/30 (木)	2	病院における経営の基礎知識	講義	前：教科書 1 および第1～6 回までの講義をもとに理解 を深めておく(30分) 後：講義内容を振り返り、 復習をしておく(30分)	今西 陽一郎
14	2026/05/01 (金)	3	キャリアマネジメントの基礎知識	講義	前：教科書 1 ; p. 64～75、 96～110を読む(30分) 後：講義内容を振り返り、 まとめる(30分)	山中 真
15	2026/05/01 (金)	4	看護職としてのキャリア形成	講義	前：事前配布資料を読み課 題対応に必要な社会人基礎 能力について理解を深める (30分) 後：講義内容を振り返り、 復習をしておく(30分)	森 一直

16	2026/05/08 (金)	4	定期試験			
評価方法		定期試験(60%)、「事前課題、課題レポート、出席状況、参加姿勢：40%」を総合的に評価する。				
教科書・参考書		教科書： 1 上泉和子、小山秀夫、笈淳夫、鄭佳紅：「系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践① 看護管理」、医学書院、第11版(2024/1)、定価2,750円(税込み) 参考書： 1 兵藤好美、細川京子：「医療安全に活かすKYT」メヂカルフレンド社、(2012/6)、定価2,860円(税込み) 2 吉田千文：「看護の統合と実践 看護管理」、ナースینگグラフィカ、(2023/1) 定価3,080円(税込み) 3 原玲子：「学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門」：日本看護協会出版会、(2020/8)、定価3,300円(税込み)				
履修上の注意点 及び取扱い		1 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。 2 出席数は問わない。ただし、遅刻・早退・欠席は減点をする。よって、試験の結果のみで合否が決定するものではない。 3 大学規定ではない欠席については、その講義についてのレポートを作成し課目責任者にレポートを提出する。 4 再試験は1回のみとする。科目責任者の判断で特別な事情がある場合は追試験を行う。 5 凡例 GW：グループワーク				
オフィスアワー		山中 真 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階N252研究室 山本 恵美子 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟3階N351研究室 青山 恵美 木曜日 16：20～17：50 基礎科学棟3階N375研究室 森 一直 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する 兼任講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。 非常勤講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。				
備考		[実務] 医療機関等にて実務経験のある教員が、看護業務の実践のために必要なマネジメント、看護管理の実際、および医療安全について教育する。 * 本講義における演習では、最新の医療事故傾向から知見を取り入れて講義構成している。				

講義名	卒業研究Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Graduation Thesis ResearchⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3学年次		

担当教員	
職種	氏名
	◎ 看護学部教員
教 授	篠田 かおる
教 授	佐々木 裕子
教 授	茂本 咲子
教 授	山中 真
教 授	谷口 千枝
教 授	山本 恵美子
教 授	心光 世津子
准 教 授	坂田 久美子
准 教 授	白井 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	山幡 朗子
准 教 授	橋本 茜
准 教 授	森 莉那
准 教 授	長崎 由紀子
准 教 授	浅野 いずみ
准 教 授	青山 恵美
准 教 授	荻野 朋子
准 教 授	山本 弘江
准 教 授	深谷 基裕
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	二村 純子
講 師	横山 剛志
講 師	板津 良
講 師	伊藤 真規
講 師	小久保 知由起
講 師	上坂 真弓
講 師	伊藤 寿英
講 師	中村 美奈子

講 師	坪之内 千鶴
-----	--------

科目概要	看護実践・研究・教育など関心のあるトピックスや関連文献を講読し、ゼミナールを通して関心のある課題を追求する。また、論理的な思考能力や表現力、討論への積極的な姿勢を涵養する。
目標	1 興味・関心のある課題に関連した文献検索・収集ができる。[DP: 5] 2 興味・関心のある課題に関連した論文について批判的に吟味した内容をもとに討議できる。[DP: 5] 3 興味・関心のある課題について、文献等から得られた知見を基に論理的に論じることができる。[DP: 5] 4 文献検討した内容を踏まえ、自身が取り組む課題を明確にするまでのプロセスを一貫して記述することができる。[DP: 6]

授業計画表

回	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)
1	ガイダンス（「卒業研究Ⅱ」とのつながり含む） 文献検索と文献を批判的に読むことについて	講義	前：「看護研究方法論」の復習120分 後：文献クリティークの復習120分
2	興味・関心のある課題に関する文献検索・収集	発表 討論	前：興味・関心のある課題に関する文献検索・収集120分 後：収集した文献の整理120分
3	興味・関心のある課題に関する文献検討 文献（質的研究、量的研究、文献レビュー）のクリティーク、各自の文献クリティークした内容をもとにディスカッション	発表 討論	前：収集した文献のクリティーク120分 後：文献検討後のまとめ120分
4	同上	発表 討論	前：収集した文献のクリティーク120分 後：文献検討後のまとめ120分
5	同上	発表 討論	前：収集した文献のクリティーク120分 後：文献検討後のまとめ120分
6	自身の興味・関心のある課題に関する文献を収集し、今後（卒業研究Ⅱ）につなげる研究テーマの検討	発表 討論	前：収集した文献の整理120分 後：自身の研究テーマに関する文献のまとめ120分
7	自身の取り組む課題に関連する複数の文献をもとに、疑問や問いの明確化 各自の取り組む課題についてのディスカッション	発表 討論	前：自身の研究テーマに関連する文献検索・収集120分 後：自身の取り組む課題についてのまとめ120分
8	まとめ（「卒業研究Ⅰ」の総括、「卒業研究Ⅱ」に向けて） レポート作成	発表 討論	前：科目を通しての学びの整理120分 後：卒業研究Ⅱに向けての準備120分

評価方法	1 討論時の準備学修への取り組み(20%)、討論への参加度(50%)、レポート(30%) 2 不合格の場合は、再試験（レポート提出）を1回行う。
------	---

教科書・参考書	教科書： 看護研究方法に準ずる。 参考書： 看護研究方法に準ずる。 加えて以下の文献を挙げる。 1 谷津裕子著：「Start Up 質的看護研究」、GAKKEN、第2版（2015/12）、定価2,750円（税込み） 2 野口美和子監訳：「ナースのための質的研究入門」、医学書院、第2版（2006/4）、定価3,960円（税込み） 3 石井京子、多尾清子：「ナースのための質問紙調査とデータ分析」、医学書院、第2版（2002/5）、定価3,080円（税込み） 4 藤林和俊著：「看護研究をはじめめるための統計と臨床疫学」、学研メディカル秀潤社、（2012/12）、定価2,420円（税込み） 5 牧本清子、山川みやえ、編著：「よくわかる看護研究論文のクリティーク」、日本看護協会出版会、第2版（2020/6）、定価3,520円（税込み）
---------	--

履修上の注意点 及び取扱い	1 各自、主体的・積極的に取り組むこと。 2 事前・事後学修を行い、毎回臨むこと。 3 各担当教員により開講日時が異なるため、講義日程に注意すること。 4 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。 5 出席3分の2以上を評価の対象とする。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	最終提出レポートテーマ：「興味・関心のある課題に関する文献検討の要約と卒業研究Ⅱで取り組む研究課題の明確化」 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	卒業研究Ⅱ		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	2		
(英文名)	Graduation Thesis Research Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
	◎ 看護学部教員
教 授	篠田 かおる
教 授	佐々木 裕子
教 授	茂本 咲子
教 授	山中 真
教 授	谷口 千枝
教 授	山本 恵美子
教 授	心光 世津子
准 教 授	坂田 久美子
准 教 授	白井 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	山幡 朗子
准 教 授	橋本 茜
准 教 授	森 莉那
准 教 授	長崎 由紀子
准 教 授	浅野 いずみ
准 教 授	青山 恵美
准 教 授	荻野 朋子
准 教 授	山本 弘江
准 教 授	深谷 基裕
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	二村 純子
講 師	横山 剛志
講 師	板津 良
講 師	伊藤 真規
講 師	小久保 知由起
講 師	上坂 真弓
講 師	伊藤 寿英
講 師	中村 美奈子

講 師	坪之内 千鶴
-----	--------

科目概要	看護専門職者として自己研鑽を続ける基本的な能力や看護への探求心を養う。既習の知識・技術、倫理的考え方を基に研究計画を立案し、テーマにおける課題解決や仮説を検証し、論文作成までの体験を通し、将来的な種々の研究活動の基盤を形成することを目的とする。また、生涯にわたり学修する姿勢や看護の専門性を追求し、発展させていくことを学ぶ。
目標	1. 卒業研究Ⅰでの学修成果や研究の必要性や意義をふまえ、看護・保健分野において解決すべき問題や現象、疑問事項などの自身の研究テーマを明らかにすることができる。「DP：5」 2. 指導やディスカッションをふまえて、研究テーマから研究目的の明確化と、研究方法および倫理的配慮の検討を行い、目的に合致する研究計画を立案できる。「DP：5」 3. 指導を受けながら研究計画に基づいてデータ収集および分析ができる。「DP：5」 4. 研究によって得られた結果に基づき論理的な考察を行い、論文にまとめることができる。「DP：5」 5. 研究テーマを見出し研究論文作成へとつなげる一連の過程において、自ら疑問や意見を発信し助言等を活用して主体的に取り組むことができる。「DP：6」 6. 研究課題の選定から一連の自己の学修成果について、他者に伝えるように研究発表を行うことができる。「DP：6」 7. 研究発表を通して他分野の研究内容に触れ知見を深め、建設的な討議をすることができる。「DP：6」 8. 研究成果には適用可能範囲や限界があることを理解し、一連の研究プロセスにより得られた学修成果から今後の看護実践や研究上の課題を述べることができる。「DP：6」

授業計画表

回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション（卒業研究Ⅰとのつながり、研究を通しての学修を看護実践に活かすことを含む）	講義	前：看護研究方法論、卒業研究Ⅰの授業内容の復習 後：自己の研究課題の検討
2	研究テーマの検討・文献検討	発表・討議	前：自己の研究課題に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に研究課題の検討
3	同 上	同 上	同 上
4	同 上	同 上	同 上
5	同 上	同 上	同 上
6	研究目的の明確化	発表・討議	前：自己の研究課題に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に研究目的の検討
7	同 上	同 上	同 上
8	研究方法および倫理的配慮の検討	発表・討議	前：自己の研究課題や研究方法に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に研究方法の検討
9	同 上	同 上	同 上
10	倫理的配慮の検討および研究計画の立案	発表・討議	前：自己の研究課題や研究方法に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に研究計画の検討
11	同 上	同 上	同 上
12	研究計画書の発表とディスカッション	発表・討議	前：自己の研究に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に取り組み内容の検討
13	同 上	同 上	同 上

14	データ収集および分析	発表・討議	前：自己の研究に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に取り組み内容の検討
15	同 上	同 上	同 上
16	同 上	同 上	同 上
17	同 上	同 上	同 上
18	結果・考察のまとめ	発表・討議	前：自己の研究に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に取り組み内容の検討
19	同 上	同 上	同 上
20	同 上	同 上	同 上
21	同 上	同 上	同 上
22	論文作成	発表・討議	前：自己の研究に関する資料の準備 後：討議や教員の指導を参考に取り組み内容の検討、論文の修正
23	同 上	同 上	同 上
24	同 上	同 上	同 上
25	同 上	同 上	同 上
26	研究成果のまとめと発表準備	講義・発表・討議	前：自己の研究成果発表の準備 後：作成した資料の修正
27	同 上	同 上	同 上
28	研究成果の発表とディスカッション（他分野の研究内容に触れ知見を深めることを含む）	発表・討議	前：自己の研究成果発表の準備 後：討議や教員の指導を参考に学修成果をまとめる
29	同 上	同 上	同 上
30	同 上	同 上	同 上

評価方法	1. 論文作成（50%）、研究過程（25%）、個人指導を含むゼミナールと研究発表会への主体的参加（25%） 2. 不合格の場合は、再提出の機会を1回与える。
教科書・参考書	教科書：看護研究方法論に準ずる。 参考書：看護研究方法論に準ずる。 加えて以下の文献を挙げる。 1 谷津裕子著：「Start Up 質的看護研究」、GAKKEN、第2版（2015/12）、定価2,750円（税込み） 2 野口美和子監訳：「ナースのための質的研究入門」、医学書院、第2版（2006/4）、定価3,969円（税込み） 3 石井京子、多尾清子：「ナースのための質問紙調査とデータ分析」、医学書院、第2版（2002/5）、定価3,080円（税込み） 4 藤林和俊著：「看護研究をはじめめるための統計と臨床疫学」、学研メディカル秀潤社、（2012/12）、定価2,420円（税込み） 5 牧本清子、山川みやえ、編著：「よくわかる看護研究論文のクリティーク」、日本看護協会出版会、第2版（2020/6）、定価3,520円（税込み）
履修上の注意点及び取扱い	1 各自、主体的・積極的に取り組むこと 2 事前・事後学修を行い毎回臨むこと 3 各担当教員により開講日時が異なるため、日程に注意をすること 4 ゼミナールでの学修が適切に活用できるよう、自主的に指導教員へ相談し個人指導を受けること 5 履修者の学修の進行状況等により、授業の内容や順序が変わることがあること 6 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応すること 7 「卒業研究Ⅰ」の単位修得が履修の前提条件となる。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	1 論文の提出期限 2026年12月1日（火）9時から2026年12月7日（月）17時まで（時間厳守） 2 提出先 1）論文（表紙、抄録、目次、本文含む）1編（提出先：学務課） 2）抄録（wordファイルのデータ：抄録集作成用）1枚（A4）（提出先：AIDLE-K）

- 3 論文題目および抄録は学内公開される。
- 4 研究成果の発表については、以下を共通事項とする。
 - 1) 発表会日程：2026年12月21日(月)
 - 2) 発表資料は、パワーポイントを用いて資料作成を行う(A4：8～10枚)。
 - 3) 発表形式は、ポスター発表とする。
ポスター前で口頭発表を行う(1人10分：口頭発表7分、質疑応答3分)。
- 5 卒業研究Ⅱにかかる費用は学生の自己負担である。
 - 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	コミュニティ実習		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Community Practicum		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 白井 裕子
教 授	佐々木 裕子
講 師	伊藤 寿英
助 教	柴田 竹晴
助 教	曾雌 哲也

科目概要	地域のヘルスプロモーション活動を通じて、人々が自らの健康をコントロールし改善するためには、どのような支援が必要かを考え、実践する。
目 標	1 地域の特徴を説明できる。[DP:2] 2 市民や当事者が主体となるヘルスプロモーション活動について説明できる。[DP:2] 3 地域のヘルスプロモーション活動に参加し、住民や当事者と協働して取り組む必要性を述べることができる。[DP:1～3] 4 地域のヘルスプロモーション活動の中で学生としてできる貢献を考え、新たな活動を企画・実践・評価できる。[DP:2・3・5] 5 実習した地域において、地域住民の健康増進にかかる課題を見出し提言ができる。[DP:2・5] 6 看護倫理をふまえた態度や行動をとることができる。[DP：1]

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1. グループごとに各実習機関等で5日間の実習を行う。 2. 詳細は「2026年度コミュニティ実習要項」を参照とする。 3. 実習期間は以下の通りとする。 1クール：2026年9月28日(月)～10月9日(金) 2クール：2026年10月12日(月)～10月23日(金) 3クール：2026年11月2日(月)～11月13日(金) 4クール：2026年11月16日(月)～11月27日(金)	実習	「2026年度コミュニティ実習要項」を参照とする。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員

11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員

評価方法	実習要項に示した評価基準に基づき、以下の内容を評価する。60点以上を合格とする。 1 実習目標の達成状況 80% 2 グループワーク・報告会への参加状況 10% 3 記録物 10%			
教科書・参考書	教科書：なし 参考書・参考資料：ヘルスプロモーション論で使用したテキスト及び講義資料。その他はガイダンス時および実習オリエンテーション時に紹介する。			
履修上の注意点及び取扱い	1 「ヘルスプロモーション論」の単位修得ができている場合に履修できる。 2 実習ガイダンス及び現地での実習オリエンテーションに参加する。 3 既定の5分の4以上の出席があり、実習記録物が期限内に提出された場合に評価の対象とする。 4 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。原則として本実習を行った実習機関で実施する。再実習は1回のみ実施する。 5 実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。			
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 白井 裕子 月曜日 15：45～17：15 C棟5階研究室② 伊藤 寿英 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N373研究室 柴田 竹晴 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N374研究室 曾嶋 哲也 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N369研究室			
備考	[実務] 地域で暮らす人々と関わりをもつ多様な事業所や施設で、看護師等のさまざまな実務経験をもつ教員等が、実際の活動で体験する内容に沿って教育を行う。 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。			

講義名	母性看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Practicum: Maternal NursingⅠ		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山本 弘江
助 教	丸谷 紗穂

科目概要	「親になること」の発達過程にある対象と家族の特徴と発達課題を理解し、ヘルスプロモーションの視点に立った支援と看護師の役割を説明できる。
目 標	1 妊娠に伴う生理的变化について情報収集を行い、妊娠が日常生活へ与える影響と母体の適応を説明できる。[DP: 1・5] 2 周産期の母子や家族を対象とした健康教育に主体的に参加し、対象と家族のニーズとヘルスプロモーションを促すための支援を説明できる。[DP: 1・2] 3 「親になること」の発達過程にある対象と家族の思いに寄り添い、看護学生としてふさわしい態度で実習に参加できる。[DP: 1] 4 対象やその家族との関わりの中で、自己の母性・父性意識を発展させ、関連付けることができる。[DP: 1] 5 カンファレンスを通じて、母性看護の対象の特徴について考察し、周産期における看護について自身の意見を深めることができる。[DP: 2・4・6] 6 看護学生として、敬意と尊敬をもってふさわしい態度と行動をとることができる。[DP: 1]

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1. 実習内容と方法 1) 実習初日と最終日は学内実習を行う。 2) 臨地実習は、学生3～4名で小グループを編成し、各実習場所で実習を行う。 【臨地実習】 3) 妊婦健診を観察し、妊娠に伴う妊婦の身体的・心理的・社会的変化を理解する。 4) 妊婦から日常生活についてのお話を伺い、妊娠が母体に与える影響と適応、胎児の発育のアセスメントを行う。 5) 健康教育や保健指導に参加し、対象のニーズと支援について学ぶ。 6) 乳児を育てている対象者からお話を伺い、子育て期の家族の生活や思いを理解する。 【学内実習】 7) 自身の母子健康手帳を用いてアセスメントの視点を理解する。 8) 対象の観察に必要な看護技術を学ぶ。 9) 妊婦体験モデルを用いたシミュレーション実習を行い、妊娠が日常生活に与える影響について理解する。 10) 身近な出産経験者から「親になること」について話を伺い、親になることについて考察する。 11) 学びの発表とテーマカンファレンスから、地域で生活する「親になること」の発達過程にある対象と家族の特徴を理解し、ヘルスプロモーションを高める看護について考察する。 詳細は、別途配布する「令和8年度母性看護学実習Ⅰ実習要項」を参照とする 2. 実習期間	実習	予習： 1 実習前課題および実習ガイダンス時の資料を熟読しておく。 2 母性看護学各論の教科書巻末にある動画一覧1～9を視聴し、妊婦と新生児をイメージしておく。 3 実習要項とガイダンス資料をもとに、自陣の実習目標を明確にしておく。 復習： 1 実習記録を用いて1日の実習を振り返り、学修したことをまとめる。 2 翌日の実習目標と計画を立案し、そのために必要な知識及び技術を教科書・参考書を用いて学修する。 3 実習終了後、母性看護学実習Ⅱに向けて自身の課題をまとめる。 時間制限はしない。	全員

	1クール：2026年9月28日(月)～10月2日(金) 2クール：2026年10月5日(月)～10月9日(金) 3クール：2026年10月13日(火)～10月16日(金) 4クール：2026年10月19日(月)～10月23日(金) 5クール：2026年10月26日(月)～10月30日(金) 6クール：2026年11月2日(月)～11月6日(金) 7クール：2026年11月9日(月)～11月13日(金) 8クール：2026年11月16日(月)～11月20日(金) 9クール：2026年11月24日(火)～11月27日(金)			
	3. 実習施設 愛知医科大学病院 産婦人科外来 図書館通おかもとマタニティークリニック 清慈会鈴木病院			
2	同上	実習		全員
3	同上	実習		全員
4	同上	実習		全員
5	同上	実習		全員
6	同上	実習		全員
7	同上	実習		全員
8	同上	実習		全員
9	同上	実習		全員
10	同上	実習		全員
11	同上	実習		全員
12	同上	実習		全員
13	同上	実習		全員
14	同上	実習		全員
15	同上	実習		全員
16	同上	実習		全員
17	同上	実習		全員
18	同上	実習		全員
19	同上	実習		全員
20	同上	実習		全員

評価方法	1 実習期間の5分の4以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。ただし、欠席や遅刻は減点とする。 2 実習評価は、学生と教員で評価を可視化できるルーブリック評価表を用いる。 3 実習最終日、実習目標と評価およびルーブリック評価表を用いて、担当教員とフィードバック面談を行う。
教科書・参考書	教科書： 母性看護学Ⅰ、母性看護学Ⅱで使用している教科書、授業資料を参考とする。 参考書： 1 荒木奈緒他編（2024）：「ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第6版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） その他、実習中に適宜提示する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) 「母性看護学Ⅰ」の単位を修得していることが履修の前提条件となる。 (2) 実習要項及び看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 2 出欠席について (1) 実習ガイダンスに出席し、実習方法、実習内容等の詳細を把握し、準備をして臨むこと。 (2) やむを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 3 単位取得について (1) 実習期間の5分の4以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。 (2) 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 4 その他 (1) 感染症に対し脆弱な新生児を扱うことから、自身の体調管理には十分留意し、少しでも気になる所見があ

	る場合は自己判断をせず、担当教員に登校前に相談をすること。 (2) 実習は対象の生活や周産期の実践の場所で行うことから、謙虚に学ぶ姿勢や、誠実な態度と礼儀正しい言葉遣いを心がけ、自主的に挨拶、自己紹介、意思表示を行う。 (3) 自身の母子健康手帳を用いることから、事前に準備をしておく。なお、紛失等で準備ができない場合は担当教員に事前に相談する。
オフィスアワー	山本 弘江 水曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室① 丸谷 紗穂 水曜日 16:00～17:30 基礎科学棟3階N367研究室
備考	実習期間に祝日がある場合は、別途ガイダンスで指示する。 〔実務〕 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、周産期(妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期)の母子と家族への看護実践について指導する。またヘルスプロモーションの視点に立って、その家族が社会で健康に生活できるための看護の役割について教育する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	小児看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Practicum: Pediatric NursingⅠ		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 茂本 咲子
准 教 授	深谷 基裕
助 教	坂川 有希

科目概要	子どもの尊厳を守り、成長・発達を支える看護の役割を、子どもとの人間関係の構築、家族の関わり、周囲の人の関わり、生活環境から考察する。
目 標	1 乳幼児の尊厳および権利、成長・発達の特徴について説明できる。〔DP：1・5〕 2 乳幼児の成長・発達段階に合わせたコミュニケーションおよび生活援助技術を、モデルに対して安全に実践できる。〔DP：1・2・5〕 3 保育施設での子どもの生活活動に主体的に参加し、子どもの成長・発達に応じた自立を促す援助の方向性について説明できる。〔DP：1・2・5〕 4 地域における子どもの健康と安全を守る取り組みについて観察し、子どもの健康を増進するための支援について説明できる。〔DP：1～5〕 5 発達過程にある子どもに関わる看護専門職者としての基本的姿勢や倫理的態度で実習に参加できる。〔DP：1〕 6 カンファレンスを通じて、小児看護の対象となる子どもと家族の特徴について考察し、対象理解についての自身の考えと今後の課題を論じることができる。〔DP：1～6〕

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1.実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2026年度小児看護学実習Ⅰ実習要項」を参照とする。 2.実習期間 1週間（5日間）の実習を以下の期間に分かれて行う。 1クール：2026年9月28日(月)～10月2日(金) 2クール：2026年10月5日(月)～10月9日(金) 3クール：2026年10月13日(火)～10月16日(金) 4クール：2026年10月19日(月)～10月23日(金) 5クール：2026年11月2日(月)～11月6日(金) 6クール：2026年11月9日(月)～11月13日(金) 7クール：2026年11月16日(月)～11月20日(金) 8クール：2026年11月24日(火)～11月27日(金) 3.1週間（5日間）の実習展開 ・1日目 学内（オリエンテーション、成長・発達の評価、看護技術演習、面談） ・2・3日目 保育施設 ・4日目 フィールドワーク ・5日目 学内（面談、カンファレンス、まとめ）	実習	1 実習前に、提示された事前学習課題に取り組む。 2 講義科目である小児看護学Ⅰの復習をする。 3 実習中は一日の実習内容を日々振り返り、学習を整理する。 4 実習終了後は、小児看護学実習Ⅰでの学びを整理し、自己評価を行う。 5 実習前後で関連ある看護師国家試験の問題に取り組む。	全員
2	同上	実習	同上	全員

3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員

評価方法	各担当教員により評価を行ったうえで、最終評価は総合的に行う。 評価は、学生と各実習担当教員が実習の目標の到達度を可視化できる共通の評価表を用いて行う。 学生は、実習終了後、所定の評価用紙に自分の実習内容を振り返り、自己評価を行う。 学生と各実習担当教員で評価表を用いて、最終日に実習のフィードバックを行う。 全ての実習終了後、100点満点に換算したうえでA～Dの評価を行う。 A＝80～100点、B＝70～79点、C＝60～69点、D＝60点未満とする。
教科書・参考書	教科書： 1 奈良間美保他（2025）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論」、第15版、医学書院、定価3,520円（税込み） 2 丸 光恵他（2025）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 参考書： 1 筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護学」、第2版、照林社、定価3,630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点及び取扱い	1 「小児看護学Ⅰ」の単位修得が履修の前提条件となる。 2 小児感染症等の抗体価を確認し、必要な予防接種を含め感染予防に備えておくこと。 3 止むを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 4 単位修得について (1) 実習記録が指定された期限内に提出され、原則として、5分の4以上の出席がある場合に評価の対象とする。 (2) 遅刻・早退があった場合は、総合評価からの減点を行う。 (3) 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。
オフィスアワー	茂本 咲子 月曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室7 深谷 基裕 月曜日 16：00～17：30 基礎科学棟3階N365研究室 坂川 有希 木曜日 16：00～17：30 看護学部棟2階N253研究室
備考	〔実務〕 大学病院、小児専門病院、総合病院の小児病棟等において、看護師として子どもと家族の看護の実務経験がある教員が、子どもの成長・発達及び健康レベルに応じた小児看護の実践について指導する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	老年看護学実習		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
(英文名)	Practicum: Gerontological Nursing		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 荻野 朋子
講 師	横山 剛志

科目概要	地域・在宅や施設で暮らす老年期にある人々を全人的に理解し、健康を維持しその人らしい生活を送るための支援について学ぶ。また、高齢者が住み慣れた地域で生活することを継続するために必要なケアシステムと老年看護の役割について理解を深める。
目 標	1 地域・在宅や施設で暮らす老年期にある人々を全人的（身体・心理・社会的）に理解し説明できる。「DP：1・2」 2 老年期にある人々が、健康を維持しその人らしい生活を送るための支援の実践について説明できる。「DP：1・2・5」 3 老年期にある人々が住み慣れた地域で生活することを継続するために必要なケアシステムについて理解し述べることができる。「DP：2・3」 4 老年期にある人々の健康維持、生活支援における看護の役割を述べることができる。「DP：3・5」 5 専門職者として倫理的責務を考え、行動できる。「DP：1」

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1 実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2026年度老年看護学実習 実習要項」を参照する。 2 実習期間・スケジュール 実習は、1クール10日間で、1～5クールに分かれて行う。 1クール：2026年9月28日（月）～10月9日（金） 2クール：2026年10月13日（火）～10月23日（金） 3クール：2026年11月2日（月）～11月13日（金） 4クール：2026年11月16日（月）～11月27日（金） 5クール：2026年11月30日（月）～12月11日（金） 【10日間の実習展開】 1日目：学内実習（準備学習、認知症サポーター養成講座受講） 2日目～4日目：臨地実習（病院） 5日目：学内実習（全体像の作成） 6・7日目：臨地実習（病院） 8・9日目：臨地実習（通所介護・通所リハビリテーション施設） 10日目：学内実習（実習まとめ、自己評価、個人面談） 実習前に実施される実習ガイダンスに参加する。	実習	1 実習前までに提示された事前学習課題に取り組む。 2 実習前までに「老年看護学Ⅰ」「老年看護学Ⅱ」の復習をする。 3 実習後は、本実習の評価から明らかになった基礎的な知識や看護実践能力の自己課題に取り組む。「老年看護学Ⅱ」の学修で学びを深める。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員

6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員
21	同上	実習	同上	全員
22	同上	実習	同上	全員
23	同上	実習	同上	全員
24	同上	実習	同上	全員
25	同上	実習	同上	全員
26	同上	実習	同上	全員
27	同上	実習	同上	全員
28	同上	実習	同上	全員
29	同上	実習	同上	全員
30	同上	実習	同上	全員
31	同上	実習	同上	全員
32	同上	実習	同上	全員
33	同上	実習	同上	全員
34	同上	実習	同上	全員
35	同上	実習	同上	全員
36	同上	実習	同上	全員
37	同上	実習	同上	全員
38	同上	実習	同上	全員
39	同上	実習	同上	全員
40	同上	実習	同上	全員

評価方法	1 実習記録・レポートが指定された期限内に提出され、5分の4以上の出席がある場合に評価の対象とする。 2 評価基準（ルーブリック）に基づいて評価する。
教科書・参考書	教科書： 必要に応じて提示する。 参考書： 必要に応じて提示する。

履修上の注意点 及び取扱い	1 「看護過程論」「老年看護学Ⅰ」の単位を修得していること、および「老年看護学Ⅱ」の単位修得または履修中であること。 2 実習ガイダンスに出席し、実習要項・配布資料を熟読して実習に臨むこと。 3 複数の実習施設に分かれて実習を行うため、各自、実習施設・実習スケジュール等を確認のこと。 4 追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 5 フィードバックについては、看護学実習要項を参照とする。
オフィスアワー	荻野 朋子 水曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室④ 横山 剛志 水曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N373研究室
備考	〔実務〕 大学病院、高齢者医療の専門機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、対象の健康及び生活への支援等について、実践を踏まえた教育を行う。 ・最新の知見を入れて構成している。

講義名	基礎看護学実習Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	2		
(英文名)	Practicum: Fundamental Nursing Ⅱ		
科目区分	臨地実習 基礎看護実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
准 教 授	山幡 朗子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	健康問題を抱える対象者と信頼関係を築き、対象の健康状態に応じた日常生活を中心とした看護を展開する。対象のアセスメントを行い、全体像をとらえながら看護計画を立案し、計画に基づいた看護実践及び評価をすることを学習する。
目標	1 受け持ち患者と信頼関係を築くことができる。「DP：1～4」 (1) 受け持ち患者に関心を持って接することができる。 (2) 受け持ち患者の気持ちや感情に目を向け、患者を理解することができる。 (3) 援助者としての態度や言動に気づくことができる。 2 受け持ち患者の健康上の問題が、日常生活に与える影響について説明することができる。「DP：1～5」 (1) 受け持ち患者の日常生活についての情報を、収集することができる。 (2) 受け持ち患者の健康上の問題が生活行動に及ぼす影響について、分析することができる。 (3) 得られた情報を関連付けて、受け持ち患者の全体像を描くことができる。 (4) 受け持ち患者の看護問題を明らかにすることができる。 3 受け持ち患者の個別性に合わせ、日常生活を中心とした看護計画を立案できる。「DP：1～5」 (1) 受け持ち患者の看護問題を解決するための、具体的な看護目標を設定することができる。 (2) 目標を達成するための、個別性のある看護計画を立案することができる。 4 計画に基づき、安全・安楽・自立を考えた看護援助を実施し、評価できる。「DP：1～5」 (1) 安全・安楽・自立を考えた看護援助を実施できる。 (2) 実施した看護援助を評価し、計画を修正することができる。 5 行った看護を振り返り、自己の学びを深めることができる。「DP：5・6」 (1) 実習における学びをカンファレンス、報告会などで他者に伝達できる。 (2) 実習を振り返り課題レポートにまとめることで、自己の学びを深めることができる。 6 看護専門職者を目指す学生として、倫理的配慮に基づいた行動をとることができる。「DP：1・6」 (1) ICNおよび日本看護協会の倫理綱領を遵守した看護を、実践することができる。 ① 看護の対象となる人の尊厳、および敬意のこもった看護を受ける権利を尊重することができる。 ② 守秘義務を遵守し、個人情報の保護に努めることができる。 (2) 看護学生としてふさわしい態度・実習姿勢を心がける。 ① 主体的・積極的な行動をとることができる。 ② 報告・相談・連絡をすることができる。 ③ 協調性のある態度がとれる。 ④ 身だしなみが整い、礼節のある態度がとれる。 ⑤ 実習期間中を通し、日々の記録物を期限内に提出する。

授業計画表				
回	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員

1	実習ガイダンス（学内、１・２クール合同） 指定された時間割で行われる実習ガイダンスに参加する（半日：６月下旬予定）	実習	予習 １ 実習要項を熟読する。 ２ 実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 ３ 実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメント、看護過程論、基礎看護学実習Ⅰの復習をする。 復習 ガイダンス内容を振り返り、実習に向けて技術練習に取り組む。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
2	実習ガイダンス	臨地実習	同上	全員
3	オリエンテーション １ 実習内容と方法： 詳細は、別途配布する「2026年度基礎看護学実習Ⅱ要項」を参照とする。 ２ 実習場所：愛知医科大学病院 ３ 実習期間：実習は１クール２週間で、１・２クールに分かれて行う。 １）１クール： 2026年７月６日（月）～７月17日（金） ２）２クール： 2026年７月６日（月）、７月21日（火）～７月31日（金） ４ 実習時間：９：00～16：00（休憩１時間）	臨地実習	予習 １ 実習要項を熟読する。 ２ 実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 ３ 実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメント、看護過程論、基礎看護学実習Ⅰの復習をする。 復習 １日の実習を振り返り、記録用紙を記載する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
4	オリエンテーション 技術練習	臨地実習	同上	全員
5	受け持ち患者の決定・紹介 受け持ち患者とのコミュニケーションおよび電子カルテからの情報収集 受け持ち患者の看護ケアへの参加	臨地実習	同上	全員
6	同上	臨地実習	同上	全員
7	同上	臨地実習	同上	全員
8	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
9	受け持ち患者の看護	臨地実習	予習 受け持ち患者に実施するすべての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復習 １日の実習を振り返り、記録用紙を記載する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
10	同上	臨地実習	同上	全員
11	同上	臨地実習	同上	全員
12	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
13	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
14	同上	臨地実習	同上	全員
15	学内実習： １ 受け持ち患者の状況に合わせた看護過程の展開の充実（アセスメント内容の検討） ２ 受け持ち患者の状況に合わせた援助技術の練習	学内実習	同上	全員
16	同上	学内実習	同上	全員

17	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
18	同上	臨地実習	同上	全員
19	同上	臨地実習	同上	全員
20	同上 中間カンファレンス：テーマを「受け持ち患者の全体像と看護の方向性」とし、資料（全体像（関連図））を作成して発表・ディスカッションし、実習指導者および担当教員から指導助言を受ける。 面談１：実習の中間における自己評価を行い、教員と面談を行う。	臨地実習、中間カンファレンス、面談１（中間）	同上	全員
21	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
22	同上	臨地実習	同上	全員
23	同上	臨地実習	同上	全員
24	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
25	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
26	同上	臨地実習	同上	全員
27	同上	臨地実習	同上	全員
28	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
29	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
30	同上	臨地実習	同上	全員
31	同上	臨地実習	同上	全員
32	同上 カンファレンス	臨地実習	同上	全員
33	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
34	同上	臨地実習	同上	全員
35	同上	臨地実習	同上	全員
36	同上 最終カンファレンス：テーマを「行った看護の振り返り」とし、資料（行った看護の振り返り）を作成して発表・ディスカッションし、実習指導者および担当教員から指導助言を受ける。	臨地実習、最終カンファレンス	同上	全員
37	実習のまとめ・報告会準備（学びの共有を行うため、グループで実習の学びをまとめる。報告会でプレゼンテーションできるよう準備する。）	学内実習	実習での学びをまとめ、レポートを作成する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
38	同上	学内実習	同上	全員
39	実習報告会（他のグループと実習における学びを共有し、ディスカッションする。）	学内実習	同上	全員
40	同上 面談２：実習における自己評価を行い、教員と面談を行う。	学内実習、面談２（最終）	同上	全員

評価方法	以下の１～４を総合して、評価を行う。なお、評価基準は「2026年度基礎看護学実習Ⅱルーブリック評価表」に準拠する。 １ 出席状況：実習時間の５分の４以上の出席をもって評価対象とする。 ２ 実習記録 ３ 実習内容・態度 ４ 課題レポート
------	--

教科書・参考書	教科書： 「基礎看護技術Ⅰ」「ヘルスアセスメント」「看護過程論」で使用した教科書。 参考書： 必要時適宜紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 この実習は、以下の科目の単位を全て修得していなければ履修できない。 (1) 基礎看護技術Ⅰ (2) 基礎看護学実習Ⅰ (3) ヘルスアセスメント (4) 看護過程論 2 小児感染症等の抗体価を確認し、感染予防に備えておくこと。 3 止むを得ず遅刻・欠席する場合には、教学課に必ず連絡をする。その場合、遅延証明書や診断書等、証明するものを提示する。 4 単位習得について (1) 出席時間数が実習時間の5分の4以上の場合に評価対象とする。 (2) 基礎看護学実習Ⅱルーブリック評価表に基づいて自己評価を行う。 (3) 記録類の提出期限に遅れると、評価対象としない場合がある。 5 追実習・再実習については「看護学実習要項 2026年度共通事項」に準拠する。 6 フィードバックの方法 実習中はカンファレンスや記録物等を通して実習内容をフィードバックする。
オフィスアワー	篠田 かおる 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N353研究室 板津 良 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N370研究室
備考	1 実習要項を熟読する。 2 実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 3 実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメント、看護過程論、基礎看護学実習Ⅰの復習をする。 [実務] 大学病院において、看護師としての実務経験をもつ教員等が、患者と信頼関係の構築や看護過程の展開について、実際の看護活動の体験を通じた指導を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	形態機能学実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Practicum: Anatomy and Physiology		
科目区分	臨地実習 基礎看護実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	2 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 黒澤 昌洋
教 授	篠田 かおる
教 授	三浦 裕次
教 授(兼 医学部)	内藤 宗和
准 教 授(兼 医学部)	畑山 直之
講 師	伊藤 真規
講 師	上坂 真弓
講 師(兼 医学部)	福重 香
講 師(兼 大学病院・看護部)	伊藤 有沙
講 師(兼 大学病院・看護部)	高木 千寛
助 教	沖本 優
助 教(兼 医学部)	梅本 佳納榮
助 教(兼 医学部)	名仁澤 英里
助 教(兼 医学部)	竹内 堂朗
助 教(兼 医学部)	大久保 友人
助 教(兼 医学部)	玉置 優貴
助 教(兼 医学部)	後藤 瑛一
講 師(非)	河村 諒

科目概要	人体の構造及び機能を看護の視点から理解し、そのことが根拠のある看護を実践する基盤となることを学ぶ。また、看護専門職を目指す学生としての自覚を持ち、看護の倫理と人間の尊厳についての理解を深める。			
目標	1 人体の構造及び機能をフィジカルアセスメントの視点から説明できる。[DP：2・5] 2 人体の構造及び機能を日常生活行動の視点から説明できる。[DP：2・5] 3 人体の構造及び機能から看護の必要性について討議できる。[DP：2・5] 4 看護の対象としての人間に対する尊厳について討議できる。[DP：1] 5 看護専門職を目指す学生としてふさわしい態度で実習に臨むことができる。[DP：6]			
授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	【実習ガイダンス】 (1)看護学実習の目的、実習の構成、実習計画と実習単位 (2)形態機能学実習の目的、目標、方法、評価	実習	【事前学習】 ・実習要項及び形態機能学実習の手引きを読む。	黒澤 昌洋 篠田 かおる 上坂 真弓

	(3)形態機能学実習の進め方 ①骨学実習 ②組織学実習 ③肉眼解剖実習 ④学習発表会・まとめ (4)人体の構造と機能の振り返り (5)誓約書の記載		【事後学習】 ・実習に向けて、事前学習課題に取り組む。	伊藤 真規 沖本 優
2	同上	実習	同上	同上
3	【肉眼解剖実習】 (1)目標 ・解剖体から臓器の構造を説明できる。 ・臓器の構造及び機能をフィジカルアセスメントの視点から説明できる。 ・臓器の構造及び機能を日常生活行動の視点から説明できる。 ・臓器の構造及び機能から看護の必要性を説明できる。 (2)内容・方法 ①講義「死の尊厳とご献体について考える」 ・グループディスカッション及び発表：尊厳とご献体について考える テーマ：「献体をされたご本人及びご遺族はどのような気持ちなのか」「献体されたご本人及びご遺族の尊厳を守るために、私たちはどのような姿勢で肉眼解剖実習に臨むか」	実習	【事前学習】 ・臓器の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	黒澤 昌洋 篠田 かおる 上坂 真弓 伊藤 真規 沖本 優
4	同上	実習	同上	同上
5	【肉眼解剖実習①】 (1)内容・方法 ①解剖体から臓器の構造を確認 ・解剖学及び看護学部教員の指導のもと、ご献体の解剖体から臓器の構造を確認する。 ・皮膚、骨格、筋 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ：「肉眼解剖実習に参加して感じたこと、考えたことは何か」「肉眼解剖実習は、看護を学ぶ上でどのような意味があるか」	実習	【事前学習】 ・臓器の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	黒澤 昌洋 三浦 裕次 篠田 かおる 上坂 真弓 沖本 優 内藤 宗和 名仁澤 英里
6	同上	実習	同上	同上
7	【骨学実習】 (1)目標 ・標本を用いて、骨の構造を説明できる。 ・骨の構造をフィジカルアセスメントの視点から説明できる。 ・骨の構造を日常生活行動の視点から説明できる。 ・骨の構造から看護の必要性を説明できる。 (2)内容・方法 ①骨標本を用いての構造の確認 ・骨格標本を用いて、骨の構造を確認する。グループごとに骨標本を用いて、骨の構造・特徴を確認しながら組み立てる。 ・頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤、上肢、下肢 ・フィジカルアセスメント、日常生活行動及び看護の視点から骨の構造を確認する。 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ：「骨学実習での学び」「フィジカルアセスメント及び日常生活行動の視点から考える骨の構造」	実習	【事前学習】 ・骨の構造に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	篠田 かおる 三浦 裕次 黒澤 昌洋 上坂 真弓 伊藤 真規 沖本 優 梅本 佳納 玉置 優貴
8	同上	実習	同上	同上
9	【組織学実習】 (1)目標 ・組織標本を用いて、組織（血液）の構造を説明できる。 ・組織（血液）の検査データの解釈を説明できる。 ・組織の機能をフィジカルアセスメントの視点から説明できる。 ・組織の機能を日常生活行動の視点から説明できる。 ・組織の機能から看護の必要性を説明できる。 (2)内容・方法 ①血液塗抹標本の作製と観察 ・採血を行い、組織標本を作製する。 ・顕微鏡で、事前学習を参考に血液の構造を観察する。 ・赤血球、白血球（好中球、好酸球、好塩基球、リンパ球、単	実習	【事前学習】 ・組織（血液）の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	黒澤 昌洋 三浦 裕次 篠田 かおる 上坂 真弓 沖本 優 福重 香 後藤 瑛一

	球)、血小板 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ:「組織(血液)の検査データの解釈」「フィジカルアセスメント及び看護の視点から考える組織の機能」			
10	同上	実習	同上	同上
11	同上	実習	同上	黒澤 昌洋 三浦 裕次 篠田 かおる 上坂 真弓 沖本 優 竹内 堂朗 後藤 瑛一
12	同上	実習	同上	同上
13	【肉眼解剖実習②】 (1)内容・方法 ①解剖体から臓器の構造を確認 ・解剖学及び看護学部教員の指導のもと、ご献体の解剖体から臓器の構造を確認する。 ・呼吸器、循環器 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ:「フィジカルアセスメント及び日常生活行動の視点から考える臓器の構造及び機能」	実習	【事前学習】 ・臓器の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	伊藤 真規 三浦 裕次 篠田 かおる 黒澤 昌洋 上坂 真弓 沖本 優 畑山 直之 大久保 友人 伊藤 有沙 高木 千寛
14	同上	実習	同上	同上
15	【肉眼解剖実習③】 (1)内容・方法 ①解剖体から臓器の構造を確認 ・解剖学及び看護学部教員の指導のもと、ご献体の解剖体から臓器の構造を確認する。 ・腹部、神経系、採血・静脈路確保・筋肉注射部位 ②グループディスカッション及び発表 ・テーマ:「フィジカルアセスメント及び日常生活行動の視点から考える臓器の構造及び機能」	実習	【事前学習】 ・臓器の構造と機能に関する課題を行い、提出する。 【事後学習】 ・実習記録をまとめる。	上坂 真弓 三浦 裕次 篠田 かおる 黒澤 昌洋 伊藤 真規 沖本 優 名仁澤 英里 梅本 佳納 河村 諒
16	同上	実習	同上	同上
17	【グループディスカッション】 ・人体の構造及び機能から考える看護の必要性	実習	【事前学習】 ・オリエンテーリングに向けて実習記録を整理する。 【事後学習】 ・オリエンテーリングにみけて事前学習する。	黒澤 昌洋 篠田 かおる 上坂 真弓 伊藤 真規 沖本 優
18	同上	実習	同上	同上
19	【オリエンテーリング】 ・各グループでブースを回り、実習内容に関する課題を行う。	実習	【事前学習】 ・オリエンテーリングにみけて事前学習する。 【事後学習】 ・実習記録の内容を整理し、最終レポートを作成する。	黒澤 昌洋 篠田 かおる 上坂 真弓 伊藤 真規 沖本 優
20	同上	実習	同上	同上

評価方法	1 評価は、目標達成状況、事前学習課題、実習記録、学習会発表会プレゼンテーション、最終レポート、出欠席、実習態度を総合的に評価する。 2 評価は、科目担当教員により評価を行う。 3 学生と科目担当教員が実習目標の到達度を可視化できるルーブリック評価等を用いて、評価を行う。 4 学生と科目担当教員でルーブリック評価等を用いて、実習のフィードバックを行う。 5 評価は、A=80~100点、B=70~79点、C=60~69点、D=60点未満とする。
教科書・参考書	教科書 坂井建雄他編(2025):「系統看護学講座」準拠 解剖生理学ワークブック、医学書院、定価2,200円(税込み) 参考書 ・形態機能学ⅠⅡ、ヘルスアセスメント、基礎看護技術ⅠⅡの教科書及び講義資料を参照する。 ・その他、実習中に適宜提示する。

履修上の注意点 及び取扱い	1 単位修得について ・実習期間の5分の4以上の出席がある、所定の提出物が指定期限内に提出された場合に評価の対象とする。 ・追実習、再実習については、実習要項「共通事項」に準じる。 2 実習中の注意事項について ・実習にあたっては、誓約書の記載を行う。 ・その他の注意事項については、実習要項「共通事項」及び形態機能学実習の手引きに準じる。 3 実習前事前学習について ・形態機能学ⅠⅡ、ヘルスアセスメント、基礎看護技術ⅠⅡで学習をした内容を踏まえて実習を展開する。よって、これまでの学習内容を復習して実習に臨むこと。
オフィスアワー	黒澤 昌洋 月曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室③ 三浦 裕次 月・水・金曜日 9:00～17:00 C棟7階教授室8 Email: ymiura@aichi-med-u.ac.jp (面談の重複を避けるためメールでアポイントを取ることが望ましい。) 篠田 かおる 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N257研究室 上坂 真弓 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N253研究室 伊藤 真規 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N454研究室 沖本 優 水曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N370研究室 他の講師 実習に関する質問・相談等は実習時間前後に対応する。
備考	実習日程は、時間割を参照する。 [実務] 実習にあたっては、看護学部の医師・看護師として実務経験のある教員が、看護を実践する基盤となる人体の構造及び機能を看護の視点から指導する。また、医学部解剖学講座の解剖学を専門とする医師等の教員が、解剖学的視点から指導する。 [最新の知見] 総合的な形態機能学実習を行っている大学は殆どなく、先進的な取り組みである。講義で学んだ人体の構造及び機能を、看護の必要性につながるように学習する。

講義名	成人看護学実習Ⅰ（急性期看護）		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum: Adult NursingⅠ (Acute Care Nursing)		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	3学年次		

担当教員	
職種	氏名
准教授	◎ 坂田 久美子
講師	佐藤 ゆかり
講師	伊藤 真規
助教	森本 直樹

科目概要	健康状態の急激な変化が、対象者に及ぼす影響について多面的に理解し、疾病や治療による対象者の心身の侵襲が最小限となり、回復力を最大限にする看護について実践を通して学修する
目標	1 急激に健康状態が変化した対象者の回復とセルフケア促進のために必要な看護について説明できる。〔DP：1～6〕 2 健康状態が変化した対象者の回復を支える医療チームと看護の役割について説明できる。〔DP：3〕 3 健康状態が変化した対象者の特性と看護過程を基に、侵襲からの回復とセルフケア促進のために必要な看護が実践できる。〔DP：1～6〕 4 さまざまな看護場面において倫理性に基づいた看護専門職者としてふさわしい態度を身につけ、その必要性を説明できる。〔DP：1・6〕

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 （予習・復習）	担当教員
1	オリエンテーション 1. 教員及び実習指導者の下に、下記の要領で実習を行う。 2. 実習方法・内容の詳細は、「2026年度実習要項」を参照すること。 (1)実習期間： 1クール：2026年10月5日（月）～10月16日（金） （9日間） 2クール：2026年10月19日（月）～10月30日（金） （10日間） 3クール：2026年11月9日（月）～11月20日（金） （10日間） 4クール：2026年11月24日（火）～12月4日（金） （9日間） (2)実習場所：愛知医科大学病院外科系病棟、および状況に応じ手術室・GICUで見学・実習を行う。 (3)実習方法：5名程度のグループを編成し、原則1名の患者を受け持つ。 【実習スケジュール】 1日目 AM：オリエンテーション PM：受け持ち患者紹介など 2日目以降：受け持ち患者の治療・回復過程に沿った看護過程の展開（見学・実践）を行う。 最終日：学内でまとめを行う。 AM：全グループによるカンファレンス PM：個人面談 学習内容のまとめ	実習	1. 実習前までに実習ガイドンスで指示された事前学習課題に取り組む。 2. 2学年次の講義科目「成人看護学Ⅰ」と3学年次講義科目「成人看護学Ⅱ」の復習をする	全員
2	同上	実習	同上	全員

3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員
21	同上	実習	同上	全員
22	同上	実習	同上	全員
23	同上	実習	同上	全員
24	同上	実習	同上	全員
25	同上	実習	同上	全員
26	同上	実習	同上	全員
27	同上	実習	同上	全員
28	同上	実習	同上	全員
29	同上	実習	同上	全員
30	同上	実習	同上	全員
31	同上	実習	同上	全員
32	同上	実習	同上	全員
33	同上	実習	同上	全員
34	同上	実習	同上	全員
35	同上	実習	同上	全員
36	同上	実習	同上	全員
37	実習のまとめ	実習	同上	全員
38	同上	実習	同上	全員
39	同上	実習	同上	全員
40	同上	実習	同上	全員

評価方法	実習期間の5分の4以上の出席があり、実習記録物が指定時間内に提出された場合、評価の対象とする。 評価基準は実習要項に準拠する。
教科書・参考書	教科書： 成人看護学Ⅱで使用した教科書を使用する。 参考書： 実習中、病棟の特徴、受け持ち患者により、随時紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 「成人看護学Ⅱ」の単位修得が履修の前提条件となる。 2 実習ガイダンスは、実習の一環であるため必ず出席すること。 3 やむを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとること。必要に応じて診断書等、欠席を証明するものの提示を求める場合もある。 4 本実習は成人看護学Ⅰ・Ⅱ、クリティカルケア論と連動しているため、講義資料をよく復習して実習に臨むこと。 5 単位修得について (1) 実習の出席は5分の4以上を満たしている場合に、評価対象とする。 (2) 追・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 (3) 実習記録物が指定時間内に提出された場合に、評価の対象とする。 6 実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	坂田 久美子 火曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N255研究室 佐藤 ゆかり 水・木曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N453研究室 伊藤 真規 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N454研究室 森本 直樹 水・木曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N374研究室
備考	〔実務〕 大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、危機的状況にある健康レベルから治療・回復過程に応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づいた基礎的能力、また、潜在化している倫理的課題を考えつつ専門職としての看護の役割・機能について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	成人看護学実習Ⅱ（慢性期看護）		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
（英文名）	Practicum: Adult Nursing Ⅱ (Chronic Care Nursing)		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 森 莉那
教 授	谷口 千枝
助 教	中村 恵理
助 教	小宮 麻椰

科目概要	生活調整の必要な対象者を総合的に理解し、対象者が病気や障害と折り合いを付けた社会生活を多職種とともに再構築できるような看護を考え実践する。
目標	1 生活調整の必要な対象者の特徴と看護実践について、実習経験を通して説明できる〔DP：1～5〕 2 生活調整の必要な対象者の情報から健康課題をアセスメントし、対象者の全体像を把握できる〔DP：1～4〕 3 生活調整の必要な対象者の個別性を重視し、根拠に基づいた看護を計画し実践できる〔DP：1～5〕 4 専門職者の一員として、看護倫理を踏まえた態度を示すことができる〔DP：1・3〕

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	実習オリエンテーション 1. 実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2026年度成人看護学実習Ⅱ（慢性期看護）実習要項」を参照とする。 2. 実習場所 愛知医科大学病院 3. 実習期間 実習は1クール2週間で1～4クールに分かれて行う。 1クール：2026年10月5日（月）～10月16日（金）9日間 2クール：2026年10月19日（月）～10月30日（金）10日間 3クール：2026年11月9日（月）～11月20日（金）10日間 4クール：2026年11月24日（火）～12月4日（金）9日間 ※事前に実施される実習ガイダンスには必ず参加すること	実習	予：実習要項を熟読する。 事前学習課題や配置された実習病棟に関連した代表的な疾患等について学修しておく。 復：受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。 時間制限はしない。	全員
2	臨地実習	実習	予：受けもち対象者に実施する全ての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復：1日の実習を振り返り、受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。	全員
3	同上	実習	同 上	全員
4	同上	実習	同 上	全員
5	同上	実習	同 上	全員
6	同上	実習	同 上	全員

7	同上	実習	同 上	全員
8	同上	実習	同 上	全員
9	同上	実習	同 上	全員
10	同上	実習	同 上	全員
11	同上	実習	同 上	全員
12	同上	実習	同 上	全員
13	情報の整理・分析 課題の抽出・目標の決定	学内実習	予：これまでの実習を振り返り、評価基準に従い客観的に自己評価する。 復：全体像を統合し、取り組む課題の決定と看護目標を立案する。	全員
14	同上	学内実習	同 上	全員
15	同上	学内実習	同 上	全員
16	同上	学内実習	同 上	全員
17	臨地実習	実習	予：受けもち対象者に実施する全ての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復：1日の実習を振り返り、受けもち対象者に関連した情報等を整理し記述する。	全員
18	同上	実習	同 上	全員
19	同上	実習	同 上	全員
20	同上	実習	同 上	全員
21	同上	実習	同 上	全員
22	同上	実習	同 上	全員
23	同上	実習	同 上	全員
24	同上	実習	同 上	全員
25	同上	実習	同 上	全員
26	同上	実習	同 上	全員
27	同上	実習	同 上	全員
28	同上	実習	同 上	全員
29	同上	実習	同 上	全員
30	同上	実習	同 上	全員
31	同上	実習	同 上	全員
32	同上	実習	同 上	全員
33	同上	実習	同 上	全員
34	同上	実習	同 上	全員
35	同上	実習	同 上	全員
36	同上	実習	同 上	全員
37	実習のまとめ 実習について振り返り、個別にフィードバックを行う	学内実習	予：これまでの実習を振り返り、評価基準に従い客観的に自己評価する。	全員
38	同上	学内実習	同 上	全員

39	実習記録及び最終レポートの作成	学内実習	同 上	全員
40	同上	学内実習	同 上	全員

評価方法	実習目標に準じた自己評価基準に則り、実習記録、レポートの内容、実習への取り組みについて総合的に評価する。 レポート(25%)、看護実践・倫理、実習記録(75%)
教科書・参考書	教科書： 「成人看護学Ⅰ・Ⅲ」で使用した教科書を使用する。 参考書： 授業中に配付した資料。実習中、必要に応じて紹介する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) 「成人看護学Ⅰ」および「成人看護学Ⅲ」の単位修得が履修の前提条件となる。 (2) 実習要項および看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 (3) 成人看護学実習Ⅱ(慢性期看護)ガイダンスは、実習の一環であるため必ず出席すること。 (4) 実習に関連した実技練習は、N306実習室において指定された日時で自主学習を行うことができる。 2 単位修得について (1) 実習日数の5分の4以上の出席と実習記録が指定時間内に提出された場合に評価の対象となる。 (2) 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 3 実習のフィードバックについて 実習時間内に記録物やカンファレンスを通してその都度フィードバックを行う。 実習終了後は、個人面談において個別に実習を振り返り、フィードバックを行う。 実習の自己評価表は各自ポートフォリオに保存しておくこと。
オフィスアワー	谷口 千枝 月曜日 16:30~18:00 看護学部棟4階N451研究室 森 莉那 月曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N254研究室 中村 恵理 月曜日 16:30~18:00 基礎科学棟3階N370研究室 小宮 麻椰 月曜日 16:30~18:00 基礎科学棟3階N372研究室
備考	〔実務〕 大学病院等において、看護師としての実務経験をもつ教員等が、臨床現場等で生活調整の必要な対象者の総合的な特性を理解し、健康課題に対応した看護計画の立案と実践および臨床から地域への退院支援における多職種連携・協働の実践について教育する。
	本実習は成人看護学Ⅰ・成人看護学Ⅲの講義内容と連動しているため、講義資料を実習に活用すること。 本実習は、最新の臨床知見に基づいて実習が構成されている。

講義名	精神看護学実習		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
(英文名)	Practicum: Psychiatric and Mental Health Nursing		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 心光 世津子
講 師	小久保 知由起
講 師	坪之内 千鶴

科目概要	精神障害をもつ人が体験している生きにくさについて、その人の生活上の文脈において理解し、その人がその人らしく生きるための援助として、自らをケアの道具として最大限に活かし、対象と関わることを学ぶ。
目標	1 精神障害をもつ人が日常生活を送る上で抱えている課題や体験している生きにくさを述べることができる。「DP: 1～3・5」 2 対象の希望やこれまでの生活上の文脈からその人にとっての回復（リカバリー）についてのイメージを描き、その人のもつストレングスやレジリエンスに着目した援助の方向性を説明することができる。「DP: 1・2・5」 3 対象と関わる中で生じた自らの気持ちを言語化し、患者－看護者の治療的関係の視点からやりとりを解釈し、考察したことを実践に活かすことができる。「DP: 1・5」 4 治療的環境が、精神障害をもつ人にどのような相互作用を生み出しているのかを捉え、そうした場を作り出す一員として、自らの役割を意識して行動することができる。「DP: 1～3・5」 5 精神障害をもつ人々を取り巻く環境及び支援の現状について、対象の立場に立って考え、今後の課題を考察することができる。「DP: 1～3・5・6」

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1 実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2026年度精神看護学実習要項」を参照とする。 2 実習期間 各クールの実習は2週間とし、全体で5クールの実習を展開する。 第1クール：10月5日(月)～10月16日(金) 第2クール：10月19日(月)～10月30日(金) 第3クール：11月9日(月)～11月20日(金) 第4クール：11月24日(火)～12月4日(金) 第5クール：12月7日(月)～12月18日(金)	実習	1 実習ガイダンス時に提示された事前学習課題に取り組む。 2 実習開始までに、精神看護学Ⅰ及び精神看護学Ⅱの授業資料をよく読む。 3 実習期間中は、実習終了時に実習記録を用いて一日の学びを振り返り、翌日の実習に必要な知識及び技術を教科書・参考書を用いて予習する。 4 実習開始前と実習終了後に、看護師国家試験問題集から精神看護学の関連問題に取り組む。 5 時間制限はしない。	全員
2	同 上	実習	同上	全員
3	同 上	実習	同上	全員
4	同 上	実習	同上	全員
5	同 上	実習	同上	全員

6	同 上	実習	同上	全員
7	同 上	実習	同上	全員
8	同 上	実習	同上	全員
9	同 上	実習	同上	全員
10	同 上	実習	同上	全員
11	同 上	実習	同上	全員
12	同 上	実習	同上	全員
13	同 上	実習	同上	全員
14	同 上	実習	同上	全員
15	同 上	実習	同上	全員
16	同 上	実習	同上	全員
17	同 上	実習	同上	全員
18	同 上	実習	同上	全員
19	同 上	実習	同上	全員
20	同 上	実習	同上	全員
21	同 上	実習	同上	全員
22	同 上	実習	同上	全員
23	同 上	実習	同上	全員
24	同 上	実習	同上	全員
25	同 上	実習	同上	全員
26	同 上	実習	同上	全員
27	同 上	実習	同上	全員
28	同 上	実習	同上	全員
29	同 上	実習	同上	全員
30	同 上	実習	同上	全員
31	同 上	実習	同上	全員
32	同 上	実習	同上	全員
33	同 上	実習	同上	全員
34	同 上	実習	同上	全員
35	同 上	実習	同上	全員
36	同 上	実習	同上	全員
37	同 上	実習	同上	全員
38	同 上	実習	同上	全員
39	同 上	実習	同上	全員
40	同 上	実習	同上	全員

評価方法	参加状況・姿勢：30%、課題への取り組み：30%、実習目標の到達：40%
教科書・参考書	教科書： 1 武井麻子：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[1]精神看護の基礎」、医学書院、第6版（2021/2）、定価2,530円（税込み） 2 武井麻子：「系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護学[2]精神看護の展開」、医学書院、第6版（2021/2）、定価2,530円（税込み）

	3 野中浩幸、心光世津子、乾富士男（編）：精神看護学実習ポケットブック、第2版、精神看護出版（2019/4）、定価2,200円（税込み） 参考書： 適宜、紹介する * 学習内容に必要な文献は、各自で広く収集すること。
履修上の注意点 及び取扱い	1 「精神看護学Ⅱ」の単位を修得していること。 2 実習前ガイダンスに出席すること。 3 単位認定には5分の4以上出席すること。 4 追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 その他、別途配付する「2026年度精神看護学実習要項」を参照すること。 5 実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	心光 世津子 金曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室2 小久保 知由起 月曜日 16：30～18：00 基礎科学棟3階N369研究室 坪之内 千鶴 月曜日 16：30～18：00 基礎科学棟3階N372研究室
備考	〔実務〕 精神科病棟等において、看護師としての実務経験のある教員が、精神障害をもつ人の生きにくさをその人の生活上の文脈から理解すること、その人がその人らしく生きるための支援の方法、及び自らをケアの道具として最大限に生かし、対象を援助することについて指導する。 最新の知見を取り入れて実習指導をしている。

講義名	母性看護学実習Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Practicum: Maternal Nursing Ⅱ		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山本 弘江
助 教	丸谷 紗穂

科目概要	周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)の母子と家族の特性を理解し、ヘルスプロモーションの視点に立つて、その家族が社会で健康に生活するための看護を考え、実践する。
目標	1 対象(妊婦・産婦・褥婦・胎児・新生児)の特性を理解し、健康の増進又は健康逸脱からの回復過程を支援するための計画を立案・実践・評価できる。[DP: 1・4～6] 2 児の誕生にともなう対象と家族の生活や発達課題を理解し、家族を含めた適切な看護について検討できる。[DP: 1・2・5] 3 対象とその家族をとりまく社会的・文化的背景をふまえた退院後の継続的な支援の重要性を理解し、ヘルスプロモーションの視点に立つて、多(他)職種や地域との連携・協働及び看護が担うべき役割を説明できる。[DP: 2～5] 4 対象に寄り添い、看護学生としてふさわしい態度で主体的に実習に参加できる。[DP: 1・2] 5 母子保健に関連する法規や制度を理解し、母子及び家族支援のための社会資源の活用を説明できる。[DP: 2～4] 6 母性看護領域における対象の権利と保護をふまえた看護を実践できる。[DP: 1・2・4] 7 カンファレンスを通して、母性看護について考察し、自分の意見を論じることができる。[DP: 3・6] 8 看護専門職者として守るべき看護倫理を理解し、看護者として必要な資質をもって参加できる。[DP: 1]

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1. 実習内容と方法 1) 原則、学生2名ペアで産褥期の母子1組を受け持つ。 2) 2日ずつ母親と新生児の主担当を交代することで、褥婦と新生児両方の観察を実践する。 3) 受け持ち対象者をアセスメントするために必要な情報収集を行い、個性性をふまえた看護計画を立案・実施・評価する。 4) 看護計画に基づいて、生活をふまえたヘルスプロモーションに働きかける支援を行う。 5) 帝王切開術後の対象を受け持った場合、術後回復過程の看護をふまえて展開する。 6) 退院後の生活について情報収集を行い、退院後の生活をふまえた看護を考察する。 7) 4日間の実習を通して受け持ち対象者に関する主要な3つの看護診断について、実践をふまえたサマリを作成する。 8) 受け持ち対象者の母子と家族が退院後、健康に生活できるための社会資源の活用について考察する。 9) 看護計画・実践に関するカンファレンスを毎日学生が主体となって行い、実習指導者や担当教員から効果的な助言をもらえるよう調整する。 10) 受け持ち対象者が退院した場合や、受け持ち対象者がいない場合は、実習指導者、担当教員と相談して機能別実習を行う。 11) 実習最終日に実習を踏まえたテーマについて最終カンファレンスを行い、終了後、実習評価に関する個別面接を行う。 詳細は、別途配布する「2026年度母性看護学実習Ⅱ実習要項」	実習	予習: 1 母性看護学Ⅰ・Ⅱの講義資料および実習ガイダンス時の資料を復習しておく。 2 母性看護学Ⅱの演習Ⅰ資料を見直して、妊産褥婦および新生児への看護技術を復習しておく。 3 自己学習内容の資料をもとに、N103実習室で実習に向け必要な技術の練習をしておく。 4 実習要項とガイダンス資料をもとに、自分の実習目標を明確にしておく。 復習: 1 実習記録を用いて1日の実習を振り返り、学修したことをまとめる。 2 翌日の実習目標と計画を立案し、そのために必要な知識及び技術を教科書・参考書を用いて学修する。 3 実習終了後、自身の課題をまとめる。	全員

	を参照とする		時間制限はしない。	
	2. 実習期間 1クール：2026年10月5日(月)～10月9日(金) 2クール：2026年10月13日(火)～10月16日(金) 3クール：2026年10月19日(月)～10月23日(金) 4クール：2026年10月26日(月)～10月30日(金) 5クール：2026年11月2日(月)～11月6日(金) 6クール：2026年11月9日(月)～11月13日(金) 7クール：2026年11月16日(月)～11月20日(金) 8クール：2026年11月24日(火)～11月27日(金) 9クール：2026年11月30日(月)～12月4日(金) 10クール：2026年12月7日(月)～12月11日(金) 11クール：2026年12月14日(月)～12月18日(金)			
	3. 実習施設 愛知医科大学病院 6B病棟			
2	同上	実習		全員
3	同上	実習		全員
4	同上	実習		全員
5	同上	実習		全員
6	同上	実習		全員
7	同上	実習		全員
8	同上	実習		全員
9	同上	実習		全員
10	同上	実習		全員
11	同上	実習		全員
12	同上	実習		全員
13	同上	実習		全員
14	同上	実習		全員
15	同上	実習		全員
16	同上	実習		全員
17	同上	実習		全員
18	同上	実習		全員
19	同上	実習		全員
20	同上	実習		全員

評価方法	1 実習期間の5分の4以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。ただし、欠席や遅刻は減点とする。 2 実習評価は、学生と教員で評価を可視化できるルーブリック評価表を用いる。 3 実習最終日、実習目標と実践、実習記録、カンファレンスの参加度に対する学生の自己評価をふまえ、実習担当教員より実習のフィードバックを行う。
教科書・参考書	教科書： 母性看護学Ⅰ、母性看護学Ⅱで使用している教科書、授業資料を参考とする。 参考書： 1 荒木奈緒他編（2024）：「ナースング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術」、第6版、メディカ出版、定価2,860円（税込み） その他、実習中に適宜提示する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1)「母性看護学Ⅰ」及び「母性看護学Ⅱ」の単位を修得していることが履修の前提条件となる。 (2) 実習要項および看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 2 出欠席について (1) 実習ガイダンスに出席し、実習方法、実習内容等の詳細を把握し、準備をして臨むこと。 (2) やむを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 3 単位取得について

	(1) 実習期間の5分の4以上の出席があること、実習記録が指定時間内に提出された場合に評価対象となる。 (2) 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 4 その他 (1) 感染症に対し脆弱な新生児を扱うことから、自身の体調管理には十分留意し、少しでも気になる所見がある場合は自己判断をせず、担当教員に登校前に相談をすること。 (2) 実習は対象の生活や周産期の実践の場所で行うことから、謙虚に学ぶ姿勢や、誠実な態度と礼儀正しい言葉遣いを心がけ、自主的に挨拶、自己紹介、意思表示を行う。
オフィスアワー	山本 弘江 水曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室① 丸谷 紗穂 水曜日 16:00～17:30 基礎科学棟3階N367研究室
備考	1 実習前までに提示された復習課題に取り組む。 2 実習前までに実習室N103の教室開放時間内に母性看護学Ⅱで行った演習Ⅰの技術の復習を行っておく。 3 母性看護学Ⅰ・母性看護学Ⅱの復習を教科書及び講義資料を用いて行っておく。 [実務] 周産期施設において、助産師として実務経験のある教員が、周産期(妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期)の母子と家族への看護実践について指導する。またヘルスプロモーションの視点に立って、その家族が社会で健康に生活できるための看護の役割について教育する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	小児看護学実習Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Practicum: Pediatric Nursing Ⅱ		
科目区分	臨地実習 健康レベル別実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	3 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 深谷 基裕
教 授	茂本 咲子
助 教	坂川 有希

科目概要	病気や治療・入院が子どもと家族に及ぼす影響を踏まえ、子どもの成長・発達及び健康段階に応じた小児看護の基礎的実践能力を学修する。
目標	1 ライフサイクル、健康段階、入院および治療に応じた子どもと家族の変化を捉え、 包括的に健康状態をアセスメントできる。「DP：1・4・5」 2 対象のライフサイクル期に応じ、子どもと家族のヘルスリテラシーとセルフケア能力を把握し療養に必要な知識や健康・医療管理に関する説明、支援を実践できる。「DP：1・5」 3 子どもと家族に行った看護実践を省察し、グループで共有し、自己の学びを深めることができる。「DP：3・6」 4 対象のライフサイクル期や疾患に応じて活用される医療施設・福祉施設等の役割と看護のあり方について説明できる。「DP：3・4」 5 子どもにかかわる看護専門職者として子どもの権利と尊厳を守るための基本的姿勢や倫理的態度を理解し、実践できる。「DP：1・5」

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1. 実習内容と方法 詳細は、別途配布する「2026年度小児看護学実習Ⅱ実習要項」を参照とする。 2. 実習期間 1週間（5日間）で、10の期間に分かれて行う。 ▪ 1クールA：2026年10月5日（月）～10月9日（金） ▪ 1クールB：2026年10月13日（火）～10月16日（金） ▪ 2クールA：2026年10月19日（月）～10月23日（金） ▪ 2クールB：2026年10月26日（月）～10月30日（金） ▪ 3クールA：2026年11月9日（月）～11月13日（金） ▪ 3クールB：2026年11月16日（月）～11月20日（金） ▪ 4クールA：2026年11月24日（火）～11月27日（金） ▪ 4クールB：2026年11月30日（月）～12月4日（金） ▪ 5クールA：2026年12月7日（月）～12月11日（金） ▪ 5クールB：2026年12月14日（月）～12月18日（金） 3. 1週間（5日間）の実習展開 ▪ 1日目～4日目 病棟実習（8A/GCU） ▪ 5日目 学内（まとめ）	実習	1 実習前に、提示された事前学習課題（レポート、技術練習）に取り組む。 2 講義科目である小児看護学ⅠとⅡの復習をする。 3 実習中は一日の実習内容を日々振り返り、学習を整理する。 4 実習終了後は、小児看護学実習Ⅱでの学びを整理し、自己評価を行う。 5 実習前後で関連ある看護師国家試験の問題に取り組む。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員

6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員

評価方法	各担当教員により評価を行ったうえで、最終評価は総合的に行う。 評価は、学生と各実習担当教員が実習の目標の到達度を可視化できる共通の評価表を用いて行う。 学生は、実習終了後、所定の評価用紙に自分の実習内容を振り返り、自己評価を行う。 学生と各実習担当教員で評価表を用いて、最終日に実習のフィードバックを行う。 全ての実習終了後、100点満点に換算したうえでA～Dの評価を行う。 A＝80～100点、B＝70～79点、C＝60～69点、D＝60点未満とする。
教科書・参考書	教科書： 1 奈良間美保他（2025）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児臨床看護総論」、第15版、医学書院、定価3,520円（税込み） 2 丸光恵他（2025）：「系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論」、第15版、医学書院、定価3,740円（税込み） 参考書： 1 筒井真優美（2017）：「パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護学」、第2版、照林社、定価3,630円（税込み） その他の参考書は授業の中で適宜提示する。また、講義資料に記載する。
履修上の注意点及び取扱い	1 「小児看護学Ⅰ」、「小児看護学Ⅱ」、「小児看護学実習Ⅰ」の単位修得が履修の前提条件となる。 2 小児感染症等の抗体価を確認し、必要な予防接種を含め感染予防に備えておくこと。 3 止むを得ず欠席する場合は担当教員と連絡をとり、診断書等、欠席を証明するものを提示する。 4 単位修得について (1) 実習記録が指定された期限内に提出され、原則として、5分の4以上の出席がある場合に評価の対象とする。 (2) 遅刻・早退があった場合は、時間数に応じ総合評価からの減点を行う。 (3) 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。
オフィスアワー	茂本 咲子 月曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室7 深谷 基裕 月曜日 16：00～17：30 基礎科学棟3階N365研究室 坂川 有希 木曜日 16：00～17：30 看護学部棟2階N253研究室
備考	〔実務〕 小児専門病院、総合病院、大学病院の小児病棟等において、看護師として子どもと家族の看護の実務経験がある教員が、子どもの成長・発達及び健康レベルに応じた小児看護の実践について指導する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	地域・在宅看護実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	2		
(英文名)	Practicum : Community Care Nursing		
科目区分	臨地実習 アドバンスケア実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師	◎ 伊藤 寿英
教 授	佐々木 裕子
准 教 授	白井 裕子
助 教	柴田 竹晴
助 教	曾雌 哲也

科目概要	在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族(以下、訪問看護利用者家族)を理解し、在宅看護を行う基本的能力を養う。
目標	1 訪問看護利用者と家族の多様な生活のありようを説明できる。「DP：1・4」 2 訪問看護利用者と家族の生活を支える看護を実践し、評価できる。「DP：1～6」 3 訪問看護利用者と家族の生活を支える在宅看護の特徴を説明できる。「DP：2・5」 4 訪問看護機関の特徴を説明できる。「DP：2・4」 5 地域における在宅ケアシステムの実際と課題を説明できる。「DP：2・4・6」 6 看護倫理をふまえた在宅看護を実践できる。「DP：1・5」

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1. グループごとに訪問看護ステーション等で10日間の実習を行う。 2. 詳細は「地域・在宅看護実習要項」を参照とする。 3. 実習期間は以下の通りとする。 1クール：2026年5月11日(月)～5月22日(金) 2クール：2026年5月25日(月)～6月5日(金) 3クール：2026年6月15日(月)～6月26日(金) 4クール：2026年6月29日(月)～7月10日(金)	実習	「2026年度地域・在宅看護実習要項」を参照とする。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員

11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員
21	同上	実習	同上	全員
22	同上	実習	同上	全員
23	同上	実習	同上	全員
24	同上	実習	同上	全員
25	同上	実習	同上	全員
26	同上	実習	同上	全員
27	同上	実習	同上	全員
28	同上	実習	同上	全員
29	同上	実習	同上	全員
30	同上	実習	同上	全員
31	同上	実習	同上	全員
32	同上	実習	同上	全員
33	同上	実習	同上	全員
34	同上	実習	同上	全員
35	同上	実習	同上	全員
36	同上	実習	同上	全員
37	同上	実習	同上	全員
38	同上	実習	同上	全員
39	同上	実習	同上	全員
40	同上	実習	同上	全員

評価方法	実習要項に示した評価基準に基づき、以下の内容を評価する。60点以上を合格とする。 1 実習目標の達成状況 90% 2 実習への取り組み態度 10%
教科書・参考書	教科書： 「地域・在宅看護論Ⅰ」及び「地域・在宅看護論Ⅱ」で用いた教科書を活用する。 参考書： 必要に応じて提示する。
履修上の注意点及び取扱い	1 「地域・在宅看護論Ⅰ」「地域・在宅看護論Ⅱ」及び「家族看護学」の単位修得ができている場合に履修できる。 2 実習ガイダンス及び現地での実習オリエンテーションに参加する。 3 既定の5分の4以上の出席があり、実習記録物が期限内に提出された場合に評価の対象とする。 4 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。原則として本実習を行った実習機関で実施する。再実習は1回のみ実施する。 5 実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。

オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 白井 裕子 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室② 伊藤 寿英 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N373研究室 柴田 竹晴 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N374研究室 曾 雌 哲也 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N369研究室
備考	[実務] 看護師として在宅看護の実務経験のある教員が、在宅で訪問看護を利用して生活している人と家族の理解、在宅看護援助を行う基本的な能力について指導する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	クリティカルケア実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Practicum: Critical Care Nursing		
科目区分	臨地実習 アドバンスケア実習		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 坂田 久美子
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	伊藤 真規
助 教	森本 直樹

科目概要	生命の危機的な状態にある患者と家族の特徴とニーズを理解し、包括的なケアを提供する能力を養い、多職種との連携および倫理的な課題への対応力を高め、救急医療及び集中治療における看護師の役割と責任をより実践的に理解することを目的とする。
目標	1. クリティカルケア領域における看護師の役割と求められる能力を理解し、自らの看護実践に照らして説明できる。【DP:5・6】 2. クリティカルケア領域における対象者の倫理的課題を捉え適切な対応を考察できる。【DP:1・3】 3. クリティカルケア領域における対象者との関わりを通して、生命を守るための治療・検査、病態の理解に基づき、必要な看護を説明できる。【DP:1・2・5】 4. クリティカルケア領域における医療チームの役割と多職種連携の必要性を説明できる。【DP:3・5】

授業計画表			
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)
1	オリエンテーション 1 教員及び実習指導者のもとに、下記の要領で実習を行う。 2 実習方法・内容の詳細は、「2026年度実習要項」を参照すること。 (1) 実習期間 1クール：2026年5月11日(月)～5月15日(金) 2クール：2026年5月18日(月)～5月22日(金) (2) 実習場所 愛知医科大学病院 GICU、HCU、EICU、ER、手術室 (3) 実習時間 原則として9時00分から16時00分	実習	1. 実習前までに実習ガイダンスで指示された事前学習課題に取り組む。 2. 3学年次の講義科目「クリティカルケア論」の復習をする。
2	臨地実習 各部署オリエンテーション 指導者とともに、対象者に必要な看護実践及び見学を行う。	実習	同上
3	同上	実習	同上
4	同上	実習	同上
5	同上	実習	同上
6	同上	実習	同上
7	同上	実習	同上
8	同上	実習	同上
9	同上	実習	同上

10	同上	実習	同上
11	同上	実習	同上
12	同上	実習	同上
13	同上	実習	同上
14	同上	実習	同上
15	同上	実習	同上
16	同上	実習	同上
17	学習のまとめ	実習	同上
18	同上	実習	同上
19	同上	実習	同上
20	同上	実習	同上

評価方法	実習期間の5分の4以上の出席があり、実習記録物が指定時間内に提出された場合、評価の対象とする。 評価基準は実習要項に準拠する。
教科書・参考書	教科書： クリティカルケア論で使用した教科書を使用する。 参考書： 実習中に随時紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 実習ガイダンスは、実習の一環であるため必ず出席すること。 2 やむを得ず欠席する場合は、学務課、担当教員に連絡すること。必要に応じて診断書等、欠席を証明するものの提示を求める場合もある。 3 本実習はクリティカルケア論と連動しているため、講義資料をよく復習して実習に臨むこと。 4 単位修得について (1) 実習の出席は5分の4以上を満たしている場合に、評価対象とする。 (2) 追・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 (3) 実習記録物が指定時間内に提出された場合に、評価の対象とする。 5 実習のフィードバックについて (1) 実習時間内に記録物やカンファレンスを通してその都度フィードバックを行う。 (2) 実習終了後は、各クールごとに実習を振り返り、フィードバックを行う。 (3) 実習の自己評価表は各自ポートフォリオに保存しておくこと。
オフィスアワー	坂田 久美子 火曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N255研究室 佐藤 ゆかり 水・木曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N453研究室 伊藤 真規 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N454研究室 森本 直樹 水・木曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N374研究室
備考	〔実務〕 大学病院等の急性期病棟、救命救急医療の現場において、看護師として実務経験のある教員が、クリティカルな状況にある対象者への看護実践に必要な基礎的能力を科学的根拠に基づいて指導する。また、潜在化している倫理的課題を考えつつ専門職としての看護の役割・機能について指導する。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	プライマリケア実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Practicum: Primary Care Nursing		
科目区分	臨地実習 アドバンスケア実習		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 森 莉那
教 授	谷口 千枝
助 教	中村 恵理
助 教	小宮 麻椰

科目概要	医療機関における地域連携体制の構築に関わる看護活動を理解するとともに、身体的、社会的に複雑な課題を抱える対象者を包括的にアセスメントし、対象者の支援に関する課題を明確にする能力を培う。
目 標	1. 対象者を包括的にアセスメントしプライマリケアの特徴に応じた患者支援(指導を含む)を実践できる [DP：1・2・5] 2. 医療機関における地域連携体制や地域包括ケアにおける看護師の役割について記述できる [DP：2・3・5] 3. 実習体験を通して、プライマリケア機能の基盤となる近接性・包括性・継続性・協調性・責任性について記述できる [DP：1～3・5・6] 4. 地域で生活する対象者を多面的に捉え、ヘルスプロモーションを促進する要因についてプライマリケアを担う看護師の視点から記述できる [DP：1～3・5・6]

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	実習オリエンテーション 教員及び臨地実習指導者の指導のもとに、下記の要領で実習を行う。 1 実習期間 1クール：2026年5月25日(月)～5月29日(金) 2クール：2026年6月1日(月)～6月5日(金) 2 実習場所：愛知医科大学病院、南生協病院、かなめ病院、桃山診療所、星崎診療所、たから診療所、富木島診療所 3 実習時間：原則として8時30分～15時30分(学内実習を含む)	実習	予：外来の特殊性を踏まえた看護について授業資料・文献・書籍を読んでおく。 復：1日の実習を振り返り、地域に暮らす対象者の継続的な医療と看護についてまとめる。	全員
2	臨地実習 各部署オリエンテーション	実習	同 上	全員
3	臨地実習 臨地実習(各外来部門・部署)	実習	同 上	全員
4	同上	実習	同 上	全員
5	同上	実習	同 上	全員
6	同上	実習	同 上	全員
7	同上	実習	同 上	全員
8	同上	実習	同 上	全員
9	同上	実習	同 上	全員

10	同上	実習	同 上	全員
11	同上	実習	同 上	全員
12	同上	実習	同 上	全員
13	同上	実習	同 上	全員
14	同上	実習	同 上	全員
15	同上	実習	同 上	全員
16	同上	実習	同 上	全員
17	学習のまとめ	実習	予：これまでの実習を振り返り、評価基準に従い客観的に自己評価する。 復：地域で生活する対象者の多面的な理解とプライマリケアを担う看護師の役割について考察し理解を深める。	全員
18	同上	実習	同 上	全員
19	同上	実習	同 上	全員
20	同上	実習	同 上	全員

評価方法	実習目標に準じた自己評価基準に則り、実習記録、レポートの内容、実習への取り組みについて総合的に評価する。 レポート(70%)、看護実践、実習記録(30%)
教科書・参考書	教科書： 「成人看護学Ⅰ・Ⅲ」で使用した教科書を使用する。 参考書： 1 日本プライマリ・ケア連合学会編：「プライマリ・ケア看護学 基礎編」、南山堂、第1版(2016/7)、定価5,500円(税込み) その他、授業中に配付した資料。実習中、必要に応じて紹介する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) 実習要項および看護倫理綱領を熟読した上で実習に取り組む。 (2) プライマリケア実習ガイダンスは、実習の一環であるため必ず出席すること。 2 単位修得について (1) 実習日数の5分の4以上の出席と実習記録が指定時間内に提出された場合に評価の対象となる。 (2) 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 3 実習のフィードバックについて 実習時間内に記録物やカンファレンスを通してその都度フィードバックを行う。 実習終了後は、各クールごとに実習を振り返り、フィードバックを行う。 実習の自己評価表は各自ポートフォリオに保存しておくこと。
オフィスアワー	谷口 千枝 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟4階N451研究室 森 莉那 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N254研究室 中村 恵理 月曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N370研究室 小宮 麻椰 月曜日 16:30～18:00 基礎科学棟3階N372研究室
備考	〔実務〕 大学病院等において、外来看護師としての実務経験をもつ教員等が、地域で生活し医療機関を受診する対象者を包括的にアセスメントし健康課題に対応した看護実践に活用できる汎用能力について教育する。 本実習は、最新の臨床知見に基づいて実習が構成されている。

講義名	統合看護実習		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	3		
(英文名)	Practicum: Comprehensive Nursing		
科目区分	臨地実習 統合実習		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
	◎ 看護学部教員
教 授	篠田 かおる
教 授	佐々木 裕子
教 授	若杉 里実
教 授	茂本 咲子
教 授	山中 真
教 授	谷口 千枝
教 授	山本 恵美子
教 授	心光 世津子
准 教 授	坂田 久美子
准 教 授	白井 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	山幡 朗子
准 教 授	橋本 茜
准 教 授	森 莉那
准 教 授	長崎 由紀子
准 教 授	浅野 いずみ
准 教 授	青山 恵美
准 教 授	荻野 朋子
准 教 授	山本 弘江
准 教 授	深谷 基裕
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	二村 純子
講 師	横山 剛志
講 師	板津 良
講 師	伊藤 真規
講 師	小久保 知由起
講 師	上坂 真弓
講 師	伊藤 寿英

講 師	中村 美奈子
講 師	坪之内 千鶴
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸
助 教	森本 直樹
助 教	丸谷 紗穂
助 教	坂川 有希
助 教	中村 恵理
助 教	柴田 竹晴
助 教	小宮 麻椰
助 教	曾 雌 哲也

科目概要	4年間の学びを統合し、卒業後の看護活動の場における自らの看護能力の開発に向けて、主体的に学び続ける姿勢や、課題探究能力の基盤を修得する。
目標	1 探究したい学修課題を明らかにし、実習を計画することができる。[DP: 6] 2 立案した実習計画に基づき、チームの一員として看護実践できる。[DP: 1～6] 3 前述の学修課題及び実践した看護を、既習の諸理論から考察できる。[DP: 5] 4 自己の看護観と今後の課題を明確にできる。[DP: 6]

授業計画表

回	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション 教員及び臨地実習指導者の指導のもとに、下記の要領で実習を行う。 1 実習期間：2026年8月31日（月）～9月18日（金） 2 実習場所：愛知医科大学病院、愛知医科大学メディカルセンター、白山リハビリテーション病院、図書館通おかもとマタニティクリニック、色金保育園、ハートフルハウス訪問看護ステーション、終訪問看護ステーション、かしのき訪問看護ステーション、れんげ訪問看護ステーション、NPO法人つづら、社会福祉法人百千鳥福祉会地域活動支援センター百、精神訪問看護ステーションカピリナ、瀬戸市役所、北名古屋市保健センター、すずかけクリニック、訪問看護ステーションHOPE 3 実習時間：原則として8時30分～15時30分 4 実習内容： (1)「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」の取り組みを活かし、4年間の学修を踏まえた看護実践に関する学修課題を明確にして、実習計画に基づき、実習指導者と共に対象者に介入し、実践した看護を評価する。 (2)実践した看護を既習の諸理論を用いて学びを深め、発表する。 各自の課題に基づいた実習計画立案 臨地オリエンテーション	学内オリエンテーション または臨地オリエンテーション	予：事前に担当教員に提出した看護実践における課題を確認する。 復：毎日の実習に必要な内容を準備して実習に臨む。	全員
2	臨地実習・学内実習 8月31日～9月18日の期間、立案した実習計画に基づき主体的に実習を進める。	臨地実習	予：毎日の実習に必要な内容を準備して実習に臨む。 復：一日の実習を振り返り、実習内容に関連した情報、看護実践等について整理する。	全員
3	同上	同上		全員
4	同上	同上		全員
5	同上	同上		全員
6	同上	同上		全員
7	同上	同上		全員

8	同上	同上		全員
9	同上	同上		全員
10	同上	同上		全員
11	同上	同上		全員
12	同上	同上		全員
13	同上	同上		全員
14	同上	同上		全員
15	同上	同上		全員
16	同上	同上		全員
17	同上	同上		全員
18	同上	同上		全員
19	同上	同上		全員
20	同上	同上		全員
21	同上	同上		全員
22	同上	同上		全員
23	同上	同上		全員
24	同上	同上		全員
25	同上	同上		全員
26	同上	同上		全員
27	同上	同上		全員
28	同上	同上		全員
29	同上	同上		全員
30	同上	同上		全員
31	同上	同上		全員
32	同上	同上		全員
33	同上	同上		全員
34	同上	同上		全員
35	同上	同上		全員
36	同上	同上		全員
37	同上	同上		全員
38	同上	同上		全員
39	同上	同上		全員
40	同上	同上		全員
41	同上	同上		全員
42	同上	同上		全員
43	同上	同上		全員
44	同上	同上		全員
45	同上	同上		全員
46	同上	同上		全員

47	同上	同上		全員
48	同上	同上		全員
49	同上	同上		全員
50	同上	同上		全員
51	同上	同上		全員
52	同上	同上		全員
53	実習のまとめ・発表会	学内実習		全員
54	同上	同上		全員
55	同上	同上		全員
56	同上	同上		全員
57	同上	同上		全員
58	同上	同上		全員
59	同上	同上		全員
60	同上	同上		全員

評価方法	実習目標の到達状況、実習記録、カンファレンス参加度、実習への取り組みをルーブリック評価表を用いて評価する。
教科書・参考書	教科書： 参考書： 実習に関連する参考書等は、担当教員の指示による。
履修上の注意点 及び取扱い	1 第Ⅲ段階 前学期まで全ての実習単位を修得していることを、履修条件とする。 2 単位認定には5分の4以上出席する。 3 追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 4 フィードバックの方法 実習中は、自己学習状況や看護実践状況について、実習目標達成のために、個別またはカンファレンス等でフィードバック、及び実習記録へのコメント記載をもって行う。 最終評価は、ルーブリック評価表を用いて評価し、担当教員から学生へフィードバックを行う。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	[実務] 担当教員全員が看護師又は保健師の実務経験をもち、臨地実習の場において、学生各自の課題に基づき、対象者の健康レベルに応じた看護実践に必要な科学的根拠に基づく基礎的能力、汎用能力、実践能力、医療職者としての倫理について総合的に指導する。 ・最新の知見を取り入れて構成している。

講義名	公衆衛生看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	2		
(英文名)	Practicum: Public Health NursingⅠ		
科目区分	臨地実習 保健師課程実習		
必修・選択<組>	保健師課程…必修		
開講学年次	3学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
准 教 授	浅野 いずみ
講 師	二村 純子

科目概要	地域で生活する個人・家族・集団の対象となる人々の健康課題に応える公衆衛生看護活動を理解し、看護専門職者としての判断に基づいた看護実践能力を養う。行政において、学生2～3名のグループで実習する。愛知県保健所、名古屋市保健センター、一宮市保健所、市町村において行われる保健事業を実習する。
目標	1 保健所、市町村の機能と役割を説明できる。「DP：2～5」 2 対象となる地域の特徴を理解できる。「DP：1～4」 3 個人・家族・集団に対する公衆衛生看護活動の展開方法を、PDCAサイクルに基づき考え、述べることができる。「DP：1～6」 4 対象となる人々と協働し、集団・組織を育成支援していくための公衆衛生看護活動について理解できる。「DP：1～6」 5 公衆衛生看護活動と関係機関・職種との連携・協働について理解できる。「DP：1～5」 6 地域の健康危機管理について理解できる。「DP：1～5」 7 公衆衛生看護における看護倫理について学び、実践できる。「DP：1～6」

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1 実習内容と方法 詳細は、別途配布する「令和8年度公衆衛生看護学実習Ⅰガイダンス資料」を参照とする。 2 実習期間：令和9年2月8日（月）～2月19日（金）の2単位の実習である。 3 実習体制： (1)学生は2～3名のグループに分かれて実習する。 (2)愛知県保健所、名古屋市保健センター、一宮市保健所、市町村で実習する。 (3)各実習施設において行われる保健事業を実習する。 3 最終カンファレンス 同じ実習施設メンバー、実習指導者、実習担当教員で、実習の最終カンファレンスを行う。	実習	1 事前学習課題 実習ガイダンスで提示した事前学習課題に取り組む。 2 教科書および2学年次の公衆衛生看護学Ⅰ、3学年次の公衆衛生看護学Ⅱ、健康教育論、保健指導論等の講義資料の復習をする。 3 時間制限はしない。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員

8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員
21	同上	実習	同上	全員
22	同上	実習	同上	全員
23	同上	実習	同上	全員
24	同上	実習	同上	全員
25	同上	実習	同上	全員
26	同上	実習	同上	全員
27	同上	実習	同上	全員
28	同上	実習	同上	全員
29	同上	実習	同上	全員
30	同上	実習	同上	全員
31	同上	実習	同上	全員
32	同上	実習	同上	全員
33	同上	実習	同上	全員
34	同上	実習	同上	全員
35	同上	実習	同上	全員
36	同上	実習	同上	全員
37	同上	実習	同上	全員
38	同上	実習	同上	全員
39	同上	実習	同上	全員
40	同上	発表（実習施設での発表）	同上	全員

評価方法	実習目標に準じた評価基準に則り、実習記録、レポートの内容、実習への取り組みについて総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： 1 鳩野洋子・神庭純子編(2024)：「公衆衛生看護学.jp」、第6版、インターメディカル出版、定価5,280円(税込み) 2 厚生労働統計協会編(2026)：「国民衛生の動向(2026/2027)」、厚生労働統計協会出版、定価3,740円(税込み)

履修上の注意点 及び取扱い	1 履修条件として保健師課程選択の学生であること。 2 評価を受けるには、5分の4以上の出席日数が必要である。 3 実習に際しては、実習要項、ガイダンスでの説明を遵守し、取り組む。 4 実習記録には、教員からの講評を記載する。 5 追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 6 凡例 発表：プレゼンテーション
オフィスアワー	若杉 里実 月曜日 16：10～17：40 C棟5階 教授室4 浅野 いずみ 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階 N251研究室 二村 純子 金曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階 N453研究室
備考	毎回、実習の体験内容からの学びを整理し、実習記録を提出すること。 翌日の実習体験内容について、準備学修を行うこと（時間制限はしない）。 [実務] 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実習指導者との協働のもと実際の看護活動の見学体験を通じた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	公衆衛生看護学実習Ⅱ		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	3		
(英文名)	Practicum: Public Health Nursing Ⅱ		
科目区分	臨地実習 保健師課程実習		
必修・選択<組>	保健師課程…必修		
開講学年次	4 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 若杉 里実
准 教 授	浅野 いずみ
講 師	二村 純子

科目概要	地域で生活する個人・家族・集団や職域、学校で働く人々の健康課題に応える公衆衛生看護活動を理解し、看護専門職者としての判断に基づいた看護実践能力を養う。行政、産業または学校において、学生2～5名のグループで実習する。名古屋市保健センター、一宮市保健所、市町村、地域包括支援センター、事業所、学校の各実習施設において行われる保健事業を実習する。
目標	1 保健所、市町村や地域包括支援センター、事業所、学校の機能と役割を説明できる。「DP：2～5」 2 対象となる地域・集団の特徴を理解し、健康課題をアセスメントできる。「DP：1～4」 3 保健活動計画のプロセスを理解し、個人・家族・集団に対する公衆衛生看護活動の展開方法を、PDCAサイクルに基づき考え、述べることができる。「DP：1～6」 4 対象となる人々と協働し、集団・組織を育成支援していくための公衆衛生看護活動について考え、述べることができる。「DP：1～6」 5 保健・医療・福祉行政システムと関係機関・職種との連携・協働について理解できる。「DP：1～5」 6 地域や事業所、学校の健康危機管理について理解できる。「DP：1～5」 7 公衆衛生看護における看護倫理について学び、実践できる。「DP：1～6」

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	1 実習内容と方法 詳細は、別途配布する「令和8年度公衆衛生看護学実習ガイダンス資料」を参照とする。 2 実習期間：令和8年7月6日（月）～7月24日（金）の3単位の实習である。 3 実習体制： (1)学生は2～5名のグループに分かれて実習する。 (2)名古屋市保健センター、一宮市保健所、市町村、事業所、地域包括支援センター、学校で、地区踏査を含め3単位の实習をする。 (3)各実習施設において行われる保健事業を実習する。 4 最終カンファレンス 同じ実習施設メンバー、実習指導者、実習担当教員で、実習全体の学びを振り返る。 5 実習のまとめ 実習目標に沿って同じ実習施設メンバーで学びを話し合い、住民や他職種・他機関との関わりの中で、看護専門職に求められる役割、保健師の特徴的な支援方法、保健師が大切にしていることを明らかにする。	実習	1 事前学習課題 実習ガイダンスで提示した事前学習課題に取り組む。 2 教科書および2学年次の公衆衛生看護学Ⅰ、産業看護学、学校看護学および3学年次の公衆衛生看護学Ⅱ、健康教育論、保健指導論等の講義資料の復習をする。 3 実習と連動させて保健師国家試験問題に取り組む。 4 時間制限はしない。	全員
2	各実習施設での実習	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員

5	同上	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	同上	実習	同上	全員
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員
21	同上	実習	同上	全員
22	同上	実習	同上	全員
23	同上	実習	同上	全員
24	同上	実習	同上	全員
25	同上	実習	同上	全員
26	同上	実習	同上	全員
27	同上	実習	同上	全員
28	同上	実習	同上	全員
29	同上	実習	同上	全員
30	同上	実習	同上	全員
31	同上	実習	同上	全員
32	同上	実習	同上	全員
33	同上	実習	同上	全員
34	同上	実習	同上	全員
35	同上	実習	同上	全員
36	同上	実習	同上	全員
37	同上	実習	同上	全員
38	同上	実習	同上	全員
39	同上	実習	同上	全員
40	同上	実習	同上	全員
41	同上	実習	同上	全員
42	同上	実習	同上	全員
43	同上	実習	同上	全員

44	同上	実習	同上	全員
45	同上	実習	同上	全員
46	同上	実習	同上	全員
47	同上	実習	同上	全員
48	同上	実習	同上	全員
49	同上	実習	同上	全員
50	同上	実習	同上	全員
51	同上	実習	同上	全員
52	同上	実習	同上	全員
53	同上	実習	同上	全員
54	同上	実習	同上	全員
55	同上	実習	同上	全員
56	最終カンファレンス（各実習施設において、 実習全体の学びの振り返り）	実習	同上	全員
57	実習全体のまとめ	GW	同上	全員
58	同上	GW	同上	全員
59	同上	発表	同上	全員
60	同上	発表	同上	全員

評価方法	実習目標に準じた評価基準に則り、実習記録、レポートの内容、実習への取り組みについて総合的に評価する。
教科書・参考書	教科書： 1 鳩野洋子・神庭純子編(2024)：「公衆衛生看護学.jp」、第6版、インターメディカル出版、定価5,280円(税込み) 2 厚生労働統計協会編(2025)：「国民衛生の動向(2025/2026)」、厚生労働統計協会出版、定価3,740円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	1 履修条件として保健師課程選択の学生であること。 2 評価を受けるには、5分の4以上の出席日数が必要である。 3 実習に際しては、実習要項、ガイダンスでの説明を遵守し、取り組む。 4 実習記録には、教員からの講評を記載する。 5 追実習・再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 6 凡例 GW：グループワーク 発表：プレゼンテーション
オフィスアワー	若杉 里実 月曜日 16：10～17：40 C棟5階 教授室4 浅野 いずみ 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階 N251研究室 二村 純子 金曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階 N453研究室
備考	毎回、実習の体験内容からの学びを整理し、実習記録を提出すること。 翌日の実習体験内容について、準備学修を行うこと（時間制限はしない）。 [実務] 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員が、対象となる人々の生活や健康の保持増進、看護専門職者及び関連職者の活動等について、実習指導者との協働のもと実際の看護活動の見学体験を通じた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	国語表現法		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Japanese for Academic Purposes		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	必修< A 組 >		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師 (非)	◎ 稲垣 広和

科目概要	国語表現法は単に作文技術の習得・向上を目指すだけではなく、日本語の音声言語表現・文字言語表現等に関して幅広く学ぶもので、受講生の国語表現能力の実践的な向上をはかるために日本語リテラシーについて幅広く学修するものである。 また大学生活で必須とされるアカデミックリテラシーに関しても、レポート・論文作成技術から講義の受講方法やゼミにおけるプレゼンテーション等、特に初年度に必要とされるものについて総合的に学ぶ。 さらに将来社会人として、また専門的職業人として必要とされる全般的な言語表現、国語表現に関する基本的な諸事項や日本語の豊かさについても学ぶ。
目標	1 音声言語表現に関する基本的な内容を理解しそれを運用することができる。「DP : 2・5・6」 2 文字言語表現に関する基本的な内容を理解しそれを運用することができる。「DP : 2・5・6」 3 論理的文章を読解し、その内容を要約、把握した上でそれらの言語情報を活用することができる。「DP : 5・6」 4 論理的文章の基本的な作成方法を理解し、実際に文章作成することができる。「DP : 2・5・6」 5 日本語表現の豊かさを知り、これを活用することができる。「DP : 1・2・4」 6 グループワークを通してコミュニケーションスキルを向上することができる。「DP : 2・3・6」 7 継続的な学修方法を学ぶことによって、種々の問題に対して自らで解決する力（生きる力）を発揮することができる。「DP 6」 8 アクティブラーニングを理解し、実践することができる。「DP : 2～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/14 (火)	4	授業ガイダンス 基本的な講義の受け方や評価の基準等、講義を受ける際の約束事などについて説明します。 [講義概要]	講義	予習 なし 復習 配付資料「講義ガイダンス」を読み返す 60分	稲垣 広和
2	2026/04/21 (火)	4	大学で「学ぶ」という意味について。大学での講義の特質、講義参加のしかた、ノートのとりかたについて [主体的学習方法] [アカデミックリテラシー]	講義 動画視聴 「アカデミックスキルズ」について（慶應義塾大学）	予習 配付資料「アカデミックスキルについて」を読む 復習 ノートテイキングに関する作文（800字）を作成 各60分	稲垣 広和
3	2026/04/28 (火)	5	言語コミュニケーション(1) 自己紹介の概念とその理論的理解 自己紹介を適当なその場しのぎのものとするのではなく、自己紹介の理論的認識を深めます。戦略的に自己紹介を活用しよう。	講義	予習 配付資料「自己紹介プリント①」を読む 復習 自己紹介の原稿作成	稲垣 広和

			[自己相対化の概念]		(800字) 各60分	
4	2026/05/12 (火)	5	言語コミュニケーション(2) 自己紹介の実践と評価 実際に受講生全員が自己紹介を「全力で」してみよう。自分を 知り、自分の周りの人を知ることは人間の幅を広げる ことにもなります。 [自己伝達能力] [プレゼンテーション能力]	プレゼ ンテー ション	予習 配付資料「自己紹介プ リント②」を読む 復習 自己紹介の評価プリン ト(800字)作成 各60分	稲垣 広和
5	2026/05/19 (火)	4	言語コミュニケーション(3) 会議と議論の方法と実践 会議・議論は正しい方法を知らないと人生の「無駄」で す。仕事を効率化する上でも正しい会議の方法を身につけ よう。 [話し合いのルール]	講義 GW	予習 配布資料「議論の方 法」(1)を読む 復習 会議実践プリントの作 成 各60分	稲垣 広和
6	2026/05/26 (火)	4	言語コミュニケーション(4) ディベートの方法と実践 相手を説得し、納得させることは論文を作成する上でも重 要な技術です。今回は実践実践を通して言語表現能力向上 の実践をおこないます。 [相手を納得させる話し方の基本]	講義 GW	予習 配布資料「議論の方 法」(2)を読む 復習 ディベート復習プリン トの作成 各60分	稲垣 広和
7	2026/06/02 (火)	5	言語コミュニケーション(5) ネゴシエーションの方法と実 践 ネゴシエーションは「ずるい」言語技術のように思われま すが、そうではありません。立場の違う相手に対して、ど のように自分の意見を説明するかを技法を学びます。また 言語コミュニケーション実例として「病院の言葉」(国立 国語研究所)について学びます。 [説得の技術・インフォームドコンセント]	講義 GW	予習 配付資料「ネゴシエ ーションの方法と実践プ リント」を読む 復習 「ネゴシエーションの 実践」感想文(800 字)作成 各60分	稲垣 広和
8	2026/06/16 (火)	5	音声言語表現の特質の理解と実践、 魅力的な話し方とはどのようなものかを学び、実選してみ よう。また医療言語学について学ぼう。 [発話の特質]	講義	予習 配付資料「美しい話し 方」を読む 復習 作文「魅力的な話し 方」(800字)作成 各60分	稲垣 広和
9	2026/06/17 (水)	4	日本語の特質(1) 待遇表現を中心として 敬語は相手との距離感を瞬時に測って最適な敬語を使用す べきもの。そのために敬語の根本的な理解をしよう。ま たマニュアル敬語の持つ危険性についても理解しよう。 [敬語表現]	講義	予習 配付資料「待遇表現」 を読む 復習 講義の振り返りをする (600字以上) 各60分	稲垣 広和
10	2026/06/24 (水)	3	日本語の特質(2) 話し言葉と書き言葉についての違いを知 ろう。また公的な言語空間と私的な言語空間の違いについ ても理解しよう。 [言葉の差異性]	講義	予習 配付資料「日本語の特 質」を読む 復習 話し言葉と書き言葉復 習プリント作成 各60分	稲垣 広和
11	2026/07/01 (水)	3	日本語の特質(3) 表記上の留意点 文章を書く際に必要とされる表記上のルールについて学び ます。原稿用紙の使い方やレポートのフォーマットについ ても学びます。加えて定期試験の設問を「読解」します。 [言語表記の技術]	講義	予習 配付資料「レポート論 文作成の技術」を読む 復習 添削実践プリントの作 成 各60分	稲垣 広和
12	2026/07/08 (水)	4	発想法・思考法(1) 思考の概念化について、上位概念と下 位概念 「ことば」について単に辞書的な意味を知るのではなく、 言葉を使いこなすための技術を学びます。 [言葉を概念化する]	講義 GW	予習 配付資料「ことばを学 ぶ」を読む 復習 「言語連想法」「言語 連結法」プリントの作	稲垣 広和

					成 各30分	
13	2026/07/15 (水)	4	発想法・思考法(2) 自己の幅・視野を広げるための方法 言葉の幅を広げる、使える語彙を増やすことによって自分の 視野を広げよう。自分たちの日常生活から少し離れた言 葉を知ることによって社会に対する興味を持とう。 [社会に対する興味・関心]	講義	予習 配付資料「テクニカル ターム」を読む 復習 作文「学術語」につい て(800字)作成 各60分	稲垣 広和
14	2026/07/22 (水)	3	教育プレゼンテーション(1)その理論的理解アカデミックス キルとしての教育プレゼンテーションを理解する [教育プレゼンテーションの理論]	講義 GW	予習 配布資料「教育プレゼ ンテーション」を読む 復習 講義内容を振り返り、 不明な用語等を各自調 べる。 各60分	稲垣 広和
15	2026/07/29 (水)	3	教育プレゼンテーション(2)実践 実際にプレゼンをおこない、評価する。 [教育プレゼンテーションの実践]	講義 発表	予習 プレゼン資料の作成 復習 プレゼン評価表の作成 各60分	稲垣 広和
16	2026/08/04 (火)	4	定期試験			稲垣 広和

評価方法	定期試験は5割、平常点は5割。 定期試験に関しては、国語に関する基本的な知識を問うものと、日本語リテラシーに関するものを中心に出题し ます。また、講義中に解説した日本語に関するトピックについて論述する問題等を出題する予定です。 なお平常点に関しては、出席点ではなくて講義中の課題の提出状況やグループワークでの活動状況等を中心に総 合的に評価をします。
教科書・参考書	教科書： なし。講義資料に関しては事前にADLE-kにアップロードします。 参考書： 講義中に指示をします。
履修上の注意点 及び取扱い	1 授業について (1) この授業は講義形式で行いますが、実践的な課題に取り組んでもらうことが多いので単なる「座学」の授 業ではありません。さらにグループワークも多いので積極的に授業(演習)参加をしてください。 (2) 授業内では国語常識に関する基礎プリントの解答・解説を行います。これは定期考査の試験範囲とします のでしっかりと予習・復習をしてください。また、その他の予習・復習(時間外学習)に関しては講義中に指示 をします。 (3) 授業における提出課題は提出期間以外、基本的に受け付けないので留意してください。 (4) 授業に関する資料は基本的にADLE-Kで事前にアップロードされますので、各自ダウンロードして授業に 臨んでください。(授業中に各自のデバイスで見られることとノートテイクが可能な状況で参加してくださ い) 2 出欠席について 出欠席はカードリーダーへの打刻により確認をします。2コマ連続の場合は、講義開始時、講義終了時の合計2 回打刻をしてください。遅刻・早退(各30分)は3分の1欠席扱いとします。なお、出席状況を定期試験の受験 資格とはしません。また合理的理由のない途中退室は欠席とします。 3 再試験について 定期試験で不合格の場合は再試験を1回を限度として行います。 4 試験に関するフィードバックについて 定期試験後、希望により質問会を行います。 5 凡例 GW：グループワーク プレゼンテーション：発表
オフィスアワー	火・水曜日 12:00~13:30 看護学部講師控室 また、講義の前後にも質問・相談等について対応します。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	国語表現法		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Japanese for Academic Purposes		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	必修<B組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 稲垣 広和

科目概要	国語表現法は単に作文技術の習得・向上を目指すだけではなく、日本語の音声言語表現・文字言語表現等に関して幅広く学ぶもので、受講生の国語表現能力の実践的な向上をはかるために日本語リテラシーについて幅広く学修するものである。 また大学生活で必須とされるアカデミックリテラシーに関しても、レポート・論文作成技術から講義の受講方法やゼミにおけるプレゼンテーション等、特に初年度に必要とされるものについて総合的に学ぶ。 さらに将来社会人として、また専門的職業人として必要とされる全般的な言語表現、国語表現に関する基本的な諸事項や日本語の豊かさについても学ぶ。
目標	1 音声言語表現に関する基本的な内容を理解しそれを運用することができる。「DP：2・5・6」 2 文字言語表現に関する基本的な内容を理解しそれを運用することができる。「DP：2・5・6」 3 論理的文章を読解し、その内容を要約、把握した上でそれらの言語情報を活用することができる。「DP：5・6」 4 論理的文章の基本的な作成方法を理解し、実際に文章作成することができる。「DP：2・5・6」 5 日本語表現の豊かさを知り、これを活用することができる。「DP：1・2・4」 6 グループワークを通してコミュニケーションスキルを向上することができる。「DP：2・3・6」 7 継続的な学修方法を学ぶことによって、種々の問題に対して自らで解決する力（生きる力）を発揮することができる。「DP 6」 8 アクティブラーニングを理解し、実践することができる。「DP：2～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/14 (火)	5	授業ガイダンス 基本的な講義の受け方や評価の基準等、講義を受ける際の約束事などについて説明します。 [講義概要]	講義	予習 なし 復習 配付資料「講義ガイダンス」を読み返す 60分	稲垣 広和
2	2026/04/21 (火)	5	大学で「学ぶ」という意味について。大学での講義の特質、講義参加のしかた、ノートのとりかたについて [主体的学習方法] [アカデミックリテラシー]	講義 動画視聴 「アカデミックスキルズ」について（慶應義塾大学）	予習 配付資料「アカデミックスキルについて」を読む 復習 ノートテイキングに関する作文（800字）を作成 各60分	稲垣 広和
3	2026/04/28 (火)	4	言語コミュニケーション(1) 自己紹介の概念とその理論的理解 自己紹介を適当なその場しのぎのものとするのではなく、自己紹介の理論的認識を深めます。戦略的に自己紹介を活用しよう。	講義	予習 配付資料「自己紹介プリント①」を読む 復習 自己紹介の原稿作成	稲垣 広和

			[自己相対化の概念]		(800字) 各60分	
4	2026/05/12 (火)	4	言語コミュニケーション(2) 自己紹介の実践と評価 実際に受講生全員が自己紹介を「全力で」してみよう。自分を知り、自分の周りの人を知ることは人間の幅を広げることにあります。 [自己伝達能力] [プレゼンテーション能力]	プレゼンテーション	予習 配付資料「自己紹介プリント②」を読む 復習 自己紹介の評価プリント(800字)作成 各60分	稲垣 広和
5	2026/05/19 (火)	5	言語コミュニケーション(3) 会議と議論の方法と実践 会議・議論は正しい方法を知らないと人生の「無駄」です。仕事を効率化する上でも正しい会議の方法を身につけよう。 [話し合いのルール]	講義 GW	予習 配布資料「議論の方法」(1)を読む 復習 会議実践プリントの作成 各60分	稲垣 広和
6	2026/05/26 (火)	5	言語コミュニケーション(4) ディベートの方法と実践 相手を説得し、納得させることは論文を作成する上でも重要な技術です。今回は実践実践を通して言語表現能力向上の実践をおこないます。 [相手を納得させる話し方の基本]	講義 GW	予習 配布資料「議論の方法」(2)を読む 復習 ディベート復習プリントの作成 各60分	稲垣 広和
7	2026/06/02 (火)	4	言語コミュニケーション(5) ネゴシエーションの方法と実践 ネゴシエーションは「ずるい」言語技術のように思われますが、そうではありません。立場の違う相手に対して、どのように自分の意見を説明するかを学びます。また言語コミュニケーション実例として「病院の言葉」(国立国語研究所)について学びます。 [説得の技術・インフォームドコンセント]	講義 GW	予習 配付資料「ネゴシエーションの方法と実践プリント」を読む 復習 「ネゴシエーションの実践」感想文(800字)作成 各60分	稲垣 広和
8	2026/06/16 (火)	4	音声言語表現の特質の理解と実践、 魅力的な話し方とはどのようなものかを学び、実選してみよう。また医療言語学について学ぼう。 [発話の特質]	講義	予習 配付資料「美しい話し方」を読む 復習 作文「魅力的な話し方」(800字)作成 各60分	稲垣 広和
9	2026/06/17 (水)	3	日本語の特質(1) 待遇表現を中心として 敬語は相手との距離感を瞬時に測って最適な敬語を使用すべきもの。そのために敬語の根本的な理解をしよう。またマニュアル敬語の持つ危険性についても理解しよう。 [敬語表現]	講義	予習 配付資料「待遇表現」を読む 復習 講義の振り返りをする (600字以上) 各60分	稲垣 広和
10	2026/06/24 (水)	4	日本語の特質(2) 話し言葉と書き言葉についての違いを知ろう。また公的な言語空間と私的な言語空間の違いについても理解しよう。 [言葉の差異性]	講義	予習 配付資料「日本語の特質」を読む 復習 話し言葉と書き言葉復習プリント作成 各60分	稲垣 広和
11	2026/07/01 (水)	4	日本語の特質(3) 表記上の留意点 文章を書く際に必要とされる表記上のルールについて学びます。原稿用紙の使い方やレポートのフォーマットについても学びます。加えて定期試験の設問を「読解」します。 [言語表記の技術]	講義	予習 配付資料「レポート論文作成の技術」を読む 復習 添削実践プリントの作成 各60分	稲垣 広和
12	2026/07/08 (水)	3	発想法・思考法(1) 思考の概念化について、上位概念と下位概念 「ことば」について単に辞書的な意味を知るのではなく、言葉を使いこなすための技術を学びます。 [言葉を概念化する]	講義 GW	予習 配付資料「ことばを学ぶ」を読む 復習 「言語連想法」「言語連結法」プリントの作	稲垣 広和

					成 各30分	
13	2026/07/15 (水)	3	発想法・思考法(2) 自己の幅・視野を広げるための方法 言葉の幅を広げる、使える語彙を増やすことによって自分の 視野を広げよう。自分たちの日常生活から少し離れた言 葉を知ることによって社会に対する興味を持とう。 [社会に対する興味・関心]	講義	予習 配付資料「テクニカル ターム」を読む 復習 作文「学術語」につい て(800字)作成 各60分	稲垣 広和
14	2026/07/22 (水)	4	教育プレゼンテーション(1)その理論的理解アカデミックス キルとしての教育プレゼンテーションを理解する [教育プレゼンテーションの理論]	講義 GW	予習 配布資料「教育プレゼ ンテーション」を読む 復習 講義内容を振り返り、 不明な用語等を各自調 べる。 各60分	稲垣 広和
15	2026/07/29 (水)	4	教育プレゼンテーション(2)実践 実際にプレゼンをおこない、評価する。 [教育プレゼンテーションの実践]	講義 発表	予習 プレゼン資料の作成 復習 プレゼン評価表の作成 各60分	稲垣 広和
16	2026/08/04 (火)	4	定期試験			稲垣 広和

評価方法	定期試験は5割、平常点は5割。 定期試験に関しては、国語に関する基本的な知識を問うものと、日本語リテラシーに関するものを中心に出题し ます。また、講義中に解説した日本語に関するトピックについて論述する問題等を出題する予定です。 なお平常点に関しては、出席点ではなくて講義中の課題の提出状況やグループワークでの活動状況等を中心に総 合的に評価をします。
教科書・参考書	教科書： なし。講義資料に関しては事前にADLE-kにアップロードします。 参考書： 講義中に指示をします。
履修上の注意点 及び取扱い	1 授業について (1) この授業は講義形式で行いますが、実践的な課題に取り組んでもらうことが多いので単なる「座学」の授 業ではありません。さらにグループワークも多いので積極的に授業(演習)参加をしてください。 (2) 授業内では国語常識に関する基礎プリントの解答・解説を行います。これは定期考査の試験範囲とします のでしっかりと予習・復習をしてください。また、その他の予習・復習(時間外学習)に関しては講義中に指示 をします。 (3) 授業における提出課題は提出期間以外、基本的に受け付けないので留意してください。 (4) 授業に関する資料は基本的にADLE-Kで事前にアップロードされますので、各自ダウンロードして授業に 臨んでください。(授業中に各自のデバイスで見られることとノートテイクが可能な状況で参加してくださ い) 2 出欠席について 出欠席はカードリーダーへの打刻により確認をします。2コマ連続の場合は、講義開始時、講義終了時の合計2 回打刻をしてください。遅刻・早退(各30分)は3分の1欠席扱いとします。なお、出席状況を定期試験の受験 資格とはしません。また合理的理由のない途中退室は欠席とします。 3 再試験について 定期試験で不合格の場合は再試験を1回を限度として行います。 4 試験に関するフィードバックについて 定期試験後、希望により質問会を行います。 5 凡例 GW：グループワーク プレゼンテーション：発表
オフィスアワー	火・水曜日 12:00~13:30 看護学部講師控室 また、講義の前後にも質問・相談等について対応します。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	英語 I		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	English I		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 近藤 真治

科目概要	看護分野の基本用語とその定義を英語で学ぶことにより、看護英語の語彙力および表現力を向上させる。また、「病歴の採取」「症状のアセスメント」「バイタルサインの確認」等の様々な看護場면을想定したダイアログに基づくディクテーションやロールプレイにより、実践的な英語コミュニケーション能力の育成を図る。
目標	1 看護英語の基礎的な語彙・フレーズ・表現を理解し、使用することができる。「DP：4」 2 看護場面における基本的な注意・指示・アセスメントを英語で行うことができる。「DP：4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/13 (月)	3	授業ガイダンス 英英辞典の使い方 看護用語の小テスト・解説 In the Lobby of the Hospital	演習	後：授業内容をまとめる 60分	近藤 真治
2	2026/04/16 (木)	3	看護用語の小テスト・解説 Finding the Way	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
3	2026/04/30 (木)	3	看護用語の小テスト・解説 Let Me Direct You to Radiology	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
4	2026/05/07 (木)	3	看護用語の小テスト・解説 Meeting Patients	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
5	2026/05/14 (木)	3	看護用語の小テスト・解説 Taking a Medical History	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
6	2026/05/26 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Taking Vital Signs	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
7	2026/06/02 (火)	1	看護用語の小テスト・解説 Transferring a Patient	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
8	2026/06/16 (火)	2	前半のまとめ	演習	前：テストの準備 90分	近藤 真治

9	2026/06/23 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Assessing Pain	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
10	2026/06/30 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Pain Assessment	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
11	2026/07/07 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Feeling So Sick	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
12	2026/07/14 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Fever	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
13	2026/07/21 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Assessing Patients' Symptoms	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
14	2026/07/28 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Medical Departments	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
15	2026/07/30 (木)	3	後半のまとめ	演習	前：テストの準備 90分	近藤 真治

評価方法	看護用語の小テスト30%、まとめのテスト①35%、まとめのテスト②35%
教科書・参考書	教科書は使用しない。資料はAIDLE-Kにアップする。
履修上の注意点 及び取扱い	1 2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 2 出席管理システムにより出席の確認をする。 3 再試験は1回のみ実施する。 4 まとめテスト②の終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	金曜日 16:10～17:40 C棟5階教室6
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	英語Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	EnglishⅡ		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 近藤 真治

科目概要	看護分野の基本用語とその定義を英語で学ぶことにより、看護英語の語彙力および表現力を向上させる。また、「機能回復の援助」「入院患者のケア」「緊急事態への対処」等の様々な看護場面を想定したダイアログに基づくディクテーションやロールプレイにより、実践的な英語コミュニケーション能力の育成を図る。
目標	1 看護英語の基礎的な語彙・フレーズ・表現を理解し、使用することができる。「DP：4」 2 看護場面における基本的な注意・指示・アセスメントを英語で行うことができる。「DP：4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/15 (火)	2	授業ガイダンス 医学用語の構成 痛みのアセスメント 看護用語の小テスト・解説	演習	後：授業内容をまとめる 60分	近藤 真治
2	2026/09/17 (木)	3	看護用語の小テスト・解説 Visit to the Clinic	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
3	2026/10/27 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Taking a Specimen	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
4	2026/11/10 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Elimination	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
5	2026/11/12 (木)	2	看護用語の小テスト・解説 Giving Medication to a Patient	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
6	2026/11/17 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Advising about Medication	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
7	2026/11/19 (木)	2	看護用語の小テスト・解説 Maintaining a Good Diet	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
8	2026/11/26 (木)	2	前半のまとめ	演習	前：テストの準備 90分	近藤 真治

9	2026/12/01 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Medical Examination	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
10	2027/01/05 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Women's Health	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
11	2027/01/07 (木)	2	看護用語の小テスト・解説 Children's Health	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
12	2027/01/12 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Chronic Diseases	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
13	2027/01/14 (木)	2	看護用語の小テスト・解説 Admission for Surgery	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
14	2027/01/19 (火)	2	看護用語の小テスト・解説 Pregnancy Check-up	演習	前：ダイアログのディクテーション 後：授業内容をまとめる 前後各30分	近藤 真治
15	2027/01/21 (木)	2	後半のまとめ。	演習	前：テストの準備 90分	近藤 真治

評価方法	看護用語の小テスト30%、まとめのテスト①35%、まとめのテスト②35%
教科書・参考書	教科書は使用しない。資料はAIDLE-Kにアップする。
履修上の注意点 及び取扱い	1 2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することができない。 2 出席管理システムにより出席の確認をする。 3 再試験は1回のみ実施する。 4 まとめテスト②の終了後、質問会を行う。日程は調整後、連絡する。
オフィスアワー	金曜日 16:10～17:40 C棟5階教授室6
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	哲学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Philosophy		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(兼 医学部)	◎ 川崎 優

科目概要	人の生命や生死をめぐる諸問題に関する哲学的な議論や、その問題をめぐる身近な他者の見解や価値観を知ること、生命の尊厳を重んじる豊かな感性や倫理観を身につける上で役に立つ。本科目では、医療の場では人の生死をめぐるどのような倫理的問題が生じているか、その問題に対してどのような考え方があるのかについて教員の解説やグループワークでの対話を通じて学ぶ。
目標	1 人の生死をめぐる諸問題に対してどのような哲学的議論がなされているか説明できる。「DP:1」 2 人の生死をめぐる諸問題に対する他者の見解や価値観について自分の言葉で説明できる。「DP:1」 3 人の生死をめぐる諸問題について自分の意見を述べる事ができる。「DP:1」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/14 (木)	1	基本となる理論(四原則・功利主義・義務論・徳倫理・ケアの倫理)	講義	前: 配付資料を読む 後: 配付資料をまとめる 各120分	川崎 優
2	2026/05/21 (木)	1	生殖補助医療(人工授精・体外受精・配偶子提供)	講義 GW	前: 配付資料を読む 後: 配付資料をまとめる 各120分	川崎 優
3	2026/05/28 (木)	1	代理出産	講義 GW	前: 配付資料を読む 後: 配付資料をまとめる 各120分	川崎 優
4	2026/06/04 (木)	1	いのちの始まり、パーソン論	講義 GW	前: 配付資料を読む 後: 配付資料をまとめる 各120分	川崎 優
5	2026/06/18 (木)	1	人工妊娠中絶の是非をめぐる議論	講義 GW	前: 配付資料を読む 後: 配付資料をまとめる 各120分	川崎 優
6	2026/06/25 (木)	1	臓器移植と脳死	講義 GW	前: 配付資料を読む 後: 配付資料をまとめる 各120分	川崎 優
7	2026/07/02 (木)	1	安楽死の分類、作為と不作為、意図と予見	講義 GW	前: 配付資料を読む 後: 配付資料をまとめる 各120分	川崎 優
8	2026/07/09 (木)	1	安楽死の是非をめぐる議論	講義 GW	前: 配付資料を読む 後: 配付資料をまとめる 各120分	川崎 優

評価方法	小レポート(75%)、リアクションペーパー(25%)
------	----------------------------

教科書・参考書	教科書： 使用しない 参考書： 1 赤林朗他（2017）：「入門・医療倫理1」、改訂版、勁草書房、定価3,300円（税込み） 2 マイケル・サンデル（2011）：「これからの「正義」の話をしよう」、早川書房、定価990円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	1 出席管理システム（講義開始前と終了後のカードリーダーへの打刻）により出席の確認をする。 2 授業時間内で課題提出（小レポート3回、リアクションペーパー5回）を求める。 3 小レポートでは自分の意見の論述、リアクションペーパーでは授業の感想等の記述を求める。 4 基本的に、授業時間内で小レポートとリアクションペーパーの内容を踏まえたフィードバックを行う。授業時間内の実施が難しい場合は、AIDLE-KIに掲載する。 5 欠席者が課題提出を希望する場合は担当教員にメールで連絡をすること。ただし、欠席者の提出課題は8割評価とする。
オフィスアワー	火曜日 16:30～17:30 基礎科学棟2階 B203研究室 Email: kawasaki.yuu.848@mail.aichi-med-u.ac.jp
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	文学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Literature		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 安井 海洋

科目概要	文学とは、言語を表現の媒介とする芸術一般のことである。本科目では、文学作品を通して、様々な人間の心情や行動について学ぶ。更に、これらの作品に触れることで、豊かな感性、創造性・表現力を養う。そのために、本科目では、日本の短編小説を中心とした文学作品を読み、理解するための方法を概説する。その上で、受講する学生一人ひとりが文学作品を味読できるようになることを目指す。
目標	1 日本の近現代文学のテキストを分析的に読解することができるようになる。「DP：1・2・4」 2 自身が行った読解について、他者に向かって、適切かつ効果的に伝えることができるようになる。「DP：1・2」 3 文学とそれ以外の文化との接続について考え、そこから問題点を発見して、その問題について論理的に論じることができるようになる。「DP：1・2・4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/14 (木)	5	イントロダクション。講義内容のガイダンス。読んでもらう作品の紹介。	講義	後：紹介された作品を読む。(240分)	安井 海洋
2	2026/05/28 (木)	5	書物という物質：印刷、製本、装丁、挿絵、絵本、マンガなど	講義	後：第1回で紹介された作品を読む。講義で紹介された本を図書館や書店などで実際に手に取ってみる。(240分)	安井 海洋
3	2026/06/04 (木)	5	伝達と解釈：作品を書く／読むとはどういう行為か	講義	後：森鷗外「高瀬舟」を読む。その他気になった作品(自由)を読む、見る、聴くなどして自分で解釈してみる。(240分)	安井 海洋
4	2026/06/18 (木)	5	作品論①国語教科書の作品を大学で読む：森鷗外「高瀬舟」	講義	前：森鷗外「高瀬舟」を読む。(120分) 後：講義の内容を踏まえて「高瀬舟」を再読する。(120分)	安井 海洋
5	2026/06/25 (木)	5	作品論②安楽死という解釈をめぐる：森鷗外「高瀬舟」(続き)	講義	後：講義中に指定した作品を読む。(240分)	安井 海洋
6	2026/07/02 (木)	5	作品論③映像とことばの違い	講義	前：講義中に指定した作品を読む。(120分) 後：講義の内容を踏まえて、講義中に指定した作品を読む。(120分)	安井 海洋
7	2026/07/09 (木)	4	作品論④歴史記述と文学・マンガ	講義	前：講義中に指定した作品を読む。(120分) 後：これまでの講義内容を	安井 海洋

					整理し、期末レポートに備える。(120分)	
8	2026/07/16 (木)	4	まとめ	講義	後：これまでの内容を整理し、期末レポートに備える。(240分)	安井 海洋
評価方法		出席・授業への参加状況(30%)、講義時のミニレポート(30%)、期末レポート(40%) 不合格者へは原則として1回再試験(レポート)を行う。				
教科書・参考書		教科書： 授業時に配布(ウェブサイト「青空文庫」で公開しているものがあれば、そこからダウンロードしたものでも可)。 スケジュールの前半では森鷗外「高瀬舟」を扱う。 後半では受講者の反応を見たいので、講師が作品を指定する。 参考書： ・山崎義光ほか編『日本近現代文学史への招待』ひつじ書房、2024年 ・橋本陽介『物語論 基礎と応用』講談社選書メチエ、2017年 ・廣野由美子『批評理論入門 『フランケンシュタイン』解剖講義』中公新書、2005年 その他、講義中に適宜指定する。				
履修上の注意点 及び取扱い		毎回、講義に対する意見・感想を記し、ミニレポートとして提出する。記入の時間は講義時間内に設ける。 ミニレポートに対しては毎回講義内容と関わりの深いものを匿名で紹介し、コメントすることでフィードバックとする。その他、課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。				
オフィスアワー		授業終了後に受け付ける。それ以外の時間ではメール等にて随時対応する。メールアドレスは講義中に告知する。				
備考		・期末レポートでは、講義で紹介した作品いずれかについて論じることを課題とする。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	教育学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Pedagogy		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 肥田 武

科目概要	教育という営みの成り立ちを学ぶことにより、複雑性という教育の本質を理解し、実践を科学的に検討することの意義を知る。 他方、実践を効果的に進めるために有用な、規範的な知識・技術・態度の基礎も身につける。 それらを踏まえて具体的な学修指導のプランを立てることによって、教育という営みを疑似的に体験し、学びを統合する。
目標	1 人の発達と学習に関する基本的な考え方を説明することができる。「DP：1・2」 2 指導に関する基本的な考え方を説明することができる。「DP：1・2」 3 上述の知識や考え方を適用し効果的な指導計画を立てることができる。「DP：2」 4 学習者の自発的な学びを引き出すことの重要性を認めることができる。「DP：1」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/11/12 (木)	1	教育と学習の重要性（初回ガイダンス含む）：看護師が行う教育、教育の目的	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：授業内課題に引き続き取り組み提出する。 各120分	肥田 武
2	2026/11/19 (木)	1	発達、学習意欲：発達理論、動機づけ、結果期待、効力期待	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：授業内課題に引き続き取り組み提出する。各120分	肥田 武
3	2026/11/26 (木)	1	指導者、コミュニケーション：指導者の役割、効果的なコミュニケーション技法	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：授業内課題に引き続き取り組み提出する。 各120分	肥田 武
4	2026/12/03 (木)	1	指導設計1：目標設定、教材作成	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：授業内課題に引き続き取り組み提出する。 各120分	肥田 武
5	2026/12/03 (木)	2	指導設計2：指導過程、評価	講義	予習：講義内容のキーワードについて知識を得る（教科書参照）。 復習：授業内課題に引き続	肥田 武

					き取り組み提出する。 各120分	
6	2027/01/07 (木)	1	学習指導案を書く① 学習者理解に基づく目標設定	ワーク	予習：指導案の構想を練る (配布資料・教科書参照)。 復習：授業で得たアイデア を指導案に反映する。 各120分	肥田 武
7	2027/01/14 (木)	1	学習指導案を書く② 学びを促進する指導過程と教材作成	ワーク	予習：指導案の構想を練る (配布資料・教科書参照)。 復習：授業で得たアイデア を指導案に反映する。 各120分	肥田 武
8	2027/01/21 (木)	1	学習指導案を書く③ 学びを継続させる評価活動	ワーク	予習：指導案の構想を練る (配布資料・教科書参照)。 復習：授業で得たアイデア を指導案に反映する。 各120分	肥田 武
9	2027/01/28 (木)	2	定期試験			肥田 武

評価方法	定期試験60%、毎時の課題40%
教科書・参考書	教科書： なし 参考書： 1 中井俊樹ほか編著：「看護のための教育学 第2版」、医学書院、2022、定価2,530円（税込み） 2 中井俊樹ほか編著：「看護現場で使える教育学の理論と技法」、メディカ出版、2014、定価3,080円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	1 課題提出が少なくないため、積極的な学習を求める。 2 出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。 3 出欠は、入室時と退室時のカードリーダーへの打刻で確認する。2回目の打刻がない場合は、欠席扱いとする。 4 再試験は1回のみとする。 5 定期試験後には、質問を受け付ける。期日等は追って知らせる。 6 生成AIの使用可否と制限は課題毎に担当教員が指示するため、それに従うこと。
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。 また、下記メールアドレスへのメールで対応することも可能。 Email : t.hida.t@ikc.ac.jp
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	音楽		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Music		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択< A 組 >		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 森川 泉

科目概要	音楽は人間に特有の非言語的な伝達様式であり、聴覚、視覚、触覚などの感覚器を通して受容される刺激の一つである。 この音楽が人間のこころと身体にどのような影響をもたらすのか、またどのように他者とのコミュニケーション手段となるのか、音楽療法で用いられる音楽を実体験するとともに学ぶ。
目標	1 音・音楽の体験を通して、自己を見つめ自らの感性を磨く機会とし、豊かな人間性とは何かについて考えることができる。「DP：1・2」 2 音楽療法を実体験することで、「他者とのコミュニケーション」について考えることができる。「DP：2・3」 3 本講義で得た知識、体験を通して創造性を育み、自らの生活、臨床現場に音楽を活用できる。「DP：2・3」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/17 (木)	1	音楽とは何か：音楽の成り立ちと人間との関わり	講義とCD鑑賞	自分と音楽の関わりについて考える。 240分	森川 泉
2	2026/09/24 (木)	2	音楽療法の基礎知識	講義とDVD視聴、CD鑑賞 受動的音楽療法体験	前回の資料の復習。人間と音楽の関わりについてまとめる。 240分	森川 泉
3	2026/10/01 (木)	1	音楽療法の実際：高齢者領域の音楽療法	講義とCD鑑賞 ワークショップ	前回の資料の復習。音楽療法について概要をまとめる。 240分	森川 泉
4	2026/10/08 (木)	2	音楽療法の実際：小児領域の音楽療法	講義とDVD視聴 ワークショップ	前回の資料の復習。高齢者の音楽療法プログラムについてまとめる。 240分	森川 泉
5	2026/10/15 (木)	1	音楽療法の実際：成人、精神科領域の音楽療法 音楽療法活動の構成説明	講義とCD鑑賞 ワークショップ 音楽療法プログラムの試作	前回の資料の復習。小児の音楽療法プログラムについてまとめる。 240分	森川 泉
6	2026/10/22 (木)	2	能動的音楽療法プログラム作成、練習	音楽を使用したGW	前回の資料の復習。成人、精神科領域の音楽療法プログラムについてまとめる。	森川 泉

					プログラム作成のため、音楽療法の基礎知識を復習。 240分	
7	2026/10/29 (木)	1	能動的音楽療法プログラム発表	音楽を使用したGW	プログラム遂行のための練習。 240分	森川 泉
8	2026/11/05 (木)	2	音楽療法の実際：医療における音楽療法（緩和ケア領域を含む） 講義のまとめ	講義とDVD視聴 ワークシ ョップ	これまでの講義を概観し、 レポートを作成する。 240分	森川 泉
評価方法		レポート：50%、授業への参加状況（小レポート含む）：20%、グループワーク（参加必須）：30%				
教科書・参考書		教科書： 講義時にプリントを配付する。 参考書： 1 日野原重明、他：「標準音楽療法入門（上）」、春秋社(1998/7)、定価3,080円（税込み） 2 日野原重明、他：「標準音楽療法入門（下）」、春秋社(1998/7)、定価3,520円（税込み）				
履修上の注意点 及び取扱い		1 出欠について：毎回必ず出欠を取る。なお、30分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。 2 レポート提出の要件：出席が3分の2に達していない場合、グループワークに参加しなかった場合は、提出資格を認めない。 3 音楽が人に与える影響について実体験を通して学ぶため、積極的な講義への参加が望まれる。 4 不合格の場合は、再レポートを提出する。 5 フィードバック GW（グループワーク）、小レポート等のフィードバックは全体で共有できるように講義時間内に行う。				
オフィスアワー		講義終了後、教室にて質問を受け付ける。				
備考		予習として該当する領域に関する疾患等を調べる。講義後は講義内容を振り返り、興味を持った音楽活動、音楽療法プログラムについて、実際に活用できるか考えてみること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	音楽		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Music		
科目区分	教養科目群 人文科学		
必修・選択<組>	選択<B組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 森川 泉

科目概要	音楽は人間に特有の非言語的な伝達様式であり、聴覚、視覚、触覚などの感覚器を通して受容される刺激の一つである。 この音楽が人間のこころと身体にどのような影響をもたらすのか、またどのように他者とのコミュニケーション手段となるのか、音楽療法で用いられる音楽を実体験するとともに学ぶ。
目標	1 音・音楽の体験を通して、自己を見つめ自らの感性を磨く機会とし、豊かな人間性とは何かについて考えることができる。「DP：1・2」 2 音楽療法を実体験することで、「他者とのコミュニケーション」について考えることができる。「DP：2・3」 3 本講義で得た知識、体験を通して創造性を育み、自らの生活、臨床現場に音楽を活用できる。「DP：2・3」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/17 (木)	2	音楽とは何か：音楽の成り立ちと人間との関わり	講義とCD鑑賞	自分と音楽の関わりについて考える。 240分	森川 泉
2	2026/09/24 (木)	1	音楽療法の基礎知識	講義とDVD視聴、CD鑑賞 受動的音楽療法体験	前回の復習。人間と音楽の関わりについてまとめる。 240分	森川 泉
3	2026/10/01 (木)	2	音楽療法の実際：高齢者領域の音楽療法	講義とCD鑑賞 ワークショップ	前回の復習。音楽療法の基礎知識について概要をまとめる。 240分	森川 泉
4	2026/10/08 (木)	1	音楽療法の実際：小児領域の音楽療法	講義とDVD鑑賞 ワークショップ	前回の復習。高齢者の音楽療法プログラムについてまとめる。 240分	森川 泉
5	2026/10/15 (木)	2	音楽療法の実際：成人、精神科領域の音楽療法 音楽療法活動の構成説明	講義とCD鑑賞 ワークショップ 音楽療法プログラムの試作	前回の復習。小児の音楽療法プログラムについてまとめる。 240分	森川 泉
6	2026/10/22 (木)	1	能動的音楽療法プログラム作成、練習	音楽を使用したGW	前回の復習。成人、精神科領域の音楽療法プログラムについてまとめる。プログ	森川 泉

					ラム作成のため、音楽療法の基礎知識を復習。 240分	
7	2026/10/29 (木)	2	能動的音楽療法プログラム発表	音楽を使用したGW	プログラム遂行のための練習。 240分	森川 泉
8	2026/11/05 (木)	1	音楽療法の実際：医療における音楽療法（緩和ケア領域を含む） 講義のまとめ	講義とDVD視聴 ワークシ ョップ	これまでの講義を概観しレポートを作成する。 240分	森川 泉
評価方法		レポート：50%、授業への参加状況（小レポート含む）：20%、グループワーク（参加必須）：30%				
教科書・参考書		教科書： 講義時にプリントを配付する。 参考書： 1 日野原重明、他：「標準音楽療法入門（上）」、春秋社(1998/7)、定価3,080円（税込み） 2 日野原重明、他：「標準音楽療法入門（下）」、春秋社(1998/7)、定価3,520円（税込み）				
履修上の注意点 及び取扱い		1 出欠について：毎回必ず出欠を取る。なお、30分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。 2 レポート提出の要件：出席が3分の2に達していない場合、グループワークに参加しなかった場合は、提出資格を認めない。 3 音楽が人に与える影響について実体験を通して学ぶため、積極的な講義への参加が望まれる。 4 不合格の場合は、再レポートを提出する。 5 フィードバック GW（グループワーク）、小レポート等のフィードバックは全体で共有できるように講義時間内に行う。				
オフィスアワー		講義終了後、教室にて質問を受け付ける。				
備考		予習として該当する領域に関する疾患等を調べる。講義後は講義内容を振り返り、興味を持った音楽活動、音楽療法プログラムについて、実際に活用できるか考えてみること。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	統計学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Statistics		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 箕浦 哲嗣

科目概要	統計に関する基礎知識はあらゆる分野で必要であり、とくにメディカル／コ・メディアカルの分野では、身体 の検査から、薬効の判断等々、更に保健所の調査まで、統計が使われる場面が非常に多い。看護研究においても量 的研究を実施し、臨床看護・地域看護など様々な看護ケア関連のデータを分析する上でも、記述統計学・推測統 計学の知識・技術が必須となる。また研究者でなくとも、保健統計資料や量的研究結果を正しく理解し利用する ためには、統計学の知識を持つことが重要となる。本科目では、様々な場面で使われる統計の知識を身に付け、 それらを正しく運用する能力を養う。
目標	1 看護研究において必要な統計リテラシーを修得できる。「DP：5」 2 データを読み、説明し、扱うことができる。「DP：5」 3 いくつかの確率分布、さらには推定・検定に使われる式の意味を説明できる。「DP：5」 4 区間推定を行うことができる。「DP：5」 5 仮説検定を行うことができる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/18 (金)	3	データ・AIの技術	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載 されている配付資料を印刷 して読む。 後：配付資料を読み、演習 問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
2	2026/09/25 (金)	3	データを読み、説明し、扱う	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載 されている配付資料を印刷 して読む。 後：配付資料を読み、演習 問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
3	2026/10/02 (金)	3	確率と確率分布	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載 されている配付資料を印刷 して読む。 後：配付資料を読み、演習 問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
4	2026/10/09 (金)	3	記述的解析	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載 されている配付資料を印刷 して読む。 後：配付資料を読み、演習 問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
5	2026/10/16 (金)	3	大事な分布	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載 されている配付資料を印刷 して読む。	箕浦 哲嗣

					後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	
6	2026/10/23 (金)	3	区間推定と t 分布	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
7	2026/10/30 (金)	3	検定2 標本と母集団の平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
8	2026/11/06 (金)	3	独立サンプルの平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
9	2026/11/13 (金)	3	対応のあるサンプルの平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
10	2026/11/20 (金)	3	一元配置分散分析 多重比較 3 群以上の平均値の差の検定	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
11	2026/11/27 (金)	3	比率の差の検定 適合度の検定、独立性の検定、イエーツの連補正	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
12	2026/12/04 (金)	3	相関と回帰 相関係数、回帰直線、母相関検定、順位相関係数、相関係数の信頼区間	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
13	2027/01/08 (金)	3	多変量解析 連立方程式の解法 重回帰分析	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
14	2027/01/15 (金)	3	多変量解析 ロジスティック回帰分析	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
15	2027/01/22 (金)	3	因子分析（論文読解） 探索的因子分析 確証的因子分析	講義 演習	前：木曜朝にAIDLE-K掲載されている配付資料を印刷して読む。 後：配付資料を読み、演習問題を復習する。 前後各120分	箕浦 哲嗣
16	2027/01/29 (金)	3	定期試験			箕浦 哲嗣

評価方法	授業中に課す課題をAIDLE-Kで活動量として得点化します。定期試験は70%、活動量30%で評価します。
教科書・参考書	教科書は使用しません。AIDLE-Kで配付する資料を、印刷して熟読してから授業に臨んでください。
履修上の注意点 及び取扱い	1 電卓（ルートの計算が可能なもの：スマホ不可）および講義用配付資料を必ず準備すること。 2 AIDLE-Kを活用しますので、予習復習に用いること。得点化されます。 3 提出課題に記載された学生のコメントには、次回の授業にてフィードバックします。 4 提出課題は次週までに提出すること。提出が無い場合は欠席とします。2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができません。 5 定期試験に不合格の場合は再試験を1回実施します。再試験に不合格の場合は次年度に再履修を要します。
オフィスアワー	講義開始前および終了後に受け付けます。
備考	AIおよび統計学に関して、最新の知見を取り入れて授業を構成しています。

講義名	数学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Mathematics		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授(兼 医学部)	◎ 橋本 貴宏

科目概要	看護学を学ぶために必要な自然科学の基盤となっているのが数学である。この科目の主目的は、高校までに学んだ数学を再確認して大学での学問への橋渡しをするとともに、看護研究に必要な統計学及び新時代の看護に必要なAI・データサイエンスを学修するための数学の基礎を修得することである。
目標	1 高校までに学んできた数学を整理し、大学における学問修得の土台とすることができる。「DP：5」 2 数学を学ぶことにより、課題解決のための論理的な思考ができる。「DP：5」 3 統計学やAI・データサイエンスを学ぶための基礎固めができる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/25 (月)	1	文字と式：方程式、不等式、グラフ	講義 演習	前：教 p.1-18を読む。 後：配付資料を読み返し、 演習問題を復習する。 前後各120分	橋本 貴宏
2	2026/06/01 (月)	1	数列：等差数列と等比数列、漸化式、お金の計算	講義 演習	前：教 p.19-55を読む。 後：配付資料を読み返し、 演習問題を復習する。 前後各120分	橋本 貴宏
3	2026/06/15 (月)	1	ベクトルと行列：数ベクトル、行列の演算、ネット ワーク分析	講義 演習	前：教 p.57-80を読む。 後：配付資料を読み返し、 演習問題を復習する。 前後各120分	橋本 貴宏
4	2026/06/22 (月)	1	関数：数学モデル、指数関数と対数関数、三角関数	講義 演習	前：教 p.81-120を読む。 後：配付資料を読み返し、 演習問題を復習する。 前後各120分	橋本 貴宏
5	2026/06/29 (月)	1	確率：確率の定義、条件付き確率、ベイズの定理	講義 演習	前：教 p.121-133を読む。 後：配付資料を読み返し、 演習問題を復習する。 前後各120分	橋本 貴宏
6	2026/07/06 (月)	1	微分積分：微分、微分で現象をとらえる、積分と面 積	講義 演習	前：教 p.175-216を読む。 後：配付資料を読み返し、 演習問題を復習する。 前後各120分	橋本 貴宏
7	2026/07/13 (月)	1	コンピュータを利用した数学：現象をとらえる数 学、推移行列、固有値と固有ベクトル ICTを活用した演習を行う	講義 演習	前：教科書全体に目を通し ておく。 後：配付資料を読み返し、 演習問題を復習する。 前後各120分	橋本 貴宏

8	2026/07/27 (月)	1	基礎数学のまとめ：総復習、問題演習	演習 講義	前：演習問題を解いておく。 後：教科書・講義ノートを復習する。 前後各120分	橋本 貴宏
9	2026/08/03 (月)	2	定期試験			橋本 貴宏
評価方法		定期試験は70%、授業中に課せられる課題演習への取り組みは30%で評価する。				
教科書・参考書		教科書： 1 川添充、岡本真彦 著：「思考ツールとしての数学」共立出版（2021）定価2,530円（税込み） 参考書： 1 岡嶋裕史、吉田雅裕 著：「はじめてのAIリテラシー（改定新版）」技術評論社（2024）定価1,848円（税込み） 2 高等学校「数学」教科書を参考図書とする				
履修上の注意点 及び取扱い		1 数学II までの履修を前提とする。 2 AIDLE-Kを有効活用し、各自が自学自習に励むこと。 3 AIDLE-Kの課題やフィードバックには、次回の授業にて応答する。 4 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 5 課題をすべて提出しないと単位は認定しない。 6 定期試験に不合格の場合は再試験を1回実施する。				
オフィスアワー		金曜日 17:30～19:00 基礎科学棟2階B202研究室				
備考		・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	生命科学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Life Science		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授(兼 医学部)	◎ 池野 正史
准 教 授(兼 医学部)	兵頭 寿典
講 師(兼 医学部)	土本 純

科目概要	医学は生命科学・生物学の土台の上に成り立っている。医療、看護の現場に立つものとしては、医療の最新知識の一端や考え方を理解しておく必要性がますます高くなっている。またこれは、解剖生理学や栄養学および臨床科目を学ぶための基本ともなる。 当該科目は、生物を履修したことがない学生はもとより、生物を得意とする学生においても、従来とは大きく変容している「現代生命科学」がいかに医療に繋がっているかを中心に学び、生命科学の概論を医療人として論じることが出来ることを目標とする。 医療の現場で命とは何かを考える際、また疾患に接した際に、科学として説明できるための基礎知識は必須です。
目標	1 生命科学と現代社会のかかわりに関して答えることができる。「DP：5」 2 生命の基本単位である細胞と現代遺伝学の基礎を概説できる。「DP：5」 3 ゲノム情報の発現と発生の基本原理、がんなど 医療に関わる疾患メカニズムの基本原理を概説できる。「DP：5」 4 生化学・解剖生理学につながる 生命科学技術の進歩について概要を説明できる。「DP：5」 5 生命倫理に関わる基本原則とその生命科学的状況についての現状を説明できる。「DP：5」 6 医療検査技術に繋がる ゲノム解析および細胞解析の最新の状況を説明できる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/20 (月)	3	1) 生命科学とは何か：生物とは何か【第1章】、細胞の成り立ちと細胞内小器官【第2章1-3】	講義	前：教科書第1章、第2章p25- p 34を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 第1章2章のコラム欄をまとめてレポート作成：R 前後各30分、合計1時間 レポート作成に時間を振り分けてください	池野 正史
2	2026/04/27 (月)	3	2) 生命はどのように設計されているのか：生命の根本原理と遺伝、遺伝情報の伝達【第2章4、5】、科学技術の将来【第10章】	講義	前：教科書第2章p34- p42、第10章を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 第1章2章のコラム欄をまとめてレポート作成：前後各30分、合計1時間	池野 正史
3	2026/05/11 (月)	4	3)ゲノム情報はどのように発現するのか：遺伝子の発現を調節するもの【第3章】	講義	前：教科書第3章を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 前後各30分、合計1時間	兵頭 寿典

					レポート作成に時間を振り分けてください。	
4	2026/05/18 (月)	4	4) 複雑な体はどのようにしてつくられるか：発生、再生医療【第4章】	講義	前：教科書第4章を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 第3、4章のコラム欄をまとめてレポート作成：R 前後各30分、合計1時間 レポート作成に時間を振り分けてください。	土本 純
5	2026/05/25 (月)	4	5) 脳はどこまでわかったか：最新の神経科学と神経疾患【第5章】	講義	前：教科書第5章読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 前後各30分、合計1時間 レポート作成に時間を振り分けてください。	土本 純
6	2026/06/01 (月)	4	6) がんとはどのような病気か：細胞増殖および細胞死、がんの診断・治療【第6章】	講義	前：教科書第6章読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 前後各30分、合計1時間 レポート作成に時間を振り分けてください。	池野 正史
7	2026/06/15 (月)	4	7) 私たちの食と健康の関係：体の維持と代謝、生物エネルギーとATP・酵素【第7章】	講義	前：教科書第7章を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 第7章までのコラム欄をまとめてレポート作成：R 前後各30分、合計1時間 レポート作成に時間を振り分けてください。	兵頭 寿典
8	2026/06/29 (月)	4	8) ヒトは病原体にどのように備えるか：免疫応答のしくみ、免疫を活かした疾患の予防【第8章】	講義	前：教科書第8章を読む。 後：教科書と講義資料を読み理解をまとめる。 前後各30分、合計1時間 必要最低限のまとめを1時間程度お願いします。	池野 正史
9	2026/08/03 (月)	4	定期試験			池野 正史

評価方法	定期試験(筆記試験：60%)を中心に多面的な観点から評価をする。講義中の振り返り、自主的な課題レポート提出(30%)、授業への参加態度およびAIDLE-Kへのアクセス(10%)として、総合的に評価する。学生みなさんのレポート提出などの積極的な取り組みが評価につながるものと理解しての参加を期待する。なお、成績評価に対する異議申し立てに応じ、再試験は1回のみとする。再試験にあたっては、原則、定期試験に準ずる筆記試験とするが、総合評価の観点からレポートなどの提出を行うこともある。
教科書・参考書	教科書： 1 東京大学生命科学教科書編集委員会編：「現代生命科学 第3版」、羊土社(2020/3)、定価3,080円(税込み)を教科書として、さまざまな観点から利用してもらうので教科書を初回から準備することを薦めます。 参考書： 1 鈴木孝仁監修：「フォトサイエンス生物図録」、数研出版(2017/2)、定価1,220円(税込み) 参考書については、高校で用いていた図録があれば使用してください。物理選択だった学生は、友人からの借り受けでも構いません。
履修上の注意点及び取扱い	1 試験は原則として学則に準じる。 2 講義を欠席すると評価(参加態度)に影響するので、出来る限りの出席を促します。 3 30分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。また講義中の積極的な参加は評価に加える。 4 定期試験に合格しなかった場合には再試験を1回のみ行う。 5 定期試験前に試験勉強に向けての対策と振り返りを行う。 6 講義のフィードバック等が必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。
オフィスアワー	池野 正史 火曜日 12:40~13:30 基礎科学棟2階B208研究室 兵頭 寿典 水曜日 12:40~13:30 基礎科学棟2階B205研究室 土本 純 原則として、講義終了後に対応します。 (担当教員のいずれかが何らかの形で常に対応できるようにしますが、必ず事前のメール連絡が講義後のアポイントメントをお願いします。)

備考	1 講義 (1) 毎回講義前に教科書の該当箇所に目を通してくること（1コマあたり事前学習30分）。教科書を常にとってくることを必須とします。教科書はその後の学修にも、また読み物としても参考にも使える書籍です。ノートは必要とせず、教科書の中への書き込みを推奨しています。 (2) 定期的に講義のはじめあるいは後半に講義内容に関する振り返りを行ったうえで簡単な小テストを行うこともある。必ず知っておいてほしい事項は講義のなかで指示するため、数分でも振り返りをしておくことを推奨します。 (3) 定期的に該当項目に関する簡単な自発的なレポート提出をしてもらいますので（教科書のコラム欄を中心とした自学振り返り）、各自事後課題を行っておくこと（1コマあたり60分程度）。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。
----	---

講義名	化学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Chemistry		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授(兼 医学部)	◎ 有信 哲哉

科目概要	生命現象を分子レベルで理解するための基盤として、有機立体化学の基本を学ぶ。生体分子の機能や役割を分子レベルで理解するために化学の基礎力を養い、今後さらに発展する看護学・医学・生命科学に対して、生涯にわたり自律的に学び続けるための学力基盤を築くことを目的とする。
目標	1 有機化合物の立体構造を表記できる。「DP：5」 2 重要な有機化合物の性質・反応性を説明できる。「DP：5」 3 生体を構成する分子の構造的特徴について述べるができる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/22 (水)	4	第一周期、第二周期の元素の電子式	講義	前：電子式について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前30分、後60分	有信 哲哉
2	2026/04/22 (水)	5	第三周期の元素の電子式、周期表、共有結合	講義	前：第三周期の元素の電子式、周期表、共有結合について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前30分、後60分	有信 哲哉
3	2026/05/13 (水)	4	結合角と分子の形、VSEPA理論	講義	前：結合角と分子の形、VSEPA理論について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前30分、後60分	有信 哲哉
4	2026/05/13 (水)	5	官能基、骨格構造式	講義	前：官能基、骨格構造式について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前30分、後60分	有信 哲哉
5	2026/05/20 (水)	4	立体化学（立体中心）	講義	前：立体中心について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前30分、後60分	有信 哲哉
6	2026/05/20 (水)	5	RS配置（CIP順位則）	講義	前：RS配置（CIP順位則）について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリ	有信 哲哉

					ントを復習すること。 前30分、後60分	
7	2026/06/03 (水)	3	立体化学（立体配座）	講義	前：立体配座について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前30分、後60分	有信 哲哉
8	2026/06/03 (水)	4	生体分子（糖、アミノ酸、タンパク質）	講義	前：糖、アミノ酸、タンパク質について、事前に調べておく。 後：講義ノート、配付プリントを復習すること。 前30分、後60分	有信 哲哉
9	2026/08/05 (水)	4	定期試験			有信 哲哉

評価方法	定期試験（90%）、提出物、授業の参加態度（10%）で総合的に評価する。					
教科書・参考書	HGS 分子模型A型セッター有機化学入門用一、丸善出版、2017/3、定価2,200円(税込) [ISBN978-4-621-10601-3] 「書籍ではありませんが、履修する上で購入が必須です。」					
履修上の注意点 及び取扱い	1 出欠席について 出席管理システムにより出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は欠席扱いとする。 2 定期試験 (1) 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得できない。 (2) 追試験は避けられない事情で試験を受けられない理由に対して行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 (3) 定期試験に不合格の場合は、再試験を1回実施する。 3 講義等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。					
オフィスアワー	火曜日 12:40～13:30 水曜日 12:40～13:30 E-mail: arinobu@aichi-med-u.ac.jp 基礎科学棟 1階化学研究室(B105)にて、質問を受け付けています。 メールで事前に連絡を取って頂ければ、他の時間帯も対応可能な場合があります。					
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。					

講義名	物理学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Physics		
科目区分	教養科目群 自然科学		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授(兼 医学部)	◎ 仙石 昌也

科目概要	物理学は、自然界の様々な現象を対象として、複雑な現象に隠れた基本的な法則を探究する学問である。人体や医療に関する様々な事象が物理学の基本法則から理解できることや、診断や治療機器等の基礎となる原理などについて学ぶ。本科目では、科学的な根拠に基づく看護実践のための基礎となる物理学の基本的な概念や考え方を理解し、様々な生体現象や医療機器の原理が物理学の法則から説明できることを学ぶ。
目標	1 力の合成や力のモーメント、運動に関する基本知識や法則を使って、医療・看護その他の具体例と関連づけることができる。「DP：5」 2 圧力に関する基本的な性質や法則を使って、医療分野での具体例や適用例を説明できる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/20 (月)	4	医療・看護学と物理学、国際単位系	講義 演習	前：看護学や物理学は何を対象とした学問か、国際単位系とは何か、事前に調査または考えを整理しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石 昌也
2	2026/04/22 (水)	3	物理学の基礎知識（物理学の考え方、ベクトル・スカラー）	講義 演習	前：ベクトル・スカラーについて事前に調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石 昌也
3	2026/04/28 (火)	1	看護とボディメカニクス 1（力のモーメント）	講義 演習	前：力のモーメントについて、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石 昌也
4	2026/04/28 (火)	2	看護とボディメカニクス 2（てこの原理、つりあい、重心と安定性）	講義 演習	前：てこの原理やつり合い等について、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理し	仙石 昌也

					たり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	
5	2026/05/12 (火)	1	慣性と運動の物理学（ニュートンの運動法則）	講義 演習	前：ニュートンの運動法則について、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石 昌也
6	2026/05/12 (火)	2	圧力の基礎知識(大気圧、医療現場で使われる圧力の単位)	講義 演習	前：圧力の定義や大気圧、浮力について、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石 昌也
7	2026/05/19 (火)	1	流体の性質（浮力、パスカルの原理、流体の高さと圧力）	講義 演習	前：医療現場で使われる圧力の単位や浮力、パスカルの原理について、事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石 昌也
8	2026/05/26 (火)	1	流体に関する医療分野の適用例（ベルヌーイの定理、真空採血管、サイフォン）	講義 演習	前：ベルヌーイの定理、真空採血管、サイフォンについて事前に参考書やWEB等で調査しておくこと。 後：配付した資料や演習問題を確認し、内容を整理したり、自分で解いたりして復習すること。 前60分、後180分	仙石 昌也
9	2026/08/05 (水)	2	定期試験			仙石 昌也

評価方法	課題およびAIDLE-Kを使った演習問題等の提出(20%)、定期試験(80%)
教科書・参考書	教科書： 使用しない。 参考書： 1 平田雅子著：「[完全版]ベッドサイドを科学する-看護に生かす物理学」改訂第4版(2021)、学研メディカル秀潤社、定価3,080円(税込み) 2 佐藤和良著：「看護学生のための物理学」第6版、医学書院(2022)、定価2,530円(税込み) 3 青木和雄編：「系統看護学講座 基礎分野 物理学」、医学書院(2015)、定価2,420円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	1 単位取得の要件 (1) 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 (2) 不合格の場合は、再試験を行う。 2 遅刻・欠席・早退について 30分以上の遅刻は欠席とみなす。 3 ICTの活用について 講義ではAIDLE-Kを使って演習問題を解答するため、講義室内でAIDLE-Kにログインできるデバイスを毎回持参する。生成AIを使用する場合は、担当教員からの指示・注意事項に従うこと。 4 課題等に関するフィードバック 講義内およびAIDLE-Kのフィードバック機能を利用して演習問題等の解説をする。
オフィスアワー	火曜日 16:00~18:00 基礎科学棟1階B101研究室(アドミッションセンター)
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	情報科学 I		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Information Science I		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択<組>	必修< A 組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師 (非)	◎ 片山 清和

科目概要	現在多くの医療機関では医療情報システム（いわゆる電子カルテ）が導入されるとともに、地域を含めた広域のネットワークが構築されている。また近年では、医療情報システムにＡＩが導入されつつある。 本科目は、情報化によって医療・看護に何がもたらされるかに着目し、蓄積された情報の有効活用、安全性確保、更に患者データの不備・誤りによる医療ミスや医療過誤の危険性について学ぶ。また、情報機器の仕組みや、医療情報システム利用における基礎能力としてタイピングや文書作成やデータ入力・加工について学ぶ。またデータサイエンス・ＡＩの基本的な知識やスキルについても学ぶ。
目標	１ ネットワークとコンピュータ（パソコン・タブレット・スマホなどの機器）の基本的な概念を説明できる。「DP：５」 ２ セキュリティ確保・個人情報保護・著作権を理解し、適切に対処・行動できる。「DP：１・５」 ３ データサイエンス・ＡＩを理解し、データを適切に扱え、活用できる。「DP：５」 ４ WordやExcelを用いて情報を積極的に利活用できる。「DP：５」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/17 (金)	1	ガイダンス、看護情報学とは 看護師に要求される看護情報能力 社会で起きている変化と活用されているデータ データ・ＡＩの活用領域	講義	前：看護情報学、 Society5.0について調べる。 後：講義内容をまとめる。 特にSociety5.0での看護について考えてまとめる 前後各30分	片山 清和
2	2026/04/24 (金)	1	コンピュータの基礎 インターネットの仕組み 電子メールの利用	講義	前：コンピュータシステム について調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和
3	2026/05/01 (金)	2	看護における情報利活用 情報とは データ・情報・知識・知恵 情報の利活用 データ・ＡＩ利活用の現場	講義	前：看護情報について調べ、 教 1 p. 63-78を読む。 後：講義内容をまとめる。 特に看護におけるＡＩの利活用をまとめる。 前後各30分	片山 清和
4	2026/05/08 (金)	2	個人情報と情報倫理 個人情報とプライバシー 個人情報保護 看護における個人情報保護 データ・ＡＩ利活用における留意事項	講義	前：個人情報、個人情報保護法について調べ、 教 1 p. 95-104を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和
5	2026/05/15 (金)	1	知的財産権 産業財産権 著作権	講義	前：知的財産権について調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和

6	2026/05/22 (金)	1	医療情報システム 医療情報システム 医療情報システムと情報セキュリティ データを守る上での留意事項	講義	前：医療情報システムについて調べ、教 1 p. 112-116を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和
7	2026/05/29 (金)	2	データ・A I データ・A I 利活用のための技術と現場 データ・A I 利活用の最新動向	演習	前：教 1 p. 23-46を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和
8	2026/06/05 (金)	2	Word①：文書の作成 タイピングの仕方 書式設定 文書印刷	演習	前：教 2 p. 24-62を読みWordの使い方と文字入力の方法を理解する。 後：タイピング練習を行い、講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
9	2026/06/19 (金)	1	Word②：編集、表の作成、画像の挿入 配置設定 文字装飾 表の作成 画像の挿入・編集	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 66-101を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
10	2026/06/26 (金)	1	Excel①：データ入力とワークシート編集 表の作成 表の印刷	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 104-124を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
11	2026/07/03 (金)	2	Excel②：グラフ作成と編集 グラフ作成 グラフの編集	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 125-136を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
12	2026/07/10 (金)	2	Excel③：基本的な関数と条件関数 SUM関数とAVERAGE関数 MAX関数とMIN関数 COUNT関数とRANK関数 IF関数	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 144-159を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
13	2026/07/17 (金)	1	Excel④：データベース機能 LOOKUP関数 テーブル作成 ピボットテーブル	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 164-188を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
14	2026/07/24 (金)	1	PowerPoint：スライドの作成とスライドショー スライドの作成と編集 プレゼンテーション	演習	前：タイピング練習を行う。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
15	2026/07/31 (金)	2	タイピングテスト	演習	前：タイピング練習を行う。 後：Word、Excelの操作を復習する。 前後30分	片山 清和
16	2026/08/07 (金)	2	定期試験			片山 清和

評価方法	小テスト、レポート：10%、タイピングテスト：20%、提出課題：30%、定期試験：40% ・タイピングテスト高得点者には追加点を与える
教科書・参考書	教科書： 1 岡嶋裕史・吉田雅裕著「[改訂新版] はじめてのA I リテラシー」(2024)、技術評論社、定価 1,848円(税込み) 2 実教出版企画開発部編「30時間でマスター Word & Excel 2021」(2022)、実教出版、定価 1,100円(税込み)

	参考書： 太田勝正・前田樹海著「エッセンシャル看護情報学 2022年版」、医歯薬出版株式会社、2,750円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	1 履修について 事前・事後学習をしっかりと行うこと。特に事後学習を十分に行うこと。 2 講義・視聴覚資料について 許可なく録音・撮影することを禁ずる。 3 出欠席について (1) 出欠管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出欠を確認する。 (2) 講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前だけの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 (3) 遅刻・早退2回で1回の欠席扱いとする。 4 定期試験の受験資格について (1) 出席が3分の2に達していない場合は受験資格を認めない。 (2) 定期試験で不合格の場合は再試験を1回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 5 フィードバックについて 提出課題は採点后、コメントを付して返却する。 6 凡例 教1：教科書「はじめてのA I リテラシー」 教2：教科書「30時間でマスター Word & Excel 2021」
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	第2回から第6回まで講義時に確認テストを行う。（毎回10分程度） 第7回には第1回から第6回までの内容の小テストを行う。（30分程度） ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	情報科学 I		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Information Science I		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択<組>	必修<B組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師 (非)	◎ 片山 清和

科目概要	現在多くの医療機関では医療情報システム（いわゆる電子カルテ）が導入されるとともに、地域を含めた広域のネットワークが構築されている。また近年では、医療情報システムにＡＩが導入されつつある。 本科目は、情報化によって医療・看護に何がもたらされるかに着目し、蓄積された情報の有効活用、安全性確保、更に患者データの不備・誤りによる医療ミスや医療過誤の危険性について学ぶ。また、情報機器の仕組みや、医療情報システム利用における基礎能力としてタイピングや文書作成やデータ入力・加工について学ぶ。またデータサイエンス・ＡＩの基本的な知識やスキルについても学ぶ。
目標	１ ネットワークとコンピュータ（パソコン・タブレット・スマホなどの機器）の基本的な概念を説明できる。「DP：５」 ２ セキュリティ確保・個人情報保護・著作権を理解し、適切に対処・行動できる。「DP：１・５」 ３ データサイエンス・ＡＩを理解し、データを適切に扱え、活用できる。「DP：５」 ４ WordやExcelを用いて情報を積極的に利活用できる。「DP：５」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/17 (金)	2	ガイダンス、看護情報学とは 看護師に要求される看護情報能力 社会で起きている変化と活用されているデータ データ・ＡＩの活用領域	講義	前：看護情報学、 Society5.0について調べ る。 後：講義内容をまとめる。 特にSociety5.0での看護に ついて考えてまとめる 前後各30分	片山 清和
2	2026/04/24 (金)	2	コンピュータの基礎 インターネットの仕組み 電子メールの利用	講義	前：コンピュータシステム について調べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和
3	2026/05/01 (金)	1	看護における情報利活用 情報とは データ・情報・知識・知恵 情報の利活用 データ・ＡＩ利活用の現場	講義	前：看護情報について調 べ、教 1 p. 63-78を読む。 後：講義内容をまとめる。 特に看護におけるＡＩの利 活用をまとめる。 前後各30分	片山 清和
4	2026/05/08 (金)	1	個人情報と情報倫理 個人情報とプライバシー 個人情報保護 看護における個人情報保護 データ・ＡＩ利活用における留意事項	講義	前：個人情報、個人情報保 護法について調べ、教 1 p. 95-104を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和
5	2026/05/15 (金)	2	知的財産権 産業財産権 著作権	講義	前：知的財産権について調 べる。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和

6	2026/05/22 (金)	2	医療情報システム 医療情報システム 医療情報システムと情報セキュリティ データを守る上での留意事項	講義	前：医療情報システムについて調べ、教 1 p. 112-116 を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和
7	2026/05/29 (金)	1	データ・A I データ・A I 利活用のための技術と現場 データ・A I 利活用の最新動向	演習	前：教 1 p. 23-46を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	片山 清和
8	2026/06/05 (金)	1	Word①：文書の作成 タイピングの仕方 書式設定 文書印刷	演習	前：教 2 p. 24-62を読み Wordの使い方と文字入力の方法を理解する。 後：タイピング練習を行い、講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
9	2026/06/19 (金)	2	Word②：編集、表の作成、画像の挿入 配置設定 文字装飾 表の作成 画像の挿入・編集	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 66-101を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
10	2026/06/26 (金)	2	Excel①：データ入力とワークシート編集 表の作成 表の印刷	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 104-124を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
11	2026/07/03 (金)	1	Excel②：グラフ作成と編集 グラフ作成 グラフの編集	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 125-136を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
12	2026/07/10 (金)	1	Excel③：基本的な関数と条件関数 SUM関数とAVERAGE関数 MAX関数とMIN関数 COUNT関数とRANK関数 IF関数	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 144-159を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
13	2026/07/17 (金)	2	Excel④：データベース機能 LOOKUP関数 テーブル作成 ピボットテーブル	演習	前：タイピング練習を行い、教 2 p. 164-188を読む。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
14	2026/07/24 (金)	2	PowerPoint：スライドの作成とスライドショー スライドの作成と編集 プレゼンテーション	演習	前：タイピング練習を行う。 後：講義で学習した内容を基に演習課題を行う。 前後各30分	片山 清和
15	2026/07/31 (金)	1	タイピングテスト	演習	前：タイピング練習を行う。 後：Word、Excelの操作を復習する。 前後30分	片山 清和
16	2026/08/07 (金)	2	定期試験			片山 清和

評価方法	小テスト、レポート：10%、タイピングテスト：20%、提出課題：30%、定期試験：40% ・タイピングテスト高得点者には追加点を与える
教科書・参考書	教科書： 1 岡嶋裕史・吉田雅裕著「[改訂新版] はじめてのA I リテラシー」（2024）、技術評論社、定価 1,848円（税込み） 2 実教出版企画開発部編「30時間でマスター Word & Excel 2021」（2022）、実教出版、定価 1,100円（税込み）

	参考書： 太田勝正・前田樹海著「エッセンシャル看護情報学 2022年版」、医歯薬出版株式会社、2,750円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	1 履修について 事前・事後学習をしっかりと行うこと。特に事後学習を十分に行うこと。 2 講義・視聴覚資料について 許可なく録音・撮影することを禁ずる。 3 出欠席について (1) 出欠管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出欠を確認する。 (2) 講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前だけの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 (3) 遅刻・早退2回で1回の欠席扱いとする。 4 定期試験の受験資格について (1) 出席が3分の2に達していない場合は受験資格を認めない。 (2) 定期試験で不合格の場合は再試験を1回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 5 フィードバックについて 提出課題は採点后、コメントを付して返却する。 6 凡例 教1：教科書「はじめてのA I リテラシー」 教2：教科書「30時間でマスター Word & Excel 2021」
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	第2回から第6回まで講義時に確認テストを行う。（毎回10分程度） 第7回には第1回から第6回までの内容の小テストを行う。（30分程度） ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	情報科学Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Information Science Ⅱ		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択<組>	必修< A 組 >		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職 種	氏 名
講 師 (非)	◎ 片 山 清 和

科目概要	現代社会において看護を含むあらゆる分野で文書を作成したり、データから表やグラフを作成したり、提案や教育・指導のためにプレゼンテーションをすることが求められている。 本科目はWord、Excel、PowerPointの基礎から応用までを学ぶ。具体的には、Wordでは論文やビジネス文書に必要なインデント、段組、箇条書き、段落番号、スタイルなどの使い方を学び、Excelでは関数を用いた高度な集計、データ分析に必要なピボットテーブルやピボットグラフについて学び、データを読んだり扱ったりすることも学ぶ。またWordとExcelの連携についても学ぶ。さらにPowerPointでは視覚資料の基本的な作り方から、グラフや図形やSmartArtの使い方やスライドマスターを用いたスライド全体のデザイン設定について学ぶ。
目 標	1 Wordを用いて、段組やインデントなどを使い、表や図形などを挿入した文書を作成できる。「DP：5」 2 Excelを用いて、関数を使った集計や基本的な統計処理ができる。「DP：5」 3 データを適切に読み、適切に扱うことができる。「DP：5」 4 WordとExcelを適切に連携できる。「DP：5」 5 PowerPointを用いて、プレゼンテーション資料の作成ができる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/18 (金)	2	ガイダンス、Word① 基本的な文書の作成 図や表の挿入 印刷	演習	前：教W-1からW-39を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
2	2026/09/25 (金)	2	Word② ワードアート タブ 段組設定 見出し設定 脚注 ページ番号設定	演習	前：教W-40からW-61を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
3	2026/10/02 (金)	1	Word③ 文書の校閲 数式の入力 練習問題①	演習	前：教W-62からW-75を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題と練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
4	2026/10/09 (金)	1	Word④ 練習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和

5	2026/10/16 (金)	2	Excel① データの入力 表の作成と編集 表の印刷 グラフの作成	演習	前：教E-1からE-37を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
6	2026/10/23 (金)	2	Excel② データベース操作 複数シートの操作 関数 表示形式	演習	前：教E-38からE-80を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
7	2026/10/30 (金)	1	Excel③ 条件付き書式 高度なグラフ ピボットテーブル テーブル	演習	前：教E-81からE-111を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
8	2026/11/06 (金)	1	Excel④ マクロ WordとExcelの連携 練習問題①	演習	前：教E-112からE-127を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題と練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
9	2026/11/13 (金)	2	Excel⑤ 練習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
10	2026/11/20 (金)	2	PowerPoint① プレゼンテーションの作成 オブジェクトの挿入 構成の変更 切り替え効果とアニメーション 印刷	演習	前：教P-1からP-43を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
11	2026/11/27 (金)	1	PowerPoint② 別アプリのデータ利用 スライドマスター スライドショー	演習	前：教P-44からP-64を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
12	2026/12/04 (金)	1	PowerPoint④ 練習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
13	2027/01/08 (金)	2	演習問題①	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
14	2027/01/15 (金)	2	演習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和

15	2027/01/22 (金)	1	演習問題③	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
16	2027/01/29 (金)	2	定期試験			片山 清和
評価方法		提出課題：40%、定期試験：60%				
教科書・参考書		教科書：株式会社富士通ラーニングメディア著：「情報リテラシー Windows11 Office2024／Microsoft365対応」、FOM出版、初版（2026/1/13）、定価 2,310円（税込み） 参考書：実教出版企画開発部編「30時間でマスター Word & Excel 2021」、実教出版、初版（2022/10）、定価 1,100円（税込み） 岡嶋裕史・吉田雅裕著「[改訂新版] はじめてのA I リテラシー」、技術評論社、定価 1,848円（税込み）				
履修上の注意点及び取扱い		1 履修について 事前・事後学修をしっかりと行うこと。特に事後学修を十分に行うこと。 2 講義・視聴覚資料について 許可なく録音・撮影することを禁ずる。 3 出欠席について (1) 出欠管理システム(講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻)により出欠を確認する。 (2) 講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前のみの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 (3) 遅刻・早退 2 回で 1 回の欠席扱いとする。 4 定期試験の受験資格について (1) 出席が 3 分の 2 に達していない場合は受験資格を認めない。 (2) 定期試験で不合格の場合は再試験を 1 回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 5 フィードバックについて 提出課題は採点后、コメントを付して返却する。 6 凡例 教：教科書				
オフィスアワー		講義終了後に質問等に対応する。				
備考		・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	情報科学Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Information Science Ⅱ		
科目区分	教養科目群 情報科学		
必修・選択<組>	必修< B組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師 (非)	◎ 片山 清和

科目概要	現代社会において看護を含むあらゆる分野で文書を作成したり、データから表やグラフを作成したり、提案や教育・指導のためにプレゼンテーションをすることが求められている。 本科目はWord、Excel、PowerPointの基礎から応用までを学ぶ。具体的には、Wordでは論文やビジネス文書に必要なインデント、段組、箇条書き、段落番号、スタイルなどの使い方を学び、Excelでは関数を用いた高度な集計、データ分析に必要なピボットテーブルやピボットグラフについて学び、データを読んだり扱ったりすることも学ぶ。またWordとExcelの連携についても学ぶ。さらにPowerPointでは視覚資料の基本的な作り方から、グラフや図形やSmartArtの使い方やスライドマスターを用いたスライド全体のデザイン設定について学ぶ。
目標	1 Wordを用いて、段組やインデントなどを使い、表や図形などを挿入した文書を作成できる。「DP：5」 2 Excelを用いて、関数を使った集計や基本的な統計処理ができる。「DP：5」 3 データを適切に読み、適切に扱うことができる。「DP：5」 4 WordとExcelを適切に連携できる。「DP：5」 5 PowerPointを用いて、プレゼンテーション資料の作成ができる。「DP：5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/18 (金)	1	ガイダンス、Word① 基本的な文書の作成 図や表の挿入 印刷	演習	前：教W-1からW-39を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
2	2026/09/25 (金)	1	Word② ワードアート タブ 段組設定 見出し設定 脚注 ページ番号設定	演習	前：教W-40からW-61を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
3	2026/10/02 (金)	2	Word③ 文書の校閲 数式の入力 練習問題①	演習	前：教W-62からW-75を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題と練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
4	2026/10/09 (金)	2	Word④ 練習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和

5	2026/10/16 (金)	1	Excel① データの入力 表の作成と編集 表の印刷 グラフの作成	演習	前：教E-1からE-37を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
6	2026/10/23 (金)	1	Excel② データベース操作 複数シートの操作 関数 表示形式	演習	前：教E-38からE-80を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
7	2026/10/30 (金)	2	Excel③ 条件付き書式 高度なグラフ ピボットテーブル テーブル	演習	前：教E-81からE-111を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
8	2026/11/06 (金)	2	Excel④ マクロ WordとExcelの連携 練習問題①	演習	前：教E-112からE-127を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題と練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
9	2026/11/13 (金)	1	Excel⑤ 練習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
10	2026/11/20 (金)	1	PowerPoint① プレゼンテーションの作成 オブジェクトの挿入 構成の変更 切り替え効果とアニメーション 印刷	演習	前：教P-1からP-43を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
11	2026/11/27 (金)	2	PowerPoint② 別アプリのデータ利用 スライドマスター スライドショー	演習	前：教P-44からP-64を読む。 後：講義で学習した内容を復習し、課題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
12	2026/12/04 (金)	2	PowerPoint④ 練習問題	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に練習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
13	2027/01/08 (金)	1	演習問題①	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
14	2027/01/15 (金)	1	演習問題②	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和

15	2027/01/22 (金)	2	演習問題③	演習	前：これまでに学習した内容を復習する。 後：これまでに学習した内容を基に演習問題を完成させる。 前後各30分	片山 清和
16	2027/01/29 (金)	2	定期試験			片山 清和
評価方法		提出課題：40%、定期試験：60%				
教科書・参考書		教科書：株式会社富士通ラーニングメディア著：「情報リテラシー Windows11 Office2024／Microsoft365対応」、FOM出版、初版（2026/1/13）、定価 2,310円（税込み） 参考書：実教出版企画開発部編「30時間でマスター Word & Excel 2021」、実教出版、初版（2022/10）、定価 1,100円（税込み） 岡嶋裕史・吉田雅裕著「[改訂新版] はじめてのA I リテラシー」、技術評論社、定価 1,848円（税込み）				
履修上の注意点及び取扱い		1 履修について 事前・事後学修をしっかりと行うこと。特に事後学修を十分に行うこと。 2 講義・視聴覚資料について 許可なく録音・撮影することを禁ずる。 3 出欠席について (1) 出欠管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出欠を確認する。 (2) 講義開始後の打刻は遅刻または早退とし、開始前のみの打刻や、終了時のみの打刻は欠席とする。 (3) 遅刻・早退 2 回で 1 回の欠席扱いとする。 4 定期試験の受験資格について (1) 出席が 3 分の 2 に達していない場合は受験資格を認めない。 (2) 定期試験で不合格の場合は再試験を 1 回行う。再試験に不合格の場合には、次年度に再履修すること。 5 フィードバックについて 提出課題は採点后、コメントを付して返却する。 6 凡例 教：教科書				
オフィスアワー		講義終了後に質問等に対応する。				
備考		・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	心理学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Psychology		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授(兼 医学部)	◎ 宮本 淳

科目概要	社会心理学や臨床心理学など、複数の分野の基本的知識を学び、人間理解の視野を広げる。人の行動や性格、心の問題がどのように形成されるのかについて理解を深める。
目標	1 対人関係における心理学の基本的な理論について説明できる。「DP:1・5」 2 カウンセリングや心理療法について、それぞれの治療理論を説明できる。「DP:1・2」 3 様々な心理的不適応状態について、その状態像を説明できる。「DP:1・2」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/16 (木)	2	ガイダンス：心理学とは	講義	前：参考図書など心理学に関する本を読む。 後：配布資料を読み、看護に役立つ心理学について理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
2	2026/04/23 (木)	1	対人関係における心理(1) 印象形成・対人魅力 【社会心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、印象形成・対人魅力について理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
3	2026/04/23 (木)	2	対人関係における心理(2) 集団と他者の存在 【社会心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、集団心理・援助行動について理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
4	2026/04/30 (木)	2	対人関係における心理(3) 対人関係における心理 【社会心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、対人不安・対人恐怖症について理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
5	2026/05/07 (木)	2	動機と動機づけについて 【学習心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、動機・動機づけについて復習	宮本 淳

					する。 前後各120分	
6	2026/05/21 (木)	2	防衛機制 【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読み、防衛機制について復習する。 前後各120分	宮本 淳
7	2026/05/28 (木)	3	心的構造論とエゴグラム 【臨床心理学】	講義 演習	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、エゴグラムについて検索するなどして理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
8	2026/06/04 (木)	3	心の健康を取り戻す(1) 精神分析 【臨床心理学】	講義 動画視聴	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、関連動画を視聴するなどして精神分析的な心理療法の理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
9	2026/06/18 (木)	3	心の健康を取り戻す(2) 行動療法、認知行動療法 【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、関連動画を視聴するなどして行動療法、認知行動療法の理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
10	2026/06/25 (木)	3	心の健康を取り戻す(3) 来談者中心療法 【臨床心理学】	講義 動画視聴	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、関連動画を視聴するなどして来談者中心療法の理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
11	2026/07/02 (木)	3	心の問題について 【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、神経症性障害について検索し、事例を読むなどして理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
12	2026/07/09 (木)	3	パーソナリティ障害について 【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、パーソナリティ障害について検索し、事例を読むなどして理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
13	2026/07/16 (木)	3	抑うつについて 【臨床心理学】	講義	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、抑うつ・うつ病について検索し、事例を読むなどして理解を深める。 前後各120分	宮本 淳
14	2026/07/23 (木)	2	心理検査(1) 質問紙法・知能検査 【臨床心理学】	講義 演習	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、質問	宮本 淳

					紙法心理検査・知能検査を検索するなどして復習する。前後各120分	
15	2026/07/30 (木)	2	心理検査(2) 投影法 【臨床心理学】	講義 演習	前：挙げられたキーワードについて予習してくること。 後：配布資料を読む、投影法心理検査を検索するなどして復習する。 前後各120分	宮本 淳
16	2026/08/06 (木)	2	定期試験			宮本 淳
評価方法		1 定期試験の結果(75%)及び復習課題(25%)により評価する。 2 受講態度が著しく不良の場合は、10%を限度に減点をする。 3 定期試験で不合格の場合は、再試験を行う。				
教科書・参考書		教科書： 教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。 参考書： 1 山蔦圭輔, 本田周二著:「メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論」、南山堂(2021/5) 定価2,420円(税込み) その他、授業中に適宜紹介する。				
履修上の注意点及び取扱い		1 毎回の出席の確認は入室時と退室時のカードリーダーへの打刻による。 30分以上の遅刻・早退は欠席扱い、30分以内は3回で1回の欠席扱いとする。 2 単位取得について (1) 出席が3分の2に達していない場合は、定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 (2) 試験に合格すること。不合格者には再試験を行う。当該年度に合格しない者は、次年度に再履修をする。 3 定期試験終了後、正答率の低かった問題、理解が不十分と思われた問題、及び総括をAIDLE-Kに掲載する。 4 生成AIを使用する場合は、担当教員からの指示・注意事項に従うこと。				
オフィスアワー		火曜日 16:10~17:40 基礎科学棟2階B216研究室 面談の重複を避けるため、授業終了後または事前にメールでアポイントを取ることが望ましい。				
備考		・学習内容の定着・応用のための復習課題をAIDLE-Kにて毎回行う(10分程度) ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	人間学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Phylosophical Anthropology		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 塚田 守

科目概要	人間であるとはどういうことか、他者との関係をどう生きたらよいのか、人間としての成長・成熟には何が要請されるか、或いは生きることの意味は何か等々、人間理解を深めながら人間存在に特有な原理・現実を学ぶ。
目標	「語り」の社会学の視点から、まず、社会における人間とは何かを理解する。 次に、社会で形成された人間の意識がどのように変化するかについて考察する。 そのような考察の中で、死に関するテーマを取りあげ、私たちが生きるとは何かについて考える。 最終的には、人間の意識の変革、死生観、生きがいなどについて考察し、人間理解を深めることを本講義の目標とする。「DP:1」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/30 (木)	4	社会学からみる人間論：「社会学的想像力」を中心に	講義 C. ミルズの 「社会学的 想像力」の 概念を理解 して、自ら が置かれて いる社会的 状況につい て、講義と グループワ ークをする。	復習(120分) 授業でのグループワークについてまとめ、提出する(500字程度)。	塚田 守
2	2026/05/07 (木)	4	日本の教育体験の中で生まれる人間観	講義 自らが経験した教育体験について反省的に考察し、日本の教育で学んだ価値観について、講義とグループワークをする。	予習(120分) 小学・中学・高校で学んだこと、価値観とは何かについて反省的に文章を書いて提出する(500字程度)。 復習(120分) グループワーク、講義の内容を踏まえて、日本の教育が強調している価値観とは何かについて、考察し、まとめて提出する(500字程度)。	塚田 守
3	2026/05/14 (木)	4	人間の意識の変革	講義 諸富祥彦 「第16章 私を救った「いのちの目覚め」体験」 pp. 205-220、馬場	予習(120分) 配布された資料(諸富、馬場)の指定されたページを読み、それぞれについてのまとめを提出する。(500字程度) 復習(120分) 講義、グループワークで議論したこと	塚田 守

				俊彦「ほんとうの自分上」pp. 98-117についての講義とグループワークをする。	をまとめて、提出する（500字程度）。	
4	2026/05/28 (木)	4	人間の死について：2人称の死を中心に	講義 親の死、友人の死について考察する講義とグループワークをする。 やまだようこ「私の喪失ストーリー」『喪失の語り』pp. 287-294を読む。ほかに担当者の自分史の一部にも触れる。	予習【120分】2人称の死に関するテーマの資料を読み、まとめて提出する。 復習（120分）2人称の死の意味について考えをまとめて、提出する（500字程度）。	塚田 守
5	2026/06/04 (木)	4	人間の生き方：ヴィクトル・フランクルの実存主義的心理学から	講義 諸富祥彦『生きがい発見の心理学』の「第13章どんなときも、人生には意味があるーフランクルの思想と理論ー」pp. 166-176と牧野知恵「第5章フランクルと看護」『フランクルを学ぶ人のために』pp. 111-136について講義とグループワークをする。	予習（120分）配布された資料を読み、牧野知恵の看護ケアの特徴についてまとめて提出する（500字程度）。 復習（120分）講義の内容をまとめて提出する（500字程度）。	塚田 守
6	2026/06/18 (木)	4	当事者の「語り」について考える	講義 アーサー・フランクルの『傷ついた物語の語り手』とアーサー・クリンマンの『病いの語り』についての講義とグループワークをする。 「語りによる「意味ある体験」の再解釈の可能性」『日本慢性看護学会誌』Vol. 6 No. 1 (May	予習（120分）配布された資料のまとめを書いて提出する（500字程度）。 復習（120分）講義の内容を踏まえ、当事者の「病いの語り」の特徴についてまとめて提出する（500字程度）。	塚田 守

				2012) pp. 2-7を中心に講義する。		
7	2026/06/25 (木)	4	一人の看護師の看護ケアを「語り」の社会学から考える	講義 塚田守「看護ケアにおける「気づき」の語りの分析」についての講義とグループワークをする。「看護ケアにおける「気づき」の語りの分析」『言語と表現』2015、第12号 pp. 5-37を中心に講義する。	予習（120分）実習での「気づき」についてまとめ提出する（500字度）。復習（120分）講義の内容を踏まえて、看護師Aさんの「気づき」についてまとめて提出する（500字程度）。	塚田 守
8	2026/07/02 (木)	4	まとめと学生によるプレゼンテーション	講義 今までの授業をまとめて、学生によるプレゼンテーションとディスカッションを行う。	予習（120分）授業の内容を踏まえ、今までの授業の中で最も印象に残ったテーマとはなにか、そして、その理由をまとめて提出する（500字程度）。	塚田 守
9			最終レポートの提出			塚田 守

評価方法	毎授業の提出小レポート50%、最終レポート50%で評価する。
教科書・参考書	教科書は指定しない。授業担当者が資料をAIDLE-Kを通して配布する。
履修上の注意点及び取扱い	- 履修について - 準備学習を行い、積極的に講義に臨む。 - 毎回の小レポートを提出する。 - グループワークに積極的に参加する。 - 出欠について 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により出席を確認する。そのとき、終了時の打刻がないものは欠席扱いとする。 - 定期試験について 最終レポートの提出を持って行う。 - フィードバックについて 授業関連の小レポートのフィードバックは、次回の講義の最初に行う。
オフィスアワー	講義終了後に質問等に対応する。
備考	授業は学修サポートシステムAIDLE-Kを活用する。授業までにはAIDLE-Kのページにアクセスしておくこと。毎回の講義の時に小レポートを課す。小レポートはAIDLE-Kへの投稿を持って提出する。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	形態機能学Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Anatomy and PhysiologyⅠ		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 三浦 裕次

科目概要	消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、運動器系、神経系、感覚器系等、人体の形態と構造を系統ごとに学修する。
目標	看護における解剖学の習得は、フィジカルアセスメント能力を養うための重要な課題である。さらに、臨床の現場で目にする病態や症状を、人体の構造と機能の視点から解説して、解剖学の理解を臨床での実践に役立たせることが必要となる。そのため、以下を目標とする。 1 人体各部位・器官の名称と、構造の特徴を説明できる。「DP：1・5」 2 各器官のはたらきを専門用語を用いて具体的に説明できる。「DP：1・5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/11 (月)	3	解剖学総論1 細胞、組織 人体の構造（序章）	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
2	2026/05/18 (月)	3	解剖学総論2 発生学 体表からみた人体の構造（第1章）	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
3	2026/06/01 (月)	2	消化器系1 口腔、咽頭、食道 胃、小腸、大腸（第2章）	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
4	2026/06/15 (月)	3	消化器系2 肝臓、胆道、膵臓、腹腔	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
5	2026/06/22 (月)	3	呼吸器系1 外鼻、鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、気管（第3章）	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分)	三浦 裕次

					分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	
6	2026/06/22 (月)	4	呼吸器系2 肺、縦隔、胸腔	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
7	2026/06/29 (月)	3	循環器系1 心臓、肺循環 前半のまとめ①	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
8	2026/06/30 (火)	3	循環器系2 体循環、リンパ系、胸管、脾臓	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
9	2026/07/06 (月)	3	血液と免疫	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
10	2026/07/07 (火)	3	生殖器系 精巣(男性)、卵巣 子宮(女性)	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
11	2026/07/13 (月)	3	内分泌系 脳幹部、視床下部、甲状腺、副腎	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
12	2026/07/14 (火)	3	運動器系1 骨学 中盤のまとめ②	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
13	2026/07/21 (火)	3	運動器系2 筋と腱	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
14	2026/07/27 (月)	3	神経・感覚器系1 中枢神経系(大脳、小脳、間脳、脊髄と脈管)	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次

15	2026/07/28 (火)	3	神経・感覚器系2 末梢神経系(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、皮膚の触覚 温痛覚)	講義	予：講義内容のキーワード についてテキストを読み、 知識を得ておくこと。(120 分) 復：講義内容の重要箇所を まとめておくこと。(120 分)	三浦 裕次
16	2026/08/03 (月)	3	定期テスト			三浦 裕次
評価方法		学期末試験(90%)＋小テスト(10%)				
教科書・参考書		教科書： 坂井建雄他著：「系統看護学講座専門基礎〔1〕人体の構造と機能1 解剖生理学」、医学書院、第12版 (2026/1)、定価4,730円(税込み) 参考書： 1 Anne M Gilroy著、中野隆監訳：「プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト第2版(2023/12)」、医学 書院、定価9,680円(税込み) 2 Alan Twietmeyer他著、天野修他監訳：「人体解剖カラーリングブック補訂版(2020/11)」、丸善出版、定 価4,180円(税込み)				
履修上の注意点 及び取扱い		1 出席の確認はカードリーダーへの打刻による。出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。 2 再試験は2回までとする。不合格の場合は再履修とする。レポートによる救済は行わない。 3 フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受け ける。				
オフィスアワー		水・金曜日 9:00～17:00 C棟7階教授室8 Email: ymiura@aichi-med-u.ac.jp (面談の重複を避けるためメールでアポイントを取ることが望ましい。)				
備考		・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	形態機能学Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	4		
(英文名)	Anatomy and Physiology Ⅱ		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 泉 雅之
教 授	篠田 かおる
教 授	大須賀 浩二
教 授(兼 医学部)	増淵 悟
准 教 授	黒澤 昌洋
講 師	伊藤 真規
講 師	上坂 真弓
講 師(兼 医学部)	山村 彩
講 師(兼 医学部)	林 寿来
講 師(兼 医学部)	小松 紘司
講 師(兼 医学部)	榊原 伊織
講 師(兼 医学部)	犬束 歩

科目概要	生理学は、以下のようなヒトの機能を追求する学問である。 1. ヒトは、ホルモンや自律神経によるホメオスターシスにより、内的環境を一定に保つ。 2. ヒトは生命の維持のため、外部環境の情報を受容し、食物を摂取した上で、それに含まれる栄養分を吸収する。 3. 呼吸により酸素を取得して、血液を介して、心臓により循環させる。その後、各組織に配分し、不要物を排泄する。 4. 外部から侵入する異物から免疫により身体を守る。 5. ヒト特有の高次機能を持ち、考え、決断し、行動する。 生理学を中心とする「形態機能学Ⅱ」では、これらの正常の機能を知り、その正常な機能から逸脱した病的な状態を理解する。「覚える」のではなく、「理解する」ことが、形態機能学Ⅱの学びに必要な不可欠である。					
目標	この授業の到達目標は以下のとおりです。 1 ヒトの各臓器の部位とその名称・位置ならびに、形の知識を踏まえた上で、その働きを理解し、説明できるようになること。「DP：1・5」 2 それぞれの臓器におこる病気の成り立ちや症状・治療を、その臓器の働きなどの観点から説明できるようになること。「DP：1・5」					
授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/16 (水)	4	オリエンテーション1（ホメオスタシスなど）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学	泉 雅之

					クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	
2	2026/09/16 (水)	5	オリエンテーション2（細胞生理など）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	榊原 伊織
3	2026/09/30 (水)	4	オリエンテーション3（情報伝達など）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	泉 雅之
4	2026/09/30 (水)	5	呼吸器系1（換気）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	林 寿来
5	2026/10/07 (水)	4	呼吸器系2（ガス交換と運搬）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	林 寿来
6	2026/10/07 (水)	5	呼吸器系3（呼吸制御、病態生理）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	林 寿来
7	2026/10/09 (金)	4	神経系1（ニューロン・シナプスでの興奮など）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	大須賀 浩二
8	2026/10/09 (金)	5	神経系2（脊髄と脳の機能）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	大須賀 浩二
9	2026/10/14 (水)	4	消化器系1（消化）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの	山村 彩

					() 内などを埋めておくこと(120分)。 後：教科書、資料で復習をして、問題集(解剖生理学クリアブック)の該当する部分の問題を解いておくこと(120分)。	
10	2026/10/14 (水)	5	消化器系 2 (吸収)	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの() 内などを埋めておくこと(120分)。 後：教科書、資料で復習をして、問題集(解剖生理学クリアブック)の該当する部分の問題を解いておくこと(120分)。	山村 彩
11	2026/10/21 (水)	4	血液 1 (血球)	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの() 内などを埋めておくこと(120分)。 後：教科書、資料で復習をして、問題集(解剖生理学クリアブック)の該当する部分の問題を解いておくこと(120分)。	増淵 悟
12	2026/10/21 (水)	5	血液 2 (血漿タンパク、凝固線溶など)	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの() 内などを埋めておくこと(120分)。 後：教科書、資料で復習をして、問題集(解剖生理学クリアブック)の該当する部分の問題を解いておくこと(120分)。	増淵 悟
13	2026/10/26 (月)	1	循環器系 1 (心臓機能)	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの() 内などを埋めておくこと(120分)。 後：教科書、資料で復習をして、問題集(解剖生理学クリアブック)の該当する部分の問題を解いておくこと(120分)。	山村 彩
14	2026/10/26 (月)	2	循環器系 2 (末梢循環)	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの() 内などを埋めておくこと(120分)。 後：教科書、資料で復習をして、問題集(解剖生理学クリアブック)の該当する部分の問題を解いておくこと(120分)。	山村 彩
15	2026/10/28 (水)	4	循環器系 3 (血圧、病態生理など)	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの() 内などを埋めておくこと(120分)。 後：教科書、資料で復習をして、問題集(解剖生理学クリアブック)の該当する部分の問題を解いておくこと(120分)。	山村 彩
16	2026/10/28 (水)	5	神経系 3 (脊髄神経と脳神経の機能)	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの() 内などを埋めておくこと(120分)。 後：教科書、資料で復習をして、問題集(解剖生理学クリアブック)の該当する	大須賀 浩二

					部分の問題を解いておくこと（120分）。	
17	2026/11/04 (水)	4	腎・泌尿器系1（腎・排尿生理）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	黒澤 昌洋
18	2026/11/04 (水)	5	腎・泌尿器系2（水・電解質・酸塩基平衡）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	黒澤 昌洋
19	2026/11/11 (水)	4	自律神経・内分泌系1（自律神経、視床下部-下垂体）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	犬東 歩
20	2026/11/11 (水)	5	神経系4（運動機能、体性感覚）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	大須賀 浩二
21	2026/11/18 (水)	3	自律神経・内分泌系2（甲状腺、副甲状腺、膵臓、副腎、性腺）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	小松 紘司
22	2026/11/18 (水)	4	自律神経・内分泌系3（ホルモン分泌の調節）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	犬東 歩
23	2026/12/02 (水)	3	骨格筋系（骨の生理的な機能、骨格筋の収縮機構、運動と代謝）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	榊原 伊織
24	2026/12/02 (水)	4	生体防御（皮膚の機能、リンパ系・免疫、体温調節）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。	泉 雅之

					こと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	
25	2026/12/04 (金)	4	神経系 5（特殊感覚）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	大須賀 浩二
26	2026/12/04 (金)	5	神経系 6（疼痛の機序、脳波、睡眠、高次機能など）	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	大須賀 浩二
27	2027/01/06 (水)	3	生殖・受精	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	小松 紘司
28	2027/01/06 (水)	4	成長・老化、その他	講義	前：教科書の該当箇所を読んで、ワークブックの（ ）内などを埋めておくこと（120分）。 後：教科書、資料で復習をして、問題集（解剖生理学クリアブック）の該当する部分の問題を解いておくこと（120分）。	泉 雅之
29	2027/01/13 (水)	3	今までの授業の振り返り・学習発表会①	講義・演習	前：学習発表会の準備をする（120分）。 後：学習発表会の内容を整理し、ワークブックを完成させる（120分）。	黒澤 昌洋 篠田 かおる 伊藤 真規 上坂 真弓
30	2027/01/13 (水)	4	今までの授業の振り返り・学習発表会②	講義・演習	前：学習発表会の準備をする（120分）。 後：学習発表会の内容を整理し、ワークブックを完成させる（120分）。	黒澤 昌洋 篠田 かおる 伊藤 真規 上坂 真弓
31	2027/01/27 (水)	3	定期試験			全員

評価方法	定期試験(80%)、学習発表会プレゼンテーションとワークブックの提出(20%)で評価します。
教科書・参考書	教科書： ・坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀 著：「系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学」、医学書院（2026/1）、定価4,730円（税込み） ・坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀 編：「『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック」、医学書院（2025/1）、定価2,200円（税込み） ・日本生理学会教育委員会 編：「看護師国家試験 解剖生理学クリアブック第2版」、医学書院（2015/12）、定価2,200円（税込み） 参考図書： ・菱沼典子 著：「看護 形態機能学 第4版」、日本看護協会出版会（2017/10）、定価3,100円＋税 ・菱沼典子 著：「看護 形態機能学 ワークブック 体験して考える からだのいとなみ」、日本看護協会出

	版会（2022/10）、定価1,900円＋税 ・大久保暢子 著：「日常生活行動からみるヘルスアセスメント 看護 形態機能学の枠組みを用いて」、日本看護協会出版会（2016/8）、定価3,300円＋税
履修上の注意点 及び取扱い	1 授業中は教科書を参照しながら進める予定です。 2 授業後、質問がある場合は担当する教員に学内メールにて尋ねることができる。教員は質問に答えるなどフィードバックを行う。 3 出席は入室時と退室時にはカードリーダーにより打刻する。 4 単位取得について （1）出席は2/3以上とする。 （2）定期試験および学習発表会プレゼンテーションとワークブックの提出に合格すること。合計点が60点未満の場合、再試験を2回まで実施する。
オフィスアワー	泉 雅之 月曜日 17:00～18:30 C棟7階教授室7 大須賀 浩二 水曜日 13:00～17:15 C棟7階教授室9 黒澤 昌洋 月曜日 16:30～18:00 C棟5階個人研究室③ 篠田 かおる 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N257研究室 伊藤 真規 水・木曜日 16:20～18:00 看護学部棟4階N454研究室 上坂 真弓 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N253研究室 その他の講師については授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	・高校までの学びとは異なり、大学では能動的に、そして自律性をもって、論理的思考に基づき学んでいくことが必要になります。教養科目、基礎医学、臨床医学ならびに看護学を学んでいく際に、能動性、自律性ならびに論理的思考は必要不可欠です。形態機能学Ⅱでは、教養ゼミナールと同様に、この能動性、自律性、論理的思考を構築することも目的のひとつとしています。加えて、形態機能学で学ぶ知識は、その後の臨床医学ならびに看護の各分野の学びの基礎ともなります。将来、プロフェSSIONALとして歩んでいくためにも、この科目が、能動性、自律性、論理的思考のもと、学ぶ場である大学で誠実に学んでいくきっかけにいただければと思っています。 ・最新の知見などに基づき、授業を行っていきます。

講義名	生化学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Biochemistry		
科目区分	専門基礎科目群 人間の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 三浦 裕次

科目概要	人間の生命、身体の維持、食物の体内での利用過程などを始めとする生命活動における生体中の生化学的機能とその仕組みについて学修する。
目 標	ヒトは、成長や生命の維持のために、種々の栄養素を食物から取り入れ利用し、不要になったものを排泄している。 1 生体物質の持つ役割と、どのように利用されているかを分子レベルで説明できる。「DP：1・5」 2 生体物質の持つ役割を分子レベルで知ることにより、人間についての理解を深めることができる。「DP：1・5」 昨今の高度化した検査や治療を受ける、困難や苦しみに直面した患者さんにしっかり寄り添えるように、遺伝子レベルでの人体の機能と病気の成り立ちを勉強し、実際の看護の現場で役立つ知識と技術の基礎を身に付けていきます。

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/14 (月)	2	生化学とは	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
2	2026/10/13 (火)	3	遺伝情報	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
3	2026/10/19 (月)	3	遺伝情報	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
4	2026/10/19 (月)	4	核酸、核酸代謝	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次

5	2026/10/26 (月)	3	遺伝子異常と病気①(がん)	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
6	2026/10/26 (月)	4	遺伝子異常と病気②(代謝疾患)	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
7	2026/11/02 (月)	3	糖質	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
8	2026/11/02 (月)	4	脂質	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
9	2026/11/09 (月)	3	タンパク質とアミノ酸	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
10	2026/11/09 (月)	4	血液と尿・水と無機質	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
11	2026/11/17 (火)	3	酵素、ビタミン	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
12	2026/12/01 (火)	3	ホルモン	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
13	2027/01/05 (火)	3	代謝とは	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
14	2027/01/12 (火)	3	糖質代謝	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分)	三浦 裕次

					復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	
15	2027/01/19 (火)	3	脂質代謝・タンパク質代謝	講義	予：講義内容のキーワードについてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：講義内容の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
16	2027/01/26 (火)	2	定期試験			三浦 裕次

評価方法	質疑応答(10%)、筆記試験(90%)を総合して評価する。
教科書・参考書	教科書： 1 畠山鎮次、他著「系統看護学講座 専門基礎分野 生化学 人体の構造と機能[2]」、医学書院、第14版(2019/1)、定価2,420円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	1 出席の確認はカードリーダーへの打刻による。出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。 2 定期試験で不合格の場合は、再試験は2回までとする。 試験の成績に学習態度の評価を加味して60点以上であった者に単位を認定する。試験の不合格者には再試験に合格することにより単位を与える。 3 フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	水・金曜日 9:00~17:00 C棟7階教授室8 Email: ymiura@aichi-med-u.ac.jp (面談の重複を避けるためメールでアポイントを取ることが望ましい。)
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	感染・免疫学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Infection and Immunology		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 三浦 裕次
講 師(非)	内記 良一

科目概要	医療のめざましい進歩、社会・衛生環境の整備、栄養状態の改善により、感染症は著しく変貌した。コレラや赤痢など強毒病原菌による感染症は減少する一方、2002年中国に端を発した重症急性呼吸器症候群(SARS)や米国のウエストナイル熱、レジオネラ症、エイズや結核など新興・再興感染症が多く見られるようになっている。また薬剤耐性菌(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌:MRSA、バンコマイシン耐性腸球菌:VRE)などの院内感染予防が重視されている。更に、新型インフルエンザウイルスやCOVID-19のSARS-CoV-2は、急速な世界的大流行(パンデミック)を起こす危険性が示唆されている。このような感染防止に十分な効果を上げるためには、感染症や免疫学に関する知識や技術を正確に理解し、それらを実践の場で生かしていく必要がある。
目標	1 ヒトに感染症を起こさせる微生物の特性を説明できる。「DP:5」 2 感染制御(予防と治療)に関わる基本的事項、とくに消毒、ワクチン、化学療法について説明できる。「DP:1・5」 3 生体の重要な防御および調節機構である免疫の基本的しくみを説明できる。「DP:1・5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/16 (水)	3	感染免疫学総論	講義	予:授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復:授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記 良一
2	2026/09/30 (水)	3	感染源と感染経路	講義	予:授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復:授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記 良一
3	2026/10/07 (水)	3	免疫学(I) 免疫学の基礎	講義	予:授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復:授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記 良一
4	2026/10/14 (水)	3	免疫学(II) アレルギーの分類	講義	予:授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復:授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記 良一

5	2026/10/21 (水)	3	細菌学各論(Ⅰ) 性感染症 淋菌他(Ⅳ)	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記 良一
6	2026/10/28 (水)	3	細菌学各論(Ⅱ) 食中毒 サルモネラ、ビブリオ他	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記 良一
7	2026/11/04 (水)	3	ウイルス学各論(Ⅰ) インフルエンザ	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記 良一
8	2026/11/11 (水)	3	ウイルス学各論(Ⅱ) HIV パピローマ他	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	内記 良一
9	2026/11/16 (月)	3	細菌学の歩み、細菌の形態と性状、滅菌と消毒	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
10	2026/11/16 (月)	4	マイコプラズマ・クラミジア・リケッチャ感染症	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
11	2026/11/24 (火)	3	真菌・寄生虫感染症	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
12	2026/11/30 (月)	3	ワクチン概論、化学療法、抗生剤の耐性獲得と院内感染	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
13	2026/11/30 (月)	4	自己免疫疾患、臓器移植、腫瘍免疫	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
14	2027/01/18 (月)	3	細菌学各論(Ⅰ)	講義	予: 授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復: 授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次

15	2027/01/18 (月)	4	細菌学各論(II)	講義	予：授業項目(キーワード)についてテキストを読み、知識を得ておくこと。(120分) 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。(120分)	三浦 裕次
16	2027/01/25 (月)	3	定期試験			三浦 裕次 内記 良一
評価方法		学期末試験(90%)＋小テスト(10%)				
教科書・参考書		教科書： 1 藤本秀士編、他：「わかる！身につく！病原体・感染・免疫」、南山堂(2017/3)、定価3,080円(税込み)				
履修上の注意点 及び取扱い		1 出席の確認はカードリーダーへの打刻による。出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。 2 再試験は2回までとする。不合格の場合は再履修とする。 3 フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。				
オフィスアワー		三浦 裕次 水・金曜日 9:00～17:00 C棟7階教授室8 Email: ymiura@aichi-med-u.ac.jp (面談の重複を避けるためメールでアポイントを取ることが望ましい。) 内記 良一 講義終了後に質問等を受け付ける。				
備考		・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	病理学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Pathology		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授(兼 医学部)	◎ 笠井 謙次
講 師(兼 医学部)	伊藤 秀明
講 師(兼 医学部)	猪子 誠人
講 師(兼 医学部)	中村 律子

科目概要	病理学ではヒトの病気の原因や成り立ち方について、基本的な事項を学ぶ。具体的には病気の原因を病因論で、出生前の異常を先天異常で、物質代謝障害で変性や壊死を、生体防御反応として起こる炎症や生体の異常増殖で腫瘍などを学ぶ。これらの知識を看護の実践の場で生かせるよう学修する。
目標	1 病気を大きなカテゴリーに分けて説明できる。「DP：1・2・5」 2 各カテゴリーの特徴について説明できる。「DP：1・2・5」 3 様々な疾患についての医学的内容のみならず、付随する社会的問題についても説明できる。「DP：1・2・5」 4 医学用語を理解し、正確に使用できる。「DP：1・2・5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/16 (水)	1	ガイダンス（医療における病理学の役割）、細胞傷害と適応（細胞傷害、細胞増殖、修復と再生）	講義	前：教p1-32を読む。 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	笠井 謙次
2	2026/09/16 (水)	2	病因論（外因と内因、先天異常、染色体・遺伝子異常）、代謝障害（糖代謝異常、色素代謝異常、蛋白代謝異常）	講義	前：教p87-101、127-135を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	笠井 謙次
3	2026/09/30 (水)	1	炎症（急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性疾患）、感染症（感染症概論、日和見感染）	講義	前：教p49-85を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	中村 律子
4	2026/09/30 (水)	2	免疫異常（自然免疫、獲得免疫、アレルギー反応、自己免疫疾患）	講義	前：教p49-85を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	中村 律子
5	2026/10/07 (水)	1	循環障害 1（局所的循環障害、血栓と塞栓、梗塞、DIC）	講義	前：教p33-48を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	伊藤 秀明
6	2026/10/07 (水)	2	循環障害 2（全身性循環障害、ショック）	講義	前：教p33-48を読む 後：講義配布資料を復習す	伊藤 秀明

					る 前後各120分	
7	2026/10/14 (水)	1	腫瘍 1 (腫瘍の概念と命名法、進展様式)	講義	前：教p104-126を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	猪子 誠人
8	2026/10/14 (水)	2	腫瘍 2 (腫瘍の発生、癌遺伝子と癌抑制遺伝子、早期がんと進行がん、がん疫学)	講義	前：教p104-126を読む 後：講義配布資料を復習する 前後各120分	猪子 誠人
9	2026/10/28 (水)	2	定期試験			笠井 謙次 伊藤 秀明 猪子 誠人 中村 律子

評価方法	定期試験（多肢選択試験、一部論述試験を含む場合がある）90%、授業への参加態度10%。 定期試験不合格者には再試験を1回のみ行う。					
教科書・参考書	教科書： 笹野公伸、岡田保典、安井 弥編著「シンプル病理学」（改訂第8版2022年3月）南江堂、定価3,300円（税込み）					
履修上の注意点 及び取扱い	2／3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができず、単位を取得することができない。 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。					
オフィスアワー	笠井 謙次 火曜日 16：30～18：00 研究棟 2階265号室 猪子 誠人 水曜日 16：30～18：00 研究棟 2階264号室 伊藤 秀明 金曜日 16：30～18：00 研究棟 2階261号室 中村 律子 木曜日 16：30～18：00 研究棟 2階261号室					
備考	教科書を用いた予習では、特に太文字記載の医学用語の意味を確認しておくこと。 復習では講義資料を中心に適宜教科書を調べながら、医学用語の定義、病理の原因や成り立ちについて確認しておくこと。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。					

講義名	運動の科学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Sports Science		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	選択		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 三浦 裕次
講 師(非)	藤川 小百合

科目概要	運動が人間の健康に及ぼす影響について、科学、基礎・臨床医学、看護学の観点から探求し、医療・看護・健康増進の場における医療従事者として備える能力の重要性を学ぶ。
目標	現代における社会構造の変化は、人々のライフスタイルを変貌させている。運動不足や過栄養等に起因する肥満、高血圧、糖尿病、高脂血症といった動脈硬化につながる生活習慣病は、高齢化と相まって急増し、社会問題になっている。 1 肉体的労働からの解放に伴う運動不足補充の必要性と、生涯にわたり健康な人生を送る上での生活習慣の重要性について学習し述べるができる。「DP: 1・2・5」 2 現代生活における健康と運動の意義、運動と身体や心の健康の関係、健康な生活を送るための運動について、健康科学・運動科学の側面から基本的理解し、健康的な生活を生涯にわたって身につける知識について述べるができる。「DP: 1・2・5・6」 3 スポーツの実践により互助協力と明るい人間関係構築ができる。「DP: 3」 4 福祉に携わる健康指導者として積極的な行動と思いやり等正しい指導法について述べるができる。「DP: 1・2」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/01 (金)	3	現代社会の健康における運動の意義、スポーツによる心と体の健康づくり	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	三浦 裕次
2	2026/05/01 (金)	4	メタボとロコモ 廃用症候群に陥らないために	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	三浦 裕次
3	2026/05/08 (金)	4	リハビリテーション学 筋硬縮予防	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川 小百合
4	2026/05/15 (金)	4	運動学 I (手、肘や肩関節の機能上の特徴)	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川 小百合

5	2026/05/22 (金)	4	運動学Ⅱ(足、膝や股関節の機能上の特徴、姿勢や歩行)	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川 小百合
6	2026/05/29 (金)	4	運動学Ⅲ(体幹(顔面、頸部胸部や腰部)の運動)	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川 小百合
7	2026/06/05 (金)	4	フィットネスと健康運動、運動療法(実技)	演習	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川 小百合
8	2026/06/19 (金)	4	フィットネスと健康運動、運動療法	講義	予：授業項目について授業資料・参考書を読み、知識を得ておくこと。 復：授業の重要箇所をまとめておくこと。 (各120分)	藤川 小百合
9	2026/08/07 (金)	4	定期試験			三浦 裕次 藤川 小百合

評価方法	定期試験(選択式＋記述式)(80%)、授業参加態度(10%)とレポート(10%)の総合評価とする。
教科書・参考書	参考書： 1 九州大学健康科学センター編：「健康と運動の科学」、大修館書店(1998/4)、定価2,160円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	1 出席の確認は、入室時と退室時のカードリーダーへの打刻による。このとき、2回目の打刻がない者は欠席扱いとする。また、2回の遅刻・早退で1回の欠席扱いとする。出席が3分の2に達していない場合は、受験資格を認めない。定期試験で不合格の場合は、再試験を行う。 2 体力や運動能力の優劣は問わないが、体育館での実技の際は運動服装で参加すること。 3 フィードバック 授業中の質問等はできるだけ時間内に応答する。また、オフィスアワーを活用して質問や授業に関する相談を受ける。
オフィスアワー	三浦 裕次 水・金曜日 9:00～17:00 C棟7階教授室8 Email: ymiura@aichi-med-u.ac.jp (面談の重複を避けるため、メールでアポイントメントを取ることが望ましい。) 藤川 小百合 講義終了後に質問等を受け付ける。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。 保健師課程進学者(希望者)のうち、養護教諭2種免許の申請を考えている場合は、単位修得が必要となる。

講義名	体育実技		
講義開講時期	前学期	講義区分	実技
単位数	1		
(英文名)	Physical Education		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	選択< A 組 >		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 安藤 貴通

科目概要	身体活動・運動の効果は、身体活動量(「身体活動の強さ」×「行った時間」の合計)の増加に従って上昇し、健康づくりの重要な要素である。授業の中で身体を動かし、生涯にわたる身体活動の習慣化、活発化を図る。また、生涯にわたる余暇活動の能力を高め、身体運動の経験を通して現代の教養人としての資質を高める。
目標	1 身体を動かすことの楽しさを体感し、ゲームや練習へ積極的に参加することができる。「DP：1・3」 2 コミュニケーション能力を養い、仲間と同じ空間や時間を共有できる。「DP：1・3」 3 ルールを把握しゲームの安全かつ円滑な運営ができる。「DP：1・3」 4 健康運動・スポーツ活動の基本的な情報を説明できる。「DP：2」

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/15 (水)	1	オリエンテーション(授業の進め方、評価、諸注意について)、レクリエーション(学生間交流)	実技	前：①自身の自己紹介とスポーツに関する経歴、スポーツの意義と価値についてまとめて当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。 ②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。 前後各120分	安藤 貴通
2	2026/04/22 (水)	2	バスケットボール①	実技	前：①バスケットボールの試合を観戦する(Youtube等)。ルールや練習方法について事前に調べ、当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。 ②当日達成できそうなゴール(目標)を決める 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。 ②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤 貴通
3	2026/05/13 (水)	1	バスケットボール②	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。 ②各自のプレイで良かった点、改善が必要	安藤 貴通

					な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	
4	2026/05/20 (水)	2	バスケットボール③	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤 貴通
5	2026/05/27 (水)	1	バスケットボール④	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のこれまでのバスケットボールの取り組みで良かった点、改善できた点等を総評する。 前後各120分	安藤 貴通
6	2026/06/03 (水)	2	フットサル①	実技	前：①フットサルの試合を観戦する (Youtube等)。ルールや練習方法について事前に調べ、当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤 貴通
7	2026/06/17 (水)	1	フットサル②またはテーブルピンポン ※暑さ指数により授業内容を決める	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤 貴通
8	2026/06/24 (水)	2	フットサル③またはテーブルピンポン ※暑さ指数により授業内容を決める	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のこれまでのフットサルの取り組みで良かった点、改善できた点等を総評する。 前後各120分	安藤 貴通

評価方法	授業への参加態度（努力、積極性、協調性、責任度、服装など）40%、各競技種目における技能の評価：10%、試合の成績：20%、授業前後の課題取り組み状況：30%で評価する。
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について 運動に適した服装・室内シューズを用意すること。（ピアスなどの装飾品やジーパンは不可。）授業進行とは関係ない私語、作業をするなどの行為については口頭指導するが改善が認められない場合は退席を求め、欠席扱いとする。 2 出欠席について 毎回必ず紙(出席カード)等により出席確認を行う。なお、30分以上の遅刻・早退は欠席扱い〔遅刻・早退3回で1回の欠席扱い〕とする。3回以上欠席した場合は単位不認定とする。

	3 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。 4 7・8回目の授業について 環境省が示している暑さ指数（WBGT）が28未満の場合はフットサルとし、28以上でテーブルピンポンとする。（当日の状況により判断する場合もある。）
オフィスアワー	講義終了後に質問等を受け付ける。
備考	▪ 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。 保健師課程進学者(希望者)のうち、養護教諭2種免許の申請を考えている場合は、単位修得が必要となる。

講義名	体育実技		
講義開講時期	前学期	講義区分	実技
単位数	1		
(英文名)	Physical Education		
科目区分	専門基礎科目群 健康の理解		
必修・選択<組>	選択<B組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 安藤 貴通

科目概要	身体活動・運動の効果は、身体活動量(「身体活動の強さ」×「行った時間」の合計)の増加に従って上昇し、健康づくりの重要な要素である。授業の中で身体を動かし、生涯にわたる身体活動の習慣化、活発化を図る。また、生涯にわたる余暇活動の能力を高め、身体運動の経験を通して現代の教養人としての資質を高める。
目標	1 身体を動かすことの楽しさを体感し、ゲームへ積極的に参加することができる。「DP：1・3」 2 コミュニケーション能力を養い、仲間と同じ空間や時間を共有できる。「DP：1・3」 3 ルールを把握しゲームの安全かつ円滑な運営ができる。「DP：1・3」 4 健康運動・スポーツ活動の基本的な情報を説明できる。「DP：2」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/15 (水)	2	オリエンテーション(授業の進め方、評価、諸注意について)、レクリエーション(学生間交流)	実技	前：①自身の自己紹介とスポーツに関する経歴、スポーツの意義と価値についてまとめて当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。 ②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。 前後各120分	安藤 貴通
2	2026/04/22 (水)	1	バスケットボール①	実技	前：①バスケットボールの試合を観戦する(Youtube等)。ルールや練習方法について事前に調べ、当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。 ②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。 ②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤 貴通
3	2026/05/13 (水)	2	バスケットボール②	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。 ②各自のプレイで良かった点、改善が必要	安藤 貴通

					な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	
4	2026/05/20 (水)	1	バスケットボール③	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤 貴通
5	2026/05/27 (水)	2	バスケットボール④	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のこれまでのバスケットボールの取り組みで良かった点、改善できた点等を総評する。 前後各120分	安藤 貴通
6	2026/06/03 (水)	1	フットサル①	実技	前：①フットサルの試合を観戦する (Youtube等)。ルールや練習方法について事前に調べ、当日までに提出(指定のgoogleフォーム)。②当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤 貴通
7	2026/06/17 (水)	2	フットサル②またはテーブルピンポン ※暑さ指数により授業内容を決める	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のプレイで良かった点、改善が必要な点を確認し次回までに実施出来そうな自主練習内容を考え実践する。 前後各120分	安藤 貴通
8	2026/06/24 (水)	1	フットサル③またはテーブルピンポン ※暑さ指数により授業内容を決める	実技	前：当日達成できそうなゴール(目標)を決める。 後：①事前に決めたゴールが達成できたか自己・他者評価する。②各自のこれまでのフットサルの取り組みで良かった点、改善できた点等を総評する。 前後各120分	安藤 貴通

評価方法	授業への参加態度（努力、積極性、協調性、責任度、服装など）40%、各競技種目における技能の評価：10%、試合の成績：20%、授業前後の課題取り組み状況：30%で評価する。
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について 運動に適した服装・室内シューズを用意すること。（ピアスなどの装飾品やジーパンは不可。）授業進行とは関係ない私語、作業をするなどの行為については口頭指導するが改善が認められない場合は退席を求め、欠席扱いとする。 2 出欠席について 毎回必ず紙(出席カード)等により出席確認を行う。なお、30分以上の遅刻・早退は欠席扱い〔遅刻・早退3回で1回の欠席扱い〕とする。3回以上欠席した場合は単位不認定とする。

	3 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。 4 7・8回目の授業について 環境省が示している暑さ指数（WBGT）が28未満の場合はフットサルとし、28以上でテーブルピンポンとする。（当日の状況により判断する場合もある。）
オフィスアワー	講義終了後に質問等を受け付ける。
備考	▪ 最新の知見を取り入れて授業構成をしている。 保健師課程進学者(希望者)のうち、養護教諭2種免許の申請を考えている場合は、単位修得が必要となる。

講義名	栄養学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Nutritional Science		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 山口 節子

科目概要	栄養素と人間の栄養状態の基本を学び、現代の疾病構造、加齢、外部環境因子、生活習慣との関わりについて学修する。対象者の食事摂取状況の把握と改善計画、診療録による情報の把握、栄養アセスメントに基づく栄養管理を学ぶ。また、食事摂取基準や各種ガイドラインを基に食事療法、栄養指導のあり方を学ぶ。
目標	1 看護における栄養学の意義が概説できる。「DP：2」 2 栄養アセスメントにより対象者の栄養状態が予測できる。「DP：2・5」 3 健康保持・増進、疾病回復のための栄養管理が説明できる。「DP：2・3・5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/06/16 (火)	2	栄養素の種類と機能	講義	前：教p. 18～43を読む。 後：エネルギーや栄養素の過不足による健康障害についてレポートを作成する。 前後各120分	山口 節子
2	2026/06/23 (火)	2	食物の消化、栄養素の吸収・代謝、エネルギー代謝	講義	前：教p. 47～72を読む。 後：エネルギー代謝、減量についてレポートを作成する。 前後各120分	山口 節子
3	2026/06/30 (火)	2	食事摂取基準、各種ガイドラインの活用	講義	前：教p. 74～90、93～98を読む。 後：自分のエネルギー、タンパク質、脂質の必要量を計算する。 前後各120分	山口 節子
4	2026/07/01 (水)	2	栄養ケアマネジメント	講義	前：教p. 114～130、132～150を読む。 後：食事調査の方法と特徴をまとめ、自分の食事を調査する。 前後各120分	山口 節子
5	2026/07/08 (水)	2	栄養補給法 NST	講義	前：教p. 188～205を読む。 後：栄養補給法の分類と特徴についてレポートを作成する。 前後各120分	山口 節子
6	2026/07/15 (水)	2	栄養管理 ①栄養代謝疾患	講義	前：教p. 216～219を読む。 後：糖尿病栄養管理支援のレポートを作成する。 前後各120	山口 節子

7	2026/07/22 (水)	2	栄養管理 ②循環器疾患	講義	前：教p. 208～210を読む。 後：高血圧の栄養管理のレポートを作成する。 前後各120分	山口 節子
8	2026/07/29 (水)	2	栄養管理 ③低栄養	講義	前：教p. 179、206、239～241を読む。 後：高齢期の低栄養予防をまとめ、保健機能食品について調べる。 前後各120分	山口 節子
9	2026/08/04 (火)	3	定期試験			山口 節子

評価方法	定期試験80%、レポート20%で評価する。					
教科書・参考書	教科書： 1 中村丁次、他著：「系統看護学講座 人体の構造と機能3 栄養学」医学書院、第14版(2025)、定価2,420円(税込) 参考書： 1 「日本人の食事摂取基準 2025年版」第一出版 2 本田佳子編：「新臨床栄養学 栄養ケアマネジメント」医歯薬出版					
履修上の注意点及び取扱い	1 出席が3分の2に達していない場合は定期試験の受験資格を認めない。 2 定期試験で不合格の場合は、再試験を行う。 3 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。					
オフィスアワー	講義終了後に受け付ける。					
備考	最新の知見を取り入れて授業構成をしている。					

講義名	環境保健学		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Environmental Health		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
講 師(非)	◎ 近藤 繁生

科目概要	人間と人間を取り巻く環境との相互関係を包括的に理解する。更に、人間を始めとする全ての生命にとって、より良い環境を保持するための理解を深め、健康の保持・増進と疾病予防のための知識と技術を学ぶ。
目標	1 現状の環境問題を包括的に解析し、まとめ、他者に対し適切に説明できる。「DP：2・4」 2 環境と疾病の医学的解明、病態を適切に説明でき、疾病予防に対する対策を説明できる。「DP：2・4」 3 健康を維持・増進するための適切な方法論を説明できる。「DP：2・4」 4 疾病発生と予防と社会科学的因子の相互関係を総合的観点から説明できる。「DP：2・4」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/14 (木)	2	環境保健学概論（生態系と環境要因）	講義	前：配布教材の内容を読んでくこと（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 新聞、インターネットなどのマス媒体を通じて1件の環境保健関連時事問題を精読してレポート用紙2枚にまとめる（120分）。	近藤 繁生
2	2026/05/28 (木)	2	水と健康、水質汚濁と健康影響	講義	前：配布教材の内容を読んでくこと（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 国家試験過去問の中から講義内容に該当する問題について解説。レポート用紙1枚にまとめる（120分）。	近藤 繁生
3	2026/06/04 (木)	2	大気汚染、地球温暖化と健康影響	講義	前：配布教材の内容を読んでくこと（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 国家試験過去問の中から講義内容に該当する問題について解説。レポート用紙1枚にまとめる（120分）。	近藤 繁生
4	2026/06/18 (木)	2	食と健康（食中毒、残留農薬、異物混入）	講義	前：配布教材の内容を読んでくこと（120分）。 後：講義後にレポートの作成を課す。 国家試験過去問の中から講義内容に該当する問題	近藤 繁生

					について解説。レポート用紙1枚にまとめる(120分)。	
5	2026/06/25 (木)	2	生活環境における化学的要因(有害化学物質)の健康影響	講義	前:配布教材の内容を読んでくこと(120分)。 後:講義後にレポートの作成を課す。 国家試験過去問の中から講義内容に該当する問題について解説。レポート用紙1枚にまとめる(120分)。。	近藤 繁生
6	2026/07/02 (木)	2	生活環境における生物学的要因(病原微生物、病害動物)の健康影響	講義	前:配布教材の内容を読んでくこと(120分)。 後:講義後にレポートの作成を課す。 国家試験過去問の中から講義内容に該当する問題について解説。レポート用紙1枚にまとめる(120分)。	近藤 繁生
7	2026/07/09 (木)	2	感染症と生活習慣病の予防、対策	講義	前:配布教材の内容を読んでくこと(120分)。 後:講義後にレポートの作成を課す。 国家試験過去問の中から講義内容に該当する問題について解説。レポート用紙1枚にまとめる(120分)。	近藤 繁生
8	2026/07/16 (木)	2	産業保健(各種職業性疾患の原因と予防)。	講義	前:配布教材の内容を読んでくこと(120分)。 後:講義後にレポートの作成を課す。 国家試験過去問の中から講義内容に該当する問題について解説。レポート用紙1枚にまとめる(120分)。	近藤 繁生
9	2026/08/06 (木)	3	定期試験			近藤 繁生

評価方法	定期試験85%、レポート成績10%、授業の参加姿勢5%。
教科書・参考書	毎回配付するプリント資料にのって講義を進める。 参考書: 1 田中正敏、他著:「環境と健康」杏林書院、第4版(2009/4/10)、定価1,430円(税込み) 2 医療情報科学研究所編集:「公衆衛生が見える 2024-2025」メディックメディア、定価4,620円(税込み) 3 厚生労働統計協会編:「国民衛生の動向 2025/2026」厚生労働統計協会、定価3,740円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	1 出席の確認は、入室時と退室時のカードリーダーへの打刻による。 2 再試験(筆記又はレポート)は2回までとし、不合格の場合は次年度に再履修する。 3 課題(レポート)に対し評価コメントしてフィードバックする。
オフィスアワー	授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。
備考	・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	公衆衛生学		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Public Health		
科目区分	専門基礎科目群 環境の理解		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 泉 雅之
教 授(兼 医学部)	菱田 朝陽
教 授(兼 医学部)	林 櫻松
准 教 授	浅野 いずみ
准 教 授	白井 裕子
准 教 授(兼 医学部)	柿崎 真沙子
准 教 授(兼 医学部)	黒田 佑次郎
講 師(兼 医学部)	若山 怜
講 師(兼 医学部)	川合 紗世
講 師(兼 医学部)	篠壁 多恵
講 師(兼 医学部)	川越 隆

科目概要	様々な集団の健康の維持、向上を実現するために看護職に必要とされる公衆衛生の知識、方法、実践の課題を講義形式で学修する。 我が国及び世界の人々が健康に安全に生活するためには医学分野だけでなく、経済、法、行政論、歴史、文化など幅広い分野の視点に立った検討を行わなければならない。病に苦しむ人たちを治療医学によって治療、ケアを行う臨床の視点は看護学分野でも主要な位置を占めるが、治療対象にはならない職場や学校で日々働き、学ぶ人たちの健康を考えるためにはそれだけでは対応できない問題は無数にある。公衆衛生学を学ぶことはこの課題に取り組む上で不可欠な知識と考え方を修得することにほかならない。広い視野とバランスのとれたものの見方で、人々の健康をめぐる様々な問題を取り上げ、考えるいわゆる公衆衛生マインドは看護師、保健師に強く求められる。講義形式でこれらの課題を考え、解説するとともにプロフェッショナルとしての看護職のあり方を伝える。
目標	1 公衆衛生の考え方を理解し、説明できる。「DP:2」 2 公衆衛生の課題を明らかにするための方法を説明できる。「DP:2」 3 我が国及び世界の公衆衛生の現状を説明できる。「DP:2・4」 4 看護職として実践されている公衆衛生の活動を説明できる。「DP:2・3」 5 これからの公衆衛生の課題を挙げ、それぞれの解決方法を考え、説明できる。「DP:2・3」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/15 (火)	3	公衆衛生概論:公衆衛生と健康の概念、疫学とは	講義	前:「公衆衛生がみえる」p2~「公衆衛生と健康の概念」、p10~「疫学」を読 んでおくこと。 後:講義内容のまとめをし て、問題集(公衆衛生最速 トレーニング365問)の該 当する部分の問題を解いて	黒田 佑次郎

					おくこと。 前後各120分	
2	2026/09/15 (火)	4	保健・医療・福祉・介護のしくみ	講義	前：「公衆衛生がみえる」 p152～「社会保障と医療経 済」を読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをし て、問題集（公衆衛生最速 トレーニング365問）の該 当する部分の問題を解いて おくこと。 前後各120分	柿崎 真沙子
3	2026/09/29 (火)	3	地域保健：保健所の役割、二次医療圏、看護師・保健 師の現況、ソーシャルキャピタル	講義	前：「公衆衛生がみえる」 p172～「地域保健」を読ん でおくこと。 後：講義内容のまとめをし て、問題集（公衆衛生最速 トレーニング365問）の該 当する部分の問題を解いて おくこと。 前後各120分	浅野 いずみ
4	2026/09/29 (火)	4	産業保健：労働災害、業務上疾病、過重労働、メンタ ルヘルス対策、産業医	講義	前：「公衆衛生がみえる」 p350～「産業保健」を読ん でおくこと。 後：講義内容のまとめをし て、問題集（公衆衛生最速 トレーニング365問）の該 当する部分の問題を解いて おくこと。 前後各120分	若山 怜
5	2026/10/06 (火)	3	国際保健：世界の死因、世界の疾病、所得と死因、 NCD、マラリア、エイズ、結核	講義	前：インターネットで 「WHOファクトシート」を 検索し、「死亡原因トップ 10」「結核」「エイズ」を 読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをし て、問題集（公衆衛生最速 トレーニング365問）の該 当する部分の問題を解いて おくこと。 前後各120分	篠壁 多恵
6	2026/10/06 (火)	4	保健統計資料の活用：人口の指標、人口動態、合計特 殊出生率、労働力人口、生産年齢人口、生命表、平 均余命	講義	前：「国民衛生の動向」第 2編・第2章・1. 出生及 び2. 死亡1) 死亡の動向 を 読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをし て、問題集（公衆衛生最速 トレーニング365問）の該 当する部分の問題を解いて おくこと。 前後各120分	林 櫻松
7	2026/10/20 (火)	3	食品保健：「栄養・食生活」「食事摂取基準」「食中 毒」「食品保健に関する法律」	講義	前：「公衆衛生がみえる」 p314～「食品保健」p332～ 「栄養」を読んでおくこ と。 後：講義内容のまとめをし て、問題集（公衆衛生最速 トレーニング365問）の該 当する部分の問題を解いて おくこと。 前後各120分	黒田 佑次郎
8	2026/10/20 (火)	4	生活習慣病の疫学(1)：生活習慣病対策、健康寿命、 特定健康診査、特定保健指導、生活習慣病による死 亡状況	講義	前：「国民衛生の動向」第 2編・第2章・1. 出生及 び2. 死亡2) 死因の概要を 読んでおくこと。 後：講義内容のまとめをし て、問題集（公衆衛生最速 トレーニング365問）の該 当する部分の問題を解いて	篠壁 多恵

					おくこと。 前後各120分	
9	2026/10/27 (火)	3	感染症(1):感染症予防法、新興感染症、再興感染症、ウイルス肝炎、HTLV-1、エイズ、結核、結核医療	講義	前:「国民衛生の動向」第3編・第3章・1.感染症 2)感染症の最近の動向(2)主な感染症の最近の動向(3)ウイルス性出血熱(4)ウイルス性肝炎 2. HIV・エイズ(AIDS) 3. 結核 を読んでおくこと。 後:講義内容のまとめをして、問題集(公衆衛生最速トレーニング365問)の該当する部分の問題を解いておくこと。 前後各120分	川合 紗世
10	2026/10/27 (火)	4	感染症(2):検疫法、検疫感染症、予防接種法、定期接種、個別接種、ワクチン	講義	前:「国民衛生の動向」第3編・第3章・4. 検疫、5. 予防接種を読んでおくこと。 後:講義内容のまとめをして、問題集(公衆衛生最速トレーニング365問)の該当する部分の問題を解いておくこと。 前後各120分	川合 紗世
11	2026/11/10 (火)	3	生活習慣病の疫学(2):高血圧、アルコール摂取、喫煙率、部位別がん死亡率、がんの年齢調整死亡率	講義	前:「国民衛生の動向」第3編・第1章を読んでおくこと。 後:講義内容のまとめをして、問題集(公衆衛生最速トレーニング365問)の該当する部分の問題を解いておくこと。 前後各120分	林 櫻松
12	2026/11/10 (火)	4	母子保健:母子保健法、母子健康手帳、乳幼児突然死症候群、低体重児、未熟児	講義	前:「国民衛生の動向」第3編・第2章・1. 母子保健 を読んでおくこと。 後:講義内容のまとめをして、問題集(公衆衛生最速トレーニング365問)の該当する部分の問題を解いておくこと。 前後各120分	菱田 朝陽
13	2026/11/30 (月)	2	社会保障制度と公衆衛生、生活困窮に対する公的扶助—生活保護制度、保健と福祉、精神保健福祉制度	講義	前:「公衆衛生学がみえる」152~167ページを読んでおくこと。 後:講義内容のまとめをして、問題集(公衆衛生最速トレーニング365問)の該当する部分の問題を解いておくこと。 前後各120分	白井 裕子
14	2027/01/12 (火)	4	学校保健:学齢期の健康状況、学校保健行政、児童生徒の定期健康、学校保健安全法、被患率、学校医、学校歯科医、学校薬剤師	講義	前:「公衆衛生学がみえる」p340~「学校保健」を読んでおくこと。 後:講義内容のまとめをして、問題集(公衆衛生最速トレーニング365問)の該当する部分の問題を解いておくこと。 前後各120分	川越 隆
15	2027/01/13 (水)	2	老人保健・介護保険制度:後期高齢者医療制度、後期高齢者広域連合、地域包括支援センター、要介護認定	講義	前:「公衆衛生学がみえる」230ページ~「高齢者保健」を読んでおくこと。 後:講義内容のまとめをして、問題集(公衆衛生最速トレーニング365問)の該	泉 雅之

					当する部分の問題を解いておくこと。 前後各120分	
16	2027/01/26 (火)	3	定期試験			全員
評価方法		定期試験(80%)、課題レポート(20%)で評価します。				
教科書・参考書		教科書： 1 医療情報科学研究所編(2026)：「公衆衛生がみえる2026-2027」、メディックメディア(2026/3)、定価4,200円＋税 2 厚生労働統計協会編(2026)：「国民衛生の動向2026/2027」、厚生労働統計協会(2026/8)、定価3,740円(税込み) 3 西基 著(2024)：「New Simple Step 公衆衛生 最速トレーニング365問」、総合医学社(2024/4)、定価4,180円(税込み)				
履修上の注意点 及び取扱い		1 授業中は教科書を参照しながら進める。さらに要点をまとめた授業資料を用いて解説する。 2 授業後、質問がある場合は担当する教員に学内メールにて尋ねることができる。教員は質問に答えるなどフィードバックを行う。 3 出席は入室時と退室時にはカードリーダーにより打刻する。 4 AIDLE-Kにフィードバック入力を指示された場合は、指定時間までに入力する。 5 単位取得について (1) 出席は2/3以上とする。 (2) 定期試験と課題レポートに合格すること。定期試験と課題レポートの合計点が60点未満の場合、再試験を2回まで実施する。 6 定期試験終了後、希望者のみ質問会を行う。定期試験終了後、希望者は、事前に教員(担当：浅野)まで必ずアポイントメントをとること。				
オフィスアワー		泉 雅之 月曜日 17:00～18:30 C棟7階教授室7 浅野 いずみ 水曜日 16:10～17:40 看護学部棟2階 N251研究室 その他の講師については授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。				
備考		・ 毎回の講義の前に準備学修に取り組むこと。講義後は講義中に教科書の中で強調したところを繰り返し見直し、問題集(公衆衛生最速トレーニング365問)の該当する部分の問題を解いておくこと。公衆衛生学は膨大な法令と制度の積み重ねから成り立っているため、基本的な内容を理解するためには覚えていなければならないことが多いのも事実だが、全体の構造の理解に重点を置いて授業を進めて行く。 ・ 最新の知見を取り入れて構成をしている。				

講義名	コミュニケーション論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	2		
(英文名)	Communication Studies		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山本 恵美子
教 授	心光 世津子
講 師(非)	阿部 恵子

科目概要	看護実践の基盤となる援助的関係についての理論と知識を理解し、グループ演習を通して援助的関係に必要なコミュニケーション技術について学修する。また、グループワークで生じる様々な体験を通して、自己理解や他者理解及び自己の関わり方について考察し、援助的関係における自己の課題を明確にする。
目標	1 自己理解、人間関係の成立・発展を踏まえた人間関係の構築のためのコミュニケーションについて説明できる。[DP : 5] 2 社会的コミュニケーションと専門的コミュニケーションの違いを理解し、対象の状況に応じたコミュニケーション技法を選択し実施できる。[DP : 5] 3 生活者として一人ひとりが尊いという視点を持ち、コミュニケーションを実践できる。[DP : 5] 4 事例における対人援助関係のかかわり場面を振り返り、コミュニケーションにおける自己の課題を考察できる。[DP : 5] 5 自分の意見を明確に伝えチームメンバーの意見を傾聴することでチーム内のコミュニケーションを効果的に行うことができる。[DP : 5]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/13 (月)	1	全体オリエンテーション、コミュニケーションの意義と目的	講義	前：教科書 1 P18-28を読む。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	山本 恵美子
2	2026/04/13 (月)	2	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション	講義	前：教科書 2 P184-187を読む。言語・非言語コミュニケーションについて調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理し、事後課題に取り組む。 前後120分	山本 恵美子
3	2026/04/14 (火)	1	対人関係と相互作用：援助的関係構築のためのコミュニケーション	講義	前：教科書 1 P29-44を読む。事前配布資料を熟読する。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	山本 恵美子
4	2026/04/14 (火)	2	コミュニケーション障害への対応	講義	前：教科書 1 P57-62を読む。コミュニケーション障害について調べる。 後：講義資料を読み学習し	山本 恵美子

					た内容を整理する。 前後120分	
5	2026/04/20 (月)	1	生活者としての患者理解：ナラティブアプローチ	講義	前：ナラティブアプローチについて調べる。教科書3 P184-191を読む。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	心光 世津子
6	2026/04/20 (月)	2	カウンセリングとコーチング：基本的態度と技法	講義	前：教科書1 P44-56、教科書3 P104-113、126-139を読む。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	心光 世津子
7	2026/04/21 (火)	1	アサーティブコミュニケーション	講義	前：アサーティブコミュニケーションについて調べる。教科書1 P53-56、教科書3 P142-157を読む。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	心光 世津子 山本 恵美子
8	2026/04/21 (火)	2	アサーティブコミュニケーション	演習	前：教科書1 P53-56、教科書3 P142-157を読む。 後：演習内容を振り返り学習した内容を整理する。 前後120分	心光 世津子 山本 恵美子
9	2026/04/27 (月)	1	個人と集団：リーダーシップとメンバーシップ、マスコミュニケーション、ソーシャルメディア（SNSによるコミュニケーション）	講義	前：リーダーシップとメンバーシップについて調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	山本 恵美子
10	2026/04/27 (月)	2	異文化理解：外国人患者とのコミュニケーション	講義	前：教科書2 P306-308を読む。異文化理解について調べる。 後：講義資料を読み学習した内容を整理する。 前後120分	阿部 恵子
11	2026/05/11 (月)	1	看護におけるコミュニケーションスキルとリフレクション	講義	前：教科書1 P299-302、教科書3 P191-195を読む。 後：演習の学びを振り返り、事後課題に取り組む。 前後120分	心光 世津子
12	2026/05/11 (月)	2	看護におけるコミュニケーションスキル DVD視聴：グループワーク	講義・演習	前：これまでの講義資料を読み返し学習内容を整理する。 後：演習の学びを振り返り、事後課題に取り組む。 前後120分	山本 恵美子
13	2026/05/18 (月)	1	看護面接：学生同士のロールプレイ	演習	前：事前に提示された事例を熟読する。 後：講義資料を読み学習した内容を整理し、事後課題に取り組む 前後120分	山本 恵美子 心光 世津子
14	2026/05/18 (月)	2	看護面接：学生同士のロールプレイ	演習	前：事前に提示された事例を熟読する。 後：講義資料を読み学習した内容を整理し、事後課題に取り組む 前後120分	山本 恵美子 心光 世津子
15	2026/05/25 (月)	2	看護場面の再構成 多職種連携医療：チームコミュニケーション	講義	前：教科書1 P25-29、教科書2 P270-274を読む。 後：これまで学習した内容を整理しレポートにまとめ	山本 恵美子

					る。 前後120分	
16	2026/08/04 (火)	2	定期試験			
評価方法		定期試験 70%、課題レポート及び学習姿勢（出席状況を含む）30%				
教科書・参考書		教科書： 1 茂野香おる、他：「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、(2023)、定価2,970円（税込み） 2 志自岐 康子編：「看護学概論（ナースィング・グラフィカ―基礎看護学(1)）」、メディカ出版、第7版（2022/1/20）、定価3,080円（税込み） 3 石川ひろの他：「系統看護学講座 基礎分野 人間関係論」医学書院 第4版(2025/12/10)、定価2,640円（税込み） 参考書： 1 H.E. ペプロウ著/稲田八重子他訳：「人間関係の看護論」医学書院 （1973/4） 定価2,750円 （税込み） 2 宮本眞巳：「改訂版 看護場面の再構成」日本看護協会出版会 （2019/11） 定価1,760円 （税込み）				
履修上の注意点 及び取扱い		1 出席は、出席システムにより確認する。 2 定期試験は、学則に準ずる。 3 定期試験不合格者には、再試験を行う。再試験は1回とする 4 フィードバックの方法 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。 5 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。				
オフィスアワー		山本 恵美子 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟3階N351研究室 心光 世津子 金曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室2 阿部 恵子 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する。				
備考		〔実務〕 ・医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、コミュニケーション技術の基本について教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。				

講義名	看護学原論Ⅰ		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Fundamentals of NursingⅠ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
准 教 授	山幡 朗子
客員教授	高柳 友子

科目概要	人間理解に基づいて、看護とは何かを理解し、専門職者として看護職に求められる資質を育むために、ヘルスケアにおける看護独自の機能、看護の目的、対象、方法について学ぶ。
目 標	1 看護の目的・概念について説明できる。「DP：1・6」 2 看護の対象について説明できる。「DP：1・2」 3 医療システムにおける看護の役割について説明できる。「DP：2・3」 4 看護職の専門性を支える法律・倫理について説明できる。[DP：1・5] 5 看護独自の機能を発揮するために看護が用いる方法（看護過程）について説明できる。[DP：1・5] 6 社会における看護専門職の役割から、今後の看護展望を考えることができる。[DP：6]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/14 (火)	3	ガイダンス 看護への導入：看護とは何か、健康とは何か、看護の本質的意義・看護がおこなうこと、看護の役割、看護を規定する法律	講義	前：テキストp18-28、p33-42を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後各120分	篠田 かおる
2	2026/04/21 (火)	3	看護の変遷：看護が社会にはたしてきた役割や変遷 看護の対象とその理解①：看護の対象である人間とは、生活者としての人間、対象者としての家族、集団、地域	講義	前：テキストp43-67、p70-94を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後各120分	篠田 かおる
3	2026/04/28 (火)	3	看護の対象とその理解②：ライフサイクルと健康、成長・発達する存在としての人間、発達段階	講義	前：テキストp112-123を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後各120分	山幡 朗子
4	2026/05/12 (火)	3	看護提供の場に応じた看護：医療施設における看護、地域における看護、継続看護	講義	前：テキストp236-246を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む 前後各120分	山幡 朗子
5	2026/05/19 (火)	2	看護の対象とその理解③ 地域場面における看護の対象と役割（補助犬の活動に学ぶ障がい者の理解）	講義 VTR視聴 介助犬によるデモ	前：事前配布資料を読む。 後：講義資料と講義内容から地域場面における障がい者生活についての理解を深	高柳 友子

				ンスト レー ション	める 前後各120分	
6	2026/06/16 (火)	1	看護が用いる方法 クリティカルシンキング・看護 過程（看護過程とは、役割と意義）	講義	前：テキストp198-204を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組む 前後各120分	山本 恵美子
7	2026/06/23 (火)	4	病院における看護の実際：実践家としての看護職	講義	前：テキストp238-239を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組む 前後各120分	臨床看護師
8	2026/06/30 (火)	1	社会変化と看護に求められる役割 これからの看護課題と展望	講義	前：テキストp318-325を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各120分	篠田 かおる
9	2026/08/07 (金)	3	定期試験			篠田 かおる 山本 恵美子 山幡 朗子

評価方法	定期試験（80％）、課題レポート・講義発言（20％）					
教科書・参考書	教科書： 1 志自岐 康子他編：「看護学概論（ナースィング・グラフィカ―基礎看護学(1)）」、メディカ出版、第7版 （2022/1/20）、定価3,080円（税込み） 参考書： 1 茂野香おる編：「看護学概論（系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[1]）」、医学書院、第17版 （2020/1/6）、定価2,640円（税込み） 2 松木光子：「看護学概論（看護とは・看護学とは）」、ヌーベルヒロカワ、第5版 （2011/2）、定価2,420円（税込み）					
履修上の注意点 及び取扱い	1 試験等について (1) 定期試験の受験は、3分の2以上出席した者に認める。 (2) 再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 2 フィードバックの方法 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義もしくはAIDLE-Kにて行う。					
オフィスアワー	篠田 かおる 水曜日 16：30～18：00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16：10～17：40 看護学部棟3階N353研究室 高柳 友子 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する					
備考	「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員が、看護とは何か看護職者に必要な基礎的事項について教育を行 う。 最新の知見を取り入れて講義構成をしている。					

講義名	看護学原論Ⅱ		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Fundamentals of Nursing Ⅱ		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山本 恵美子
教 授	山中 真
准 教 授	山幡 朗子

科目概要	看護実践の基盤となる理論枠組みを理解しつつ、「看護とは」を改めて問い直し、理論を実践に応用するための知識を教授する。また、看護理論に基づいた看護実践の意味づけを検討する中で意図的な看護ケア実践の重要性について学ぶ。看護専門職者として倫理的視点に立った看護職者のあるべき姿や将来の看護について学修する。
目標	1 看護とは何かについて、看護の専門性や看護を規定する制度から述べることができる。「DP:1」 2 看護倫理に基づく、看護のプロフェッショナリズムを述べることができる。「DP:1・4」 3 看護理論について講義で扱う理論家の主要概念を説明できる。「DP:5」 4 看護理論に基づいた実践的科学としての思考過程を述べることができる。「DP:5・6」 5 事例を通して、科学的根拠に基づいた看護実践を討議できる。「DP:5・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/10/27 (火)	1	関連法規 看護の目的と看護を規定する近年の法制度の変化	講義	前：教科書 p206～232を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各120分	山中 真
2	2026/11/10 (火)	1	看護倫理 看護倫理の基づくプロフェッショナルリズム	講義	前：教科書 p152～180を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各120分	山中 真
3	2026/11/17 (火)	1	看護の役割 プロフェッショナルリズムに基づく多職種連携	講義	前：教科書 p276～325を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各120分	山中 真
4	2026/12/01 (火)	1	看護理論①：理論の構成要素と種類、看護理論の発展、代表的な看護理論 1	講義 事例に基づく討議	前：教科書 p126～150, p345～347を読む。 後：講義資料を読み、各理論家の看護理論の特徴の理解を深める。 前後各120分	山幡 朗子

5	2027/01/05 (火)	1	看護理論② : 代表的な看護理論 2	講義 事例に基 づく討議	前：教科書 p126～150, p345～347を読む。 後：講義資料を読み、各理 論家の看護理論の特徴の理 解を深める。 前後各120分	山幡 朗子
6	2027/01/06 (水)	2	看護の役割に基づいた倫理的課題	事例に基 づく討議	前：教科書 p37～40, p326～329を読む。事前提 示資料に基づき、事例の倫 理的課題を考察する。 後：討議を通し、事例の倫 理的課題についてまとめ る。 前後各120分	山幡 朗子
7	2027/01/12 (火)	1	実践科学としての看護① ヘルスアセスメントの意義	講義 事前課題 に基づく 討議	前：教科書 p201～203を 読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各120分	山本 恵美子
8	2027/01/19 (火)	1	実践科学としての看護② ヘルスアセスメントに基づく病態理解	講義 事前課題 に基づく 討議	前：教員が提示した事前課 題に取り組む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各120分	山本 恵美子
9	2027/01/25 (月)	2	定期試験			山本 恵美子 山中 真 山幡 朗子

評価方法	定期試験（70%）課題レポート・演習への取り組み（30%）
教科書・参考書	教科書： 1 志自岐 康子編：「看護学概論（ナースング・グラフィカー基礎看護学(1)）」、メディカ出版、第7版 (2022/1/20)、定価3,080 円（税込み） 参考書： 1 松木光子：「看護学概論（看護とは・看護学とは）」、ヌーベルヒロカワ、第5版 (2011/2)、定価2,420円（税込み）
履修上の注意点 及び取扱い	1 出席は、問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。 2 大学規定に沿わない欠席については、課題レポートに加え最終評価の10%を減することとする。 3 定期試験不合格者には、再試験を行う。再試験は1回とする。 4 フィードバックの方法 講義後、振り返りをAIDLE-Kに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-Kにて行う。
オフィスアワー	山中 真 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟2階N252研究室 山幡 朗子 月曜日 16：10～17：40 看護学部棟3階N353研究室 山本 恵美子 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟3階N351研究室
備考	看護関連法規においては、最新の法制度について講義を行う。倫理課題に関する演習では、医療機能評価機構な どの医療事故などの最新の知見に基づいて講義構成を行う。

講義名	ヘルスアセスメント		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Health Assessment		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修< A 組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
准 教 授	山幡 朗子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	ヘルスアセスメントの概念、目的、方法論の全容を学修し、対象を全人的に把握することの重要性とその意味を理解する。また、ヘルスアセスメントに必要な観察技術や測定技術、コミュニケーション技術を用いて対象の健康状態を査定し、基準と基準からの逸脱を判断できる知識・技術について修得する。更にその結果から対象の健康状態を評価し、看護の必要性について考察することにつながることを学ぶ。
目標	1 ヘルスアセスメントの概念、看護における意義と目的、看護への活用（看護過程との関連）について説明できる。「DP：5」 2 看護の対象との援助的関係を基盤とした、健康歴聴取の目的・方法について説明できる。「DP：1・5」 3 倫理的な配慮に基づいた安全で安楽なアセスメントの方法について説明できる。「DP：1・5」 4 アセスメントを行うために必要な環境調整と準備（必要物品・導入）を行うことができる。「DP：5」 5 アセスメントの基本技術（視診・聴診・打診・触診）の目的を理解し、実施することができる。「DP：5」 6 健康な対象に日常生活行動に関するアセスメントを実施し、その結果を適切な用語を使用して対象に説明し、記録できる。「DP：1・5」 7 アセスメントの結果から対象の日常生活行動を理解し、看護の必要性について考えることができる。「DP：1・5・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/14 (月)	3	【オリエンテーション】ヘルスアセスメントを学ぶにあたって 【講義】看護過程におけるヘルスアセスメントの位置づけと判断、対象者の全人的な把握、日常生活行動からみるヘルスアセスメント、ヘルスアセスメントにおける倫理的配慮、準備、基本技術、記録	講義	前：教科書 1 のp. 2-6、15-22、教科書 2 のp. 124-127、138-149を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田 かおる
2	2026/09/17 (木)	4	【講義および演習】健康歴の聴取、記録	講義および演習	前：教科書 1 のp. 7-14、教科書 2 のp. 128-138を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田 かおる 全員

3	2026/10/05 (月)	1	【講義】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ①（バイタルサインズ測定の意義 と目的、体温測定、意識レベル）	講義	前：教科書 1 のp. 34-83、 p. 232-237、教科書 2 の p. 150-171を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	中村 美奈子
4	2026/10/05 (月)	2	【講義】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ②（脈拍測定、呼吸測定、血圧測 定、バイタルサインズのアセスメントと記録）	講義	前：教科書 1 のp. 34-83、 p. 232-237、教科書 2 の p. 150-171を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	中村 美奈子
5	2026/10/19 (月)	1	【演習】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸測定、血圧測 定：触診法、聴診法）	演習	前：提示した演習前課題を 行う。 後：提示した演習後課題を 行う。 前後各60分	全員
6	2026/10/19 (月)	2	【演習】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸測定、血圧測 定：触診法、聴診法）	演習	前：提示した演習前課題を 行う。 後：提示した演習後課題を 行う。 前後各60分	全員
7	2026/10/29 (木)	3	【講義】食べる、排泄するをアセスメントする 腹部（視診、腸蠕動音の聴診、打診、触診、腹部の アセスメントと記録）	講義	前：教科書 1 のp. 170- 203、p. 226-275、教科書 2 のp. 212-221、p. 240-252を 読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	篠田 かおる
8	2026/10/29 (木)	4	【講義】動くをアセスメントする 筋骨格（視診、触診、ROM、MMT、筋骨格のアセスマ ントと記録）、脳神経	講義	前：教科書 1 のp. 276- 295、p. 326-353、教科書 2 のp. 221-239を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	篠田 かおる
9	2026/11/05 (木)	3	【演習】食べる、排泄するをアセスメントする 腹部（視診、腸蠕動音の聴診、打診、触診）	演習	前：提示した演習前課題を 行う。 後：提示した演習後課題を 行う。 前後各60分	全員
10	2026/11/05 (木)	4	【演習】動くをアセスメントする 筋骨格（関節の視診・触診、ROM、MMT、脊柱・下 肢）、脳神経	演習	前：提示した演習前課題を 行う。 後：提示した演習後課題を 行う。 前後各60分	全員
11	2026/11/12 (木)	3	【講義】呼吸をアセスメントする （問診、視診、触診、打診、呼吸音の聴診、呼吸の アセスメントと記録）	講義	前：教科書 1 のp. 100- 136、教科書 2 のp. 188-198 を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	板津 良
12	2026/11/12 (木)	4	【講義】循環をアセスメントする （問診、視診、触診、心音の聴診、循環のアセスマ ントと記録）	講義	前：教科書 1 のp. 138- 169、教科書 2 のp. 198-207 を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	板津 良
13	2026/11/26 (木)	4	【技術チェック】バイタルサインズ	技術チェ ック	前：配布するチェックリス トに基づき、バイタルサイ ンズ測定の練習を行う。時	臨床看護師

					間指定しない。 後：技術チェックを振り返り、自己の課題を見出す。 30分	
14	2026/12/03 (木)	3	【演習】呼吸をアセスメントする (ランドマークの確認、呼吸音の聴診)	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
15	2026/12/03 (木)	4	【演習】循環をアセスメントする (ランドマークの確認、心音の聴診、末梢循環の確認)	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
16	2027/01/28 (木)	3	定期試験			篠田 かおる 板津 良 中村 美奈子

評価方法	以下を総合的に評価する。 1 筆記試験 (80%) 2 技術チェック (5%) 3 講義・演習への参加度 (15%) (1) 演習の出席状況 (2) 講義・演習への参加態度 (3) 課題の提出状況 (4) 課題への取り組み状況					
教科書・参考書	教科書： 1 熊谷たまき他監修：「看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント」、メディックメディア、第1版 (2019/12)、定価3,630円 (税込) 2 茂野香おる他：「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(2) 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版 (2023/1)、定価2,970円 (税込) 参考書： 1 大久保暢子編：「日常生活行動からみるヘルスアセスメント」、日本看護協会出版会、第2版 (2025/11)、定価3,960円 (税込) 動画： 1 ナーシング・スキル (ELSEVIER) 2 「フィジカルアセスメント1、2、3、4、5」医学映像教育センター その他： 本科目は、既習の形態機能学や看護観系科目を復習しながら履修するため、1学年次前期の教科書や資料も必要となる。また、適宜参考資料を紹介する。					
履修上の注意点及び取扱い	本科目は講義と演習で構成されており、実践的に学修を進める。演習では学生がペアになり互いに診察を行う。 1 講義・演習への主体的な参加 実技を修得する科目であるため、積極的かつ主体的に学修する。 (1) 講義・演習の前には、該当する身体の状態機能について復習しておく。 (2) 演習前には、指示された課題 (動画の視聴も含む) を行って演習に臨む。 (3) 技術チェックには臨床看護師が参加する。チェックに向けて、事前に配布するチェックリストを用いて、確実な技術を修得できるよう練習を積み重ねる。 2 この科目に合格しないと「基礎看護学実習Ⅱ」の履修はできない。 【欠席について】 1 出席管理システム (講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻) により出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計2回、打刻する。 2 30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。 【定期試験について】 1 実技を修得する科目であるため、3分の2以上の出席によって定期試験の受験資格を認める。 2 追試験・再試験は、大学の定めに従い実施する。再試験は1回のみ実施し、再試験においても不合格の場合には、次年度再履修する。 【その他】 1 フィードバックについて (1) 講義：次回の授業またはAIDLE-KIにて行う。 (2) 技術チェック：技術チェック後に担当者より行う。 (3) 定期試験：希望者に対して行うので、事前にアポイントメントをとる。					
オフィスアワー	篠田 かおる 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N353研究室 板津 良 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N370研究室					

備考	[実務] 医療機関において看護師としての実務経験を持つ教員が、ヘルスアセスメントの基本について教育を行う。 ▪ 研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。
----	--

講義名	ヘルスアセスメント		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Health Assessment		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修<B組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
准 教 授	山幡 朗子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	ヘルスアセスメントの概念、目的、方法論の全容を学修し、対象を全人的に把握することの重要性とその意味を理解する。また、ヘルスアセスメントに必要な観察技術や測定技術、コミュニケーション技術を用いて対象の健康状態を査定し、基準と基準からの逸脱を判断できる知識・技術について修得する。更にその結果から対象の健康状態を評価し、看護の必要性について考察することにつながることを学ぶ。
目標	1 ヘルスアセスメントの概念、看護における意義と目的、看護への活用（看護過程との関連）について説明できる。「DP：5」 2 看護の対象との援助的関係を基盤とした、健康歴聴取の目的・方法について説明できる。「DP：1・5」 3 倫理的な配慮に基づいた安全で安楽なアセスメントの方法について説明できる。「DP：1・5」 4 アセスメントを行うために必要な環境調整と準備（必要物品・導入）を行うことができる。「DP：5」 5 アセスメントの基本技術（視診・聴診・打診・触診）の目的を理解し、実施することができる。「DP：5」 6 健康な対象に日常生活行動に関するアセスメントを実施し、その結果を適切な用語を使用して対象に説明し、記録できる。「DP：1・5」 7 アセスメントの結果から対象の日常生活行動を理解し、看護の必要性について考えることができる。「DP：1・5・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/14 (月)	3	【オリエンテーション】ヘルスアセスメントを学ぶにあたって 【講義】看護過程におけるヘルスアセスメントの位置づけと判断、対象者の全人的な把握、日常生活行動からみるヘルスアセスメント、ヘルスアセスメントにおける倫理的配慮、準備、基本技術、記録	講義	前：教科書 1 のp. 2-6、15-22、教科書 2 のp. 124-127、138-149を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田 かおる
2	2026/09/17 (木)	4	【講義および演習】健康歴の聴取、記録	講義および演習	前：教科書 1 のp. 7-14、教科書 2 のp. 128-138を読む。 後：講義資料を読み、教員が提示した課題に取り組む。 前後各30分	篠田 かおる 全員

3	2026/10/05 (月)	1	【講義】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ①（バイタルサインズ測定の意義 と目的、体温測定、意識レベル）	講義	前：教科書 1 のp. 34-83、 p. 232-237、教科書 2 の p. 150-171を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	中村 美奈子
4	2026/10/05 (月)	2	【講義】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ②（脈拍測定、呼吸測定、血圧測 定、バイタルサインズのアセスメントと記録）	講義	前：教科書 1 のp. 34-83、 p. 232-237、教科書 2 の p. 150-171を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	中村 美奈子
5	2026/10/20 (火)	1	【演習】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸測定、血圧測 定：触診法、聴診法）	演習	前：提示した演習前課題を 行う。 後：提示した演習後課題を 行う。 前後各60分	全員
6	2026/10/20 (火)	2	【演習】「生きている」をアセスメントする バイタルサインズ（体温・脈拍・呼吸測定、血圧測 定：触診法、聴診法）	演習	前：提示した演習前課題を 行う。 後：提示した演習後課題を 行う。 前後各60分	全員
7	2026/10/29 (木)	3	【講義】食べる、排泄するをアセスメントする 腹部（視診、腸蠕動音の聴診、打診、触診、腹部の アセスメントと記録）	講義	前：教科書 1 のp. 170- 203、p. 226-275、教科書 2 のp. 212-221、p. 240-252を 読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	篠田 かおる
8	2026/10/29 (木)	4	【講義】動くをアセスメントする 筋骨格（視診、触診、ROM、MMT、筋骨格のアセスマ ントと記録）、脳神経	講義	前：教科書 1 のp. 276- 295、p. 326-353、教科書 2 のp. 221-239を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	篠田 かおる
9	2026/11/05 (木)	3	【演習】食べる、排泄するをアセスメントする 腹部（視診、腸蠕動音の聴診、打診、触診）	演習	前：提示した演習前課題を 行う。 後：提示した演習後課題を 行う。 前後各60分	全員
10	2026/11/05 (木)	4	【演習】動くをアセスメントする 筋骨格（関節の視診・触診、ROM、MMT、脊柱・下 肢）、脳神経	演習	前：提示した演習前課題を 行う。 後：提示した演習後課題を 行う。 前後各60分	全員
11	2026/11/12 (木)	3	【講義】呼吸をアセスメントする （問診、視診、触診、打診、呼吸音の聴診、呼吸の アセスメントと記録）	講義	前：教科書 1 のp. 100- 136、教科書 2 のp. 188-198 を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	板津 良
12	2026/11/12 (木)	4	【講義】循環をアセスメントする （問診、視診、触診、心音の聴診、循環のアセスマ ントと記録）	講義	前：教科書 1 のp. 138- 169、教科書 2 のp. 198-207 を読む。 後：講義資料を読み、教員 が提示した課題に取り組 む。 前後各30分	板津 良
13	2026/11/26 (木)	3	【技術チェック】バイタルサインズ	技術チェ ック	前：配布するチェックリス トに基づき、バイタルサイ ンズ測定の練習を行う。時	臨床看護師

					間指定しない。 後：技術チェックを振り返り、自己の課題を見出す。 30分	
14	2026/12/03 (木)	3	【演習】呼吸をアセスメントする (ランドマークの確認、呼吸音の聴診)	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
15	2026/12/03 (木)	4	【演習】循環をアセスメントする (ランドマークの確認、心音の聴診、末梢循環の確認)	演習	前：提示した演習前課題を行う。 後：提示した演習後課題を行う。 前後各60分	全員
16	2027/01/28 (木)	3	定期試験			篠田 かおる 板津 良 中村 美奈子

評価方法	以下を総合的に評価する。 1 筆記試験 (80%) 2 技術チェック (5%) 3 講義・演習への参加度 (15%) (1) 演習の出席状況 (2) 講義・演習への参加態度 (3) 課題の提出状況 (4) 課題への取り組み状況					
教科書・参考書	教科書： 1 熊谷たまき他監修：「看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント」、メディックメディア、第1版 (2019/12)、定価3,630円 (税込) 2 茂野香おる他：「系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学(2) 基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、第19版 (2023/1)、定価2,970円 (税込) 参考書： 1 大久保暢子編：「日常生活行動からみるヘルスアセスメント」、日本看護協会出版会、第2版 (2025/11)、定価3,960円 (税込) 動画： 1 ナーシング・スキル (ELSEVIER) 2 「フィジカルアセスメント1、2、3、4、5」医学映像教育センター その他： 本科目は、既習の形態機能学や看護観系科目を復習しながら履修するため、1学年次前期の教科書や資料も必要となる。また、適宜参考資料を紹介する。					
履修上の注意点及び取扱い	本科目は講義と演習で構成されており、実践的に学修を進める。演習では学生がペアになり互いに診察を行う。 1 講義・演習への主体的な参加 実技を修得する科目であるため、積極的かつ主体的に学修する。 (1) 講義・演習の前には、該当する身体の状態機能について復習しておく。 (2) 演習前には、指示された課題 (動画の視聴も含む) を行って演習に臨む。 (3) 技術チェックには臨床看護師が参加する。チェックに向けて、事前に配布するチェックリストを用いて、確実な技術を修得できるよう練習を積み重ねる。 2 この科目に合格しないと「基礎看護学実習Ⅱ」の履修はできない。 【欠出席について】 1 出席管理システム (講義・演習開始前と終了後のカードリーダーへの打刻) により出席の確認をする。2コマ連続の場合は、開始前、終了時の合計2回、打刻する。 2 30分以上の遅刻・早退は欠席とみなす。 【定期試験について】 1 実技を修得する科目であるため、3分の2以上の出席によって定期試験の受験資格を認める。 2 追試験・再試験は、大学の定めに従い実施する。再試験は1回のみ実施し、再試験においても不合格の場合には、次年度再履修する。 【その他】 1 フィードバックについて (1) 講義：次回の授業またはAIDLE-KIにて行う。 (2) 技術チェック：技術チェック後に担当者より行う。 (3) 定期試験：希望者に対して行うので、事前にアポイントメントをとる。					
オフィスアワー	篠田 かおる 水曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟3階N353研究室 板津 良 月曜日 16:10～17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30～18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10～17:40 基礎科学棟3階N370研究室					

備考	[実務] 医療機関において看護師としての実務経験を持つ教員が、ヘルスアセスメントの基本について教育を行う。 ▪ 研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。
----	--

講義名	基礎看護技術 I		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
(英文名)	Fundamentals in Nursing Skills I		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修< A 組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山幡 朗子
教 授	篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	人間の基本的欲求の充足を基盤として、生活過程を整えるための生活環境・食事・排泄・清潔などの援助技術を修得する。技術を提供する際の対象の個別性や技術の科学的根拠を理解し、安全性・安楽性・自立性を考慮した技術を学修する。
目標	1 生活過程に関わる基礎看護技術の原理・原則と基本的な方法が説明できる。「DP：5」 2 科学的根拠に基づいた基本的な看護技術が説明できる。「DP：5」 3 対象者の生活を支える援助の必要性について説明できる。「DP：5」 4 コミュニケーション技術を活用し、援助の実践ができる。「DP：5」 5 対象の安全・安楽・自立を尊重した援助が実施できる。「DP：5」 6 設定された条件下において、対象者のニーズに応じた援助技術の方法を創意工夫する必要性を理解し説明できる。「DP：5・6」 7 すべての看護行為には倫理的配慮が必要であることを理解し、実践できる。「DP：1・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/18 (金)	4	【ガイダンス】基礎看護技術 I の受講について 【講義】看護技術を学ぶにあたって、環境調整技術 1	講義	前：基礎看護技術 I シラバスを読む。教 1 p.2-8、10-20、教 2 p.2-16を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
2	2026/09/18 (金)	5	【講義】環境調整技術 1、安全を守る技術 環境整備、感染とその予防の基礎知識、標準予防策	講義	前：基礎看護技術 I シラバスを読む。教 1 p.2-8、10-20、教 2 p.2-16、69-78、104-105を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
3	2026/09/24 (木)	3	【演習】環境調整技術①、安全を守る技術 ベッド周囲の環境整備、演習室の使い方、標準予防策	演習 GW	前：教 1 p.10-20、教 2 p.69-78を読む。演習前課題「環境調整技術①、安全を守る技術」を行う。指定した動画を視聴する。 後：演習前課題に加筆す	全 員

					る。演習後課題をまとめる。 前後各30分	
4	2026/09/25 (金)	4	【講義】活動・休息援助技術 1 姿勢、動作、ボディメカニクス、体位、体位変換	講義	前：教 1 p.100-168を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子
5	2026/09/25 (金)	5	【講義】活動・休息援助技術 2 体位保持、移乗・移送、睡眠・休息	講義	前：教 1 p.100-168を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子
6	2026/09/28 (月)	1	【演習】活動・休息援助技術 ボディメカニクスの基本、体位変換、ポジショニング、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送	演習 GW	前：演習前課題「活動・休息援助技術」を行う。教 1 動画 12～15を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。 演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
7	2026/09/28 (月)	2	【演習】活動・休息援助技術 ボディメカニクスの基本、体位変換、ポジショニング、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送	演習 GW	前：演習前課題「活動・休息援助技術」を行う。教 1 動画 12～15を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。 演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
8	2026/10/02 (金)	4	【講義】環境調整技術 2 環境整備、病床を整える（ベッドメイキング、リネン交換）	講義	前：教 1 p.20-29を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる 前後各30分	山幡 朗子
9	2026/10/08 (木)	3	【演習】環境調整技術② ベッドメイキング、臥床患者のシーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「環境調整技術②」を行う。教 1 動画 1～3を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。 演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
10	2026/10/08 (木)	4	【演習】環境調整技術② ベッドメイキング、臥床患者のシーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「環境調整技術②」を行う。教 1 動画 1～3を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。 演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
11	2026/10/13 (火)	1	【講義】清潔・衣生活援助技術 1 ①清潔援助の基礎知識・実際 ②入浴・シャワー浴、整容の基礎知識	講義	前：教 1 p.170-183、205-212を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
12	2026/10/13 (火)	2	【講義】清潔・衣生活援助技術 2 衣生活援助の基礎知識・実際	講義	前：教 1 p.221-233を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子
13	2026/10/21 (水)	1	【演習】清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換・シーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「衣生活援助技術」を行う。教 1 動画 24を視聴する。臥床患者のシーツ交換について復習する。 後：演習前課題に加筆する。 演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員

14	2026/10/21 (水)	2	【演習】清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換・シーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「衣生活援助技術」を行う。教1動画24を視聴する。臥床患者のシーツ交換について復習する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
15	2026/10/30 (金)	4	【講義】清潔・衣生活援助技術3 手浴・足浴の基礎知識・実際	講義	前：教1 p.197-202を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	志水 己幸
16	2026/11/04 (水)	1	【演習】清潔・衣生活援助技術② 足浴	演習 GW	前：演習前課題「足浴」を行う。教1動画 20を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
17	2026/11/04 (水)	2	【演習】清潔・衣生活援助技術② 足浴	演習 GW	前：演習前課題「足浴」を行う。教1動画 20を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
18	2026/11/06 (金)	4	【講義】清潔・衣生活援助技術4 全身清拭の基礎知識・実際	講義	前：教1 p.183-188を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
19	2026/11/09 (月)	1	【演習】清潔・衣生活援助技術③ 全身清拭及び寝衣交換	演習 GW	前：演習前課題「臥床患者の全身清拭及び寝衣交換」を行う。教1動画 16, 17を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
20	2026/11/09 (月)	2	【演習】清潔・衣生活援助技術③ 全身清拭及び寝衣交換	演習 GW	前：演習前課題「臥床患者の全身清拭及び寝衣交換」を行う。教1動画 16, 17を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
21	2026/11/13 (金)	4	【講義】清潔・衣生活援助技術5 洗髪の基礎知識・実際	講義	前：教1 p.188-197を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
22	2026/11/19 (木)	3	【演習】清潔・衣生活援助技術④ ケリーパッドを用いた洗髪	演習 GW	前：演習前課題「ケリーパッドを用いた洗髪」を行う。教1動画 18を用いた洗髪を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
23	2026/11/19 (木)	4	【演習】清潔・衣生活援助技術④ ケリーパッドを用いた洗髪	演習 GW	前：演習前課題「ケリーパッドを用いた洗髪」を行う。教1動画 18を用いた洗髪を視聴する。 後：演習前課題に加筆す	全 員

					る。演習後課題をまとめる。 前後各30分	
24	2026/11/20 (金)	4	【講義】排泄援助技術 排泄援助の基礎知識・実際、陰部洗浄	講義	前：教1 p.58-73、p.202-205を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	志水 己幸
25	2026/11/24 (火)	1	【演習】排泄援助技術 排泄の援助、陰部洗浄	演習 GW	前：演習前課題「排泄援助技術」を行う。教1 動画7, 21を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
26	2026/11/24 (火)	2	【演習】排泄援助技術 排泄の援助、陰部洗浄	演習 GW	前：演習前課題「排泄援助技術」を行う。教1 動画7, 21を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
27	2026/11/27 (金)	4	【講義】食事援助技術 ①食事援助の基礎知識・実際 ②口腔ケアの基礎知識	講義	前：教1 p.32-46、213-221 を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
28	2026/12/02 (水)	2	【演習】食事援助技術 食事と口腔ケアの安全・安楽・自立・個別性の理解	演習 GW	前：演習前課題「食事援助技術」を行う。教1 動画5, 22を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
29	2027/01/20 (水)	1	技術チェック 事例に対する看護技術展開 個別性、安全・安楽、報告、評価、十分な説明	技術チェック	前：計画書をまとめる。 後：フィードバック内容をまとめる。 前後各30分	全 員
30	2027/01/20 (水)	2	技術チェック 事例に対する看護技術展開 個別性、安全・安楽、報告、評価、十分な説明	技術チェック	前：計画書をまとめる。 後：フィードバック内容をまとめる。 前後各30分	全 員
31	2027/01/27 (水)	2	定期試験			山幡 朗子 山本 恵美子 志水 己幸

評価方法	1 定期試験(80%)、技術チェック、課題レポートや講義・演習への参加態度(20%)の総合評価で60点以上を合格とする。 以下の場合には減点対象となる。 (1) 課題を期日に提出しない。 (2) 課題の未提出 (3) 課題が不十分な場合（内容不足、盗作、他者の課題を写した、インターネットの内容や資料を張り付けた、自らの考えを自分の言葉で考察されていない。） (4) 講義・演習の無断欠席、遅刻・早退 (5) 講義・演習中、他人に迷惑をかける行為をしたとき。 2 再試験について：合格点に達しない場合は再試験を1回実施する。
教科書・参考書	教科書： 1 任和子、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、(2025)、定価3,520円(税込み) 2 茂野香おる、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、(2023)、定価2,970円(税込み) 参考書： 1 松尾ミヨ子 他：「ナースング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術」、メディカ出版、(2022)、定価3,740円(税込み) 2 任和子、他：「根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第3版」、医学書院、(2021)、定価6,050円(税込み)

	3 医療情報科学研究所：「看護がみえるvol.1 基礎看護技術」、メディックメディア、(2018)、定価3,630円(税込み) 4 その他 講義内で資料配布及び参考図書を紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 「基礎看護技術Ⅰ」が不合格の場合、「基礎看護技術Ⅱ」の履修はできない。 2 出欠席、講義・演習中の態度について (1) 講義と演習は、並行して行われるので欠席、遅刻、早退をしないように注意する。 (2) 体調不良や緊急事態などやむを得ない場合以外はむやみに退室しない。 (3) その他やむを得ない事由により、講義及び演習を欠席・遅刻・早退する場合は、必ず担当教員へ申し出る。 (4) 講義では開始前と終了後の合計2回(例えば、3・4時限と2時限続きの場合は、中間に1回の合計3回)カードリーダーで打刻する。 (5) 演習では開始前と終了後にカードリーダーで打刻する。(中間の打刻は不要) (6) 講義・演習開始後30分未満を遅刻とするが、遅刻3回をもって1回の欠席とする。また、講義・演習時に無断で30分以上不在の場合も欠席とする。 (7) 講義・演習中の他人に迷惑をかける行為(飲食、私語、スマートフォンの操作等)を禁ずる。約束を守らない学生は退出とし、欠席とする。 3 演習について (1) 指定された日に行う。自由に演習日を変更することはできない。 (2) 講義・演習の資料や教科書を熟読し、指示された事前課題を行い演習に臨む。 (3) 演習課題レポートは指定された期日までに提出する。 (4) やむを得ない欠席などにより、指定時間内に実施できない時は、必ず担当教員に相談する。補習については、担当教員が許可した時のみ実施し、補習後は課題を提出する。 4 試験等について (1) 定期試験の受験は、3分の2以上出席した者に認める。 (2) 再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 5 フィードバック 講義後、振り返りをAIDLE-KIに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-KIにて行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う(事前にアポイントメントをとること)。 6 [凡例] GW⇒グループワーク 教⇒教科書
オフィスアワー	篠田 かおる 水曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10~17:40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10~17:40 看護学部棟3階N353研究室 板津 良 月曜日 16:10~17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10~17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10~17:40 基礎科学棟3階N370研究室
備考	1 講義へは、関連するテキストを熟読し出席する。 2 演習前：事前課題を学習し参加する。 指示された動画等を視聴する。 3 演習後：事後課題を行い指示された日時に提出をする。 [実務] 医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、基礎看護技術の基本について、教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	基礎看護技術 I		
講義開講時期	後学期	講義区分	演習
単位数	2		
(英文名)	Fundamentals in Nursing Skills I		
科目区分	看護学専門科目群 基礎看護		
必修・選択<組>	必修< B組>		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 山幡 朗子
教 授	篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	人間の基本的欲求の充足を基盤として、生活過程を整えるための生活環境・食事・排泄・清潔などの援助技術を修得する。技術を提供する際の対象の個別性や技術の科学的根拠を理解し、安全性・安楽性・自立性を考慮した技術を学修する。
目標	1 生活過程に関わる基礎看護技術の原理・原則と基本的な方法が説明できる。「DP：5」 2 科学的根拠に基づいた基本的な看護技術が説明できる。「DP：5」 3 対象者の生活を支える援助の必要性について説明できる。「DP：5」 4 コミュニケーション技術を活用し、援助の実践ができる。「DP：5」 5 対象の安全・安楽・自立を尊重した援助が実施できる。「DP：5」 6 設定された条件下において、対象者のニーズに応じた援助技術の方法を創意工夫する必要性を理解し説明できる。「DP：5・6」 7 すべての看護行為には倫理的配慮が必要であることを理解し、実践できる。「DP：1・6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/18 (金)	4	【ガイダンス】基礎看護技術 I の受講について 【講義】看護技術を学ぶにあたって、環境調整技術 1	講義	前：基礎看護技術 I シラバスを読む。教 1 p.2-8、10-20、教 2 p.2-16を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
2	2026/09/18 (金)	5	【講義】環境調整技術 1、安全を守る技術 環境整備、感染とその予防の基礎知識、標準予防策	講義	前：基礎看護技術 I シラバスを読む。教 1 p.2-8、10-20、教 2 p.2-16、69-78、104-105を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
3	2026/09/24 (木)	4	【演習】環境調整技術①、安全を守る技術 ベッド周囲の環境整備、演習室の使い方、標準予防策	演習 GW	前：教 1 p.10-20、教 2 p.69-78を読む。演習前課題「環境調整技術①、安全を守る技術」を行う。指定した動画を視聴する。 後：演習前課題に加筆す	全 員

					る。演習後課題をまとめる。 前後各30分	
4	2026/09/25 (金)	4	【講義】活動・休息援助技術 1 姿勢、動作、ボディメカニクス、体位、体位変換	講義	前：教 1 p.100-168を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子
5	2026/09/25 (金)	5	【講義】活動・休息援助技術 2 体位保持、移乗・移送、睡眠・休息	講義	前：教 1 p.100-168を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子
6	2026/09/29 (火)	1	【演習】活動・休息援助技術 ボディメカニクスの基本、体位変換、ポジショニング、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送	演習 GW	前：演習前課題「活動・休息援助技術」を行う。教 1 動画 12～15を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
7	2026/09/29 (火)	2	【演習】活動・休息援助技術 ボディメカニクスの基本、体位変換、ポジショニング、車椅子・ストレッチャーへの移乗・移送	演習 GW	前：演習前課題「活動・休息援助技術」を行う。教 1 動画 12～15を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
8	2026/10/02 (金)	4	【講義】環境調整技術 2 環境整備、病床を整える（ベッドメイキング、リネン交換）	講義	前：教 1 p.20-29を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる 前後各30分	山幡 朗子
9	2026/10/06 (火)	1	【演習】環境調整技術② ベッドメイキング、臥床患者のシーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「環境調整技術②」を行う。教 1 動画 1～3を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
10	2026/10/06 (火)	2	【演習】環境調整技術② ベッドメイキング、臥床患者のシーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「環境調整技術②」を行う。教 1 動画 1～3を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
11	2026/10/13 (火)	1	【講義】清潔・衣生活援助技術 1 ①清潔援助の基礎知識・実際 ②入浴・シャワー浴、整容の基礎知識	講義	前：教 1 p.170-183、205-212を読む。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
12	2026/10/13 (火)	2	【講義】清潔・衣生活援助技術 2 衣生活援助の基礎知識・実際	講義	前：教 1 p.221-233を読む。 ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山本 恵美子
13	2026/10/22 (木)	3	【演習】清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換・シーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「衣生活援助技術」を行う。教 1 動画 24を視聴する。臥床患者のシーツ交換について復習する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員

14	2026/10/22 (木)	4	【演習】清潔・衣生活援助技術① 寝衣交換・シーツ交換	演習 GW	前：演習前課題「衣生活援助技術」を行う。教1動画24を視聴する。臥床患者のシーツ交換について復習する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
15	2026/10/30 (金)	4	【講義】清潔・衣生活援助技術3 手浴・足浴の基礎知識・実際	講義	前：教1 p.197-202を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	志水 己幸
16	2026/11/02 (月)	1	【演習】清潔・衣生活援助技術② 足浴	演習 GW	前：演習前課題「足浴」を行う。教1動画 20を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
17	2026/11/02 (月)	2	【演習】清潔・衣生活援助技術② 足浴	演習 GW	前：演習前課題「足浴」を行う。教1動画 20を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
18	2026/11/06 (金)	4	【講義】清潔・衣生活援助技術4 全身清拭の基礎知識・実際	講義	前：教1 p.183-188を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
19	2026/11/11 (水)	1	【演習】清潔・衣生活援助技術③ 全身清拭及び寝衣交換	演習 GW	前：演習前課題「臥床患者の全身清拭及び寝衣交換」を行う。教1動画 16, 17を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
20	2026/11/11 (水)	2	【演習】清潔・衣生活援助技術③ 全身清拭及び寝衣交換	演習 GW	前：演習前課題「臥床患者の全身清拭及び寝衣交換」を行う。教1動画 16, 17を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
21	2026/11/13 (金)	4	【講義】清潔・衣生活援助技術5 洗髪の基礎知識・実際	講義	前：教1 p.188-197を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
22	2026/11/18 (水)	1	【演習】清潔・衣生活援助技術④ ケリーパッドを用いた洗髪	演習 GW	前：演習前課題「ケリーパッドを用いた洗髪」を行う。教1動画 18を用いた洗髪を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
23	2026/11/18 (水)	2	【演習】清潔・衣生活援助技術④ ケリーパッドを用いた洗髪	演習 GW	前：演習前課題「ケリーパッドを用いた洗髪」を行う。教1動画 18を用いた洗髪を視聴する。 後：演習前課題に加筆す	全 員

					る。演習後課題をまとめる。 前後各30分	
24	2026/11/20 (金)	4	【講義】排泄援助技術 排泄援助の基礎知識・実際、陰部洗浄	講義	前：教1 p.58-73、p.202-205を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	志水 己幸
25	2026/11/25 (水)	1	【演習】排泄援助技術 排泄の援助、陰部洗浄	演習 GW	前：演習前課題「排泄援助技術」を行う。教1 動画7, 21を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
26	2026/11/25 (水)	2	【演習】排泄援助技術 排泄の援助、陰部洗浄	演習 GW	前：演習前課題「排泄援助技術」を行う。教1 動画7, 21を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
27	2026/11/27 (金)	4	【講義】食事援助技術 ①食事援助の基礎知識・実際 ②口腔ケアの基礎知識	講義	前：教1 p.32-46、213-221 を読む。ページ内の動画を視聴する。 後：講義内容をまとめる。 前後各30分	山幡 朗子
28	2026/12/02 (水)	1	【演習】食事援助技術 食事と口腔ケアの安全・安楽・自立・個別性の理解	演習 GW	前：演習前課題「食事援助技術」を行う。教1 動画5, 22を視聴する。 後：演習前課題に加筆する。演習後課題をまとめる。 前後各30分	全 員
29	2027/01/20 (水)	3	技術チェック 事例に対する看護技術展開 個別性、安全・安楽、報告、評価、十分な説明	技術チェック	前：計画書をまとめる。 後：フィードバック内容をまとめる。 前後各30分	全 員
30	2027/01/20 (水)	4	技術チェック 事例に対する看護技術展開 個別性、安全・安楽、報告、評価、十分な説明	技術チェック	前：計画書をまとめる。 後：フィードバック内容をまとめる。 前後各30分	全 員
31	2027/01/27 (水)	2	定期試験			山幡 朗子 山本 恵美子 志水 己幸

評価方法	1 定期試験(80%)、技術チェック、課題レポートや講義・演習への参加態度(20%)の総合評価で60点以上を合格とする。 以下の場合には減点対象となる。 (1) 課題を期日に提出しない。 (2) 課題の未提出 (3) 課題が不十分な場合（内容不足、盗作、他者の課題を写した、インターネットの内容や資料を張り付けた、自らの考えを自分の言葉で考察されていない。） (4) 講義・演習の無断欠席、遅刻・早退 (5) 講義・演習中、他人に迷惑をかける行為をしたとき。 2 再試験について：合格点に達しない場合は再試験を1回実施する。
教科書・参考書	教科書： 1 任和子、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ」、医学書院、(2025)、定価3,520円(税込み) 2 茂野香おる、他：「系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ」、医学書院、(2023)、定価2,970円(税込み) 参考書： 1 松尾ミヨ子 他：「ナースング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術」、メディカ出版、(2022)、定価3,740円(税込み) 2 任和子、他：「根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第3版」、医学書院、(2021)、定価6,050円(税込み)

	3 医療情報科学研究所：「看護がみえるvol.1 基礎看護技術」、メディックメディア、(2018)、定価3,630円(税込み) 4 その他 講義内で資料配布及び参考図書を紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 「基礎看護技術Ⅰ」が不合格の場合、「基礎看護技術Ⅱ」の履修はできない。 2 出欠席、講義・演習中の態度について (1) 講義と演習は、並行して行われるので欠席、遅刻、早退をしないように注意する。 (2) 体調不良や緊急事態などやむを得ない場合以外はむやみに退室しない。 (3) その他やむを得ない事由により、講義及び演習を欠席・遅刻・早退する場合は、必ず担当教員へ申し出る。 (4) 講義では開始前と終了後の合計2回(例えば、3・4時限と2時限続きの場合は、中間に1回の合計3回)カードリーダーで打刻する。 (5) 演習では開始前と終了後にカードリーダーで打刻する。(中間の打刻は不要) (6) 講義・演習開始後30分未満を遅刻とするが、遅刻3回をもって1回の欠席とする。また、講義・演習時に無断で30分以上不在の場合も欠席とする。 (7) 講義・演習中の他人に迷惑をかける行為(飲食、私語、スマートフォンの操作等)を禁ずる。約束を守らない学生は退出とし、欠席とする。 3 演習について (1) 指定された日に行う。自由に演習日を変更することはできない。 (2) 講義・演習の資料や教科書を熟読し、指示された事前課題を行い演習に臨む。 (3) 演習課題レポートは指定された期日までに提出する。 (4) やむを得ない欠席などにより、指定時間内に実施できない時は、必ず担当教員に相談する。補習については、担当教員が許可した時のみ実施し、補習後は課題を提出する。 4 試験等について (1) 定期試験の受験は、3分の2以上出席した者に認める。 (2) 再試験不合格の場合は、次年度に再履修する。 5 フィードバック 講義後、振り返りをAIDLE-KIに提出する。フィードバックは、講義・演習もしくはAIDLE-KIにて行う。定期試験のフィードバックは希望者に行う(事前にアポイントメントをとること)。 6 [凡例] GW⇒グループワーク 教⇒教科書
オフィスアワー	篠田 かおる 水曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16:10~17:40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16:10~17:40 看護学部棟3階N353研究室 板津 良 月曜日 16:10~17:40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16:10~17:40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16:30~18:00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16:10~17:40 基礎科学棟3階N370研究室
備考	1 講義へは、関連するテキストを熟読し出席する。 2 演習前：事前課題を学習し参加する。 指示された動画等を視聴する。 3 演習後：事後課題を行い指示された日時に提出をする。 [実務] 医療機関において看護師としての実務経験をもつ教員が、基礎看護技術の基本について、教育を行う。 ・研究成果に基づく最新の知見を取り入れて授業構成をしている。

講義名	ヘルスプロモーション論		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Health Promotion		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
准 教 授	◎ 白井 裕子
教 授	茂本 咲子
准 教 授	荻野 朋子
准 教 授	山本 弘江

科目概要	オタワ憲章の中でヘルスプロモーションは「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセスである」と定義されている。人々の健康をサポートし促進する看護職者として理解しておくべきヘルスプロモーションについて、その背景や実際について学修を深める。また、人々の健康と環境との相互作用について理解し、看護課題を考える機会とする。
目標	1. 健康の概念と健康の決定要因を説明できる「DP:2」 2. ヘルスプロモーションの背景と原理、および活動戦略を説明できる「DP:2」 3. ヘルスプロモーションの実際から、健康状況やライフステージに応じた活動戦略を説明できる「DP:5」 4. 学生自らが生活の場におけるヘルスプロモーション実践を考え、討議できる「DP:5」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/04/16 (木)	1	健康の概念と健康の決定要因（主観的健康、QOL、健康格差）	講義・GW	事前学習：講義資料を読み、関心のあるキーワードについて調べる。 事後学習：講義の要点をまとめる。 各120分	白井 裕子
2	2026/04/17 (金)	4	ヘルスプロモーションの背景と原理（アルマアタ宣言、プライマリヘルスケア、オタワ憲章、バンコク憲章）	講義	事前学習：講義資料を読み、関心のあるキーワードについて調べる。 事後学習：講義の要点をまとめる。 各120分	白井 裕子
3	2026/04/24 (金)	4	ヘルスプロモーションの活動戦略（健康の前提条件、基本戦略、活動領域）	講義	事前学習：講義資料を読み、関心のあるキーワードについて調べる。 事後学習：講義の要点をまとめる。 各120分	白井 裕子
4	2026/04/30 (木)	1	ヘルスプロモーションの実際① 野宿生活者のヘルスプロモーション実践	講義・GW	事前学習：講義資料を読み、関心のあるキーワードについて調べる。 事後学習：講義の要点をまとめる。 各120分	白井 裕子

5	2026/05/07 (木)	1	ヘルスプロモーションの実際② 高齢者のヘルスプロモーション実践	講義・GW	事前学習：講義資料を読み、関心のあるキーワードについて調べる。 事後学習：講義の要点をまとめる。 各120分	荻野 朋子
6	2026/05/13 (水)	3	ヘルスプロモーションの実際③ 地域社会の中で育つこどものヘルスプロモーション実践	講義・GW	事前学習：講義資料を読み、関心のあるキーワードについて調べる。 事後学習：講義の要点をまとめる。 各120分	茂本 咲子
7	2026/05/20 (水)	3	ヘルスプロモーションの実際④ 日常生活の中での家族のヘルスプロモーション実践	講義・GW	事前学習：講義資料を読み、関心のあるキーワードについて調べる。 事後学習：講義の要点をまとめる。 各120分	山本 弘江
8	2026/06/02 (火)	2	生活の場におけるヘルスプロモーション実践の考案	講義・GW	事前学習：提示された課題に取り組む。 事後学習：提示された課題に取り組む。 各120分	白井 裕子 荻野 朋子 山本 弘江 茂本 咲子
9	2026/08/05 (水)	3	定期試験			白井 裕子 茂本 咲子 荻野 朋子 山本 弘江

評価方法	定期試験、レポート、ミニツツペーパーで評価する。 1 定期試験76点：第1～7回を試験範囲とする。 2 レポート10点：第8回に課すワークシートを評価する。 3 ミニツツペーパー14点（2点×7回）：第1～7回の講義を対象とする。提出期限は講義翌日の12：00まで。講義欠席者は提出することができない。					
教科書・参考書	参考書： 1 島内憲夫・鈴木美奈子著「ヘルスプロモーション WHO:バンコク憲章」、垣内出版、（2012/12/25）、定価2,090円（税込み） 2 島内憲夫・鈴木美奈子訳・著「ヘルスプロモーション WHO:オタワ憲章」、垣内出版、（2013/11/25）、定価1,870円（税込み） その他、授業中に紹介する。					
履修上の注意点及び取扱い	1 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出席管理システムにより出席の確認をする。 3 2/3以上の出席がない場合は定期試験を受けることができない。 4 定期試験の不合格者に対しては再試験を1回行う。 5 定期試験終了後、質問会を行う。					
オフィスアワー	白井 裕子 月曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室② 茂本 咲子 月曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室7 荻野 朋子 水曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室④ 山本 弘江 水曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室①					
備考	[実務] 行政機関において保健師としての実務経験をもつ教員と地域住民への看護の実務経験をもつ教員が、ヘルスプロモーション活動について、実際の看護活動の体験を交えた教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。					

講義名	災害看護学（1学年次生用）		
講義開講時期	前学期	講義区分	講義
単位数	1		
（英文名）	Disaster Nursing		
科目区分	看護学専門科目群 地域・在宅看護		
必修・選択＜組＞	必修		
開講学年次	1学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	橋本 茜
講 師	二村 純子
講 師(兼 大学病院・看護部)	高柳 佳弘
講 師(非)	栗田 暢之
講 師(非)	浦野 愛
講 師(非)	日高 橘子
講 師(非)	近藤 望
講 師(非)	椿 佳代

科目概要	災害看護の目的、特徴について概観し、国内外の災害時の医療・看護活動の基盤となる知識と、減災活動および被災者支援活動について学修する。 1・2学年次では、災害を概観し被災当事者および要配慮者の被災状況を学修し、3学年次では国内外における災害医療と中・長期支援活動の実践を学修する。4学年次では3学年の学びを統合し、看護職が行う避難所支援活動における役割について具体的に学修する。 講義は、当事者や専門家の講義と実際の映像を使用し、グループディスカッションとシミュレーションを用いて行う。
目標	1 災害および災害時対応に関する概念や活動や対策の意味・目的について説明できる。「DP：1・2・4・5」 2 災害看護活動に関連する法制度について説明できる。「DP：2～5」 3 災害が人々の健康と生活に与える影響を説明できる。「DP：1・2・4・5」 4 災害サイクルにおける保健看護活動の特徴と役割について説明できる。「DP：1～6」 5 災害時に人々のいのちと健康を守り、生活を支援する看護について説明できる。「DP：1～6」 6 災害発生時のネットワークや、地域社会における防災・減災活動との連携協働の必要性を説明できる。「DP：1～4・6」 7 実際の災害時避難状況を想定し、看護職としてどのように避難生活への支援活動と環境改善に取り組むか、実践することができる。「DP：1～6」

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/07/23 (木)	3	講義ガイダンス、災害看護学の概要：学年縦断で実施する講義方法と意義 災害総論 (1) 災害の定義と種類 (2) 現在の国内外の災害、被災者のニーズと支援 (3) 災害に関わる、人、法制度、ボランティア、ネットワーク、看護職への期待	講義	予習①：大規模地震災害と気象災害の発生状況と被災者について、書籍やwebsiteで調べておく。 予習②内閣府や復興庁等のサイトにアクセスし、用語を調べる。 復習：講義資料を読み返す。 前後各120分	栗田 暢之 佐々木 裕子

2	2026/07/23 (木)	4	被災当事者の体験を理解 (1) 当事者の被災体験の語り (2) ディスカッション	講義、GW	予習：①災害当事者の体験として関心をもった内容について、書籍やwebsiteで調べる。websiteは授業支援システム＜災害看護学＞の中で紹介する「『被災当事者の体験を理解』事前学習参考サイト」にアクセスして学習する。 予習②事前情報シートを読み、印象に残ったことや質問してみたいことを整理する。 復習：講義資料を読み返し、課題に取り組む。 前後各120分	二村 純子 黒澤 昌洋 橋本 茜 佐々木 裕子
3			専門職・住民による減災活動の実際① (1) 減災とは (2) 住民と協働する減災活動の実際 (3) 災害時要配慮者（高齢者・障がいをもつ人）への減災活動と課題	講義	予習①：自身の居住地域の行政のHPにアクセスし、ハザードマップや地域で行われる防災訓練や災害対策について調べ、質問してみたいことを整理する。 予習②テキストP240-241、186-199を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後各120分	浦野 愛 椿 佳代 近藤 望 黒澤 昌洋 佐々木 裕子 橋本 茜 二村 純子
4			専門職・住民による減災活動の実際② (1) 多文化共生・男女共同参画社会の視点による減災活動 (2) 女性・子どもについて助産師の視点による減災活動 (3) ディスカッション	講義、GW	予習①：「多文化防災」「男女共同参画社会」の意味・概念を調べる。 予習②テキストP222-226、227-229、230-233、237-238、264-268を読む。 予習③演習実施事例について、授業支援システム＜災害看護学＞にUPする資料を読み、質問や疑問に思ったことを整理する。 復習：講義資料を読み返す。紹介されたHP等を検索し意見をもつ。 前後各120分	黒澤 昌洋 二村 純子 橋本 茜 佐々木 裕子 椿 佳代 近藤 望
5			災害看護の実際① 緊急時支援 (1) 災害看護の定義と目的、災害看護のフェイズ (2) 緊急時医療支援・災害時の急性期看護の実際 (3) D M A T の活動と訓練、DPAT、JMAT、災害拠点病院、救護所	講義、GW	予習①：「トリアージと災害医療チーム」について調べる。 予習②テキストP20-22、56-59、83-86、96-101、104-119を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	高柳 佳弘 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子 佐々木 裕子
6			災害看護の実際② 復旧・復興支援 (1) 災害後の復興支援の実際 (2) 仮設住宅支援と住民自治および健康支援の実際 (3) 派遣チームによる支援とチームマネジメントの実際 (4) 支援者の心のケア (5) 減災対策への実際と課題	講義	予習①：「大規模災害後の復旧・復興」について、復興庁のHPや被災地のHP等で調べる。 予習②テキストP62-66、86-89、復興庁のHP https://www.reconstruction.go.jp/ を読む。 復習：講義資料を読み返す。紹介された実践内容等を検索し意見をもつ。 前後各120分	日高 橘子 橋本 茜 二村 純子 黒澤 昌洋 佐々木 裕子
7			災害看護の実際③ 亜急性期支援 (1) スフィアスタンダード、PHC、PFA、関連する法制度 (2) 災害時要配慮者支援 (3) 避難所、在宅生活者における健康・生活支援の実際 (4) 災害関連死・生活不活発の予防、DHEAT、JRAT、災害支援ナース、JWAT	講義	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。 復習：講義・演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子
8			災害看護の実際④	演習	予習：①1～3学年次生の講義内容を復習し、学びを整理・まとめる。 ②テキストや省庁および都道府県や	佐々木 裕子 黒澤 昌洋

				市町村の避難所運営に関する内容を調べ、避難所において必要な支援内容をまとめる。	橋本 茜 二村 純子
				復習：演習を振り返り意見をもつ。 前後各120分	
9			定期試験		佐々木 裕子 黒澤 昌洋 橋本 茜 二村 純子

評価方法	1 学年縦断科目であるため、学年毎のレポートや試験の点数を積算して評価を行う。 最終的に4学年次の試験終了後に、本科目としての評価を行う。 2 1学年次生から3学年次生まで、講義ごとの振り返りレポートにより評価する（各学年10点満点ずつ）。 テーマおよび提出方法は講義時に説明する。 3 4学年次生は、レポート（10点満点）および定期試験（60点満点）により評価する。				
教科書・参考書	教科書：酒井明子 長田恵子 三澤寿美編者（2022）：「Nursing・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護」、メディカ出版、定価3,080円（税込み） 参考書・参考資料 1 小原真理子（2019）：「災害看護一心得ておきたい基本的な知識」（改訂3版）南山堂、定価3,080円（税込み） 2 酒井明子、増野園恵編集（2023）：「災害看護（改訂第4版）：看護の専門知識を統合して実践につなげる（看護学テキストNiCE）」、南江堂、定価2,970円（税込） 3 竹下喜久子（2024）：「看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学」第5版（系統看護学講座 統合分野）、医学書院、定価2,750円（税込み） 4 日本集団災害医学会編（2015）：「DMAT標準テキスト」、へるす出版、定価5,720円（税込み） 5 内閣府および各自治体のHPにある災害対策の関連頁、（防災資料室）TEAM防災ジャパンのHP				
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について (1) 紹介する文献などはできるだけ読み、積極的に講義に臨む。 (2) 視聴覚教材について、許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について (1) 出席管理システム（講義開始前と終了時のカードリーダーへの打刻）により、出席の確認をする。このとき、終了時の打刻がない者は、欠席扱いとする。 3 定期試験と単位認定について (1) 各学年で出席3分の2以上に達している場合に、次の学年の講義内容に進むことができる。 2/3以上の出席に達しない場合は定期試験を受験することができず、単位を取得することができない。 (2) 追試験は、病気などの避けられない事情で試験を受けられない理由に対してのみ行うため、学部で定められた方法によって申し出る。申し出がない場合は実施しない。 4 フィードバックについて (1) 授業後の振り返りはAIDLE-Kに入力する。疑問や質問等への回答は、後日AIDLE-Kにて共有する 5 凡例 GW：グループワーク				
オフィスアワー	佐々木 裕子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟3階N352研究室 黒澤 昌洋 月曜日 15：45～17：15 C棟5階個人研究室③ 橋本 茜 月曜日 15：30～17：00 看護学部棟2階N256研究室 二村 純子 月曜日 15：45～17：15 看護学部棟4階N453研究室 非常勤・兼任講師 講義終了時				
備考	[実務] 災害支援および災害・減災への対策において実務経験をもつ教員等が、対象となる人々の生活や健康、看護専門職者および関連職者の活動等について、実践的な教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて授業構成をしている。 ・学年縦断科目であり、1学年次から4学年次まで講義を受けるので、各学年で提出するレポート課題等は、提出時に必ずMaharaに保存しておくこと。				

講義名	生涯発達論		
講義開講時期	後学期	講義区分	講義
単位数	1		
(英文名)	Life-Span Human Development		
科目区分	看護学専門科目群 ヘルスプロモーション看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 茂本 咲子
准 教 授	荻野 朋子
准 教 授	深谷 基裕
講 師	伊藤 真規
講 師(非)	加藤 典子

科目概要	人間の成長と発達について、発達心理学の基礎理論を理解し、ライフサイクルの各期（乳幼児期・児童期・青年期・成人期・壮年期・老年期）における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題について学修する。 また、生涯発達の視点で看護の対象となる人を理解するために、様々な発達段階にある対象への看護上の課題を見出すための基本的な知識・考え方を修得する。
目標	1 人間の成長と発達について発達心理学の基礎理論を用いて説明できる。[DP: 1・5] 2 看護の対象である人間は発達し続ける存在であることを理解し、生涯発達の視点から全人的に捉えることができる。[DP: 1・5] 3 ライフサイクルの各時期の人間の発達の特徴(身体的・心理的・社会的特徴)及び課題について説明できる。[DP: 1・5] 4 発達課題が達成されなかった場合に生じる人生上の危機について説明できる。[DP: 1・5]

授業計画表						
回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/09/14 (月)	4	ガイダンス 看護の対象である人間の発達 発達概念、発達の基礎理論 (1)	講義	前：教科書の「序」と「終章」を読む。 後：発達の概念や発達に関する諸理論について整理する。 前後各120分程度	茂本 咲子 加藤 典子
2	2026/09/28 (月)	3	発達概念、発達の基礎理論 (2) 発達課題と発達危機(1) 乳児期	講義	前：教科書の「Ⅰ乳児期」の1・2節を読む。 後：教科書の「Ⅰ乳児期」の3・5節を読み、課題と危機から各発達段階の特徴を整理する。 前後各120分程度	加藤 典子
3	2026/09/28 (月)	4	発達課題と発達危機(2) 幼児前期～学童期	講義	前：教科書の「Ⅱ幼児前期」～「Ⅳ学童期」の1・2節を読む。 後：教科書の「Ⅱ幼児前期」～「Ⅳ学童期」の3・5節を読み、課題と危機から各発達段階の特徴を整理する。 前後各120分程度	加藤 典子

4	2026/10/05 (月)	3	発達課題と発達危機(3) 思春期～成人前期	講義	前：教科書の「Ⅴ思春期」～「Ⅶ成人前期」の1・2節を読む。 後：教科書の「Ⅴ思春期」～「Ⅶ成人前期」の3・5節を読み、課題と危機から各発達段階の特徴を整理する。 前後各120分程度	加藤 典子
5	2026/10/05 (月)	4	発達課題と発達危機(4) 成人中期～成人後期	講義	前：教科書の「Ⅷ成人中期」～「Ⅹ成人後期」の1・2節を読む。 後：教科書の「Ⅷ成人中期」～「Ⅹ成人後期」の3・5節を読み、課題と危機から各発達段階の特徴を整理する。 前後各120分程度	加藤 典子
6	2026/10/16 (金)	4	ライフサイクルにおける乳幼児期から青年期の特徴と発達課題 #発達理論を基にした幼児期・学童期の子どもの特徴 #幼児期・学童期の子ども発達課題に合わせた支援について考察する	講義	前：第1回・2回・3回の講義を復習する。 後：自己の幼児期から学童期の体験をもとに発達課題、発達危機を分析し、まとめる。 前後各120分程度	深谷 基裕
7	2026/10/23 (金)	4	ライフサイクルにおける成人期の特徴と発達課題 #発達理論を基にした成人期の発達課題の特徴 #成人期における発達課題と心理的・社会的危機について考察する	講義	前：第1回・2回・4回・5回の講義を復習する。 後：成人期の発達課題・発達危機について考察する。 前後各120分程度	伊藤 真規
8	2026/11/16 (月)	2	ライフサイクルにおける老年期の特徴と発達課題 #発達理論を基にした老年期の発達課題の特徴 #老年期特有のライフイベントから老年期の発達課題について考察する まとめ	講義	前：第1回・4回・5回の講義を復習する。 後：身近な高齢者の発達課題・発達危機について考察する。 前後各120分程度	荻野 朋子

評価方法	ワークシート50%、小レポート・課題レポート50%で評価する。
教科書・参考書	教科書： 1 服部祥子：生涯人間発達論、医学書院、第3版（2020/01）、定価2,310円（税込み） 参考書： 配布資料にて随時紹介する。
履修上の注意点及び取扱い	1 授業で提示する参考図書や資料を十分に読み込み、積極的に授業に臨むこと。 2 出席は入室時と退出時にカードリーダーに打刻することで確認する。 2コマ続きの場合も、各時限の前後に打刻を行うこと。 3 単位取得について (1) 出席の3分の2以上を満たしている場合、成績評価を行う。 (2) 不合格者には再試験（レポート）を一回行う。 4 フィードバック 講義に関する質問には、授業後に対応する。 ワークシートに対するフィードバックは、講義の中で適宜、行う。
オフィスアワー	茂本咲子：月曜日 16：30～18：00 C棟5階教授室7 荻野朋子：水曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室④ 深谷基裕：月曜日 16：00～17：30 基礎科学棟3階N365研究室 伊藤真規：水曜日 16：30～18：00 看護学部棟4階N454研究室 加藤典子：講義に関する質問・相談等は、講義後に対応する。
備考	毎回講義時にワークシートまたは小レポートを課す。 本科目は、生涯発達論の理論及び最新の知見に基づいて授業を構成している。

講義名	教養ゼミナール		
講義開講時期	前学期	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Freshman Seminar		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
	◎ 看護学部教員
教 授	泉 雅之
教 授	森 一直
教 授	大須賀 浩二
教 授	三浦 裕次
教 授	近藤 真治
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸
助 教	森本 直樹
助 教	丸谷 紗穂
助 教	坂川 有希
助 教	中村 恵理
助 教	柴田 竹晴
助 教	小宮 麻椰
助 教	曾雌 哲也

科目概要	高校までとは異なり、大学での学びでは、論理的思考をもとに学生が自身で習得した知識を深めていくことが必要となる。教養ゼミナールでは、その論理的思考を構築するために必要となる基本的な事柄を学んでいくことで、論理的思考を構築するきっかけとなることを目指す。論理的思考とは、物事を筋道立てて考える力という意味であるが、教養ゼミナールでは、情報を収集し内容を把握すること、相手に理解しやすく、相手が納得できるように筋道立てて示すことを目的とし、文献の検索方法、レポートの作成方法、発表資料の作成と発表の方法、ならびにディスカッションの方法を学ぶ。また、教養ゼミナールで学んだ事柄を活用して、今後の大学での看護を学んでいくこと、そして、卒業研究Ⅰ及び卒業研究Ⅱで、論理的思考に基づき学生が自身で知識を深めていくことができるようになることを期待する。		
目標	1 自身の関心を問い(テーマ)にすることができる。「DP：5」 2 自身の関心事に関する情報収集、文献の検索と選定ができる。「DP：5」 3 関心のあるテーマに関するレポートを形式に従い作成し、自身の考えを論理的でわかりやすい文章で記述できる。「DP：5」 4 探究したテーマについて相手にわかりやすくプレゼンテーションできる。「DP：6」 5 ゼミナールに知的好奇心をもって主体的に取り組み、建設的な質問や意見を述べるができる。「DP：6」		
授業計画表			
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)

1	総合学術情報センターにおける文献検索	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
2	担当者の紹介 大学での学びにおける教養ゼミナールの意義と位置づけ 文献とは 文献検索の意義とその方法	講義	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
3	テーマを選定するとは 文献の精読とは レポートとは レポートの作成方法 関心のあるテーマの選定 関心あるテーマに関連する文献の収集と精読 精読した文献の内容に関するディスカッション 精読した文献の内容に基づいたレポートの作成とその内容に関するディスカッション	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
4	同上	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
5	同上	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
6	相手に理解を促すための発表のためのパワーポイント資料の作成方法と発表の仕方について レポートの内容に基づいた発表のためのパワーポイント資料作成と発表の予行 作成した資料を用いた発表とディスカッション 教養ゼミナールのまとめ	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
7	同上	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分
8	同上	講義・演習	準備学修に関しては、担当教員の指示に従うこと 前後各120分

評価方法	出席3分の2以上を評価の対象とします。 ゼミナールへの参加ならびにゼミナールでの取り組み状況(30%)、文献活用(15%)、レポートの内容(35%)、プレゼンテーション内容(20%)に関してルーブリックにより評価します。 不合格の場合は、再試験(レポート提出)を1回行う。
教科書・参考書	教科書は指定しません。 参考書に関しては、以下のものを挙げておきますが、別に担当教員より指示がある可能性があります。購入に関しては、担当者の指示を待ってからにしてください。 1 前原澄子 他著(2018):看護学生のためのよくわかる大学での学び方第2版、金芳堂、定価2,640円(税込み) 2 佐藤望 編著(2020):アカデミック・スキルズー大学生のための知的技法入門第3版、慶應義塾大学出版会、定価1,100円(税込み) 3 都築学 著(2016):大学1年生のための伝わるレポートの書き方、有斐閣、定価1,540円(税込み) 4 世界思想社編集部 編(2024):大学生学びのハンドブック6改訂、世界思想社、定価1,320円(税込み) 5 桑田てるみ 編(2015):学生のレポート・論文作成トレーニング 改定版、実教出版、定価1,320円(税込み)
履修上の注意点及び取扱い	1 論理的思考を構築するきっかけとなる教養ゼミナールは学生自身の能動的な取り組みが大事になります。必要に応じて担当教員からのアドバイスを受けながら、自身で地道に取り組んでください。 2 30分以上の遅刻・30分以上の早退は欠席扱いとしますので、注意してください。 3 講義日程ならびに講義形態は、担当教員ごとに異なりますので、担当教員が決まり次第、教学課からの連絡ならびに担当教員からの連絡を確認してください。 4 レポートの提出方法や提出期日、発表の方法などは担当教員から連絡があります。 5 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応します。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	科目概要でも述べたように大学からの学びにおいて論理的思考は大事なものです。特に看護の分野では、患者の状態を把握するなどアセスメントを行っていきませんが、その際もこの論理的思考は重要です。本学では、論理的思考の構築はディプロマポリシーでも挙げていますが、その構築のために教養ゼミナールに始まり、卒業研究Ⅰ及び卒業研究Ⅱを行っていきます。特に、教養ゼミナールは、そのきっかけの科目となります。担当教員は、学生の目指す論理的思考を用いて、看護、教育ならびに研究の場で活躍されてきた方々であり、その担当教員からアドバイスを受けながら学生の方々が自身で地道に能動的に行っていくことを、教養ゼミナールでは希望しています。 *教養ゼミナールは、教育方法などに関して最新の知見を取り入れて授業構成をしています。

講義名	チーム医療論(IPE) (1 学年次生用)		
講義開講時期	通年	講義区分	演習
単位数	1		
(英文名)	Team Medicine (IPE)		
科目区分	看護学専門科目群 総合看護		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 山本 恵美子
教 授	山中 真
教 授(兼 医学部)	早稲田 勝久
教 授(兼 医学部)	神谷 英紀
教 授(兼 医学部)	伴 信太郎
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	青山 恵美
准 教 授(兼 医学部)	河合 聖子
准 教 授(兼 医学部)	山口 奈緒子
准 教 授(兼 医学部)	森下 啓明
講 師	横山 剛志
講 師	伊藤 真規
講 師	上坂 真弓
講 師(兼 大学病院・看護部)	神原 和代
講 師(兼 大学病院・看護部)	村松 有紀
助 教(兼 医学部)	松尾 幸果
専修医(兼 医学部)	西尾 麻友子
客員教授	築山 郁人
講 師(非)	川原 千香子

科目概要	地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる能力を身につける。医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーション能力と、医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにする。具体的にはグループワークでの事例検討等を通して、チーム医療に必要な能力を学修する。
目標	4年間の目標：「DP:1・3～6」 ・地域社会の人々のケアの質を向上させるために、保健・医療・福祉のチームメンバーと信頼関係を構築し、多職種連携及び協働することができる。 ・医療専門職の学生同士で学び合い、双方の役割理解、連携のためのコミュニケーションを実践することができる。 ・医療職としてのプロフェッショナリズムを身につけ、今後の自分の課題を明らかにすることができる。 1学年次テーマ：理解と共有 1 「DP:1・3」 ・多様な人々とチームを構築するために求められる要素と自己の役割、他者の役割を説明できる。 ・チームの一員として報告・連絡・相談の必要性を理解し、適切なコミュニケーション方法を実践できる。 2学年次テーマ：理解と共有 2 「DP:1・3・4」 ・チームで問題に取り組む際に必要な相互の尊重・連携・協働について説明できる。

・チーム医療の中で、効果的な話し合いをするためのアサーティブコミュニケーションが実践できる。

3学年次テーマ：展開と応用 「DP：1・3～5」

・患者・患者家族を中心とするチーム医療において看護師の役割および他職種の役割を理解し、チームの構築方法について説明できる。

・患者・患者家族の抱える健康問題に対してチームで対応することの重要性を理解し、実践できる。

・看護師としてのプロフェッショナリズムを身につけ、省察し、自らの課題を明らかにすることができる。

4学年次テーマ：協働と連携 「DP：1・3～6」

・在宅医療を推進するために、保健・医療・福祉機関の連携・協働を含めた看護の活動・役割について説明できる。

・継続看護、退院支援・退院調整等、地域の関連機関と協働関係を形成する看護援助方法を理解し、模擬場面において多職種連携医療が実践できる。

授業計画表

回	年月日 (曜日)	時 限	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	2026/05/21 (木)	3	医看（薬）合同多職種連携教育（1学年次） ・良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
2	2026/05/21 (木)	4	同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：良いチームの要素、自己と他者の理解、適切なコミュニケーション方法について課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
3			医看（薬）合同多職種連携教育（2学年次） ・医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
4			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：医療チームとは、看護師の役割と他職種の役割、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
5			医看（薬）合同多職種連携教育（3学年次） ・患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
6			同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：患者・患者家族中心医療、対象者の抱える問題への対応、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
7			医看（薬）合同多職種連携教育（4学年次） ・保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーション、省察	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員

8		同上	講義・演習	前：事前配布資料を読む。 後：保健・医療・福祉機関の連携・協働、看護援助の連携、アサーティブコミュニケーションについて課題レポートを通じて理解を深める。 前後：120分	全員
評価方法	本科目は1学年次から4学年次に開講される医看（薬）合同多職種連携教育演習1～8すべての評価をもとに「チーム医療論（IPE）」として4学年次に単位認定する。 評価基準は各学年（25%）として評価し、4学年次に最終評価（100%）とする。 学年別評価基準 事前学習への取り組み（50%）・演習への参加度・課題レポート（50%）				
教科書・参考書	教科書 講義開始までに、講義内容を示した配布資料を提示する。				
履修上の注意点及び取扱い	1 履修について ・事前配布資料を読み自己学習を行い、積極的に演習に取り組む。 ・許可なく撮影・録音することは禁ずる。 2 出欠席について ・問わない。ただし、欠席時には課題レポートの提出を義務付ける。大学規定に沿わない欠席については、学年別 評価10%を限度とする。 3 再試験について ・4学年次に1回行う。（課題レポートの提出） 4 課題等のフィードバックが必要な場合は、オフィスアワーを利用して対応する。				
オフィスアワー	山中 真 月曜日 16：00～18：00 看護学部棟2階N252研究室 山本 恵美子 水曜日 16：30～17：40 看護学部棟3階N351研究室 青山 恵美 木曜日 16：20～17：50 基礎科学棟3階N375研究室 黒澤 昌洋 月曜日 16：30～18：00 C棟5階個人研究室③ 横山 剛志 水曜日 16：30～18：00 基礎科学棟3階N373研究室 上坂 真弓 月曜日 16：00～17：30 看護学部棟2階N253研究室 伊藤 真規 水曜日 16：30～18：00 看護学部棟4階N454研究室 非常勤・兼任講師 授業に関する質問・相談等は講義後に対応する				
備考	「実務」 病院等で看護師としての実務経験をもつ教員および、医師・薬剤師としての実務経験を持つ教員が、多職種での連携・協働、チーム医療について教育を行う。 ・本科目における講義・演習では、最新の知見を取り入れた授業構成をしている。				

講義名	ヒューマニティ実習		
講義開講時期	前学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Humanity Practicum		
科目区分	臨地実習 ヘルスプロモーション実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 佐々木 裕子
教 授	泉 雅之
教 授	近藤 真治
教 授	山中 真
准 教 授	白井 裕子
准 教 授	黒澤 昌洋
准 教 授	橋本 茜
准 教 授	長崎 由紀子
准 教 授	浅野 いずみ
准 教 授	青山 恵美
准 教 授	荻野 朋子
准 教 授	山本 弘江
准 教 授	深谷 基裕
講 師	佐藤 ゆかり
講 師	二村 純子
講 師	横山 剛志
講 師	小久保 知由起
講 師	上坂 真弓
講 師	伊藤 寿英
講 師	中村 美奈子
講 師	坪之内 千鶴
助 教	沖本 優
助 教	森本 直樹
助 教	丸谷 紗穂
助 教	坂川 有希
助 教	中村 恵理
助 教	柴田 竹晴
助 教	小宮 麻椰

助 教	曾 雌 哲 也
-----	---------

科目概要	地域で暮らす人々との関わりを通して、人と生活体験の理解を深める。
目標	1 地域で暮らす人々に関心を寄せて関わるができる。「DP：1」 2 地域で暮らす人の生活体験や価値観の多様性を理解することができる。「DP：2」 3 地域で暮らす人の事業所や施設を利用する目的を知ることができる。「DP：3」 4 地域で暮らす人の健康を支える環境を知ることができる。「DP：2」 5 看護倫理をふまえた態度や行動をとることができる。「DP：1」 6 関わりや学びを振り返り体験したことの意味を洞察することができる。「DP：1」

授業計画表

回	内 容	授業の 運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	実習（地域の実習施設・実習機関での実習）別紙：実習先一覧表参照 1 実習内容と方法 詳細は別途配布する「2026年度ヒューマンティ実習要項」を参照する。 2～5名程度のグループに分かれて地域の実習施設・機関で行う。 2 実習期間 6月8日(月)～6月12日(金) 3 1週間の実習展開例 < 1日目>学内実習：オリエンテーションとグループ学習 ・教員から実習先(実習施設・実習機関)の概要と実習時間、実習目標や留意事項などの説明を受ける。 ・ホームページや資料から、実践の対象、実習先の活動等の概要について情報収集を行い、まとめる。 ・個々の実習目標を立案し、質問事項や取り組んでみたいことをまとめる。 ・実習先への交通手段・服装・持ち物・災害時の対応等について情報を調べまとめる。 ・カンファレンスで学びと明日からの目標や準備を共有する。	実習	1 ガイダンス時に提示された資料を実習までに熟読し、実習要項も読んでおく。 2 実習前までにヘルスプロモーション論、看護学原論Ⅰおよびコミュニケーション論を中心に、既習の内容を復習する。 実習中は毎日1時間程度の予習と復習を行う。 予習：翌日に予定されている実習の内容に応じて学習や情報を収集する。 復習：その日に学習した内容を整理しまとめる。	全員
2	同上	実習	同上	全員
3	同上	実習	同上	全員
4	同上	実習	同上	全員
5	< 2日目・3日目・4日目> 地域の実習機関3日 午前・午後：実習施設・実習機関での実習 午後：カンファレンスと記録のまとめ	実習	同上	全員
6	同上	実習	同上	全員
7	同上	実習	同上	全員
8	同上	実習	同上	全員
9	同上	実習	同上	全員
10	同上	実習	同上	全員
11	同上	実習	同上	全員
12	同上	実習	同上	全員
13	同上	実習	同上	全員
14	同上	実習	同上	全員
15	同上	実習	同上	全員
16	同上	実習	同上	全員
17	< 5日目>学内実習：学びのまとめと全体共有 ・実習の学びを課題に添って発表する。	実習	同上	全員

	・学びについてディスカッションを行い、学びを深める。			
18	同上	実習	同上	全員
19	同上	実習	同上	全員
20	同上	実習	同上	全員

評価方法	実習評価は、評価基準に基づき、実習目標の達成状況、実習への取り組み態度を総合的に評価する。 評価は、A＝80～100点、B＝70～79点、C＝60～69点、D＝60点未満とする。
教科書・参考書	教科書：なし 参考書・参考資料：ガイダンス時および実習オリエンテーション時に紹介する。
履修上の注意点 及び取扱い	1 小児ウイルス感染症等の抗体価が基準値に満たない場合は、健康管理で示されている方法でワクチン接種を行っておく。（学生便覧とガイダンス資料、実習要項を確認しておくこと） 2 止むを得ず遅刻・欠席する場合には、事前であれば学務課、当日であれば学務課および実習先に必ず連絡をする。必要書類の提出を求める場合がある。ガイダンスやオリエンテーション時の連絡方法について理解しておく。 3 単位修得について (1) 出席時間数が実習時間の5分の4以上であり、実習記録物が期限内に提出された場合に評価の対象とする。 (2) ヒューマニティ実習評価表に基づいて自己評価を行う。 (3) 追実習、再実習については、看護学実習要項の共通事項の記載に準拠する。 4 実習のフィードバックについては、実習要項を参照とする。
オフィスアワー	担当教員に確認すること。
備考	〔実務〕 地域で暮らす人々と関わりをもつ多様な施設や事業所・機関で、看護師等のさまざまな実務経験をもつ教員等が、実際の活動で体験する内容に沿って教育を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。

講義名	基礎看護学実習Ⅰ		
講義開講時期	後学期	講義区分	実習
単位数	1		
(英文名)	Practicum: Fundamental NursingⅠ		
科目区分	臨地実習 基礎看護実習		
必修・選択<組>	必修		
開講学年次	1 学年次		

担当教員	
職種	氏名
教 授	◎ 篠田 かおる
教 授	山本 恵美子
准 教 授	山幡 朗子
講 師	板津 良
講 師	中村 美奈子
助 教	沖本 優
助 教	志水 己幸

科目概要	健康問題を抱える生活者(患者)とのコミュニケーションを通して、その人とその生活を理解することを学ぶ。また、その人に必要な日常生活援助について考える基礎的能力を養う。
目標	1 患者の療養生活の実際を説明できる。「DP：4・5」 2 患者とふさわしいコミュニケーションをとることができる。「DP：3・4」 3 患者の療養生活を理解し、既習の学習を活かし生活上の援助が説明できる。「DP：2・3・5・6」 4 行った看護を振り返り、自己の学びや課題に気づくことができる。「DP：5・6」 5 看護専門職を目指す学生として、看護倫理を踏まえた実習態度を示すことができる。「DP：1・6」

授業計画表				
回	内 容	授業の運営	準備学修 (予習・復習)	担当教員
1	オリエンテーション 1 実習内容と方法：詳細は、別途配付する「2026年度基礎看護学実習Ⅰ要項」を参照とする。 2 実習場所：愛知医科大学病院 3 実習期間：実習は1週間で、A・B組に分かれて行う。 1) A組：2026年12月7日(月)～12月11日(金) 2) B組：2026年12月14日(月)～12月18日(金) 4 実習時間：9:00～16:00(休憩1時間) 学内オリエンテーション 担当教員との打ち合わせ 病棟オリエンテーション	実習	予習 1 実習要項を熟読する。 2 実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 3 実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメントの復習をする。 復習 1 日の実習を振り返り、記録用紙を記載する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
2	病棟オリエンテーション 看護師のシャドーイング 受け持ち患者の決定・紹介	臨地実習	同上	全員
3	看護師のシャドーイング	臨地実習	同上	全員
4	同上 ショートカンファレンス ・ショートカンファレンスを30分間行い、実習指導者および実	臨地実習 ショート	同上	全員

	習担当教員の助言を得る。 ・感じたこと、困ったこと、気づいたことなどを発表し、次の課題を明確にする。	カンファレンス		
5	受け持ち患者担当看護師のシャドーイング 受け持ち患者の看護	臨地実習	予習 受け持ち患者に実施するすべての実践について整理し、イメージトレーニングを実施する。 復習 1日の実習を振り返り、記録用紙を記載する。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
6	同上	臨地実習	同上	全員
7	同上	臨地実習	同上	全員
8	同上	臨地実習 ショートカンファレンス	同上	全員
9	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
10	同上	臨地実習	同上	全員
11	同上	臨地実習	同上	全員
12	同上	臨地実習 ショートカンファレンス	同上	全員
13	受け持ち患者の看護	臨地実習	同上	全員
14	同上	臨地実習	同上	全員
15	同上	臨地実習	同上	全員
16	同上 最終カンファレンス ・次のテーマで30分間行う。 【実習目標を振り返り、患者との関わりを通して学んだこと】 を具体的な事例を基に発表し、実習指導者および実習担当教員の助言を得る。	臨地実習 最終カンファレンス	同上	全員
17	まとめ 報告会準備 実習を通じた学びをグループでまとめる。	学内実習	実習での学びをまとめる。 予習、復習の時間は設定しない。	全員
18	同上	学内実習	同上	全員
19	実習報告会 実習を通じた学びを発表する。また、他のグループの学びを知ることにより、自己の学びを深める。	学内実習	同上	全員
20	同上	学内実習、面談	同上	全員

評価方法	1 目標達成状況、実習記録、実習態度、出席状況を総合して評価する。 2 実習出席日数が5分の4に満たない者は、評価対象とならない。 3 評価基準は「2026年度看護学実習要項 基礎看護学実習Ⅰ」に準拠する。
教科書・参考書	教科書：「基礎看護技術Ⅰ」「ヘルスアセスメント」で使用した書籍 参考書：必要時適宜紹介する。
履修上の注意点及び取扱い	1 小児感染症等の抗体価を確認し、感染予防に備えておくこと。 2 止むを得ず遅刻・欠席する場合には、学務課に必ず連絡をする。その場合、遅延証明書や診断書等、証明するものを提示する。 3 単位習得について (1) 出席時間数が実習時間の5分の4以上の場合に評価対象とする。 (2) 基礎看護学実習評価表に基づいて自己評価を行う。 (3) 記録類の提出期限に遅れると、評価対象としない場合がある。 4 追実習・再実習については「2026年度看護学実習要項 共通事項」に準拠する。

	6 フィードバックの方法 実習中はカンファレンスや記録物等を通して実習内容をフィードバックする。
オフィスアワー	篠田 かおる 水曜日 16：30～18：00 看護学部棟2階N257研究室 山本 恵美子 水曜日 16：10～17：40 看護学部棟3階N351研究室 山幡 朗子 月曜日 16：10～17：40 看護学部棟3階N353研究室 板津 良 月曜日 16：10～17：40 看護学部棟4階N454研究室 中村 美奈子 月曜日 16：10～17：40 基礎科学棟3階N367研究室 志水 己幸 月曜日 16：30～18：00 看護学部棟2階N256研究室 沖本 優 水曜日 16：10～17：40 基礎科学棟3階N370研究室
備考	1 実習要項を熟読する。 2 実習前までにN205実習室の開放時間内に技術練習を行っておく。 3 実習前までに基礎看護技術Ⅰ、ヘルスアセスメントの復習をする。 〔実務〕 大学病院において、看護師としての実務経験をもつ教員等が、実際の看護活動の体験を通じた指導を行う。 ・最新の知見を取り入れて構成をしている。